アンティック-珈琲店-　ナイトメア　シド　Alice Nine　ムック　ヴィドール　D　Kra

平成9年12月5日第三郵便物認可平成22年1月1日発行第203号(毎月1回1日発行)

SHOXX

1月号 Vol.203
2010 月刊 980YEN

特別付録
アンティック-珈琲店-
特大ポスター
応募者全員サービス
SHOXX オリジナル
生写真

AN CAFE
アンティック−珈琲店−
Special Front 18 Pages Edition

ナイトメア
シド
仙台貨物
Alice Nine
ムック
ヴィドール
D
Kra
lynch.
ドレミ團
メガマソ
ギルガメッシュ

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

彩冷える-ayabie-

「brand new story」

2010年01月06日(水)　OPEN▸17:00 / START▸18:00　東京厚生年金会館

料金：¥4,800(税込・前売料金/全席指定)　問合せ：H.I.P 03-3475-9999

11/28より一般発売開始

- ・チケットぴあ0570-02-9999 (Pコード:341-095)
- ・ローソンチケット0570-084-003 (Lコード:73119)
- ・イープラス　URL→http://eplus.jp
- ・ライカエジソン東京店

www.shanghaidz.com
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

彩冷えるの真骨頂！
2009年の冬を彩る、煌びやかなスピードチューン。

3rd Single「サヨナラ」

2009.12.2 on sale!!!

初回生産限定盤 A　CD+DVD

CD	1. サヨナラ 2. birthday song 3. サヨナラ(Original Karaoke) 4. birthday song(Original Karaoke)
特典DVD	1.「サヨナラ」Music Clip 2. Music Clip Making

税込価格:¥1,500 (税抜価格:¥1,429) TKCA-73487

初回生産限定盤 B　CD+DVD

CD	1. サヨナラ 2. birthday song 3. サヨナラ(Original Karaoke) 4. birthday song(Original Karaoke)
特典DVD	ayabie live tour 「colorful rock party」ツアー バックステージ

税込価格:¥1,500 (税抜価格:¥1,429) TKCA-73488

通常盤　CD

CD	1. サヨナラ 2. birthday song 3. 淡雪 ＜通常盤のみ収録のボーナストラック！＞
特典	トレーディングカード1種封入（全6種） ※初回生産分限定

税込価格:¥1,000 (税抜価格:¥952) TKCA-73492

www.shanghaidz.com

3rd Single「サヨナラ」発売記念イベント

2009年12月2日(水)　18:00～　東京ドームシティラクーア　ラクーアガーデンステージ

12/3(木) ライカエジソン東京店　12/4(金) あすなる金山（名古屋）　12/5(土) ライカエジソン名古屋店　12/6(日) ライカエジソン主催（大阪）

※詳細はオフィシャルホームページにて

詳細はHPにてご確認下さい
徳間ジャパンコミュニケーションズ ▸ http://www.tkma.co.jp/tjc/
Ayabie Official Website ▸ http://www.ayabie.net/

AYABIE OFFICIAL FAN CLUB
DONUT SPIN
AYABIE OFFICIAL FANCLUB "DONUT SPIN"

INFORMATION「donut spin
〒106-0031
東京都港区西麻布3-2-9 サンライズ六本木5
03-6805-7562

アンカフェ、初のベストアルバム発売決定。

「アンティック-珈琲店-」

09.12.09(wed) Release

アンカフェ6年間の軌跡をギュウッと凝縮。現在入手不可能なレア音源や、未発表曲を含む
カフェっ仔☆ベストバイ☆アイテム o(≧▽≦)o!!

初回限定三方背付 RCLL-047〜048
CD2枚組 ¥3,465 (tax in)

DISC 01>>>

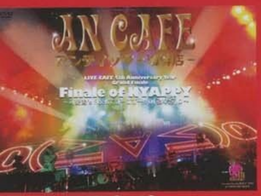
01 キャンデーホリック
02 踊るメルヘン時計
03 似非占い
04 逃避回路
05 雨の繁華街
06 悲想橋
07 我侭行進曲
08 テケスタ光線
09 エスカピズム
10 メリメイキング
11 メープルガンマン
12 校廻〜koukai〜
13 二時間シャボン玉
14 巡り逢えた奇跡
15 BondS 〜絆〜

DISC 02 >>>

01 LOCK ON ☆ザ☆ 御NEW世界
02 スマイル一番イイ♀
03 スノーシーン
04 覚醒ヒロイズム
05 流星ロケット
06 恋のディペンデンス
07 オレンジドリーム
08 Cherry咲く勇気!!
09 孤立ホスピタル
10 SUMMER DIVE
11 MY ♥ LEAPS FOR "C"
12 可愛湯's RocK
13 AROMA
14 夏恋★夏GAME
15 YOU

AN CAFE
アンティック-珈琲店-

全国のCDショップにてご注文・ご予約受付中!



RCBL-003 ¥4,800 (tax in)
全国のCDショップにて絶賛発売中!

Finale of NYAPPY 〜可愛湯's RocKでゴーゴゴー!!0(≧▽≦)0〜
LIVE DVD

2009.05.17に東京ビッグサイトで行われた、アンカフェ5周年を締めくくるアニバーサリーライブ
「Finale of NYAPPY 〜可愛湯's RocKでゴーゴゴー!!0(≧▽≦)0〜」のライブ映像と、
2度目の海外ツアー「NYAPPY GO AROUND THE WORLD II」の模様を収録。

〈収録曲〉メープルガンマン / 可愛湯's RocK / Cherry咲く勇気!! / 似非占い / SUMMER DIVE / ZETSUBOU / オレンジドリーム / 覚醒ヒロイズム (DANCE Ver.) / NYAPPY in the world 4 / #-@☆ピポパポテレパシー☆@-# / AROMA / 玩具 / MY ♥ LEAPS FOR "C" / 巡り逢えた奇跡 / テケスタ光線 / BondS 〜絆〜 / スマイル一番イイ♀

AN CAFE LIVE CAFE TOUR 2010

キングオブ原宿ダンスロック 〜いきなりニャッピーレジェンド〜

2010.01.04 (mon)

日本武道館

☆OPEN 17:00 / START 18:00　☆チケット料金 一般指定席…¥6,000　☆(問)ディスクガレージ (03-5436-9600)
☆販売プレイガイド e+ (イープラス) http://eplus.jp/ (PC・Mob共通) ※本公演はe+ (イープラス) のみでのお取り扱いとなります。

チケット残りわずか!!!

www.ancafe-web.com

■TOTAL INFORMATION red café 〒107-0061 東京都港区北青山2-12-28 青山ビル2F TEL 03-3475-7420 (平日11:00〜18:00)

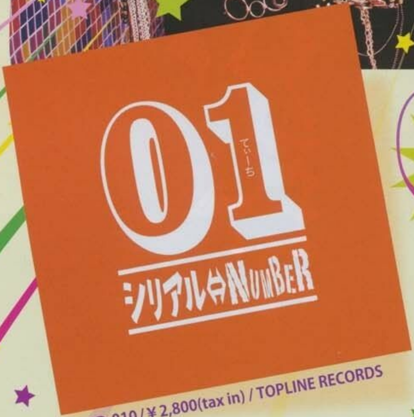
www.shanghaidz.com
蝴蝶网 hudie.com

We ♡
AN CAFE
アンティック—珈琲店—
ANTIC CAFE
アンティック-珈琲店-
飴玉ロック
スマイル一番イイ
覚醒ヒロイ
テクスタ
スノーソー
メリメイキング
AN CAFE
アンティック—珈琲店—
蝴蝶网
hudie.com

摩天楼オペラ
Murder Scope
2009.12.16 ON SALE
来年5月6日に行われる渋谷C.C.Lemonホールでのワンマンライブチケット、第二弾先行予約方法封入!!
urder Scope 初回限定盤
CD-054 ¥1,575(tax in) CD+DVD 5曲収録
rder Scope
OON
DVD
1. Murder Scope (PV)
2. 悲哀とメランコリー
(Live in 7.23 at Akasaka BLITZ/Multi Angle)
3. ローンデイジー
(LIVE in 7.23 at Akasaka BLITZ)
Murder Scope 通常盤
SASCD-055 ¥1,260(tax in) 6曲収録
1. Murder Scope
2. COCOON
3. EVE (LIVE in 7.23 at Akasaka BLITZ)
4. 悲哀とメランコリー (LIVE in 7.23 at Akasaka BLITZ)
5. Last Game (LIVE in 7.23 at Akasaka BLITZ)
6. 瑠璃色で描く虹 (LIVE in 7.23 at Akasaka BLITZ)
DAWN OF ANOMIE
in Akasaka BLITZ
SASDVD-014 ¥4,200(tax in)
2009.11.25
ON SALE
2009.07.23 赤坂 BLITZ にて
行われた初ワンマンライブを DVD 化!!
来年5月6日に行われる CC レモンホールでの
ワンマンライブチケット、第一弾先行予約方法封入!!
「DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ」&「Murder Scope(初回限定盤)」発売記念インストアライブ決定！
12月18日（金）TOWER RECORDS 渋谷店 B1「STAGE ONE」19:00 START ミニライブ＆サイン会
詳しい参加方法は、OFFICIAL WEB SITE にてご確認ください。
COUPLING COLLECTION 08-09
SASCD-053 ¥2,100 (tax in)
NOW ON SALE
ANOMIE (通常盤)
SASCD-052 ¥3,150 (tax in)
NOW ON SALE
LIVE Schedule
2009.11.28 (Sat) 川崎 CLUB CITTA'
Sherow Artist Society PRESENTS 摩天楼オペラ ×DELUHI 全国ツーマンツアー [Symphony from Japan] ツアーファイナル
ADV / DAY ¥3,500 / ¥3,800 OPEN / START 17:00 / 18:00 （問）クラブチッタ 044-246-8888
2010.01.04(Man) 渋谷 O-East Versailles Presents Jasmine You -Memorial Ceremony-
ADV / DAY ¥4,000 / ¥4,500
ンレター等の宛先］ 〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町 14-6 黒松ビル
ディー募集］ Sherow Artist Society では所属バンドのローディーを全国より
ある方は履歴書を上記住所、Sherow Artist Society 人事・採用係までお送りください。
RMATION］ Sherow Artist Society
Sherow Artist Society
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

ニューアルバム 11/25(水)発売決定!



TLSCD-010 / ¥2,800(tax in) / TOPLINE RECORDS

01 てぃーち

シングル「GO!YA!NUMBER～ぬちぐすい～」含む8曲プラス、初の激レアライブテイク4曲を収録した全12曲入りニューアルバム

01. GO!YA!NUMBER～ぬちぐすい～
02. アテンション・プリーズ
03. COLOR STYLE
04. 愛らシーサー
05. 夢人の空
06. ちゅらさんがころんだ
07. チャイニーズリング
08. お疲れサンバ　踊ルンバ

〈Bonus Tracks～Live at AKASAKA BLITZ 2009.08.21～〉

09. シリアル音頭(Live Ver.)
10. Happy Life～2人のらぶねっと～(Live Ver.)
11. SQUALL(Live Ver.)
12. ミーとじいちゃんと麻婆茄子(Live Ver.)

INSTORE EVENT

2009年
12月 5日(土) ライカエジソンドットコム ラフォーレ原宿店
12月18日(金) 池袋ブランドエックス

2010年
1月11日(月・祝) ライカエジソン東京店
1月23日(土) ライカエジソン大阪店
1月24日(日) ライカエジソン名古屋店

LIVE SCHEDULE

2009年
11月25日(水) Shibuya O-WEST
12月31日(木) ラフォーレミュージアム六本木

2010年
1月10日(日) 高田馬場AREA
1月16日(土) 渋谷WOMB
1月17日(日) 高崎CLUBFLEEZ
1月30日(土) 横浜SUNPHONIX HALL in YOKOHAMA ARENA
1月31日(日) さいたま新都心HEAVEN'S ROCK VJ-3

好評配信中!

デジタルシングル
「ハブa nice day」
2009.11.4(wed) ダウンロード開始!
レコチョク、オリコンスタイル、dwango.jp、デジタルTSUTAYA、ARTIST DELI、Pokeショック、V系STYLE*NEO... etc.

NEWS

レギュラー番組放送中!
FM-FUJI「FUJIYAMA⇔NUMBER」
毎週金曜日24:30～25:00
(TOKYO78.6MHz/KOFU83.0MHz)
☆FM-FUJIのHPは→http://www.fmfuji.co.jp
☆リクエスト＆メールは→fujiyama@fmfuji.co.jp

FC⇔NUMBER'S

http://fc-numbers.jp

公式モバイル☆ファンクラブ 会員募集中!

着うた、着ボイスなんて当たり前! メンバーが声で答えちゃうQ&A!
モバイル内でしか聞けない楽曲も好評無料配信中! ファンクラブ会員限定イベント計画中!!

サイトアクセス方法	
docomo	iMenu ▶ メニューリスト→映画 / 音楽 / アーティスト→男性アーティスト / 歌手 ▶ シリアル⇔NUMBER
softbank	メニューリスト ▶ 芸能・映画・音楽 ▶ タレント・アーティスト ▶ シリアル⇔NUMBER
au by KDDI	トップメニュー ▶ カテゴリ(メニューリスト) ▶ 音楽・映画・芸能 ▶ アーティスト ▶ シリアル⇔NUMBER

Sadie

New Mini Album

「Gain」

2009/12/30 RELEASE

「サディ」新境地を切り拓く、ミニアルバムを約2年半振りにリリース!
全曲録り下ろし! 全6曲!! (限定盤は5曲+PV)

限定盤XQGM-91004(MRS-0029) 5曲+PV ¥2,940-(本体¥2,800-)
通常盤 XQGM-1004(MRS-0030) 6曲 ¥2,310-(本体¥2,200-)
販売元 / BounDEE.Inc　発売元 / FACE MUSIC Co.,ltd

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com
www.shanghaidz.com

http://www.awoi.jp
アヲイ
関西ヴィジュアルシーン実力派ニューカマー「アヲイ」待望の1stミニアルバムリリース！
ZACRO
BRA-006　2,310-(tax in)　収録曲：メランコリィ / 蛍火 / bedroom / 水鏡 / アンブレラ / コトダマ　全6曲
2009.11.25 OUT!
winter tour 2009『ZACROnic new world』
2009年
11/27 fri　名古屋 ell.FITS ALL
11/29 sun　OSAKA MUSE
12/02 wed　目黒鹿鳴館
12/03 thu　仙台 HooK
12/10 thu　博多 Be-1
12/11 fri　熊本 Be-9
12/13 sun　岡山 IMAGE
12/14 mon　松山 SALON KITTY
12/28 mon　OSAKA BIG CAT
Thank you SOLD OUT!!!
12/29 tue　名古屋 E.L.L
Thank you SOLD OUT!!!
2010年
01/06 wed　SHIBUYA O-EAST
TOUR FINAL ONEMAN!!!
2010年01月29日(金)表参道 FAB
開場　18:30　開演　19:00　前売¥3,000-(D別)　問) FACE MUSIC 06-6543-3338
渋谷ZEALLINK、ローソンチケット(Lコード:75225)、チケットぴあ(Pコード:341-976)にて発売!
FACE MUSIC
BRAND'S RECORDS

S.Q.F
NEW ALBUM
リビング デッド パーティー
Living Dead Party
NOW ON SALE!!
01 Living Dead Party 02 影縫 ～カゲヌイ～ 03 plastic game 04 スケアクロウ 05 ゴージャス☆パラノイア
06 BLOOD CHERRY CIRCUS 07 POISOn EDEN 08 Diablo ～ロザリアへ愛を込めて～ 09 PUMPKIN IN THE PARK
http://www.sqf.j
Living Dead Party
【品番】BIG-0623 【価格】¥2,800
ONEMAN TOUR
Living Dead Party †††
11.21(土) 大阪 RUIDO
HOLIDAY NAGOYA
11.28(土) 高田馬場 PHASE
協力/ COSPA
衣装協力/ COSPATIO
<S.Q.F information>
S.Q.F OFFICIAL FAN CLUB Mutant 事務局 東京都世田谷区三軒茶屋 1-30-16 アーベニー 102 TEL 03-3410-2060
蝴蝶网
hudie.com

ワンマンライブ『新年早々！全員集合！』
2009年1月8日(fri) shibuya O-WEST
Open 18:30 / Start 19:00 前売 ¥3,000 / 当日 ¥3,500(tax in/D 別)
チケット一般発売日 11/28(土)～
チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:332-853)
ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード:79345)
イープラス http://eplus.jp
問) ディスクガレージ 03-5436-9600
HERO

オフィシャルウェブサイト
www.hero-ism.com
2nd. Full Album
Oh My HERO
My Oh HERO
HERO
新生 HERO としてリリースされた
「Oh My Darlin'」「Oh My God!!」
両シングルを含む全 10 曲入り。
エンハンスド使用による、
HERO のマル秘映像＋オフショットを収録。
「Oh My HERO」購入者対象
インストアイベント決定 !!
詳細は Official Web Site をご覧下さい。
※エンハンスドとは
音楽 CD にマルチメディアコンテンツを加えたもの。
通常通り CD プレイヤーでは音楽を。お手持ちのパソコンではビデオクリップやマルチメディアのような映像作品を楽しむことができます。
（一部対応していない機種がありますので、ご注意ください。）
HRSP-0007 ¥3,150(Tax in) エンハンスド仕様
2009.11.25(wed) On Sale !
発売元：STAR POWDER 販売元：株式会社オンゲ
Information 〒107-0061 東京都港区北青山 2-12-28 青山（SEIZAN）ビル 2F「STARPOWDER」
STAR★POWDER
蝴蝶网
hudie.com
www.shanghaidz.com

CONTENTS

蝴蝶网
hudie.com

154 メガマソ
156 ゾロ
158 Sadie
160 HERO
ヒーロー
080 Aoi
アオイ
084 THE KIDDIE
キディー
088 SCREW
スクリュー
089 Dolly
ドリィー
098 御主人様専用奇才楽団 Virgil
ゴシュジンサマセンヨウキサイガクダン ヴァージル
099 Seven
セブン
100 【_Vani;lla】
ヴァニラ
101 宇宙戦隊NOIZ
ウチュウセンタイノイズ
102 地中楼閣
チチュウロウカク
104 少女~ロリヰタ~23区
ロリータニジュウサンク
105 シリアル⇔NUMBER
シリアルナンバー
106 Brother
ブラザー
108 ダウト
110 boogieman
ブギーマン
112 トゥーン工場
トゥーンファクトリー
114 V-ROCK FESTIVAL '09
ヴィ・ロック・フェスティヴァル

116 SHOCK WAVE
アポロ

119 SHOXX MODE
厳選してお届けする最新情報!!
電脳オウラアト
DELUHI
DEATHGAZE
アヲイ＊S.Q.F
DOG inTheパラレルワールドオーケストラ
ネガ＊愛狂います。
Zip.er
平成維新＊ZEST

131 エクスペクトラッシュ
C"LOW"N
VAJRA
130 ぼっくんの主張
141 アーティストBOX
148 ミッション イン ぼっくん
150 ブレコンWORLD
152 ぼっくんの早耳情報
153 大島暁美のロックンロール日記

>> マークの説明 <<

●マークがついているアーティストは
携帯サイト「音楽せんか？」とリンクしています。

■アクセス方法
>>i-mode「メニューリスト」→「音楽／映画／芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか？」
>>EZweb「トップメニュー」→「カテゴリーで探す」→「エンターテイメント」→「音楽」→「音楽せんか？」
>>vodafone「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「映画・音楽」→「音楽」→「音楽せんか？」

Editorial in chief／Kuniaki "B" Suzuki
Editors／Misako Shida, Junko Arasawa

Art Director／Noriaki Ishimatsu(KeisyoDesignOffice)
Design Stuff／Yoichirou Fujii,
Maki Yoshikawa, Hitomi Ikeuchi (Bakery37.1),
Nakane (amulet label),
Yukako Takayama, Youki Maenohama
Noriaki Ishimatsu (Keisyo Design Office),
Kyoko Yasunaga (ZOISite),
T.O. MAMMOTH graphics

VISUAL & HARD SHOCK MAGAZINE
Vol.204は2009年12月21日(月)発売
http://www.ongakusenkasha.co.jp
発行所／株式会社音楽専科社
104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F
TEL／03-3574-0201(代表)
発行人／荒井敏行
編集人／鈴木邦昭
製版印刷／株式会社プロスト/凸版印刷株式会社
発行日／2010年1月1日
特別定価／980円本体933円

蝴蝶网
hudie.com

SHOXX
2010
1月号
Jan Vol.203
Cover Model／アンティック-珈琲店-
Photo／Takehiro Suganuma
Design／Noriaki Ishimatsu
(Keisyo Design Office)
Editor／Misako Shida

016 **アンティック-珈琲店-**
Part 1：Personal Interview
～それぞれのAnother Story～
Part 2：初のベストアルバム
『アンティック-珈琲店-』リリースインタビュー
Part 3：『キングオブ NYAPPY GO AROUND』
ツアー日記～後半戦～

036 夢のスペシャル企画実現!!
un SCAR NERVE
アン・スカー・ナーヴ
5バンドからなる先鋭メンバーによる
フォトセッション＆インタビュー

042 **柩×Ni~ya（ナイトメア）**
ヒツギ×ニーヤ
バンド内対談・第3弾!!

048 **ムック**
帰国直後の4人に直撃

052 **仙台貨物**
センダイカモツ

054 **Alice Nine**
アリスナイン

056 **シド**

058 **靖乃(Kra)**
ヤスノ(ケラ)

060 **ヴィドール**

064 **ASAGI(D)**
アサギ(ディー)

066 **KAMIJO(Versailles)**
カミジョウ(ヴェルサイユ)

070 **lynch.**
リンチ

072 **ドレミ團**
ドレミダン

074 **Mix Speaker's,Inc**
ミックス・スピーカーズ・インク

078 **12012**
イチ・ニー・ゼロ・イチニ

079 **DaizyStripper**
ディジーストリッパー

076 **ギルガメッシュ**

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

AN CAFE

アンティック－珈琲店－

✝

Another Story

9月10日から始まった全国20ヶ所20本の『キング オブ NYAPPY GO AROUND』も無事終わり、
活動休止まで、残す所、11月16日から12月7日まで続く全国5カ所5公演ZEPPツアーと、
2010年1月4日に行なわれる日本武道館
『キング オブ 原宿ダンスロック～いきなりニャッピーレジェンド～』となったアンティック-珈琲店-。
今回は、12月9日にリリースされる、結成から6年の軌跡を収録した、アンティック-珈琲店-の
初のベストアルバムについての集合インタビューと、『キング オブ NYAPPY GO AROUND』の
ツアーを振り返ったパーソナルインタビューの2本立てでお送りします。
彼らの本当の心の内が語られたパーソナルインタビューは必見です!

Photography:TAKEHIRO SUGANUMA/MIWA OHYA(LIVE:COAST)
Art Direction:NORIAKI ISHIMATSU(Keisyo Design Office)
Interview&Report:NAOKO TAKEICHI
Hair&Make-Up:CHINATU TABATA(みく・カノン)/yuko(takuya・ゆうき・輝喜)
Styling:MAYU MORISHIMA
Costume:ALICE and the PIRATES(03-5468-5491)/ATELIER BOZ (03-5738-3501)/BLACK PEACE NOW(03-5452-8077)/
BLACK PEACE NOW FOR MEN(03-5452-8077)/GADGET GROW (03-5452-8077)/DMI(03-3796-2616)/
GOGGI・OGGI JAPAN INC.(0120-514-051)/h.NAOTO(S-inc.) (03-5766-3850)/2plus-alpha(03-5369-2932)

www.shanghaidz.com

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
www.shanghaidz.com

——9月10日から始まった全国20ヶ所20本の『キング オブ NYAPPY GO AROUND』の初日だった川崎のライヴは、活動休止を発表したことには一切触れない、というより、むしろ、敢えて感じさせないライヴだったと思ったのね。

「うん。でもね、本当にそこを感じさせない、いつもどおりのライヴにしようっていう意識がすごくあったんですよ。活動休止を発表して、みんなの顔を直接見るのは初めてだったし、みんなが、今回の僕たちの決断をどう受け止め、このライヴをどういう風に受けとめようとしてくれてるのか、それが、解らなかったんです。手紙とかではいろいろと〝頑張ってね〟の声をもらっていたんだけど、実際に表情を見るのは川崎が初だったから」

——怖かった？

「うん。怖かった。みんなの前に、どういう顔をして出てったらいいのか解らなかったし、本当に怖かったから、すごく緊張したし」

——実際、初日の川崎のライヴのステージを終えてみて、どう感じたの？

「初日を終えてみてね、正直、どうだったんだろう？って、まだ不安だった。川崎のライヴハウスもそこまで狭いライヴハウスじゃないから、みんなの顔はしっかり見えるんだけど、細かい表情までは把握出来なくて、正直どうだったのか解らなくて……。そしたら、ライヴ後に手紙やメールでいろんな声を貰って。それを見てたらね、みんな、楽しそうにライヴに参加してくれてたけど、本当はすっごく悲しくて、泣きたかったんだ……って解ったんですよ。本当は、僕も武道館までは、いままでどおりにライヴをするのがいいんじゃないかって思ってたんだけど、お手紙を見てても、川崎がラストだったっていうカフェっ仔も何人も居たから、そっか……、みんながみんな最後の武道館に来れる訳じゃなくて、今回のツアーが、活動休止前に見るアンカフェの最後のライヴになるカフェっ仔も居るんだよなぁ……って思ったら、なんか、いつもの、楽しさ優先のライヴをするのは、どうなんだろう？　誠実じゃないんじゃないか？って、考えちゃったんですよ。それもあって、ツアーファイナルだった新木場のアンコールの最初のMCで話した、いままでの感謝の気持ちを、地方でも毎回言うようにしたんです」

——そうだったんだね。でも、あの日、みくだけそのことを話してたでしょ。アンカフェ全体の言葉としてじゃなく、すごく人見知りで、自分に自信が持てなかった自分が、ここまで頑張ってこれたのは、カフェっ仔のおかげだったっていう、〝みく個人〟からのメッセージだったけど、全員が、そのことについて語らなかったのには、何か意味があったの？

「ううん。そこに特に意味はないよ。ライヴ前も、MCでそれぞれ何を話す？とか、そういうMCに関しての打ち合わせはしてないから。今回も、みんなが、それぞれのMCのコーナーでそういう話をしなかったことに関しては、特に打ち合わせはなかったんだけどね」

——そっか。みんなはみんなでアンコールの最後のMCで、〝その日〟のライヴの感想と〝ありがとう〟の気持ちは短くだったけど伝えていたから、バランスを考えてくれていたのかもしれないね。

「なんかね、このツアーは、活動休止前の最後のツアーなんだっていう思いが日に日に強くなっていって、いつもみたいな、楽しいだけのMCや、音楽以外で楽しませようっていうのが、僕には出来なくなってたんですよ……」

——辛かった？

「うん、辛かった。伝えたい気持ちを歌詞に託した歌を唄うのは辛く感じなかったけど、やっぱり、活動休止を決めたのは、誰でもない、僕たちの方なんだけど、やっぱり実際ツアーを廻って、これが活動休止前の最後のツアーなんだって思えば思うほど、なんか、笑えなくなっちゃって。勝手なこと言ってるのは解ってるんだけどね。でも、これ、正直な気持ちなんですよ。だからね、唄う事だけに集中したかった。ライヴ前も、いつもはメンバーと話してたり笑ってたりするんだけど、なんか、このツアーはそういう気持ちになかなかなれなくて、独りになって、最後の最後まで鍵盤で歌メロ弾きながら、ずっと練習してたりして。毎回、噛み締めて、どうしたらみんなにいつも以上に気持ちが伝わるか、って思いながら、ステージに上がってた気がする」

——活動休止は前向きな決断でもある訳だけど、やっぱり、実質問題、活動を止めている期間は、みんなと会えなくなる訳だからね、辛くない訳がないからね。

「うん。そう……」

——このツアーを終えてみて、変化を感じたことはなかった？

「あったよ。いつもはね、みんなに与えた分の、倍の力と元気をもらってた気がするんだけど、今回は、ちゃんと、与えた重力に比例した反力が返ってきてた気がしたの。やっぱ、そうじゃないとダメだなって改めて思ったし、そうあるべきなんだって、改めて感じることが出来た」

——そっか。みくは自分のブログでも、自分が精神的に弱い部分がある病気であることをみんなに話したでしょ。それを、隠さず話そうと思ったのはどうして？

「カフェっ仔は僕にとってすごく大切な存在でもあるから、明るく振る舞ってる自分だけを見せていることが、嘘をついてるように思えてきたんですよ。大切な人だからこそ、嘘を付きたくなかったんです。本当は自分に自信が持てない、すごく打たれ弱い人間なのに、元気な振りをして、そんな元気な印象だけが一人歩きしちゃって……。そんな偽りの自分だけを、みんなに見せるのが、だんだん辛くなってきちゃったんです」

——カフェっ仔はもちろん、メンバーも、そんなみくのことを、すごく大好きだって思ってくれていて、支えてくれてると思うよ。みくが正直に病気のことを話したことで、頑張って戦ってるのをちゃんと解って支えてくれていると感じたから。

「うん。それはね、すごく感じてる。あのね、僕はね、アンティック-珈琲店-っていうバンドは、カフェっ仔の力50%、メンバー、スタッフ、関係者さんの力50%で出来ていると思ってるんです。自分たちだけのモノじゃないからね、自分勝手にアンカフェのカラーを変えることは、たとえメンバーだとしても許されないことだと思ったんですよ。それゆえの活動休止っていう決断だった訳で。アンカフェがアンカフェで居つづけられるための、前向きな活動休止だったのね。まぁ、その活動休止を決めて、カフェっ仔を悲しませちゃうことになったのは、僕たちだから、矛盾してるって思われちゃうかもしれないけど、音楽以外のことで楽しませなくちゃダメなバンドにはしたくなかったってのもあって、だからこそ、充電期間が必要だったってことなのね。ちゃんとね、向き合いたかったの。今回のツアーも、何処が一番最高のライヴだったっていうんじゃなく、とにかく全箇所、精一杯の本音でぶつかりたかったから。そう出来たと思うから、少しだけ成長出来たと思うんですよね、今」

——みくは、自分に自信が持てないってよく言うでしょ。

「うん。中学生の頃に、イジメが酷い学校だったから、その時に自分もイジメられてから、人が怖くなって自信が持てなくなっちゃったの。それからずっと」

——今、こんなに愛されてるのに？

「うん。すごく幸せだと思ってるよ。でもね、すごくまだ人が怖い」

——アンカフェはね、本当にこのシーンに新たな風を吹き込んだバンドだと私は思ってるよ。どんな世界でも、個性を確立出来る人は本当に一部だったりすると思うの。それは努力だけじゃなんともなんないし、持って生まれた運もあるけど、努力なくては絶対掴めないモノでもあって。アンカフェはこの6年でちゃんとその個性を見つけて開花させられたバンドだと思うからね。この先も、それはひとつの自信にしていったらいいし、素直に〝ごめんね〟と〝ありがとう〟と〝嬉しい・悲しい・楽しい・苦しい〟が言えたら、きっともう少し苦しくなくなると思うよ。

「うん。今回はね、本当に素直に、自分の気持ちを歌を通して伝えられたと思ってるし、みんなに感謝の気持ちを届けることが出来たんじゃないかなって思ってるよ。『ニャッピー』っていう言葉がね、日本のファンはもちろんのこと、地球の裏側のファンとも会わせてくれたミラクルな言葉で、『原宿ダンスロック』もアンカフェの個性だし、アンカフェは本当に素敵な体験をさせてくれたバンドだったと思う。だからね、こうしてアンカフェと出逢えたこと、カフェっ仔と出逢えたことを心から感謝してます。僕もね、このツアーで頑張れたらきっと、活動休止中も頑張れると思うから。心配しないでほしい。まだZEPPも武道館もあるし、それまでは、本当に他のことは何も考えず、そこだけを目指して頑張るから」

www.shanghaidz.com
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

——活動休止前の最後のツアーが終わったね。ツアー前に活動休止についてのインタビューをしたときは、どういうテンション感でツアーに望むべきかって、躊躇してたけど。

「うん。最初はそこまで、活動休止を意識せずにライヴしようって自分の中で決めたんです。変に意識し過ぎちゃうと、それがファンの人たちにも伝染しちゃうと思ったし、ライヴとしていいライヴが出来なくなっちゃうとも思ったんで。でも、ツアーが始まって、各地を廻っていくうちに、だんだん受けとめ方が変わっていったんですよ。やっぱり、地方の人は、ラストの武道館には来れなくて、今回のツアーの、このライヴが活動休止前の最後のライヴになっちゃうんだってことを、お客さんの反応で知ることになったんですよね。それもあって、いつもどおりのライヴはもちろんちゃんとしつつ、活動休止前最後のライヴツアーなんだってことを、自分もちゃんと意識してライヴしなくちゃいけないなって、思い直したんです。かといって、演奏に違いが出るという訳じゃないんですけど、やっぱり気持ちの持ち方ひとつで、気持ちの入り方も違ってくるものだと思うから。ツアーを廻ってる意味をちゃんと1本1本感じながらライヴしましたね。僕とゆうきは2年だけど、アンカフェとしては6年続いたバンドでもあるから、ツアーでは、その6年分の感謝の気持ちを、僕らもちゃんと持って廻ろうって決めて最後まで精一杯頑張りました。なんかね、こんな言い方したら、冷めてるみたいに聞こえるかもしれないけど、決してそうじゃなく受けとめてほしいんですけど。やっぱり、みくさんやカノンさんや輝喜さんがアンカフェで頑張って来た6年と、僕たちの2年とでは、やっぱり重さも深さも絶対的に違う訳で、その分、3人は今回のことを僕たち以上に敏感に感じることもあると思ったし。だからこそ、僕は、自分がちゃんとやるべきことをまっとうすべきだって思ったんです。ちゃんと客観的に見て、演奏面でラストに相応しい演奏を届けることが、自分が一番にすべきことなんじゃないかなって」

——takuyaは大人だね。本当にいつも思うけど。アンカフェは、坊くんももちろんだけど、みく、カノン、輝喜、takuya、ゆうきだったからこそ、ここまで頑張れるバンドになれたんだと思うしね。本当に。

「いやいや。カフェっ仔も含め、みんな本当にいい人だったから、すごくいい経験をさせてもらったと思ってるし」

——takuyaは、ツアー前のインタビューで、〝活動休止をしなくちゃいけなくなったのは、自分のギターのスキルが低かったからじゃないかって思ったりもした〟って言ってたけど、本当にそんなことはまったくしなくていい心配で。自分自身は、このツアーを終えてみて、その考えに変化はあった？

「あ、うん。そこはね、本当にツアーを廻ったおかげで、拭いされました。新しいアルバムの曲もみんなすごく愛してくれて、盛り上がってくれた景色を見せてくれたんで、自分が入った意味や、自分が入ったことでアンカフェに何かを残せた意味を、すごく感じることが出来て、本当に嬉しかったし、いっぱい感謝しましたね。本当に、このタイミングでツアーがあって良かったなって思ったんです。直接待ってくれてる全国のファンの子たちに会えたことで、自分がアンカフェに入った2年半の証を実感出来たんです。すごく救われたというか」

——takuyaはギタリストとしても本当に才能のある人だと思うし、本当に人間性の面でもすごくアンカフェには必要だったと思うからね。ゆうきももちろんね。ゆうきはすごく癒し系のキャラで、場を和ませる力を持った子だと思ったし、takuyaは年下だけど、みんながギタリストとしても一目置いてつき合っていたからね。

「いやいや。そんな、ありがとうございます（笑）」

——おとなしいけど、案外ちゃんと気の強いところもあって、意志が固いからね。

「あ、お気づきでしたか（笑）。あははは。でも、このバンドに入るとき、最初から決めてたことがあったんです。僕は途中から参加させてもらうんだから、出過ぎずに、自分がこのバンドに必要なことをただただひたすら頑張ろうって。縁の下の力持ちって言うほどたいしたもんじゃないんですけど、メンバーではあるんですけど、サポートメンバー的な位置に居ようって思ったというか。もともと裏方気質なもんで（笑）、とにかく支える側になろうって決めてたんです。あんまり自我を出さず、あんまり主張しないようにしようって。ギター面では自分の色を出していこうとは思ってたんですけどね」

——takuyaが最初からアンカフェのメンバーだったら、接し方が違っていたと思う？

「うん、違ってたと思う。きっともっと自我を出してたと思うし。あ、かといって、今も自分を押し殺して我慢してるっていう訳じゃないですよ。でも、確実に最初から接してたら、違ってたと思いますね。でも、僕的には、今の接し方がすごく心地いいし、すごく頑張れてこれたと思っているので、本当に、すべてにおいて感謝しかないですけどね」

——そっかそっか。すごくいいね、takuyaの考え方って。これは一般論だけど、みんな少しでも自分が求められている存在だと思うと、過剰にそこに情を注いでみたり、固執しがちで、それって、場合によってはすごく迷惑な話でもあると思うんだよね。一番必要とされていることは何なのか？ どの程度で接したらいいのか？ 本当に自分がすべきことは何なのか？ ちゃんと距離感をわきまえてつき合える人ってあんまり居ないんだよね。でも、takuyaは若いのにそれがすごく出来てる。すごいなって思うよ。だって、takuyaは社会に出て初めての経験がアンカフェでしょ？

「そうですね。大人の世界というか（笑）。本当にいろんなモノを見ましたよ（笑）。一気に世界が変わりましたからね。それもすごく自分にとっては大きかったと思う。本当にアンカフェに入ってからの2年半って、自分の人生の中で、いままでにはなかった経験ばっかりだったし、ギタリストとしても地元に居たら経験出来なかったこともいっぱいあったし、人間としても、本当に大人になれた期間だったなって思うんですよね。アンカフェに入っていなかったら、今の自分は絶対居ないって、言い切れますからね。本当に。僕、自分で言うのもなんですけど、本来ならば、もっと我が侭で、変な性格してるんですよ（笑）」

——そう？ takuyaを我が侭だって思ったことないけどね。それに、変な性格って、具体的にどう変なの（笑）？

「いわゆる、つかみ所のない性格っていうんですかね（笑）。何考えてるのかよく解らないって、昔っから言われてたし（笑）。それに、自分がこうだって決めたら、それを貫いて、実際にやってみなくちゃ気が済まない性格だったりするし」

——そうだよね。じゃなくちゃ、何の手がかりもないのに、ギタリストになりたいっていう意志だけで大学途中でやめちゃったりしないだろうからね。

「そうそう（笑）。だからね、アンカフェに入ってから、すごく協調性が出来たんですよね。バンドって、やっぱり独りじゃ出来ないから、それは偉いことでもなんでもなく、当たり前のことでもあるんですけどね（笑）。どっちかっていうと、バンド向きな性格でもないと思うんですよ、僕、本来は（笑）」

——表に立つ人間じゃないって、今も思ってるの？

「そうそうそう（笑）。やっぱりスタジオミュージシャンとか、そういう方のが向いてるんじゃないかなって、ずっと思ってて（笑）」

——でも、何ごとも経験だもん。takuyaはすごく人間力のある人だし、表に立つことを求められているならば、絶対に表に立って居るべき人だと思うよ。そこで得ることって大きいし、誰もが出来ることではないんだから。

「そうですよね。本当にそれは思いますね。縁があってこうしてアンカフェのメンバーになれて、いろんな人と逢えて、いろんなことを経験させてもらって、本当に感謝してるし。今は、この先もちょっとみんなに会えなくなるけど、頑張らなくちゃなって思ってますし。今も、大学辞めたときに自分の中にあった根拠のない自信みたいなモノが、ちゃんとあるんで、頑張れる自信はあるので、心配しないでほしいし、本当に武道館まで精一杯頑張っていこうと思っているので、引き続き応援してもらえたら嬉しいなと思います！」

www.shanghaidz.com

カノン

辞めるか、突き詰めるかの
どっちしかないと思ってた

蝴蝶网
hudie.com
www.shanghaidz.com

—今回のツアー前に、活動休止に関してのインタビューをしたけど、実際にツアーに出て、無事終わってみて、今、何か気持ちに変化があったりした？

「うん。今回のツアーは、活動休止を発表してから直接みんなに会う場所でもあったんで、いろいろと思うところもあったんですが。初日とか、なんか、逆にあんまりそういうの意識させないようにしたというか、なんというか、ん〜、正直、みんなのために、どういうライヴしたらいいのかなって、思ったり……」

—でも、初日の川崎でのライヴは、そういうことを感じさせない潔いライヴだったと思ったよ。純粋にライヴとしてすごく勢いがあったと思ったし。

「変な心配かけたくないっていうのが、初日は大きかったのはたしかだった。ツアーに出てみて、思いは変化していったんですけどね。俺ね、前々から手紙とかで、〝カノンさんを見てベースを始めました〟とか、〝カノンさんみたいになりたいです〟っていう言葉を貰っていたことに対して、自分はいったい何が出来るんだろう？ 本当に憧れられる存在になれてるのかな？って疑問に思ってたんですよ。でも、今回のツアーを廻っている時に、その、憧れられることに対して、ちゃんと責任を持ちたいなって思ったんです。すごく、純粋にみんながアンカフェを求めてくれていて、ライヴを楽しんでくれてるのが解ったから。そういう子たちに、〝こういう風にステージに立ちたい！〟って思わせてあげられるような、ベースを弾きたいなって思ったんですよ。ツアー前は、すごく極端な考え方になってたりもしたんですよ。ひとつの活動休止という決断をしたこともあって、自分の中でいろいろと考えたこととかもあって。俺は、次にアンカフェとして活動を再開するまでに、何が出来るんだろう？とか考えたときに、バンド以外で音楽を続けると考えたら、スタジオミュージシャンとしてベースを続けるとか、そこまで自分は本当にベースが好きなんだろうか？ とか、すごく究極なところまで考えちゃったりもしたのですよ」

—独りでいろいろと思い詰めて考えたすと、そこまで究極な答えを出さなくても…ってとこまで突き詰めちゃうからね。

「そう。100か0かくらいのね。ツアー出る前までは、正直、辞めるか、突き詰めるかのどっちしかないんじゃないかって思ってたんです。二者選択しかないって思ってたというか。でも、今回ツアーを廻ってみて、三つ目があるんだって思ったんです。弾いてて楽しいって思えるなら、その気持ちだけでいいじゃん！みたいな。ラフな考え方が出来るようになったというか。そうしたらね、なんかすごく気持ちが楽になって、前よりも前向きになれて、ベースを弾くことを楽しいって思えるようになったら、ちょっと上手くなったって思えたり、いままで不得意だったことにチャレンジしてみようっていう気持ちが芽生えて、それが出来たりしたら、またそれが嬉しくて頑張っちゃったりして。なんか、ベースを始めた頃のワクワク感が戻ってきた気がしたんですよ。これかな、って思えたんですよね。そういう俺を見て、みんなは〝カノンさんみたいになりたい〟って思ってくれてたんじゃないかな？って思えて」

—いままでも何度もツアーやってきてるのに、どうして今回そう思ったの？

「今現在ZEPPツアーも来年の武道館も残ってはいるけど、やっぱりね、その先で、次にステージ立てるのがいつになるか解らなかったりするから、地方の子って、今回のツアーが終わっちゃったら、本当にしばらくの間アンカフェのライヴを見ることが出来ない訳で。だから、かな。日々、ちょっとしたことがきっかけとなって、そう思うようになっていったんだと思うけど、〝活動休止前の最後のツアーだな……〟って、ちょっと気持ち的に下がり気味だったのが、上向きになれたんですよ。この先、少し活動を止めちゃうから、その止まってしまってる期間も、印象にちゃんと残ってもらえるようなライヴしようって、思えたんだと思うんです。アンカフェが活動休止してる間に、カフェっ仔たちが、他のライヴに行ったとき、〝やっぱカノンのベースってカッコ良かったよなぁ〟って思ってもらえるようなライヴしたい！ってすごく前向きに頑張れたというか。オマエは今更何を言っているんだ？って思われそうだけど、このツアーで、またちょっとだけ、ベースが上手くなれた気がしてるんですよ。それが嬉しくて」

—ツアー前にカノン、〝高校卒業してからずっとアンカフェだから、幼稚園・小学校・中学校・高校・アンカフェみたいだ〟って言ってたでしょ。そういう流れの中だと、なかなか気づき忘れちゃってることってあるものだと思うからね。

「うん。そう。昔、ベースを始めたての頃、1曲弾けるようになることがすごく嬉しかった、あの感覚に似てるなぁって思ったんですよね。ちょっと上手くなって、ちょっと喜んで、っていう、この感覚を忘れる必要はないんじゃないかなって。なんか、一番根本的なところに気づかされたというかね。ツアー先のホテルで独りになったときも、パソコンで動画見てたりしたんだけど、自分が好きな曲をベースで弾いてアップしてる人の動画とか見て、この人たちも、ミュージシャンとして表に立ってる訳じゃないけど、弾けたことに喜びを感じて、こうやってアップしてるんだろうなって思ったら、100か0かって、究極に自分を追い込まなくてもいいのかなって思えたんです。こういう生き方って、すごく自然でいいな。人間っぽいなって思ったんですよね」

—根本的なところに目を向けられたんだね。忙しく走り続けてきたから、一番根本的な部分が見えなくなってたのかも。

「うん。本当にね、そう思いましたね。ファンの子たちに、今回のツアーで何を伝えられたのか、自分ではよく解らないし、みんなの立場になってライヴが出来たかは、解らないけど、とにかく、自分は自分で、精一杯の想いをみんなに伝えられたよ、っていう満足感みたいなのは自分の中にあるんですよね。なんか、ちょっと勝手な言い方かもしれないけど……。でも、そうすることが、来てくれるファンの子たちにしてあげられる精一杯だと思ったから……。やれるだけのことはやったし、伝えられるだけのことはしたぞ！って。って、言っておきながら、1年後とかに既に忘れられてたりしたら、相当ショックですけどね（笑）」

—あははは。そりゃショックだね（笑）。今回、活動を一時ストップさせることは、カノンの中で挫折とは感じていない？

「挫折とは感じてない。そこまで悲観的なモノではなく、あくまでも前向きにとらえてるかな。ここで挫けちゃう訳じゃないし。挫けないための選択だったし」

—なるほどね。じゃぁ、カノンが一番辛かった時期っていつだったりした？

「あったなぁ、辛かった時期。でも、いつだったかなぁ」

—あははは。思いださなくちゃいけないくらいなら、心配はなさそうだね（笑）。

「うん（笑）。でも、あったよ。住んでた家の風景から思い出を辿るとすると、まだ坊くんが居た頃だなぁ。なんか、何が原因だったとかまったく覚えてないけど、心のモヤモヤが消えなくて、全然寝付けなかったことがあった時期があるんですよね。この俺が（笑）。なんかね、妙な焦りがあった時期だったと思う。2006年の終わりくらいから、2007年にかけてくらいの時期だったと思うな。2枚目のフルアルバムの『マグニャカルタ』をリリースした後くらいかな」

—『マグニャカルタ』は大きく成長出来た傑作集でもあるからね。その先にプレッシャーを感じたのかもね。

「それはあったと思う。今回のツアーでね、アンカフェとしての自信が付いた気もする。上京したときには、根拠のない自信があったけど、O-WEST（キャパ600人）でワンマン出来るくらいの規模の自信だったからね（笑）。まさか、ここまでの規模のバンドになれることなんて想像もしてなかったから。まだまだ上を見れば上には上が居るんだけど、今回ホントに自信が付いたんですよね。それとね、いままでは、人と話すの苦手だったりしたけど、最近、人と話すのが好きになれたんですよ。アンカフェの活動休止中に、携帯サイトのシュミレーションゲームのプロデュースをする仕事の話などもいただいていて、そのプロジェクトでは、音楽はもちろん、それ以外にもいろいろと自分が中心となって進めなくちゃいけないことが多くて。それも含め、みくや、輝喜や、坊くんや、akuyaやゆうきに甘えてたことっていっぱいあったなぁって、カフェっ仔にもね。改めて感謝出来たし。本当に頑張り方、見付けられた気がしてて。だから、今、すごく前向きになれてる自分が居るので、心配しないでほしいなって思います。ちゃんと頑張れそうなので」

www.shanghaidz.com
蝴蝶网 hudie.com

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

――今回のツアーは、活動休止を発表してから廻ったこともあり、いつもとは少しテンション感の違うツアーでもあったと思うけど、ゆうき的にはツアーを終えてみてどう感じている？

「なんかね、ツアー前に活動休止についてのインタビューしてもらったじゃないですか。だからね、それをみんな読んでくれてて、〝充電期間のための活動休止だったら、しかたないね。頑張ってね〟っていう手紙をたくさんもらったんですよ。中には、〝少しの間アンカフェのライヴが見れなくなっちゃうから、今回のツアーはおもいっきり楽しんで、思いっきり泣こうと思います〟って書いてある手紙もあって。実際にツアーに廻ってみたら、本当に、みんな思いっきり楽しんで、思いっきり泣いてくれてて。いつもは見れないカフェっ仔の顔が見れたんです。それもあって、なんか、逆にすごい元気をもらったというか。頑張んなくちゃ！って心から思えたんです。そこまで大きく笑って、大きく泣いたら、きっと、本当にみんなの心に、このライヴが残ってくれることになるだろうなって、思えたんですよ」

――そうだったんだね。ゆうきとtakuyaは、まだ2年でしょ。まだまだツアーでも、〝こんなことしたかったな〟って、改めて悔しく思ったことなかった？

「そうだなぁ。なんかね、こういうことをライヴやってみたいっていうよりも、ライヴをやって気づかされることの方が多くて。だから、悔しいとかっていう感覚はないんですよ。きっと、みくさんや、カノンさんや、輝喜さんみたいに、ずっとやってきてたら、逆に〝あ、こんなことも出来たんじゃないかな？〟とか、そういうのも多かったと思うけど、まだ僕らはいろいろと経験させてもらってた途中だったんで。ライヴごとに新しい発見させてもらってた気がしますね。逆にありがとうっていいたいですね」

――ツアーとしては何本目だっけ？

「海外も含めたら、6本目くらいかな？」

――そんな中で挫折感を味わったことってあった？

「最初の方はありましたよ、むしろ挫折感ばっかりだったかな。1番最初のライヴとかの映像を今みると、電池が入ってるのと、入ってないのくらいの違いがあるもん（笑）。だから、そういう面でも、すごく成長出来てると思う。ただピアノを弾くっていうことだけじゃない、ライヴでの見せ方って、やっぱりツアーごとに学べていった気がするし」

――ゆうきは今、ツインヴォーカルとして見せるパフォーマンスもあるしね。

「うん。なんか、やっぱライヴの度にメンバーやスタッフさんが動きを褒めてくれたりするのがすごく嬉しかった」

――そうやって徐々にアンカフェのメンバーになっていったんだもんね、ゆうきとtakuyaは。アンカフェは2人が加入する前にひとつの大きな挫折を味わったバンドでもあって、2人が加入したことによって新たに始めた訳だけど、ついてきてるファンからしたら、今回の活動休止は、やっぱり悲しかったと思うのね。

「うん。本当にそう思う。だから、今回のツアーも、絶対にみんなが忘れられないくらいのいいライヴにしようって思ったしね。僕とtakuyaが入ってからも、いまだに客席に坊さんのコスプレをしたファンの人が居るのを見て、すごくアンカフェって大事に思われてるバンドなんだなって感じてるんですよ。なんか、メンバーもファンも、みんなアンカフェが大好きで、大切に思ってるんだなって。だからこその活動休止なんだなって、僕自身もすごく感じてるというか」

――なるほどね。

「僕は、6人でアンカフェだって思ってるんです。坊さんも含め。坊さんが居なかったら、アンカフェってバンドはこの世に生まれていなかった訳で。坊さんが好きで、坊さんが居なくなっちゃったことで、もうライヴとか来なくなっちゃった人も居たと思うけど、坊さんが好きだけど、アンカフェの音楽そのものを好きで居てくれて、いままで応援して来てくれた人からしたら、僕とtakuyaよりもアンカフェ歴は長いじゃないですか。僕たちは途中参加だけど、そんな僕たちのこともすごく大切に思ってくれたのも、ライヴの反応や手紙ですごく伝わってきてたし。本当に感謝しかないんですよね」

――素敵な関係性だよね、それってね。そういえばゆうき、今の自分のスタイルをファンの子がコスプレしてくるのが可哀相って言ってたことあったよね？

「うん。だって、坊さんのコスプレするのは女の子だったら普通に可愛いけど、女の子が僕のコスプレするのって笑いのネタでしかないから、ちょっと可哀相だなって思ったんですよ。だって、アフロですよ、金髪の。可哀相だよ～」

――でも、それだけゆうきを応援してくれてるってことでもある訳でしょ。

「だから、余計に可哀相だなって（笑）。自分的には、アンカフェに入るとき、キャラクターとしての役割りを求められてるのも承知の上だったし、そこは全然嫌じゃないんだけど、本音を言うとね、やっぱり、まったく本当の姿じゃない自分というか、〝アンカフェのゆうきっき〟っていうひとつの〝金髪アフロの派手なキャラクター〟でしかないんじゃないかってとこが、ちょっと苦しかったりしたかな。あ、でも、いいとこもあるんですよ、街歩いてても誰にもバレないから（笑）」

――あぁ、おいた（悪いこと）してもバレないからね（笑）。

「うん。え!? うんじゃないよ（笑）。別においたはしないから（笑）！」

――（笑）。でも、今の〝いいとこもあるんですよ、街歩いてても誰にもバレないから〟って発言は、心配かけたくないから気を遣った発言でしょ。

「ん？ あ、う、うん、まぁ（笑）。いや、でもね、僕、なんか、女子的に見て、あんまり異性を感じないみたいで、そんな、おいたをするような関係にはあんまりならないんですよ（笑）。だから、合コンとか絶対誘われないしね（笑）。ま、合コン自体興味がないんだけど」

――ほんとぉ～？

「ほんとほんと（笑）！ だって、合コンってお互い出逢いを求めて行く場所でしょ？ まぁ、そういう出逢いもいいのかもしれないけど、僕は、なんかそういうとこから始まる恋って、なんか続かない気がして、まったく興味がないんですよね。それに、僕、吹奏楽部だったし、商業科だったたし、女子の比率が多いところにずっと居たから、女子同士の友達みたいに、恋の相談されたりとか、そんなんが多いんですよね。なんか、きっと僕の女友達は、僕のことを女友達だと思ってるっていうか。確実に（笑）」

――あぁ、でもその女子の感覚はすごく解るかも（笑）。でも、そういうゆうきの性格が、新しくスタートしたアンカフェをすごく和やかにしてきたと思うしね。ごめんね、話それちゃったね。話を戻すけど、今も？ 今も〝自分〟で勝負出来ていない気がしてるの？

「うん、今も。別に、顔を見せたいってことじゃないし、認めてもらいたいとか、目立ちたいとかじゃないんだけど、なんか、いつも何処かで、〝僕じゃなくてもいいんじゃないかな……〟っていう思いがあったっていうか。もちろん、不満とかじゃないですよ。なんか、ちょっと自分の存在について寂しく思ったことはあったかな」

――そっか……。いつもの姿は〝アンカフェのゆうきっきの着ぐるみ〟みたいなモノだってことね。

「うん、そう。でもね、ミッキーマウスとか、怪獣ショーの着ぐるみは、その人がそれを一生捧げてやる訳じゃなく、時には代理だったり、ローテーションだったりするでしょ。でもね、〝アンカフェのゆうきっき〟は、そうじゃないのになぁ……そうじゃないって思いたいなって、それはずっと思ってきたかな」

――ゆうきの中で、いろんな葛藤があったんだね。

「ま、そこは本当に僕自身の気持ちの問題でもあるから、今回の活動休止にはまったく関係ないことなんで、変に心配しないでほしいけど（笑）」

――でも、それはゆうきだからじゃないと解らない辛さでもあっただろうからね。でもね、きっと、〝アンカフェのゆうきっき〟も、普段の〝ゆうき〟も、どっちもファンの子たちは大好きだと思うよ。今日ここで話してくれた気持ちも含め、もっとゆうきを好きになってくれると思うから。

「いやぁ、でも、ホント、いままでいろいろと、途中参加の僕にも本当に優しくしてくれて、楽しませなくちゃいけない立場なのに、楽しませてもらってばっかだったし、この活動休止という期間を越えたら、今度は僕がみんなを楽しませてあげられる立場になれてたらいいなって思いますね。本当に今は感謝しかないです。ありがとうございました。ZEPPも武道館も一生懸命頑張ります！」

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com
www.shanghaidz.com

——9月10日から始まった全国20ヶ所20本の『キング オブ NYAPPY GO AROUND』も無事終わり、今の心境は？

「ん〜、なんかね、やる前は、どうなるのかな？って思ってたとこあったんですよ、正直。活動休止を発表した後のツアーでもあったし、それもあってツアーとしては、これがとりあえずは最後になっちゃう感じだったし。でも、ライヴとしては、いままでのツアーの中で一番いいツアーになったんじゃないかなって思ってて。なんか、そこまで〝活動休止しちゃうから、これが最後のライヴです！〟っていう感じのライヴじゃなかったんだけど、やっぱり気持ちの中では全員がそういう気持ちでライヴに向き合っていたこともあったし、来てくれたカフェっ仔も、ライヴ自体は、いつもどおり思いっきり楽しんでくれているけど、やっぱり次いつ見れるが解らないから、ちゃんとこの日を心に焼き付けておこうって思って見てくれたんじゃないかなって。そういうのが、すごく伝わってきたライヴになったなって思ってますね。正直、初日の川崎CLUB CITTAでのライヴは、活動休止を発表して初めてカフェっ仔の前に出た場でもあったから、お互いにどう接していいか解らず、なんか、ちょっと浮き足立っちゃってたっていうか……」

——そうかな？ 私は、逆にすごく純粋にライヴとしていいライヴをしたと思ったよ、初日は。逆にファイナルの新木場の方が、〝活動休止〟という言葉をすごく意識させられたライヴだったなと。

「あぁ、まぁそれはすごく真っ直ぐに伝わってると思いますね、僕たちの気持ちが。なんか、やっぱりライヴを重ねるにつれ、だんだんそこを意識し始めてた自分たちも居て……」

——それはカフェっ仔の反応から？

「そう。みんなで一生懸命唄ってくれたり、やっぱりみんな悲しいんだなって……そんなカフェっ仔を見てたらなんか、だんだん、〝いつものライヴ〟でいいのかな……？ とか、思ってきちゃった節もあって。ツアー出るまでは、〝いままでのありがとうを伝えに行こう〟っていう気持ちだったんですよ。でも、僕、正直、その気持ちにはなれなかったんですよね……。〝ありがとう〟ももちろんなんだけど、〝ありがとう〟よりも、〝ごめんなさい〟だったんですよね。どのバンドにも、楽しいことも辛いことも、同じくらいあるんだと思うんだけど、アンカフェは6年間やってきて、僕らももちろん、カフェっ仔も、楽しいだけじゃない6年間だったと思うんですよね。坊くんの脱退も含め、僕たち以上に辛い思いをさせてきちゃってる気がしてて。言ってみれば、今回の活動休止だって、僕たちが決めたことで、カフェっ仔はただただそれを受けとめるしかないですからね……」

——そうだね、カフェっ仔の立場からしたらね、本当にただただ受けとめるしかないからね……辛いよね。

「そう。本当にそう思うんですよね。手紙にも書いてあったりしたんですけど、坊くんがアンカフェを抜けたとき、それまで一緒にアンカフェのライヴに来てた友達が、坊くんが抜けちゃったことで1人抜け、2人抜けってなってって、その子はライヴに行きたいのに、1人で行き辛くなっちゃったとかね……。〝坊ちゃん抜けてアンカフェは変わっちゃったから、もう上がる〟とかって言われて、辛い思いをしたっていう手紙ももらったし……。なんか、本当に振り回してるなって。辛かっただろうけど、それでも僕らの音楽や歌を好きで居続けてくれて、ずっとアンカフェを応援し続けてくれて来たのに、その気持ちに対する僕たちの応えが、活動休止って……前向きな決断であるにせよ、なんか、すごく……ごめんなさいって思っちゃうんですよね……本当に、これ、正直に話してますけど」

——そうだね……。そうなんだよね……。

「ここまで尽くして来てくれたのに、この見殺しみたいな結論って、どうだったのかな？って、本当にずっと思いながらツアー廻ってましたね。だからこそ、1本1本を無駄にしちゃいけないと思ったし、これ以上悲しませるようなことしちゃいけないって思って。きっと、その気持ちが、すごい結束力となって、いいライヴが出来たんじゃないかなって」

——なるほどね。輝喜は、活動休止についてのインタビューの時に、坊くんが抜ける前あたりに、みくもアンカフェを抜けたいと言ってた時期があったって言ってたよね。それを、輝喜の〝今、アンカフェの活動を止めたら、自分から命を絶ってしまう子もいるかもしれない……〟って言葉で、みくが思いとどまったって。そのことが、みくをずっと苦しめてきたんじゃないか、こうなったのは自分のせいじゃないかって、自分を攻めてたよね。

「うん……」

——輝喜は、takuyaとゆうきが加入してからいままでを後悔している？ その時点で活動を止めていれば良かったと思ってる？

「ううん。それは思ってないです。takuyaとゆうきが入ってからの2年で、アンカフェに新しく出逢ってくれた人も居ると思うし、そこで僕たちと出逢ってくれたことで、その人たちを幸せに出来たとも思うし、僕たち自身もすごく楽しかったし、本当に続けてて良かったって思うんですよね。でも、いたたまれない気持ちになってるのは、嘘のないたしかな想いでもあって……」

——カフェっ仔や、takuyaとゆうきのことを思うとね。でも、takuyaとゆうきが加入した2年って、やっぱりすごく必然的だったように思うんだよね。物事ってね、何か見えない力によって動かされるときってあると思うんだ。それを運命って言うのかもしれないけど、辛いことも楽しいことも、先に繋がっている、必要不可欠なことなんだと、私は思ってるのね。

「はい。僕もそう思いますね。takuyaとゆうきとの出逢いは本当にそう感じているし、そこで出逢えたカフェっ仔たちに対してもそう思っていて。ここでこういう活動休止を僕たちが選んだのも、きっと、この先に繋がる何かのためなんだと思うし。みくくんも、カノンさんも、尊敬してるし、大好きだけど、takuyaとゆうきのことも、本当に大好きだし。坊くんのことも、今も尊敬してるし、大好きですからね」

——それだけアンカフェへの想いが強いんだよね。輝喜はずっとそれ、左手首に付けてるもんね。

「あ、これ？（左手首に巻かれている赤いミサンガ）そう。これ、2006年の6月3日の東京九段会館でのライヴで配布したモノなんだけどね、何回も古くなって切れちゃったりするんだけど、その度に、ファンの子が、〝もったいなくて出来なくてずっと取ってあったんですけど、良かったら使って下さい〟って送ってきてくれたりして。だからね、大事にしてるんですよ。僕の中では、これ、坊くんなんです。ライヴのときとか、よくハイハットの上のとこにひっかけてドラム叩いてたりもするんですけど、すごく気持ちの上で、カフェっ仔との絆を感じていられるモノというか」

——そっか。今も客席には坊くんのコスプレの子居るもんね。それは、輝喜の、そのミサンガと同じなのかも。自分が坊くんになって、一緒にライヴに参加し続けてくれてるって感覚でもあるのかもね。

「うん。みんなそれぞれの想いでアンカフェを愛してくれてるんだなって、本当に思いますね。今回のツアーで客席見ても本当にそれを強く感じましたし。なんかね、僕も好きだったバンドが活動休止するのってすごく辛いし、やっぱり早く活動を再開してほしいって思うし、それを今もすごく願って待ってるし。だから、カフェっ仔の気持ち、解るんですよね」

——両方の気持ちが解るよね、きっと。

「うん。本当に、そうなんですよね。〝どうして？ 続けながら前向きに頑張ればいいのに〟って思われてると思うんですよ、僕らも。そうなんですよね、それが一番、誰も悲しめないで済むんだし。でも、そんな簡単なモノでもなくて」

——走り続けてきてるからね、ずっと。本当に、自分自身の人生を生き抜くよりも、5人、6人で、バンドという一つの人生を歩く方が、どれだけ難しいか……。

「でも、本当にここまで頑張ってこれたのって、みくくんも今回のツアーのMCで言ってたけど、支えて来てくれたカフェっ仔のおかげだと思ってるし、スタッフや関係者のみなさんももちろん、僕は、みくくん、カノンさん、takuyaとゆうき、そして坊くんのおかげだと思ってます。この先、ZEPPツアーもあるし、武道館もあるし、とにかくそこまでは気を抜かず必死で頑張りたいと思ってます！ もちろん、そこで終わりだなんて思ってないし。その先も。精一杯頑張るつもりなので、よろしくお願いします。本当に、辛い思いばっかかさせて、ごめんなさい。そして、本当にありがとう——」

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

──12月9日にリリースされる、結成から6年の軌跡を収録した、アンティック-珈琲店-の初のベストアルバムについて訊いていきたいんだけど、ここに収録された楽曲は、メンバー選曲?

輝喜：そうですね。メンバーみんなで話し合って。基本、シングルはマストな感じにして、そこからいろいろと選曲していったんですけど、1枚じゃ収まりきらないってことで、2枚組みになったんですよ。最初は、坊くんが居たときの1期と、takuyaとゆうきが加入してからの2期を盤で分けようかとも考えたんですけど、それもちょっとバランスがおかしくなっちゃうんで、なんとか試行錯誤しながら、まとめましたね。リリースされたけど、現在は入手不可となっている音源とかもね、入れちゃおうじゃないかってことになって。門外不出作としては、「二時間シャボン玉」っていう曲ですね。これは5人になってからの曲だけど、音源にもなってなければ、まだどこにも出してない曲で。

──それは嬉しいね。「二時間シャボン玉」は、いつ頃に作られた曲だったりするの?

takuya：『極魂ЯOCK CAFE』を作った頃だった気がする。

ゆうき：そうそう。一回ね、たぶん、事務所で聴いてもらってると思う。

──あ、私たち?（SHOXX取材陣）

カノン：あ、そうそう、聴いてもらってるかも！ すごくいいって言ってくれてたんだけど、何故かアルバムには入らなかったっていう（笑）。

みく：あははは。聴かせた意味ないじゃんって感じだよね（笑）。

──ホントに……。でも、こうして日の目を見ることになったのは良かったね。私としては、ずっと「七色クレヨンで描く夢」が好きだって言っているのに、入ってやしない。

みく：あははは。残念でした（笑）。ぜひ、そちらの「七色クレヨンで描く夢」は、2ndアルバム『マグニャカルタ』を聴いて下さい（笑）。

──そうします（笑）。じゃぁ、それぞれお気に入りの曲をあげてもらおうかな。

みく：僕はね、曲調だったら「AROMA」と「スノーシーン」と「MY HEART♥LEAPS ROR 〝C〟」が好きかな。歌詞はね、カフェっ仔からもらったメッセージの中に、〝そんなに頑張らないで[illegible]ていうのがあって、すごく心に残っ[illegible]ですよ。それで、カフェっ仔に[illegible]あげたいと思って、初めて〝頑張[illegible]ていいよ〟っていうメッセージを書[illegible]「YOU」が、今は一番気に入ってますね。昔の曲で歌詞が好きなのはね、「エスカピズム」と「テケスタ光線」が好き！

──「テケスタ光線」の〝テケスタ〟ってすごいと思うよ。ホント、テケスタっていうリズムだし、曲調だもんね。そういう言葉センスってアンカフェの特徴だったりすよね。

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

みく：そうかもね。昔の曲は特に自分の中でも歌詞のルールってもんがすごく今よりも自由だったから、昔なりの良さがあったりもするかも。「一発逆転恋愛ゲーム」なんて、パチンコのこと書いてるからね（笑）。

――なるほどね（笑）。カノンの仮歌詞の響きがそのまま採用された「～般ニャ化教のテーマ～」も抜群な語源センスだったしね。

みく：あれも響き良かったですよね！

――カノンは？

カノン：「雨の繁華街」かな。この曲は好きですね。なんかね、「雨の繁華街」が出来たときの盛り上がりをすっごく覚えてるんですよね、俺（笑）。なんか、アンカフェ、こんなオシャレな曲作っちゃったよ！ みたいな！

みく：だったよね！ あの曲が出来たときの過大評価はすごかった（笑）。当時のライヴのセットリストに2回入れてたくらいみんな気に入ってたからね（笑）。

カノン：好き過ぎてね（笑）。これやればお客さん絶対盛り上がるだろう！ 的な、絶対的な自信があったからね（笑）。歌詞はね、「踊るメルヘン時計」かな。すごく曲調と歌詞が合ってて、好きだったな。

――takuyaは？

takuya：僕は、「スノーシーン」が曲的には好きかな。最初のあの曲聴いたとき、本当にいい曲だなって感動したんですよね。あの感動は今でも覚えてますもん、はっきり。Bメロのね、コード進行がすっごい好きなんですよ。

――歌詞は？

takuya：歌詞はね、さっき話に出てた「テケスタ光線」。最初にやっぱタイトルに惹かれて、テケスタってなんだろ？ と思って歌詞を読んでみて、あぁ、なるほぉ～って思ったんですよ。それで、すごいな、面白いなって思って好きになったんですよね。

――なるほどね。輝喜は？

輝喜：全部好きなんですけどね。特に好きな曲というか、思い出深いのは、「悲想橋」と「テケスタ光線」かな。最初にデモを聴いかされた時の印象が半端なく衝撃的だったんですよね。特に「悲想橋」聴かしてもらったとき、〝やべぇ、この人、才能ある!〟って思っちゃったもん！

カノン：（ピースしながらにっこり）

輝喜：僕、歌詞はね、「校廻～koukai～」が好き。切ない感じのギターのアルペジオに乗ったあの歌詞が、なんとも心に響くんですよね。大大大好きですね、この歌詞は。

ゆうき：僕は、曲としては「恋のディペンデンス」が好きですね。ジャジーな感じがすごく好きなんですよね。

みく：ゆうきは「Cherry 咲く勇気!!」好きでしょ！ だって、あれはゆうきをモチーフに書いた歌詞なんだよっ（笑）！ 〝勇気＝ゆうき〟なんだからぁ～。

ゆうき：いやいやいや。「Cherry 咲く勇気!!」はPVが、

みく：あ、女子高生いっぱいで楽しそうだったよね！ ゆうきぃ～！ あの日のゆうきはちょっとカッコ良かったもぉ～ん。いつもとは違う男らしいゆうきだったじゃぁ～ん。

takuya：からかわれてる（笑）。

ゆうき：違うから違うから！ あんときは、爆発シーンのときの小麦粉の味しか記憶にないもん（笑）。

輝喜：まぁたまたぁ～（笑）。

ゆうき：ほんとっ（笑）！ でもなんでしたっけ？ 歌詞で好きな曲はね、「似非占い」ですね。女の子の青春時代ってこんなんかなぁ？ってなんか、すごく想像出来て楽しいなって思いますね。

――ライヴで思い出深い曲は？

takuya：「メープルガンマン」かな。ライヴでこの曲やるの、すっごいしんどいんですよ（笑）。イントロのギターがそうとうギタリスト泣かせで、この曲が1曲目にセットリストで組まれると、もぉ必死なんですよね（笑）。それで思い出深いかな。でも、大好きなんですけどね。

カノン：俺は「SUMMER DIVE」かな。ライヴでやっていくうちに、どんどん育ってったっていう感じだった。あの爽快感はホント、ライヴでやると気持ちいいんですよね。

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

輝喜：ライヴで思い出深いのは、「恋のディペンデンス」とか「我侭行進曲」かな。最近やってないから、懐かしい。この2曲は海外のライヴでよくやったなって。すごいウケが良くて、すごい踊りするんですよ！

カノン：あはははは。そうそう。日本人の感覚にはない、斬新なリズムの取り方で踊るんですよ(笑)。あれはすごかった、たしかに（笑）。

みく：僕はね、ゆうきの「雨の繁華街」とか超好きだったよ。

ゆうき：野外でやったよね。

みく：「夏恋★夏GAME」とか元気に弾いてるじゃん、ゆうきっ！ だって、あのジャケットに使われてるダッチ・ワイフ持って来たのゆうきだもんねっ（笑）。

ゆうき：だから！ 違うから（笑）。

takuya：あははは。今日は特別弄られてるね（笑）。

ゆうき：ほんとだよぉ（笑）。自分的に思い出深いのは「覚醒ヒロイズム」。あの曲で左手を高く上げるポーズを最初にするようになったの。

みく：そうだったね、それからあのポーズがゆうきのポーズになったもんね。カフェっ仔がゆうきのそのポーズを合図に、一斉に手を挙げるんだよね。あれ、すごくいいよね。

輝喜：そうそう。あの景色は感動だったな。なんか、新しいアンカフェが走り出したなっていう感じがしたもんなぁ。

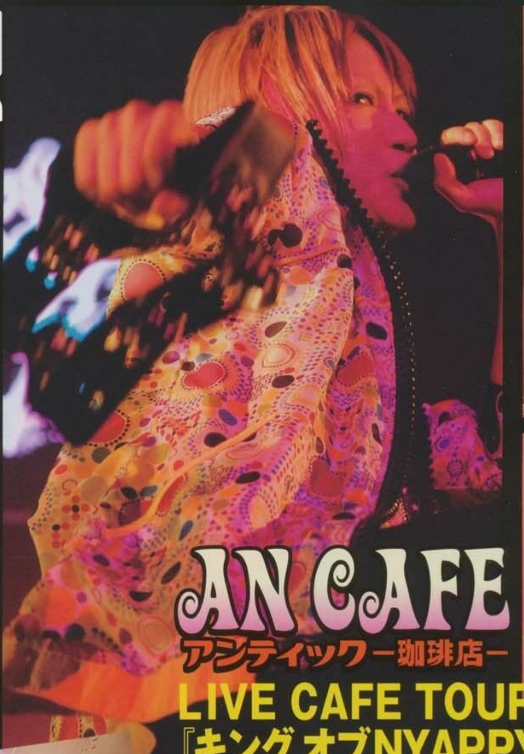
――いい話だね。並び順は時系列？

輝喜：うん、そうですね、時系列に並べてありますね。結構ね、昔の曲はそのままの状態で入れてあるんで、当時を思い返してもらえる音色にもなってるんで、思い出アルバムみたいで楽しいと思います。ぜひ、僕らの成長を聴いてやってみて下さい！

【ライヴスケジュール】
●LIVE CAFE 2010『キング オブ 原宿ダンスロック』～いきなりニャッピーレジェンド～ 2010/1/4 日本武道館
●LIVE CAFE TOUR’09『キングオブZEPPY GO AROUND』11/27ZEPP福岡、12/5ZEPP札幌、12/7ZEPP仙台
（問）Red Cafe 東京都港区北青山2-12-28 青山（SEIZAN）ビル2F ☎03-3475-7420（平日11:00～19:00）

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com



AN CAFE
アンティック－珈琲店－

LIVE CAFE TOUR '09
『キング オブNYAPPY GO AROUND』

Live at 新木場COAST 2009.10.18

前向きな決断ではあるが、【活動休止】を発表した直後のツアーとなった『キング オブ NYAPPY GO AROUND』。
彼らは9月10日のCLUB CITTA川崎を皮切りに、
全国20ヶ所中19本のツアーを終え東京に帰ってきた。
10月18日。新木場Studio Coastで彼らが見せたライヴとは!?
みく、カノン、輝喜、takuya、ゆうきと、
カフェっ仔たちが真っ直ぐに向き合ったライヴの形を、書き残そう。

ツアー日記 ～後半戦～

10月18日。新木場STUDIO COAST。

まだ少し夏の暑さが残る9月の頭に、彼らは全国20ヶ所20本のツアーに旅立っていった。活動休止前の最後のツアーでもあり、活動休止発表後初の初日、CLUB CITTA川崎でのライヴは、相当心配した。彼ら自身のモチベーションも、カフェっ仔たちのモチベーションも、お互いが、このライヴでどうぶつかり合うのか、本当に心配でならなかった。

しかし。彼らは、この日、敢えて活動休止を臭わせないように意識しているのではないだろうか？ と思わせた、いつも以上に楽しい、勢いのある、本来のアンティック－珈琲店－らしいライヴを届けたのだった。きっと、5人は、このツアーは、いつものように、とことんアンカフェらしいライヴスタイルで回ろうと考えているんだろうな——。

初日のライヴを見た素直な感想だった。私は、そうすることを選んだ彼らを、実に彼ららしいと思って受けとめた。

それもあり、約1ヶ月の旅を終え、帰ってきた彼らのツアーファイナルを見届けるために、すっかり冷たくなった風を感じながら新木場に向かった。

会場に入り、カフェっ仔たちで埋め尽くされた1階のフロアを見渡すと、そこには、初日の川崎とは違った空気感が漂っていた。ファイナルだからかな……？

初日の、〝どう受けとめよう〟と戸惑う様子が見受けられたフロアにはなかった、〝これでツアーが終わるんだ……〟という寂しさと、彼らが帰ってくるのを待ちわびていた空気の両方を、私はそこに感じた。今回は、元気なライヴで幕を開け、元気に旅だっていった彼らを見送ったことで、まったく心配なく会場に入ったこともあり、そんな空気に少し身構えた。

すると。彼らは定刻どおりSEに乗ってステージに現れた。いつもどおり、それぞれが客席に向かって手を上げながら定位置に着くと、1曲目の「Let's Brand New Wave」が始まった。オーディエンスは固く握りしめた右手を、彼らの届ける音に合わせて力強く振り上げた。

気迫が違った。お互いが、活動休止という言葉を忘れようとしているように見えた川崎とは違い、新木場のライヴは、彼らの音を噛み締め、一音一音、一言一言を、しっかりと受けとめようとしているカフェっ仔たちが居たのだ。違いを感じたのはカフェっ仔だけではなかった。5人の音も、確実にこのツアーで太く育てた音と歌を、悔いなく届けようとしていたのだ。お互いが、アンティック－珈琲店－の音に真正面からぶつかろうとしているのだと感じた。

〝東京ニャッピー！ ただいま！ 今日は限界の先が見たい訳ですよ！ 最高のバカップルになってくれますか!?〟

力強いみくのニャッピーが会場に響くと、負けじと力強いカフェっ仔のニャッピーがフロアにこだました。音に力強さが加わった「メープルガンマン」や「可愛湯's ЯocK」、素晴しくのびやかに響き渡った「Cherry 咲く勇気!!」、初日のライヴからわずか1ヶ月の間に演奏力のスキルアップを感じさせた、パンクテイストな新曲「苺」。そして、心の底からの感情移入を感じさせた「僕はそばにいるから」。どれもこれも、200%の力が注がれていたのだ。

そんな中で、さすがだと感じたのは、カノン、輝喜、takuya、ゆうきによって届けられた『キングオブエトセトラTIME』である。彼らは、活動休止前の最後のツアーのファイナルだという、センチな気持ちを胸に抱えながら、必死に楽しもうとしていたカフェっ仔たちに、このブロックだけは、思いっきり笑顔になってもらおうと、一生懸命考えたのだろう、新たな『ゲゲゲの鬼太郎』ヴァージョンのエトセトラを届けたのだ。

そんな『キングオブエトセトラTIME』明けには、みくも加わり、再び熱いライヴが繰り広げられたのだが、みくは、この日、アンコールの最初のMCで、自分に自信が持てず、前向きに生きれなかった自らの弱さを赤裸々に告白し、そんな弱い自分を強くしてくれたのは、カフェッ仔だったと、6年間支えてきてくれたことへの感謝の気持ちを述べたのだった。

〝ありがとう〟というカフェっ仔からの涙混じり声が、温かく5人を包み込んだ。

まだ先のことだと思っていた活動休止まで、気づけばもう2ヶ月を切っている。今、彼らもカフェっ仔も、活動休止前までのかけがえのない大切な時間を、同じ気持ちで歩いているのだと、深く心に感じ取った夜だった。

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

10月5日和歌山GATE

記入者名:takuya:
会場名:和歌山GATE:
日にち:10月14日:
天気:はれ:
●ライヴの感想
自分にとって大切な場所でライブが出来て嬉しかった。
●楽屋・移動中のエピソード
ライブ前日は昔からの友人と飲み明かしました。
●この日の評価（★５つ中）
★★★★★

10月6日京都MUSE

記入者名:ゆうき:
会場名:京都MUSE:
日にち:10月6日
天気:――――
●ライヴの感想
みんな凄い盛り上がりで、僕が圧倒されました！
最高のライブになったとおもいます。
●楽屋・移動中のエピソード
ツアー後半で勢いに乗ってきていたので
落ち着いてがんばろうと思っていました。
●この日の評価（★５つ中）
★★★★

10月1日浜松窓際

記入者名:みく
会場名:浜松
日にち:10月1日
天気:晴れ
●ライヴの感想
体の様子がおかしくリハーサルの時は正直不安でいっぱいだった。でも本番前になったら気持ちが変わった。「俺が逃げてどうするんだ。絶対に成功させてやる」って。俺はガムシャラに頑張った。沢山、叫んだし、沢山、頭もふった。そしてマイクで胸や腕を叩きつけた。そうすることで虚勢をはったんだ。耳がいかれてて、どうやって魅せていったらいいかわからなくなっちゃってさ。でも俺なりの不器用な愛だったんだ。自分をとことん痛めつけてやろうと思った。カフェっ仔に俺の愛をわかってほしくてさ。。そしてそんな俺に沢山の声援をくれたみんな。本当にありがとう。君たちの声は俺の精神安定剤だよ。
●楽屋・移動中のエピソード
精神的に追い詰められた1日でした。リハーサルを行ったときに、音程がとれなくなっちゃったんです。耳がおかしくなって、頭がボケッーとしたり、幻想が見えたり。心配になって総合病院にジュニアさんに連れてってもらいました。結果は薬の併用のしすぎでした。今、７種類のお薬を飲んでいるんですが副作用が強かったみたいです。お薬を減らせば大丈夫みたい。耳には異常はないみたいでまずは一安心でした。
●この日の評価（★５つ中）
★★★★★

10月3日神戸VARIT

記記入者名:輝喜
会場名:神戸VARIT
日にち:10月3日
天気:はれ
●ライヴの感想
小さなライブハウスだったのでその分みんなの声がよく聴こえました。
みんなよく頑張ったぞ★
●楽屋・移動中のエピソード
ライブ後、カノンさんとtakuyaとハーバーランドというところに行きました。
何年かぶりに観覧車に乗りました。
プライベートでも行ってみたいです。
●この日の評価（★５つ中）
★★★★

www.shanghaidz.com

10月9日鹿児島CAPARVOホール

記入者名:ゆうき
会場名:鹿児島キャパルボホール
日にち:10月9日
天気:はれ
●ライヴの感想
僕の地元の鹿児島でのライブは、想像を越えた盛り上がりで
とても心に残るライブになりました！
●楽屋・移動中のエピソード
鹿児島でこれまでで一番たくさんのカフェっ仔の前でライブが出来たので
俄然やる気が出ました！！
●この日の評価（★５つ中）
★★★★

10月8日熊本Be-9

記入者名:カノン
会場名:熊本Drum-Be9
日にち:10月8日
天気:―――――
●ライヴの感想
会場に段差があって後ろまでアンカフェパワーが伝えられたかな？
とっても楽しかったです。
●楽屋・移動中のエピソード
帰りにドライブスルーでケンタッキーを食べた・
●この日の評価（★５つ中）
★★★★

10月11日松山サロンキティ

記入者名:カノン
会場名:松山サロンキティ
日にち:10月11日
天気:―――――
●ライヴの感想
カフェっ仔と凄く近くて、
熱を肌でしっかりと感じとれた。
●楽屋・移動中のエピソード
大分から松山までのフェリーの喫煙所が立派で良かった！
●この日の評価（★５つ中）
★★★★

10月14日広島CLUB QUATTRO

記入者名:輝喜
会場名:広島クラブクアトロ
日にち:10月14日
天気:はれ
●ライヴの感想
ライブハウスツアー地方遠征ラスト。
１８本の積み重ねがしっかり出せたと思います。
素敵なライブでした。
●楽屋・移動中のエピソード
前日、同会場でフジファブリックさんがライブだったそうで
アンカフェ宛に差し入れをいただきました。
●この日の評価（★５つ中）

10月12日高知X-pt.

記入者名:takuya
会場名:高知X-pｔ
日にち:10月12日
天気:はれ
●ライヴの感想
カフェっ仔の熱気がすごかった。
すべてが最高でした。
●楽屋・移動中のエピソード
ライブ後、てる兄とカメラマンさんと３人で居酒屋に行きました。
そこで食べた鯨が美味かった。
●この日の評価（★５つ中）
★★★★★

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

SHOXX

輝く夢のヴィジュアル玉手箱
SHOXXからスピンオフ!!

glitter Pop
グリッターポップ
No.2

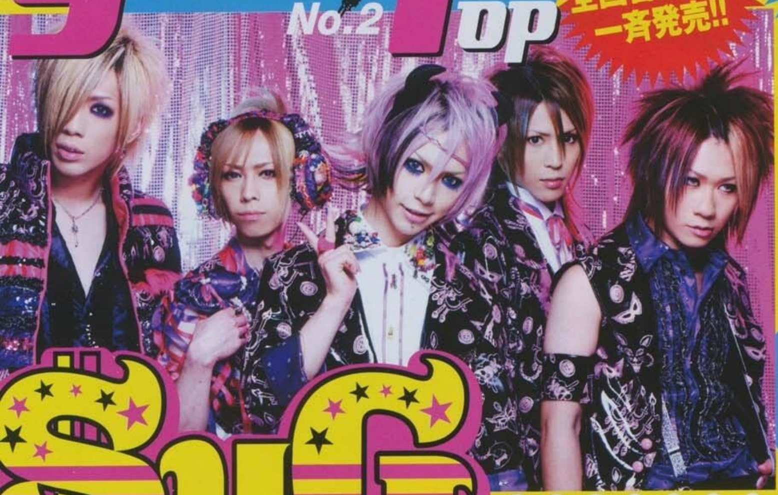
V系雑誌SHOXXから生まれた徹底的にヴィジュアルにこだわった新メディア『SHOXX glitter Pop』の第二弾堂々完成!!36ページのスペシャルブックとポスター10枚を封入したスペシャル玉手箱の夢のコラボメディア堂々完成!!

売切れ次第発売終了!!

なんと!!
特大ポスター
10枚付き!!

11月28日
全国書店にて
一斉発売!!

ポスター#01 武瑠
ポスター#02 masato
ポスター#03 yuji
ポスター#04 Chiyu
ポスター#05 shinpei
ポスター#06 アンティック-珈琲店-
ポスター#07 彩冷える
ポスター#08 THE KIDDIE
ポスター#09 キャンゼル
ポスター#10 トゥーン工場



SuG
Heavy Positive Rock
最新撮り下ろし特集
Special Front 12Pages Edition

AN CAFE
アンティック-珈琲店-
オリジナル・フォト・セッション大特集!!

★彩冷える ★THE KIDDIE ★キャンゼル
★トゥーン工場 ★「東京指定」★v[NEU]
輝くアーティスト目白押し!!

SHOXX2010年1月号臨時増刊号　雑誌コード04538-1　1,500円(税込)A4ワイド版
本体36ページ　オールカラー　ポスター10枚付き

Present!

アンティック-珈琲店- 生写真応募者全員サービス!!

アンティック-珈琲店-の生写真を応募者全員にサービスしちゃいます。
タイプはAパターンとBパターンの2パターン。応募券1枚でどちらか1つのセットをあなたのお手元に!!

●応募に必要なもの

80円切手2枚(申し込み用の封筒に貼るもとの返信用の封筒に貼るもの)
10円切手1枚(手数料用)
定型封筒2枚
応募券(このページの右下にあり)

【応募方法】

①生写真(9×13センチ)が入る大きさの定型封筒(定形外の大きな封筒での応募は無効になります。ご注意下さい)2通と、80円切手を2枚、手数料の10円切手を1枚用意します。
②1通の封筒に80円切手を貼り、表にあなたの住所、氏名を記入。封筒の裏には希望の生写真のアルファベット(Aパターンもしくは Bパターン)のいずれか1つを大きく書いてください。この封筒は、編集部から応募者に写真をお送りする返信用封筒になります。
③②の返信用封筒と、手数料の10円切手をもう一通の封筒に入れ、あて先のヨコに応募券がはがれないようにしっかり貼って、下記の住所まで送ってください。

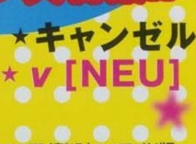
【あて先】 〒104-8228　東京都中央区銀座6-2-3　ダヴィンチ銀座アネックス5F
株式会社　音楽専科社　アンカフェ生写真プレゼント●係
(●の中には返信用封筒に書いた希望写真(AパターンかBパターン)のアルファベットを書いてください)。

【締め切り】
2009年12月21日(当日消印有効)

【発送】
2010年2月中旬からになります。2月下旬になっても届かない場合はご連絡ください。
(03-3574-0201／月~金　11:00~18:00)。

【お願い】
・希望のアルファベットが未記入の場合はAパターンを送らせていただきます。
・応募券のコピーは不可です。コピーの場合は無効になります。
・応募券1枚につき一通のご応募にお願いします。複数お申し込みのお客様はその数分のご応募でお願いします。

A
パターン



B
パターン

SHOXX Vol.203
アンティック-珈琲店-
応募券

www.shanghaidz.com
hudie.com

SHOXX × びじゅけい

ヴィジュアル系ファンのための携帯サイト♪
http://www.visukei.com/

びじゅけいpresents 12月東名阪イベント 第5弾開催!

「Revolutions」 - 四面楚歌 TOUR 2009

★12/3(木)高田馬場AREA ★12/18(金)大阪・難波ROCKETS ★12/19(土)名古屋ell.SI

ダウナー/ν[NEU]/DragonWAPPPPPPPER/LuLu
ALiBi(東京)/トゥーン工場(東京)/ジュリエット(名古屋・大阪)

チケ
発売

ダウナー

ν[NEU]

トゥーン工場

ジュリエット

ALiBi

LuLu

愛狂います。

-OZ-

蝴蝶网
hudie.com

びじゅけいpresentsイベント第3弾!
ケイタイで連動企画が見られるよ!!

詳しくはびじゅけいを見てね!→→→→

「Revolutions」 - NEW AGE ATTACK'09 FINAL -

12/30(水)横浜SUNPHONIX HALL in YOKOHAMA ARENA

ALiBi/THE GLADROW/ジュリエット/レイラ/Hi:BRiD/the Vambie./MASQUERADE/Lycaon/Lu
/Brother＜ゲスト＞/Virgil＜ゲスト＞

〜グラビア堂書店 Presents〜
モバフォト!

TMR電子書籍12月より配信決定!!

SHOXX Plastic Tree FiLE

Plastic Tree の 2002-2005 年の
掲載記事をまとめた
スペシャルブック「Plastic Tree FiLE」
がケイタイで見られるよ!

ナイトメア SHOXX FiLE EDITION.1

ナイトメアの軌跡を収録したスペシャルブック
「SHOXX FiLE ナイトメア Edition1」が
ケイタイ書籍になったよ!

QR コードからアクセス!

otography : YOSUKE KOMATSU（ODD JOB）
erview : YUKI SUGIE
ling : MINAKO YOSHIHARA（Milly）
r & Make-up:
/ DAISUKE TANAKA（JET SPEEDeR）
井洋明 / HIROKO TSUKADA

協力:
LITTLE VILLAGE.=1.（☎03-3470-1936）
Silvers（☎03-3746-0915）
DGET GROW（☎03-3401-2037）
NAOTO（シンクカスタマーセンター☎03-5766-3850）

SHOXX×Over The Edge 2009 連動特別企画

「Deja vu」Session #001

un SCAR NERVE

Vo:ジュイ（ヴィドール） Gt:玲央（lynch.） Gt:酒井洋明（12012） Ba:愁（ギルガメッシュ） Dr:桐（heidi.）

光と影のコントラスト

毎年恒例となっているカウントダウン・イベント「Over the Edge」。今年も12月31日から1月1日にかけて渋谷C.C.Lemonホールにて賑々しく行われる。この豪華キャストが勢ぞろいするイベントをただ取材するだけではもったいない。ということでSHOXXがペシャルな企画を立てました。その名も「デジャヴ・セッション」。 出演バンドから先鋭10名が集結。5人編成のヴァーチャルバンドを2バンド結成しました。このセッションを今月号と来月号の2号に渡って特集します。まずはその第1弾はun SCAR NERVE（アン・スカー・ナーヴ）。夢か、それともリアル？ 早速プレミアムなセッションの模様をお楽しみください。

蝴蝶网 hudie.com
www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

このバンドの詞を書くとしたら〝明日晴れたら、それで良い〟くらいの感じにします。

ジュイ

SHOXX×Over The Edge 2009 連動特別企画
「Deja vu」Session #001
un SCAR NERVE

──今年もまた『OTE '09』が開催されることになったということで、このたびはこの場にもお集まり頂き、大変ありがとうございます。ちなみに、この5人の中で今まで参加経験が無いのは、玲央さんだけになりますか?

玲央：はい、僕らは初参加です。なんか、何時も打ち上げが大変なことになってるイヴェントだとか、これまで噂はいろいろ聞いていたんですけど（笑）、今年は、〝止める側〟に回って欲しいっていう意味もあってのオファーなのかな、っていう気がしてます。…って、そういう解釈で大丈夫ですか??

ジュイ：全然大丈夫っす（笑）。

──打ち上げどころか、昨年に至っては既に本番中からステージ裏はカオス状態に陥っていたくらいですからねぇ。玲央さんが総取締役を引き受けて下さるのであれば安心です。

酒井：いやー、頼もしい（笑）。

──ところで、この5バンドはそれぞれと対バン経験はあるのでしたっけ。

ジュイ：ありますよ。

愁：ここにいる皆さんとは、それぞれやらせてもらってます。

桐：ウチもです。

酒井：ご一緒する機会はわりと多いんじゃないか、っていう（笑）。

玲央：そうですよね。

──ただ、普段のイヴェントだと時間的に余裕も無いでしょうし、そこまで互いに交流する時間も無かったりしません?

酒井：確かに、挨拶以外で皆と話をする機会っていうのはそんなに無いかもしれないです。でも、僕なんかは機材とか「どんなん使ってるんやろう?」っていうのが気になるんで、こっそりリハーサルの様子を覗いたりっていうことは、よくやってます（笑）。

玲央：僕はむしろ、普段のイヴェントでも積極的に話しかけてく方だと思います。特に、今日ここに来てるメンツに関しては愁くん以外、それぞれ前にやってたバンドの時代から知ってる人ばっかりなんで、なんだかんだもう長いお付き合いなんですよ。ジュイくんに至っては、前にやってたバンドの主催イヴェントに呼んでもらったり、っていうこともありましたよね?

ジュイ：そうそう、わざわざ仙台まで来てもらって（笑）。

玲央：そういう、もともとの交流もありますし、自分の場合はリーダーっていう立場もあるので、普段から共演する時はなるべく皆さんと話が出来るように、って心掛けてるんです。

桐：僕なんかは、何時も「話してみたいな」っていう人は沢山いるんですけど、なかなか自分からは行きにくかったりす

www.shanghaidz.com

SHOXX×Over The Edge 2009 連動特別企画

「Deja vu」Session #001

un SCAR NERVE

玲央

僕は打ち上げでの〝止め役〟?

るので、玲央さんから声をかけてもらったりすると、ほんと嬉しいんです。

愁：礼儀の部分での挨拶はもちろんですけど、そこを取っ掛かりにして皆さんといろいろ深い話をして行けると、凄い良いですよね。

ジュイ：イヴェントって、楽しくやれるから僕も好きですよ。ワンマンの時は、どうしてもピリピリして神経質になっちゃうことが多いんだけど、人がいっぱいいて活気があると、皆と笑いながら話してるうちに、顔の筋肉も良い具合に力が抜けて来るんですよ。そうすると、本番で歌う時もすんなり行けたりするんです。あ、でも笑い過ぎたりとかしたらダメですよ？　そうなっちゃうと、今度は声がかすれて出なくなるんで（苦笑）。

—何事も程々に、ということですね。さて。それでは、ここから本日の本題に入って行きましょうか。実は、今回はこの5人で架空のバンドを誌上限定にて組んで頂こうと思うのです。

酒井：この5人でバンドって、めっちゃ濃いっすね（笑）。

—あくまで架空の話ではありますが、もしこの5人で音を出したとしたら、一体どんな雰囲気になるのでしょうね??

酒井：多分、かなり男っぽい音になりそうな気がする。

ジュイ：うん、俺もそう思う。ヴィドールでは出せないタイプの音になるんじゃないかな、って。凄く重くてエモーショナルな音になるだろうから、その上で自分が歌ったらどんな風になるんだろう？っていう興味が湧きますよね。

—特に、玲央さん、愁くん、酒井くんという、この弦楽器隊の並びは威圧感さえ感じそうです。桐くん、そんな3人にはドラマーとして音でどう対抗します？

桐：凄い重くて濃い音が出て来そうだなぁ、っていうのは僕も思うんですけど、仮にこのメンバーで音を出したとしたとして、僕のやれることは普段とそんな[illegible]変わんないと思います。

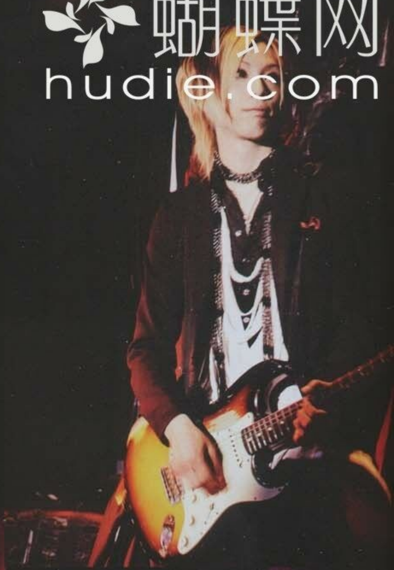
—5人それぞれ、既に完成されている持ち味というものがありますものね。如何なる場合でも、それをもって真っ向から勝負する、ということなので[illegible]

玲央：それに、桐くんドラムの音[illegible]カいですからね。この見た目の感じとは違って（笑）、ほんと凄いパワフ[illegible]そのギャップも彼の魅力だし、僕は[illegible]と音的にも合うと思いますよ。

—愁くんは、この5人の中だ[illegible]どんなプレイが出来そうだと思います？

愁：んー、難しいですね。ウチ[illegible]ギルガメッシュ）は4人バンドな[illegible]5人バンドの中にいる自分っ[illegible]うの[illegible]ちょっと想像しにくいんですよ[illegible]（笑）。でも、多分ステージ上でいうと僕[illegible]手

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com



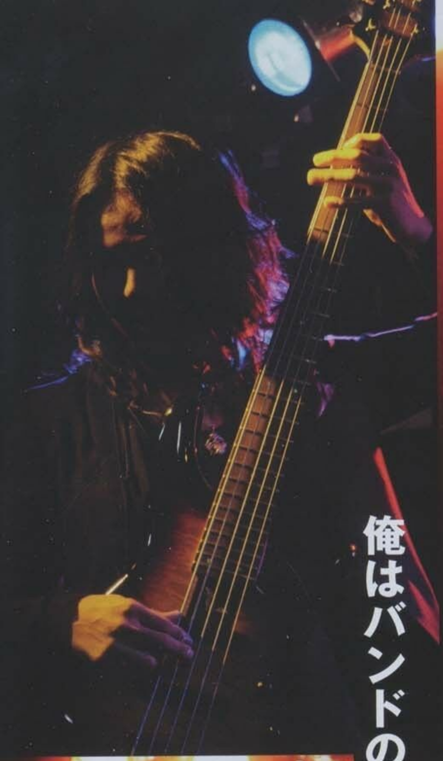
蝴蝶网
hudie.com

えっ？ 俺がメインコンポーザー!?

酒井洋明

SHOXX×Over The Edge 2009 連動特別企画
「Deja vu」Session #001
un SCAR NERVE

奥なんでしょうね。
玲央：そっか、4人と5人だと立ち位置変わって来るもんね。
愁：まぁでも、前にツアー中に対バンした時、桐ちゃんと遊びでリズム合わせたこともあったし、やるとなったら意外と違和感なくやれそうな気もしてます。そして、この5人だったら僕も〝どっしり〟構えてやれそうですよね。
—それは若干意外な一言です。ギルガメッシュでは、何時も運動会か!?というくらい毎回激しくステージ上を駆け回っているではないですか。
愁：そうっすね（笑）。いや、この間あるライヴで対バンした時、僕1201２のステージを観たんですよ。そしたら、酒井さんが凄いカッコ良いパフォーマンスをしてたんです。ああいう人がいてくれると、見せる部分は任せられるんじゃないかなぁ、って思って。
玲央：そういえば、ギターはポジションどうしよう。酒井くんって上手だよね。今まで、下手の経験ってある？
酒井：いや、無いんです。
玲央：だったら俺、下手に回るね。昔、下手でもやってたことあるから。
—これで楽器隊の下地作りは出来ましたね。ヘヴィ＆ハードな音と、ジュイくんの歌…これは面白そうです。
ジュイ：音はどれだけ激しくても、多分敢えて僕はシャウトとかしないアプローチで行くんじゃないっすかね。全くの想像というか妄想ですけど（笑）、おそらくこの5人だったら僕は曲も作らないで、詞と歌に専念すると思います。
—となると、メインコンポーザーは？
玲央：酒井くんでしょう。
酒井：えっ？ 俺!?
玲央：作ってくださいよ。そしたら、酒井くんのネタを皆で拡げるから。
酒井：あー、それは面白そう。マニアックなもの出したとしても、ドン！って皆して受け止めてくれそう（笑）。
ジュイ：で、曲が出来たら後は僕が詞を書かせてもらいますよ。
—詞を書くとしたなら、大体どんなテイストのものが出て来そうですかね。
ジュイ：まず、この5人で爽やかっていうのは無さそうでしょ。かといって、苦悩とか葛藤を描くっていうんでもないだろうし…わりと前向きで、潔い感じになるんじゃないっすかね。明日晴れたら、それで良い！くらいの感じで。まぁ、全て想像上の話ですけど（笑）。
—では、想像ついでに曲と詞が出来た以上、ここはライヴ展開についても考えて頂きたいところです。とりあえず、ファーストライヴは何処でどんな風にやってみます？
酒井：そんなことまで考えるんだ（笑）。



俺はバンドの秘書やります!!

愁 un SCAR NERVE

SHOXX×Over The Edge 2009 連動特別企画

「Deja vu」Session #001

玲央：このメンツだったら、ファーストライヴは目黒鹿鳴館でワンマンとか。皆きっと、鹿鳴館って通って来てるよね？

ジュイ：うん（笑）。

桐：はい、やってます。

愁：っていうか、リアルにウチはファーストワンマンが鹿鳴館でした（笑）。

―いやはや、タダの妄想話で終わらせるのがもったいないくらい、このメンツでのライヴが観たくなって来ましたよ。

玲央：多分、仮にチケット発売したら初動で完全ソールドアウトですよ。そしたら、その日のMCでは「次のワンマン決まりました。O-WESTです！」って、ジュイくんが言うはずです（笑）。

―さて。ライヴ活動も始まったとなると、バンドも本格的な運営が必要になって来ます。その場合、この5人の中ではどんな役割分担が考えられそうですか。最初に、リーダーを決めたいですよね。

酒井：それはもう、玲央さんですよ。

玲央：ってことは、今のlynch.と変わんなくなって来そうですね。僕、全部やりますよ。ブッキングから何から。

桐：逆に、僕はheidi.だとたまに曲作りするくらいで、他は何もやってないんですよ。どうしよう（笑）。

玲央：大丈夫、僕が全部やるから。僕ね、そういうこと好きなんです。

―面倒だと感じる瞬間は無いんですか。

玲央：いや。大変なことがあったとしても、全てはバンドに反映されるし、それが良いカタチでフィードバックされて来た時には、多分メンバーの中でも一番手応えとか喜びを感じられるのって僕なんですよ。そういう意味では、人一倍贅沢させてもらってるんじゃないかって常々思ってるんです。

―運転系はどうします？

酒井：あ、それ俺やりますよ。

愁：僕もやります。

ジュイ：僕も免許ありますよ。運転[illegible]けっこう好きだし。

玲央：ほんと？ なんか、でジュイくんが機材車とか運転してる画って全然浮かばない。というよりも、あんまりそういう場面は見たくない（苦笑）。

桐：してて欲しくないですよね（笑）。

玲央：そうそう。ジュイくんには、普段から浮世離れしてて欲しいもん。

ジュイ：じゃあ、僕は音楽のことだけやらせてもらおうかなぁ。

玲央：そうしてて欲しいです。僕、自分のバンドでもヴォーカリストには、絶対そういう〝仕事〟させないんですから。

ジュイ：皆の持ってる〝イメージ〟を大事にするっていうのも、確かにヴォーカリストにとっては重要なことっすもんね。

玲央：うん。歌い手は、やっぱり常にスターであって欲しいなぁ。

―納得です。

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

桐

この5人でやったら凄い重くて濃い音が出て来そう。

SHOXX×Over The Edge 2009 連動特別企画
「Deja vu」Session #001
un SCAR NERVE

www.shanghaidz.com

俺は玲央さんのサポート役というか、秘書代わりですかね。「これ、『SHOXX』にファクスで原稿戻しといてもらえる？」「うぃっす！」みたいな（笑）。

玲央：それ、凄い画が浮かぶ（笑）。

——話が不思議と現実味を帯びてきたところで（笑）、今回は最後に、この架空のバンドに、敢えてバンド名を付けて頂きたいと思います。この際無理やりでも構いませんので、さくっと決めてしまいませ。

酒井：いきなり今？ それは難しいなぁ〜。

桐：ですよねぇ（苦笑）。

ジュイ：んー、何っすかね、何が良いんだろう。あー、何っすかねぇ。

玲央：…あの。語呂合わせなしで、今ひとつ思いついちゃったんですけど良いです？ ジュイくんの、[illegible]をソラミミ的にいじって、unscar nerve（アン・スカー・ナーヴ）ってどうでしょう？

酒井：うわ。すげー（笑）。

ジュイ：そんな、俺の口癖がバンド名の由来で良いんっすか（笑）。

桐：でも、unscar nerveって響きはカッコ良いですよ（笑）。

愁：表記的には、un SCAR NERVEっていう風にしても良いですよね。

玲央：意味的には、怖がらない神経とかそんな感じになるのかな。

愁：上手く決まっちゃいましたね（笑）。

——本日は、ここまで妄想トークにお付き合い頂きありがとうございました。最後に、実際の［OTE '09］についても、5人それぞれどんな思いで臨むのかをコメントして頂けると嬉しいです。

酒井：今日のこの対談も楽しかったし、皆とやれるイヴェントなんで、とにかく楽しみたいですね。

ジュイ：前回も、前々回も、僕は自分の出番の後は実家に帰ったりしてたんですね。でも、今回はあらためて音を楽しむっていうことを満喫しながら、カウントダウンにも参加したいっす。

桐：ライヴの面でも良いかたちで年末を締め括りたいですけど、あのイヴェントはお祭りでもありますからね。その楽しい雰囲気を、お客さん、出演者の皆と分かち合いたいです。

愁：今回も、まずは自分たちのライヴはしっかりやりつつ、後は最後の打ち上げに向けての体力も温存しないとヤバいっすよね（笑）。

玲央：僕らなんか、コレの後に新宿ロフトでスラットバンクスとの2マンもありますからね。でも、その後またこっちの打ち上げ会場に出戻る可能性は大です。呑み過ぎて暴れてる人とか、止めに行かなきゃいけないんで（笑）。今年の大晦日は、24時間体制で頑張ります！

蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

柩 × Ni~ya

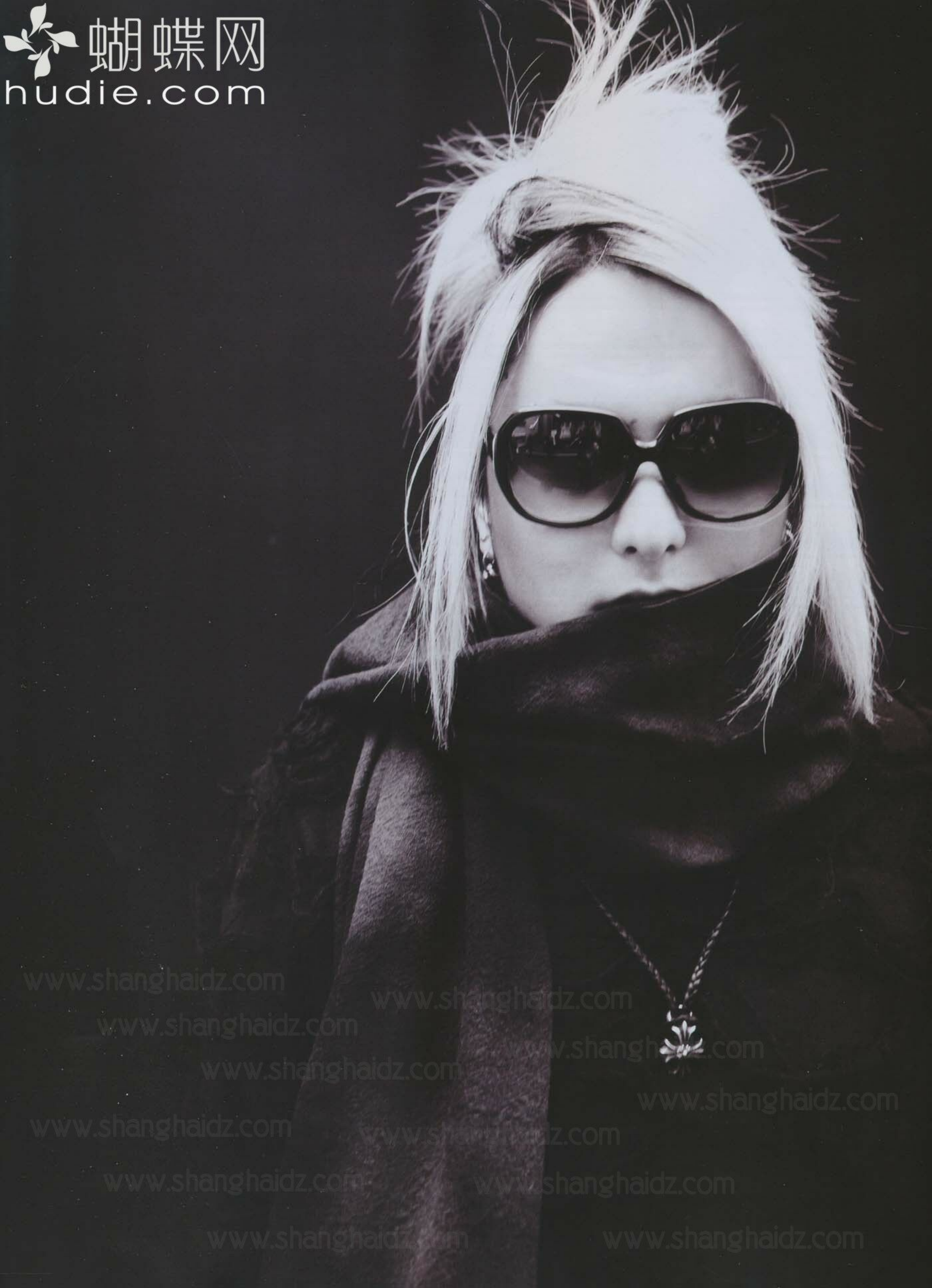
Bonds of the truth

"それ"すらも愛しい関係

ナイトメア10周年記念特別企画として
不定期でお届けしているバンド内対談。
今回は、ギター・柩＆ベース・Ni～yaの登場です！
バンド内でも、二人で呑みに行く事が一番多いと言う、
プライベートでも付き合いの深い二人。
さてさて、今回はどの様な話が飛び出すことやら…。

Photography:SUSUMU MIYAWAKI(PROGRESS-M)
Interview:YUKA SUGIE
Hair&Make-up:FUMIE NOZAWA
Styling:MASATO HISHINUMA

www.shanghaidz.com



蝴蝶网
hudie.com
www.shanghaidz.com

Bonds of the truth

蝴蝶网 hudie.com
www.shanghaidz.com

―2人が初めて会ったときのこと、お互いに憶えてます？

Ni～ya：初めて枢に会ったとき、俺、フルメイクだったよね。ライヴの帰りだったんだけど、メイクの落とし方をまだ知らなくて、髪の毛も立てたままで、いきなり枢の家に行って（笑）。

枢：そうそう。俺の家で初めて会ったんだよ。

―なんでまたそういう運びに（笑）。

Ni～ya：咲人の紹介でね。

枢：俺と咲人は一緒にバンド組むことになってたから、お互いメンバーを探してて。〝心当たりがあるからライヴ行ってくる〟って言って咲人が連れてきたのが、Ni～yaだった。パッと見、スッピンがわかんなかったけどね（笑）。でも、聴いてきた音楽とか、当時聴いてた音楽とか、近いものがあって。

―中でも、どういうアーティストの話で盛り上がりました？

Ni～ya：Xだよね。枢の部屋に、Xのポスターが貼ってあったし。

枢：バンドを一緒にやるってさ、聴いてる音楽がどこかしらリンクしてないと難しいよね。

―そういう音楽的嗜好でも共感できるし、人間としても共鳴できました？

枢：いい奴だと思った。話しやすいし。

Ni～ya：俺も、枢はすごく接しやすくて。でさ、髪の毛は金髪で長くて、今みたいな感じで。俺は学校に行ってたから、まだ髪も短かったし、染められないしさ、[illegible]羨ましかった。〝この人、自由だなぁ〟って（笑）。それに、当時俺が一緒にバンドをやってた連中は、メイクか服に関して無関心で。でも、俺は派手な見た目が好きだったし、自分もそういう風にしたいと思ってたから、一緒にバンドできたら面白そうだなって。

―最初に会った時点から、躊躇なく一緒にバンドをやりたいと思えたんですね。

Ni～ya：そうそう。で、方向性もなんとなく見えてたし。

枢：面白いことできるんじゃないかなって思ったよね。

―そこから、実際スタジオに入ってみたわけですよね。

枢：うん、確か最初はXのコピーだったけど、最初はやってるのが正しいのかわかんなくてね。

Ni～ya：もうね、めちゃくちゃ（笑）。

枢：演奏バラバラだし、今Aメロやってるのか Bメロやってるのかも定かじゃなくて（笑）。でも、楽しいは楽しいの。

Ni～ya：うん、すっげー楽しかった。

―当時はRUKAさん以外の4人ですけど、その4人で音を出していることがまず、楽しかったんですかね。

枢：そうそう。会話してるのも楽しいし。

Ni～ya：それは、それまでにはなかった感覚だったな。

―そこからバンドとしても個々としてもオリジナルを目指していく過程で、お互いに〝コイツのここはスゴイ〟と思っていた部分というと？

Ni～ya：でもね、コピーの段階から、「Silent Jealousy」（Xの代表曲。かなりのハイスピードナンバーで、ギターの難易度も高い）のギターソロを、咲人と2人で普通に弾いてるのを見てすごいと思ってた。それまで、俺の周りでそこまでギター弾けるヤツっていなかったから。

枢：俺も同じ。俺の周りでも、ちゃんと弾ける人っていなかったから。

Ni～ya：でさ、ベースが系が多くなかった？

枢：そうそう。ハイスタ（Hi-STANDARD。3ピースのメロコア・バンド。95年にリリースしたアルバム『GROWING UP』が大ヒット）とか、GREEN DAY（アメリカの3ピース・ポップパンク・バンド。94年リリースのアルバム『Dookie』は世界セールス2000万枚を記録）とかさ。

Ni～ya：メロコアブームだったから、ヴィジュアル系をやってる人って少なかったよね。

―テクニック的には、ヴィジュアル系の楽曲のほうが難しいですしね。

Ni～ya：うん、難しい。

枢：ヴィジュアル系、ハードロックとかはね。周りにもできるヤツっていなかったし。だから、ちゃんと弾けてるNi～yaを見て、〝すげぇ！〟って思ったし。

―当初から、お互いにプレイヤーとして尊敬できていたと。

Ni～ya：そうだね。あと、ヴィジュアル面でもポリシーを感じたし。俺は、〝一緒にバンドできてラッキー！〟って思ってた（笑）。

―そんな2人で、よく話もしました？

Ni～ya：よくさ、枢の家に遊びに行ってたよね。学校からの帰り道に枢の家があったから、ぶらり途中下車して（笑）。

枢：でも、ホント他愛のないことばっかしゃべってた気がする。

Ni～ya：あと、映画のビデオとかもよく観させられた。

枢：昔から映画好きだったからね、俺。

Ni～ya：二十歳越えてからは、一緒によくお酒も呑むようになったしね。

枢：2人で呑みに行くっていったら、Ni～yaが一番多いかもしれない。

Ni～ya：俺もそうだな。

―何しろ波長が合う2人なんですね。ただ、10年も付き合ってればケンカはしたことありますよね？

枢：ケンカはある。

Ni～ya：うん、あるある。でも、口ゲンカね。ツアー先でライヴとかバンドのこととか話してでさ、2人とも酔っ

Bonds of the truth

おってだから、ついアツくなっちゃって

――その後、尾を引きずったりは？

枢：全然。ケンカして、ホテルに向かうときにはもう仲直りしてるもん（笑）。

Ni～ya：〝ついアツくなりすぎたわ、ゴメン〟〝いや、俺もゴメン〟って（笑）。

枢：ケロっとしてるよね（笑）。で、より仲良くなるみたいな。

――お互い、思っていることを溜め込まないんでしょうね。

枢：うん、俺たちは溜め込まないね。

Ni～ya：思うことがあったら、その場でぶつけるからね。

――それができるのは、信頼関係がある証だし。

枢：そうだね。そこは、友達以上だし。だから、友達、家族、同僚とはまた違うジャンルっていうか。メンバーのことはすごく信頼してるよね。でもさ、RUKAさん以外の4人は、本格的にやったバンドってナイトメアが初めてだったわけじゃない？ それで10年やってこられたって、すごいなって自分で思う。

――そして、その10年、関係性があまり変わっていないというのも驚きで。大方、倦怠感が漂ってくるものです（笑）。

Ni～ya：そこはね、ずっと一定の距離感を保ってるよね。

――意識してのことではないと思いますけど、その秘訣って何だと思います？

枢：信用できるかできないかじゃない？ 相手に任せられるか、相手から任せてもらえるかね。それには、呑みに行ったりとかの遊びも含めて、たくさん話して解り合わないといけないからね。

Ni～ya：ナイトメアは、メンバー同士でそういう付き合いがあるからね。だから、仕事っぽい関係にならないのかも。

枢：そうだね。今年のNi～yaの誕生日なんか、俺の家でお祝いしたし（笑）。

Ni～ya：新潟でライヴ終わって、自分から突然〝今日、行くから〟って枢に言って（笑）。

枢：で、友達呼んで、咲人も来て。朝まで呑んだよね。

Ni～ya：ライヴ終わってだよ？（笑）。でも、それがすごい楽しいの。

枢：メンバーと呑むと楽しいよね。

――さんざん一緒にいて、まだ話すことがあって、楽しめるって…スゴイです。

枢：もうさ、何でもいいよね。極論、ネタが子供レベルの会話でもいいんだよ。

Ni～ya：それでも2、3時間はいけるもん（笑）。

枢：ひとつの言葉から、どんどん枝分かれしていくからね。終わらないもん（笑）。

――じゃあ、この2人でいてあまり無言の時間はないですか。

Ni～ya：ないね（←即答）。だいたい、何かしらで笑ってるよね（笑）。

枢：涙が出るほど腹抱えてるときもあるしね。後で思い出せないぐらい、内容はくだらないんだけど（笑）。でも、呑み始めて最初のほうは、バンドの話をするし。

Ni～ya：そこから、仕事の話はどっかで区切るんだよね。そういう、オンとオフがあるから、いいのかもしれない。

――そういう2人が、今、お互いに〝すごいな〟と感じる部分は？

枢：この4、5年は、レコーディングでもライヴでも身を任せて弾けるんだよね。変な話、ミスがあってもすぐに戻ってくるし、すごく安心感がある。

Ni～ya：ミスはね…本番では極力ないように心がけてるけど、スタジオリハはヒドイっ（笑）。みんな、俺のほう見るもん（笑）。

枢：あれはね、なんか場が温まる（笑）。

――そういうときに殺伐としないところが素敵です。

枢：ウチはそういうのないね。リハでヒドくても、みんな本番ではきっちりやるし。それに、ミスを責めることによって、何もプラスにならないと思うし。人って誰しも悪いところってあるじゃない？ でも、それすらも愛おしいんだよね。

――御仏のような懐の深さです（笑）。

枢：ホント、そういう部分も受け入れられる気持ちで付き合ってる。誰かがミスとかしたら、〝出た出た〟みたいな（笑）。

――むしろちょっと面白がるぐらいな（笑）。基本的に、そういう気質の5人でもあるんでしょうね。

枢：うん、基本、みんな優しいと思うよ。

Ni～ya：だから仲良くなれるしね。俺が4人を観ても〝カッコイイな〟って思うし。あらためて〝このメンバーってスゲェな〟って実感するからね。

枢：だから、すごい良い関係だとは思う。

――そんなお2人が、今後お互いに望むことというと？

枢：まぁ…末永くお付き合いできればいいかなって（笑）。

Ni～ya：うん、それだよね（笑）。

枢：いつかは、解散するじゃん。そうなったとしても、その先も今と同じ関係でいられたらいいなって思う。メンバーじゃなくても、〝しばらく連絡取ってないな〟ってことにはならないんじゃないかな。

――ホント、一生モノなんですね。

枢：そうだね、完全に。

Ni～ya：一緒にいて苦じゃないからね。それが一番デカイと思う。呑んでるときの流れとか毎回一緒だけど、それでも飽きないもんね（笑）。地元の友達とか、他のミュージシャンとも遊ぶけど、やっぱメンバーは違うなって思う。

枢：なんか安心感があるよね。

Ni～ya：俺、メンバーとだったら財布持って行かないでも呑みに行けるもん。

枢：そっちの安心感なの!?（笑）。

Ni～ya：いや、それだけじゃないけど…それぐらいの安心感がある（笑）。頭グシャグシャでも、ヒゲ生えっぱなしでもいいやっていうかさ。

枢：フラット以上にフラットでいられるよね。お金では買えない一生モノ、大切にしますよ。

www.shanghaidz.com

【ライヴスケジュール】●NIGHTMARE 10th anniversary special act vol.1『GIANIZM～天魔覆滅～』2010/1/9さいたまスーパーアリーナ

<伊達漢>〒162-0831 東京都新宿区横寺町32TR神楽坂Bld. TEL:03-3268-7213（受付時間・平日12:00～18:00） dateotoko@nightmare-web.com

ムック

more the world , more the "Sphere"

“球体”の完遂へ——

メキシコから帰国して、わずか3日のタイミングで彼らと話をすることが出来たのは、実に幸運だった。
約1ヶ月に渡ったワールド・サーキット[Solid Sphere]を経て、
11月16日には東京JCBホールでの“[球体] FINAL”を終了させたムックが、11月25日にシングル『フリージア』を発表する。
今回は旅の総括、そして最新アイテムについてはもちろん、ここからのヴィジョンについても探ってみたい。

Photography:SHIGERU TOYAMA(starmine)
Hair & Make-up:DAISUKE "BOB" TANAKA(JET SPEEDeR)
Interview:YUKI SUGIE

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
www.shanghaidz.com

―つい3日前に、1ヶ月に渡ったワールド・サーキット［Solid Sphere］から戻ったとのことで、お帰りなさいませ。

達瑯：うぃーっす！

―今回は、ロシア始まりのメキシコ終わりという、かなり寒暖の差がありそうな行程でしたよね。

達瑯：最初、モスクワ着いた時はマジでヤバかったっすよ。こっち出たのってまだ10月初めだったし、普通に東京にいるような格好で飛行機乗ってたっていうのもあるんだけど、空港出た瞬間びっくりするくらい寒くて、リアルに〝うわ、これは危ない〟って思いましたよ！

―生命の危険を感じたと（笑）。

達瑯：相当ですよ（苦笑）。もう、しょうがないからピョンピョン飛び跳ねてみましたもん。身体温めるために（笑）。

YUKKE：それだけじゃ足りなくって、スクワットもしたよね（笑）。

SATOち：あー、やってたねぇ。

―逆に、ラストのメキシコは東京よりも暖かかったりして？

ミヤ：でも、メキシコは行ったのが標高高いとこだったんですよ。だから、寒いまでは行かないけど、ちょっと肌寒いくらいの感じでした。

―ライヴそのものについて言うと、確か今回はロシアが初だったんですよね。

ミヤ：ロシア、凄い良かったですよ。初めて行ったっていう部分で、〝来てくれてありがとう〟っていう歓迎の雰囲気が強く伝わって来てました。

SATOち：ロシアはライヴも楽しかったし、ゴハンも美味しかったなぁ（笑）。

―お。海外ツアーの話で〝美味しい〟という言葉を聞くのは、けっこう珍しいですね。あちらは、寒いところだけあって煮込み系が多いんでしたっけ。

ミヤ：身体を温めるために、サワークリームとかを使った料理が多いんですよ。

YUKKE：ボルシチにサワークリーム入れたのが、超ウマかったっす（笑）。

―かくして、もう何度も海外ツアーに出ているみなさんですが、今回の［Solid Sphere］を通して得られた収穫、というのはどんなものでしたか。

SATOち：凄く良い意味で、海外ツアーに〝慣れた〟状態でやれてたと思い

やれたんで、持ってる力を無駄なく発揮できてたっていうか。

ミヤ：何か、日本でやるライヴと、海外でやるライヴのギャップはどんどん少なくなって来てますね。ま、それはわりと良いことなんじゃないかなと。

YUKKE：あと、今回に関しては日本でやってた［球体］（ツアー）よりも、またさらにちょっと違ったライヴをやれてた気がします。

―つまり、アルバム『球体』の楽曲がさらに育っていったわけですね。

ミヤ：今回の場合、国内ツアーも1回やった上でのことだったんで、やっぱ曲は身体に染み込んでるなっていう感覚はあって、そこからより深いとこを追求していけてたっていうか。海外でそういうツアーをやれたっていうこと自体、凄い良かったですね。

達瑯：そこまで目新しいことはなかったかわりに、今までやって来たことが全て糧になって、日本でも向こうでも場所に関係なく、どこでもこれがムックのライヴなんだ！って言い切れるものをやれるようになったこと自体が、そしてそれを自分たちで改めて確認できたこと自体が、今回の海外ツアーに出て得たいちばんの収穫なんじゃないですかね。

―素晴らしい。

達瑯：今回は、いわゆる〝波〟みたいのもあんまなかったんですよ。昔はホント、ウチは日によって波のあるバンドだったんですけど（笑）、もはやその波も一定して、たとえスケジュール的にキツい日であっても、ちゃんと高い位置をキープしたままやれてる、みたいな。

―そんな今回のツアーでは、最新シングル曲「フリージア」も演奏されていたんですね。手応えはいかがでしたか。

ミヤ：まだ向こうでもリリースされてない状態ではあったんですけど、リアクションはどこでも良かったっす。日本では、ちょっとこれはまずないだろうなっていう光景も見られたし。

―予測するに、おそらくこういうエモーショナルなバラードだと、向こうではお客さんたちが手に手にライターを灯し、なおかつ客席からは大歓声まで巻き起こったのでは??

蝴蝶网
hudie.com

www.shanghaidz.com

“聴いちゃう”と思うんですよ。

――消防法などの問題もあり、日本ではライヴ会場内でのライター使用が禁止されているのもあって、アレばっかりは海外限定の光景ですよねぇ。

ミヤ：ホント凄い盛り上がってました。

――達瑯くん、この「フリージア」という曲を、ライヴで歌ってみて感じたのはどんなことでしたか。

達瑯：俺としては、当初この曲って系統的に「リブラ」と若干近いとこあるのかな?って思ってたとこあったんですよ。でも、1ヶ月かけてライヴで歌ってるうち、“そうじゃない。これは、本質の部分で違うな”ってことに気付きました。

SATOち：俺も、レコーディングしただけでは分かんなかったことが意外といっぱいあったんだ、っていうことにライヴをやってて気付いたんですよね。

YUKKE：1曲の中で、弾いてても気持ちがだんだんと変化していく感じがあって、そこは日々ライヴでやってた時に、より強く感じたとこでした。

――なお、この「フリージア」と同時に、今回のシングルには3曲のカップリング曲たちも収録されています。これらについても少し解説をいただきたいです。まず、「終止符」について。

ミヤ：これは、“実は『球体』にはこういう面もあったんだよな”っていう曲ですね。曲の雰囲気としては、「空と糸」にさらに遊びの部分が増えた、みたいな。

SATOち：こういう曲は、もうムックは慣れたもんです（笑）。

YUKKE：凄く、今のムックらしい曲ですよね。

達瑯：ただね、コレ聴いた感じよりも実は歌うとサビのキー高いんですよ。この間、宮脇（1212）にも言われたんだよな。“達瑯さん、声質的にあんまりそう聴こえないけど、相当高いとこで歌ってますよね?”って。

――なるほど。確かに言われてみると、そうですよねぇ。

達瑯：俺、一志くん（Kagrra,）にも言われましたもん。“実は俺より全然上のとこで歌ってたんだって、この間カラオケで歌って初めて気付いたよ!”って、言ってました（笑）。

高にダンサブルな1曲に仕上がっていますけれど、この曲のテーマは何でした?

ミヤ：ディスコ（笑）。これはテクノとかでもなくて、80年代のダンスミュージックがモチーフっす。例えば、デッド・オア・アライヴとか。

――デッド・オア・アライヴといえば、この曲のサビの声の重ね方は、彼らの「Something In My House」に近い質感だったりしませんか。

達瑯：あ、分かる（笑）。

ミヤ：ああいうヴォーカル処理、俺凄い大好きなんっすよ。だから、そこを目指したっていうのは確かにあります。

――この曲は、ベースの歪み方がカッコ良いですね。Bソロにもシビレました。

YUKKE：曲が面白カッコ良いし、スクエアな雰囲気なんで、これは敢えてアップライトを歪ませて録ってます。やってて楽しかったですよ。

――ちなみに、ダンスミュージックという部分で、この曲はドラムが完全なる打ち込みになっていますよね。今後ライヴでやっていく場合、SATOちくんは一体何をすることに??

ミヤ：R&Bの人たちなんかも、ライヴでは生でやったりするじゃないですか。たぶん、ああいう感覚でやると思います。

SATOち：もしくは、ダンス（笑）。

達瑯：だったら、YURAサマか、SATOちか、っていうくらいのを見せてもらわないとな（笑）。

YUKKE：あはは（笑）。

――その他に、このシングルには「フリージア-Rhodesian Ridgeback ver.-」というピアノ・ヴァージョンも入っていて、大変充実した内容です。加えて、この号が出る頃には、JCBホールでの「球体」FINAL』も終わっているはずですが、これから年末～来年に向けてのムックはどんな動きを見せていくことになりそうですか。

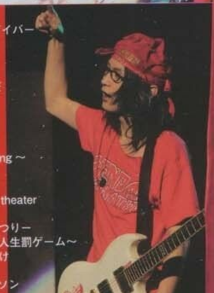
ミヤ：12月には、DVDで『ライヴクロニクル3～「球体」in日本武道館～』を出して、ここで“球体”にまつわる全ては終わるんで、あとは次に向かいます。

達瑯：2月にはホール・ツアーもあるし。

ミヤ：その場で、また新しいムックっていうものを見せていきたいっすね。

【ムック情報】ムック主催イベント「え[illegible]5」開催決定!! 2010年2月5日（金）横須賀芸術劇場にて（OPEN17:30、START18:00/チケット料金:前売り¥5,800/一般発売日:2010年
月10日/お問い合わせ:ディスクガレージ☎03-5416-9600）。WINTER CIRCUIT 2010 東阪ホールツアー決定! 2010年2月14日・NHKホール、17日・NHK大阪ホール。12月9
発売THE YELLOW MONKEYトリビュート・アルバムに参加決定。http://www.55-69.com/

www.shanghaidz.com
蝴蝶网 hudie.com



トリスト】
タデーナイトゲイバー
になみで。
イバン
況の風
ら東京さ行ぐだ
リプルニート
スクール演組!!
ムチ
々的愛情故事
龍～ cheng long ～
ンチ君
うた
my&Rocky' s theater
らないか～
レディ・まーつりー
フガニズム～人生罰ゲーム～
様もう少しだけ
送る言葉
クリリンマンソン
絶交門
男たちの晩歌
チハイズム
ぬぐいを脱がさないで～

蝴蝶网
hudie.com

遂に、この日がやって来てしまった…。2009年11月5日。昨今の不況の煽りを受けて、唯一無二の絶対の存在感を放っていた仙台貨物が倒産、それにより活動休止を余儀なくされてしまったのだ…。そんな彼等の最後の勇姿を見届けるべく向かった場所は、日本武道館!! 千葉の重大な秘密も暴露されたこの日の模様を、速報レポート致します！ 仙台貨物FOREVER!!

仙台貨物

腐況の風～ 仙台貨物FOREVER ～

Photography:MIWA OHYA Interview:YUKA SUGIE Costume: COBRA

これは、卑怯だ。思わずそう思ってしまうほどの、笑撃波の連続。倒産によってこの武道館公演を最後に活動休止へと追い込まれた彼らだが、さすがは希代のエンターテイナー、転んでもタダで起きるわけがないのだ。

まずは、そのステージセット。吉本新喜劇のコントセットさながら、下手には仙台貨物の看板を掲げた小さな会社が。センター奥には仙台貨物のロゴが入った赤い軽トラックが停められ、荷台にはドラムセットが置かれているではないか。その右には公衆便所と書かれた入口があり、奥にはちゃっかりマニピュレート用機材を設置。だからKURIHARAはウ○チの被り物なのか…と妙に納得しつつ、上手には滑り台、鉄棒…ん？ 公園の中に勝手に会社作っただけなのか？ しかも、会社をよく見れば…プレハブ!? 驚くやら呆れるやら、もはや何でもアリだ。

すると、聴こえてきたのはなぜかラジオ体操第一。ステージ後方のスクリーンには、溌剌と体を動かす千葉の姿が。すると、千葉に続いてオーディエンスも次々と準備体操。赤色に身を包み、武道館いっぱいに詰まった観客が体操に興じる姿、異様なんてものじゃない。

そんな中、アリーナ後方からステージ中央までを貫く花道をゴッドファーザーのテーマの旋律でクラクションを鳴らしながらチャリンコで暴走したギガフレアに続き、王珍々、サティ、フルフェイス、KURIHARAがプレハブ2階から続々と登場。千葉はといえば、ゲイダンサー16人がステージと花道両脇に走り込んできた「サタデーナイトゲイバー」のイントロで、ステージ下から勢いよくジャンプ。ヒザ上から下は千切れ、汚れに汚れたつなぎを纏ってはいるが、まさにボロは着てても心は錦といったところだろうか。そのステージングは相変わらず嬉々としている。

以降、最新アルバム『凸～デコ～』やおなじみのナンバーを絶妙に交え、腐況どこ

蝴蝶网
hudie.com

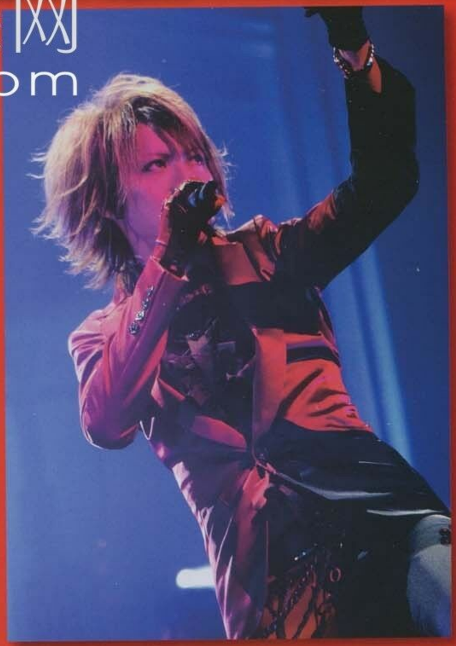
なシーンはいくつもあった。サティもフルフェイスもステージを縦横無尽に躍動、サティのタッピングソロでは千葉が滑り台を勢いよく滑ったりして、カオスを見た「サイパン」。白地に赤い文字がめでたすぎる仙台貨物タオルを、総動員でブンブン振り回して壮観だった「腐況の風」。ベースソロも見せ場に、珍々大フィーチュアとなった「珍龍～cheng long～」。ちなみにその後のMCでは、探していた〝珍龍〟が意外にジェントルマンだということが発覚。ナイスレシーブ、フルフェイス♪　おそらくコンサート史上初、便器にて千葉が熱唱した「ウンチ君」。トーキングモジュレーターを使用したサティのソロまで変態的!?だった。かのロックな偉人のシルエットが楽しい祭りの宵闇に浮かび、全員が音頭に興じた「フレディ・まーつりー」。さらに、さるほぼ衣装に身を包んだ、アホの坂田ならぬバカの千葉に沸いたのはアンコール。「男たちの挽歌」では、フルフェイスの吹くノスタルジックなリコーダーの音色に、千葉の調子はずれな笛がかぶって不協和音を紡ぎつつ、初めてキレイに揃った観客の大合唱はなんだかんだと感動的だった。

そして、ダブルアンコール。千葉が〝固い決意をもってやるから、最後まで見届けてほしいです！〟と叫んで臨んだのは、「チバイズム～手ぬぐいを脱がさないで～」。まさか神聖なる場所で、やっぱり脱いでしまうのか!?

だが、演奏は終わった。しかし、「昭和枯れすすき」をエンドSEに、なぜかメンバーを見送る千葉。〝千葉さんはフツーの男好きに戻ります！〟そんな引退宣言とともに、禁断の手ぬぐいが頭から取られると…極度のバーコードハゲ頭が露呈。だからこれまで手ぬぐいを脱げなかったか…そして、そっち脱いだか…深い納得の後、場内は爆笑の嵐。再びステージに現われたメンバーも、もはや笑死状態。侮るなかれ、やはり千葉は一枚も二枚も上手だった。

こうなれば、必ずや不況に打ち勝って、ますます突飛な発想で見事、仙台貨物が復活を遂げてくれることを願ってやまない。やっぱ、面白すぎる。

蝴蝶网
hudie.com



Alice Nine

UNTITLED VANDAL(ism)Finale
Graced The Beautiful Day

現時点での彼らを出し切った最高傑作3rdアルバム『VANDALIZE』を引っさげてのツアーだった『UNTITLED VANDAL(ism)＃1』『UNTITLED VANDAL(ism)＃2』。
そんなツアーの終着点であった8月23日東京国際フォーラムでの
『Graced The Beautiful Day』が、
11月11日に、ライヴDVDとなってリリースされる。
ひとつのリベンジを果たした彼らは今、いったい、何を想っているのだろう――。

Interview:NAOKO TAKEICHI

――8月23日東京国際フォーラムでの『Graced The Beautiful Day』がDVD化される頃には、3ヶ月ほど経ってるけど、振り返ってみてどう？ ひとつのリベンジを果たした会場ということで、やっぱり特別な想いはあった？

将：ん～、それがぶっちゃけ、自分的にはそれほどなかったというか。でも、やっぱり支えてくれたファンの子や、関係者の人や、前回のライヴ（2007年の夏ツアー『ROYAL STRAIGHT FLASH』）を見てくれた人には、ひとつのケジメが付けれたかなって思う。結果を出せたというか、ひとつの答えが出せたのかなって。ソールドしなくて悔しい思いをした場所っていうのは、やっぱりあったし。でも、今回、もしもまたソールドしなかったら、それはそれで、ちゃんと真っ直ぐにその現実を受けとめようっていう覚悟は出来てたんですよね、自分の中で。なんでもいいから、ソールドさせることが目的っていうことじゃなかったというか。

――うん。ちゃんと自分たちの実力に見合った動員数を見たかったというかね。

将：そう。だから、今回ソールド出来たことはもちろん嬉しかったし、結果、リベンジ出来たなって思ってて。ちゃんと向き合いたかったんですよね。堂々と。

ヒロト：国際フォーラムに挑むまでの気持ちは、逆にすごく冷静だった。そこに辿り着くまでに＃1も＃2もあったから、そこだけに目が行ってなかったというか。ちゃんと段階を踏んで、そこに行けたなって思ってて。で、当日は当日で、やっぱファイナルってこともあったし、リベンジのハコでもあったから、ちゃんと見せたいっていう想いも強くあったし、しっかりと見せようと思ってたライヴの形があったから、気負うことなく、冷静にライヴ出来たかな。だから、リベンジという意味では、ちゃんとリベンジ出来たライヴが出来たと思うけど、でも、その先のことを考えると、課題も見えたライヴだったなって思うんですよね。〝まだまだここがゴールじゃないな、まだまだやっていくべきことってたくさんあるな〟って、思えたライヴでもあったんですよね。

――虎は？

虎：ん～、正直もう一回DVD観ないとハッキリは思いだせない感じ（笑）。ま、そのためにも今回DVDになって映像が残ってくれるのは有り難いんですけど（笑）。立ち止まってないというか、もう既に先を見ちゃって、そこに向かって動いちゃってるからね。でも、正直、あの日はあの日で、満足いくライヴが出来たと思うんですよ。まぁ、多少反省点も残しつつ、その時点での全力を出したと思うし。けど、最近欲張りになったのか、そうそう日々意識が高くなってるのか、満足しなくなっちゃってるんですよね。

――それはいい傾向なんじゃない？ 目標が高くなってるってことでしょ？ 新人の頃って、やってみたいことばっかりだけど、ここまでバンドが長くなってくると、なかなか〝初めて挑戦する〟ってこともなくなってくるからマンネリ化しちゃうというか。でも、今回も虎は持病と戦いながらのツアーでもあっただろうし。

虎：うん。もうね、これはずっとつき合っていかなくちゃなんないんだけど、なんていうか、あれがあったおかげで、その日その日で、満足いくライヴをしなく

ちゃなって、昔以上に思えるようになったというか。それでも、やっぱ、何日か経って振り返ると、反省点しか残らない。

——それがバネになるんじゃない？満足しちゃったら人生終わりだと思うから。

Nao：うん。たしかに本当にそうかも。

沙我：うん。俺は、今回のファイナルに関しては、ツアーを通して、完全にひとつの描ききりたい絵があったんですよ。

——『VANDALIZE』っていう？

沙我：そう。だから、正直、場所が何処であろうと、その絵を描ききる自信があったというか。だから、もちろん、悔しい想いを残した国際フォーラムってところもあったけど、絶対に見せたいライヴがあったから、そこに向かって頑張ったって感じの1本でしたね。動員ってある意味結果論じゃないですか。気にならないって言ったら嘘になるけど、今回は、そこをちまちま考えるより、とにかく、このファイナルで『VANDALIZE』を完成させたかったっていう気持ちの方が強かったんですよね。結果、ちゃんとアルバムの曲は1曲も置いてきぼりにせずに、消化出来たと思ってますからね。そういう意味では、ライヴDVDって、ひとつの記録だと思うんですよね。

将：アルバムごとツアーごとにちゃんと出すべきだね、ライヴDVDは。

——昔持ってた感覚の方が光ってる場合もあるからね、そういうのを失わないためにも記録として残しておくのは大事大事。

Nao：大事大事（笑）。

沙我：でもね、本当に大事だと思う。それに、一番客観的に俺たちを見れてるのは、ファンの人たちだったりすると思うからね。俺たちはやっぱり〝今〟とか〝前〟ばっかりを見つめちゃうから、自分たちの良かった部分っていうのが時に解らなくなることがあるし。

Nao：そうだよね。客観視する目って本当に必要だと思うからね。

将：やっぱり俺たちは、昔よりも今の方がいい状態で居ようと考えるから。

沙我：バンドは前に進むしかないからね。

虎：たしかにね。どうしようもなく下手クソな時代があってこその今な訳だし。

ヒロト：そうだね。来れなかった人には、DVDを見ることで、その日が再現される訳だし、来てくれた人には、僕らと同じく、こういう時を辿ってきて今があるんだって、本当に記録として残しておいてもらえる訳だからね。

——そうだね。じゃぁ、前回悔し涙を見せてたNaoは？

Nao：その悔しさは今でも昨日のことの様に覚えてますよ。でもね、実際にやってみて、〝よし。まだまだやれるな！〟って言う手応えを感じられたのが嬉しかったんです。あの会場をいっぱいにすることだけを目指していたら、ある意味そこがゴールだったりするじゃないですか。でも、そう思わなかったんです。会場もいっぱいに出来たし、その先も見えたというか。だから、〝よし、まだまだAlice Nineはイケルぞ！〟って感じです。Nao的には。

将：正直、反省点がなかったライヴだったかっていったらそうじゃないからね。まま、DVDになるっていうんだから、〝最高のライヴですよ！〟って言えって話なんですけど（笑）、そうじゃないと思うんですよ、俺。逆にあそこからもっともっと成長するAlice Nineがこの先にあるんだってことを、ちゃんと包み隠さず知ってもらうためには、嘘つきたくないというか。

——あの時点の自分たちをリアルに届けられるモノだってことだからね。

将：そうですね。

——今回は、なにやらオマケ映像も付くんだって？

Nao：オマケって言っちゃダメ（笑）。【もうひとつの作品】と呼んで下さい！

沙我：むしろ、このDVD用に作られた特別編集PVだからね（笑）。

ヒロト：クラブチッタ川崎で撮ったの。発端はオマケ的感覚だったんだけど、監督さんとか映像チームが本気になってくれて（笑）。オマケとは呼べない立派なモノになっちゃったんです（笑）。

将：（ヒロトが話している横顔をじっと見て唐突に）ヒロト、肌綺麗になったね。

一同：（将に注目）

将：あ、いやいや、ごめんなさい（笑）。今、ストレスなく頑張れてるんだなぁと思って、ちょっと安心したんで、つい（笑）。あ、どうぞ続けて下さい。

沙我：ぜひ、今んとこ活かしで（笑）。

——あははは。あのね、これも余談かもしれないけど、クラブチッタ川崎の天井にある星形の照明枠あるでしょ。私、あれ、Alice Nineのライヴのときに気づいたこともあって、Aliceのセットだとずっと思ってたんだよね（笑）。

ヒロト：あ、それ僕も（笑）。

沙我：俺も俺も（笑）。

将：俺も（笑）。俺なんか制作の人に聞いちゃったもんね（笑）。

Nao：あははは。どんだけ自分中心なんだっていうね（笑）。でも、そんなクラブチッタ川崎と言えば、虎が復活を遂げた場所でもある訳ですよ。

虎：そうなんだよね。もう2年前になるのかな。2008年の1月だ[illegible]ね。そういう意味では、映像ってその時よりリアルに思い返すよね。まさに「MIRROR BALL」のPVなんか、復活のチッタの前日で、激痛の中での撮影だ[illegible]ね。

将：そうそう！「MIRROR [illegible]」のPVの最後で虎がギターを弾き[illegible]た後に、手をぶら〜んと下に落と[illegible]が映ってるんだけど、あれは、[illegible]脱力してる場面だからね。

——いやぁ、ホント、人生かけてるね[illegible]

Nao：ですよ！ 今回のDV[illegible]もぜひご覧になって下さい！

蝴蝶网
hudie.com

【ライヴスケジュール】●2009LAST LIVE「WHITE PERIOD II」12月3日なんばHatch、12月16日新木場STUDIO COAST●11/22渋谷C.C.Lemonホール
（問）PS COMPANY　東京都杉並区永福3-49-11　メゾンデュソレイ101　☎03-3325-2322（平日12時〜18時）

蝴蝶网
hudie.com

SID

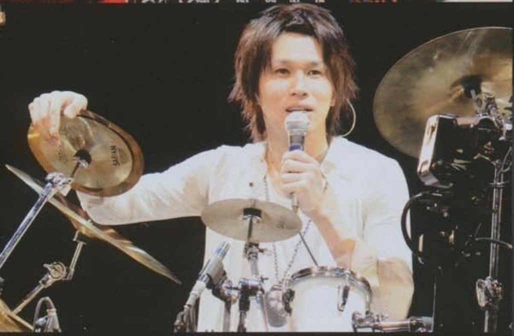
SID TOUR 2009 hikari

Live at 国立代々木競技場第一体育館 2009.10.12

確かな光をそこに見た!
真のライヴバンドとしての証明。

10月11日12日。シドは代々木競技場第一体育館で、メジャー後、初のアルバム『hikari』を引っさげてまわったツアー
kari』のファイナルを迎えた。7月14日の長良川国際会議場メインホールを皮切りに全国25カ所26公演で行なわれたこのツアーは、
メジャー第1弾シングル「モノクロのキス」以降、すべてのシングルがトップ5入りを果たしただけのことはある、
幅広いファン層からの支持が伺える、熱いライヴとなった。

Report:NAOKO TAKEICHI



【SET LIST】
M1.落園
M2.妄想日記2
M3.夏恋
M4.嘘
M5.Sweet?
M6.Dear Tokyo
M7.2℃目の彼女
M8.罪木崩し
M9.モノクロのキス
M10.日傘
M11.capsule
M12.サーカス
M13.循環
M14.and boyfriend
M15.ドラマ
——encore——
En1.私は雨
-金曜シンジショ-「僕と夢と冷凍食品」
En2.one way
En3.妄想日記
En4.エール
En5.光

出しているかのような、不思議なモノクロの映像から幕を開けたこの日。私たちが取材に入ったのは、ツアーの最終日の10月12日であった。ファイナルが2dayということもあり、気負いない、彼らしいライヴを届けてくれることだろうと、彼らが音を放つその瞬間を待った。

彼らのライヴを初めて見たのは2003年。当時はまだまだ動員も1000人未満。しかし、みるみるうちにその勢力を延ばしてゆき、毎回完璧に近い安定したライヴを届けてきていた彼らだっただけに、いつも安心してライヴを見ていられたという印象が強い。

だが、この日は、少し違っていた。

いつものように彼ららしくじっくりと聴かせる唄モノからスタートさせたのだが、そんな1曲目の「落園」で、マオが珍しく声を曇らせたのだ。大きく外した訳ではないが、いつも完璧な唄を届けるマオにしては珍しいことだっただけに気になった。ド頭故のバランスの崩れかと思いきや、2曲目の「妄想日記2」から、「夏恋」「嘘」「Sweet?」と、一気に〝聴かせる〟空気から〝シドのキラーチューン〟へと景色を変え、攻めの体勢に入っていった流れの中でも、マオの声の嗄れた感は否めなかった。

しかし、ツアーで体力をつけてきたことと、今回のアルバムがバンドサウンド寄りに作られていたこともあり、Shinji、明希、ゆうやの3人が生み出すサウンドからは、いつも以上に、生のバンドサウンドが生み出す熱が感じ取れた。そんなこともあり、完璧に歌いこなす〝いつものマオの唄〟ではない、〝この日のマオの唄〟が、逆に〝いつも以上に感情的なシド〟〝よりバンドらしいシド〟を生み出していたように感じたのだ。特に、体全体から声を出し切って唄われた「日傘」などは、ドラマティックに音を紡ぐ楽器隊の音と絡み合った彼らの魂を見た気がしたのだ。そして。そこに続いた荒々しさを前面に押出した「capsule」や、曲中にそれぞれの個性が活きたメンバー紹介を挟んだパーティチューンの「サーカス」という、両極端なシドらしさが混在する流れにも、真似の出来ないシドらしさを感じさせられたのだった。

アンコールでは、すっかり恒例となったShinjiの弾き語り『金曜シンジショー』れたのだが、またしても笑わせられながらも、涙無しでは聴けない、実話を絡めたシュールな一幕に、会場は多いに沸いた。

そんな一幕の後は「one way」「妄想日記」「エール」と、ラストの「光」に上手く繋がる流れを作り、この景色の中で奏でられるべくして生み出されたと言ってもいい「光」を届けたのだった。

最後に、〝今日のライヴはみんなに助けられたライヴでした〟という言葉を残したマオ。やはり、この日は自分の唄に納得がいかなかったのかもしれない。しかし、この日のライヴは、本当にライヴは生ものであるという温度を、しっかりと感じさせられたモノだったと思う。

彼らと出逢って6年。彼らの楽曲の良さと存在を多くの人に知ってもらいたいと、別冊では本誌では出来ないような、マオの歌詞を写真だけで表現したフォトセッション企画なども考えたり、毎月出ていた本誌のインタビュー内容も、編集担当者と頭を突き合わせ、彼らの音をなんとか1人でも多くの人に聴いてもらうためにはどういう原稿やインタビューにしたらいいのか？　と頭を捻ったものだ。〝こんな見せ方で、こんな彼らも知ってもらいたい！〟と、〝絶対に来る！〟と確信していた編集担当の熱意と、彼らの実力を信じたあの頃。そして今。こうして大勢のオーディエンスの前で4人自らの強い力で、会場を彩っていくその様を見ていると、感慨深くもあり、誇らしい気持ちにもなる。

76135人——。このツアーに参加したオーディエンスの数である。このツアーに参加出来なかったが、シドの音を愛しているという人を合わせたら、更にこの人数は増えるだろう。こんなにも、彼らを支え、共に歩いてくれる人が出来たのだ。ここからの彼らを支えていってくれるのは、他の誰でもない、彼らの音を愛してくれるファンたちだ。そして彼ら自身だと私は思う。

インディーズラストのライヴをやったこの場所から、彼らは更なる一歩を踏み出そうとしている。そう感[illegible]。頑張ってほしい。でも、[illegible]までも、この4人で音を出そ[illegible]まって、多くの人にシドを知ってもらおうと一緒にもがいた〝あの頃〟を忘れないでほしい。あそこがシドの原点だから。

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

Kra

Personal Feat.#3 靖乃

続けていれば大丈夫

トレードマークのピンク色の髪に、ライヴで見せる派手なドラム・ソロ、いかにも目立つことが好きそうな靖乃だが、そのスタイルは徐々に変化を遂げている。そこには、バンドの成長だけでなく、彼自身の内面の成長があった。Kraのメンバーとして、じっくり進めて来た歩みを語るパーソナル・インタビュー。ただし、今もあくまで派手好きな面に変わりがないということは、某キャラのコスプレに挑んだ写真を見てもらえれば一目瞭然です（笑）。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI (SHOXX)
Hair & Make-up:YUKA UMINO(PS COMPANY)
Interview:MIYUKI MURAYAMA

くことも必要かなっていうの[illegible]自然に出て来てる、みたいな。前まで[illegible]何をやるにも自分がやりたいことが先にあって、[illegible]周りと合わなくて軋轢があ[illegible]が勝手にフラストレーションを[illegible]ような気がするんですけど、今[illegible]がなくなって来てますよね」

——軋轢とかフラストレーシ[illegible]感じなくなったのはどうしてで[illegible]

「自分自身も何でもかんでも出さんでもいいのかなって思うようになっ[illegible]と言うか。前までは全部出さへんと分[illegible]ってもらわれへんみたいな強迫[illegible]もあった[illegible]し、考えてることを全部出さないと[illegible]がすまへんって感じもあったんで。でも[illegible]やっぱりそうもいかないし、押し売りするのをやめた感じなんですよね」

——派手にしたいという好みが変わったわけではないんですね。

「特に変わってないですよね。動きとかはどんどん派手になってるし。ただ、見た目を派手にするより、違うところを派手にするほうが楽しくなって来たと言うか。そのベクトルは一緒なんですよ。派手なことしたい！っていうのは変わってないんですよ」

——ドラム・ソロで目立つとかそういうのじゃなく、違うやり方をすると。

「単純に、ドラム・ソロをやらせてくれないバンドですしね」

——でも、初期はやってましたよね？

「見た目と一緒で、自分自身が目立ちたい、やりたいことを全部やらせてくれって感じやったので、結構ゴリ押しで無理矢理にでもやってたんですよね。でも先輩方のライヴをいろいろ観せてもらったり、ドラマーの友達のバンドの音を聴いたりして、より歌を立たせてるなっていうのを感じて。ウチも景夕がちゃんと歌えるヴォーカルで、歌モノをやってますって言うんだったら、ドラム・ソロはなくてもいいかなって。そういう変化は、あんまりネガティヴな方向ではないんですよ。より音にフォーカスしたプレイが出来るようになれてると思うし、自分の中での方向性はブレてる意識はないです」

——自己主張はあくまでしてると。

「出す方法論が変わっただけで。それに、ドラム・ソロとか見た目とかのアピールは一通りやったから、それをずっと焼き直し続けてもなって思うし。そういう意味では、このバンドにメンバーとして属

——改めて、ピンク色の髪を辞めた理由を聞いてみたいと思ったんですよ。

「元々、年齢的な区切りで辞めようかな、くらいでおぼろげに思ってたんですよ。その前に、メジャー1行ってすぐぐらいのツアーの初日に（事務所）社長からいろいろ提案があって（苦笑）。それでその日の夜のうちに金髪に変えたんですね。それから1回ピンクに戻してるんですけど、バンドのトーンとしても、今みたいにカジュアルな感じに変わって来たし、バンド全体の意向としてもそう（ピンクじゃない方向）なんだろうなって」

——髪の色が変わって、キャラとか見せ方が変わったところはありますか？

「バンド全体が何かに追い立てられてる感があったのがひと段落したタイミング

リラックスできたと言うか。無理なものは無理やし…って言えるようになったし、より楽器とか音楽に集中できるようになったと思いますね。前までは衣裳とか髪の色とか、ライヴでステージに向かうまでの自分に対する儀式とかが細かくあったのが、多少のことがあっても動じなくなったし。どんどん中身がリラックスしていってて、その結果が今のヴィジュアル・イメージに繋がってるのかなと思いますね」

——一個人として、歳を重ねて来たことで変化があったり、大人になったというところもありますか。

「元々が派手好きなので、今回の撮影もそうですけど、自分個人としては派手なことがやりたいことはもっといっぱい

www.shanghaidz.com
蝴蝶网 hudie.com

た目も曲調も。そのメンバーとしてやってるので、結構やりたいことをやれてますよね」

――そこで自分自身を振り返ると、成長してるなと感じます？

「そう…かもしれないですけどね。でもどうかな？　未だに火がついたらすぐ炎上するので（苦笑）。ただ、沸点は上がったような気はしますね。一通り思い通りにいかへんことばっかりを経験すると、多少の挫折的なものには動じひんくなってると言うか。それに打ちひしがれて停滞するよりは、あの手この手でメイクアンドトライに3日費やすほうが大事、みたいな。そういう人間にちょっと変わって来てるんじゃないかなって。そこは一応大人になったと言えるポイントって気はしますけどね」

――確かに大人な対応の仕方ですよね。

「Kraって、なるようにならないバン

なかったバンドって言うか。それと共にメンバー4人が図太くなったと思うんですよ」

――それは自分自身も？

「なりますよね、やっぱり」

――ならざるをえなかった？

「どっちもがあると言うか。なったから続いてるし、続いてるからそうなって来たし。この8年ずっと変わらず経験して来てる4人やからかなって気はしますね」

――長くやればそんな風になるだろうというのは、結成当初は考えてました？

「全然考えてなかったって言うか、逆にそんなに打ちひしがれる自分たちを想像してなかったって言うか。もっと順風満帆に行けるもんやと全員が思ってたと思うんですよ。自分個人としては、PS COMPANYと関われたことで、大袈裟な表現かもしれないですけど、無限の

打ちひしがれて停滞するより、メイクアンドトライに費やすほうが大事

これで俺、何でも出来るって。でも開けてみれば、待ってるだけで与えてもらえるものじゃなかったですけど。やっぱり楽観視してた気はしますね」

――実際には楽観視してたようにはいかなかったかもしれないですけど、今はメジャー・デビューもして、ホールでもライヴをしてるわけじゃないですか。

「本当に牛歩ですけどね（苦笑）」

――それぐらい遅く感じていると（苦笑）。じゃあ、これまでに思い描いていた予定を軌道修正するようなことはありました？

「自分個人としては、いろいろズラしていったところはありますね。この年にはこうなってたいなっていうのがあっても、往々としてならないじゃないですか（苦笑）」

――そうやって来たからこそ、今のKraがあるというのも大きいと思うんですけど。

「だから、今こういう話をも笑いながらしてるんじゃないかとは思いますけどね。これまでに、上手く進まないから辞めるねって言って外れて行く人間がいなかったから、今ここにおるのかなとも思うし。正直、自分自身もですけど、舞ちょ以外の3人は〝このバンドを辞める〟っていうのを言ったことがある人間なんですよね。でも、それでもずっと続いて来たから、今こうして笑って喋れてると思うし、今安心感を持ってステージに上がれてるんだろうって思いますね」

――これから先、10年目に向けて、また新しい夢が見えて来たりはしていますか。

「単純でいいなら、もっと大人数で、キャパシティのデカいところでライヴが出来ればいいなっていうのはあるんですけどね。特に今年はツアーらしいツアーが廻

トア・イベントとかでもいいんですけど。どんな理由でもいいんで、もっといろんなところに細かく行ければいいなって。それをこれからの2年の間に形に出来たらいいなって。ただ、8年やって来たから10年ってサクッと来るのかなと思いきや、いろいろハードルがあると思うんで。なかなかどうしたものかなって感じなんですけど（笑）」

――個人的なところでは、この歳になる時にはこうしてたいとか、そういう風に考えていることは？

「今、自分自身がリラックスしてステージとかに挑めてるんで、これをこの先もより普遍的に続けて行けるようになるために、パーソナルな人間としてもうちょっと安定していたいっていう欲求はすごく出て来ましたね。例えば、同じ年の人間には家族がいたりするし…。この間の結良のパーソナルのインタビューの

言ってカッコつけるバンドじゃないんで言っちゃいますけど、（家族を持つことも）やっぱりそら考えまっせ、みたいな（笑）」

――人生とか生活の基盤があるといいなということも考えると。

「やっぱり家族みたいなものをイメージし始めるんやなぁ、みたいな。特に今すぐどうこうっていうことでもないんですけど」

――そういう人間臭いところも、Kraというバンドの中ではアリだとも思いますけどね。

「いちばん始めにイメージしてた自分の将来像との誤算はこれかもしれないです（笑）。こんなにリアルなバンドになるはずじゃなかったのに！　あれ、俺らってカッコつけたくてバンド始めたのでは…？みたいな。そこがいちばん誤算かもしれないです（苦笑）」

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

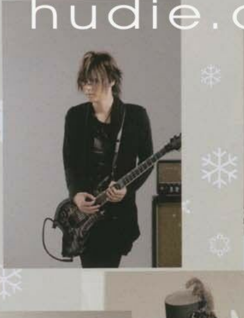
ヴィドール

冬を彩るシングル『EVE』リリース!

“律動”と“旋律”と

12月2日発売のヴィドールのニュー・シングル『EVE』。タイトル曲は、別れの前夜の切ない感情を歌い上げたロマンティックな一曲。とは言え、ただ切ないバラードではなく、新しいプロデューサーを迎え、より良い曲を作り上げようとする意欲作となった。すでにアルバムも制作中ということで、留まることなく進化し続ける姿は、1月23日に渋谷C.C.Lemonホールで目にすることが出来るだろう。

Photography:SAWAE HARA
Interview:MIYUKI MURAYAMA



——「EVE」は、冬のバラードというイメージもありますね。

ジュイ：自分ではバラードだとは思ってないんで、バラードっぽい歌い方はしてないんですよね。僕の中では、バラードとは全然違って、どっちかって言うとバンド・サウンド的なイメージを持ちつつ作りましたね。

——みなさんはどういう意識で制作に臨みました?

ラメ：曲の良さをいちばんに引き出そうっていう意味合いで作っていきましたね。楽器でどうとかバンドでどうとかって言うより、曲の良さ、メロディの良さを引き立たせて仕上げようっていう感じです。プロデューサーさんも新しくURUさんっていう方にお願いしたんですけど、そういうニュアンスを強く出す人だったんで、新しい手法で取り組んだ曲ですよね。

——新しいプロデューサーと関わったのは、どういう意向で?

ラメ：曲が決まってから、メンバーと周りのみさんの意見で。そういう新しい形で取り組んだ、ヴィドールの中では新しい形の曲ですね。

——プロデューサーが替わり、これまでと違う部分はありましたか。

ギル：ありますね。プロデューサーさんから返って来たデモの段階で、原型とは全く違う形になってるんですよ。そこに入っていたピアノを優先するために、その前に考えてたギターを全部作り替えたんですね。サウンド面もそんなに主張する音でなく、混ざって奥で広がる感じっていうのをテーマにしたんで、難しかったですね。

シュン：僕は今までと100%違うっていう感じでしたね。(プロデューサーから)返って来たものの全体の雰囲気とか空気感が違っていて、ギターが出しゃばる感じじゃなくて、馴染んだり混ざるような感じに乗せていったんで、アレンジ的にはいつもと全く違う感じです。

——ベースも違って来ました?

ラメ：僕もそうですね。ロックと言うよりポップスみたいな捉え方で、ノリを出すっていう感じで弾きました。目立つと言うより、ノリを出すことをいちばん重視して、曲を支えようと思いましたね。

テロ：チューニングも今までと違った感じで生音っぽく作って、その音とベースが絡み合って混ざった後にドラムのループを入れて、また違ったドラム・サウンドを作り上げてます。その辺が今までと全然違いますね。

——原曲を作った立場としては、プロデューサーから返って来たものへの印象はどうでした?

ジュイ：今まではプロデューサーに投げても、そのまんまだったりすることが多かったんですけど、この曲は違う反応が返って来て、すごく面白いなって思ったんですね。原曲のほうがもうちょっと悲しい感じだったんですけど、疾走感があって、バラードじゃない方向に持って行くっていう狙いがはっきりしたんです。悲しいんだけど、その悲しさをポップ感と織り交ぜる感じで、刺みたいなのが削られて。

——それを聴いて、バラードっぽく歌わないでいこうと思ったんですか。

ジュイ：それはレコーディングの直前ですね。いろんな歌い方を試してみない?って言われたんですよ。今までだったら、大勢のお客さんに対して、みんなが共感できるようなって言うか、ライヴハウスの中に500人がいるとしたら、その500人全員に届くような歌い方をしてたけど、マイクに向かって、たった一人の人にその言葉を伝えるとしたら君はどうする?っていうところから始まって。そしたらやっぱり歌い方も変わって来たんですよね。曲の中で伝えたいことって1個でいいなって思ったんです。その1個のことを、全員に伝える必要もないし、たった一人に伝えることが出来たら、それはそれでいいんじゃないのかなって。

——多くの人に分かりやすく、という方法論ではなく。

ジュイ：それは結果的にでいいと思うんですよ。伝えたい時って、たった一人であったり、対象って狭いと思うんですよね。しかも伝えたいことは1個だけだと思うんですよ。それでいいかなって。それで結果的に、みんながこの曲いいよねって言ってくれたら、それでいいかなって思うんです。それがこの曲では出来たんで、嬉しかったですね。

——カップリングが、ギルさん作曲の「思春の痕~love me,hug me~」ですね。

蝴蝶网 hudie.com
www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

[illegible]てるっていうのを考えたんですけど、これは珍しく歌メロから作ったんですよ。それで、アレンジはロックンロールっぽく。楽器隊は、細かいチマチマしたことじゃなくて、ドカッと、全員同じようなことでシンプルに出す、みたいなことをしたかったんです。

ラメ：僕は思い切り主張させてもらってます。違うジャンルっぽいベースを取り入れてみたり、みんなでノリを出すとこはロックンロールっぽいベースを弾いてみたり。「EVE」とはうって変わって、いろんなバリエーションを取り入れてます。

テロ：これは完全に自由に叩きました。AメロもBメロもサビも、1回1回フレーズを変えたりして。完全に遊んでます。

――「EVE」とこの曲で、楽器隊は違うところを出そうと？

ラメ：曲の違いもありますけど、プロデューサーさんの違いもあるんで、それは出てますよね。

――曲調も違えば、歌詞もガラッと違うので、当然歌い方も変わって来ると思うんですが。

ジュイ：曲を聴いた時に、〝ロックンロール〟っていうイメージを受けて。だから、そういう刺のあるような歌い方を心掛けてみました。思い切りやったテイクを聴いてみたら、結構汚いなって思ったんですけど、その汚さと言うか泥臭さみたいなのを残していった感じですね。歌詞も思いっ切り字数を詰め込んで、言葉が先行するような感じにして。何が正しいんだか分かんねぇみたいな、10代の頃にノートに書いてそうなことを歌ってます。

――まさに〝ロックンロール〟にハマる歌詞ですよね。

ギル：バッチリです。歌い方もバッチリです。

ジュイ：ただ、この歌詞を見ると、今の自分からすると、〝コイツ、まだ分かってねぇことも多いな〟って感じですよね。

――そこがまさに思春期の感じで。

ジュイ：そういうのを出したかったんです。

――通常盤に入る曲が、シュンさん作曲の「Promise」ですね。

シュン：これは、シングルにしようと思っ[illegible]ディからってことはないんですけど、歌いながら作った部分もあったりして。いつもだったらバックを全部作って、メロディはジュイくんに投げるんですけど、今回はちょっと違う感じでした。

――シングル曲みたいなイメージは、みなさんが原曲を聴いた時にもあったんですか？

ラメ：そんなに歌メインっていう感じで僕はやってなくて、自由にレコーディングさせてもらいましたね。手グセのオンパレードです。だからこの3曲の中でいちばん自由に弾きましたね。

テロ：「EVE」よりも自分らしさを出した感じって言うか。今までシュンの作った曲って激しい系が多かったんで、そういうニュアンスは音に出しながら、サビとかも結構アグレッシヴに叩いてます。

ギル：曲調は激しくはないですけど、曲から、それでこそシュンさんっぽいなって感じるところもありましたね。ただ、あんまりギターが主張しすぎないようにしました。それはちょっと違うかなって思ったんで。

――歌い方で意識したところは？

ジュイ：コード進行的にフレンチポップっぽい要素を感じたんで、ちょっとイヤらしい感じを出せればいいのかなって。ちょっと切ない感じって言うか。内容的には、ワケありの恋愛みたいな感じですよね。周りの人から見たら、そんな恋愛やめなよって言われるような恋愛なんですけど、その感情だけを出せたらいいなって。だから結論は特に出さないで、濁すような曖昧な感じで終わらせてます。やっぱりこれも、伝えたいことを1個にしたかったんですよね。

――歌詞の書き方が、最近はそういうモードになってるんですね。

ジュイ：楽曲を作るペースも早くなって来てるし、1曲の中に伝えたいことを1個にして、それをどういう風に伝えたいのかを前提に考えようかなって。〝好き〟って言葉を伝えたいんだったら、とりあえず好きって言葉を突き詰めようって。そういう書き方に変わりましたね。

――その辺りも含め、現在制作中というアルバムも期待してます。

ラメ：絶賛制作中です！

www.shanghaidz.com

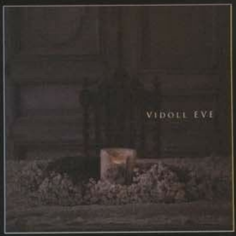
【ライヴ・スケジュール】12月28日・心斎橋ビッグキャット（イベント）、31日・渋谷C.C.Lemonホール（イベント）、1月23日・渋谷C.C.Lemonホール。FC限定ライヴも決定。12月9～10日・名古屋ell.FITS AL[illegible]25～26日・渋谷BOXX、1月18日・心斎橋ビッグキャット。http://www.vidoll.jp/

蝴蝶网 hudie.com

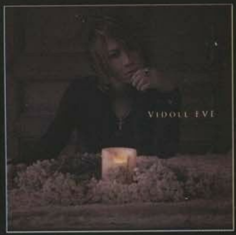
NEW SINGLE

EVE

初回限定盤A《CD+DVD》
CRCP-10234 ¥1,800



初回限定盤B《CD+BOOK》
CRCP-10235 ¥1,800



通常盤《CD3 曲入》
CRCP-10236 ¥1,260

2009.12.2 RELEASE

「EVE」ご購入者にスペシャルイベントを実施! 詳しくはオフィシャルHPまで!!
※ 特典には数に限りがございます。ご予約はお早めに

着うたフル(R)配信中!!

NEW ALBUM「Monad」
2010.1.20 RELEASE

2010.1.23 (sat) Shibuya C.C.Lemon Hall

VIDOLL LIVE 2010 "Monadism"

[OPEN] 18:00 [START] 18:30

チケット発売中!

[ADV] ¥4,500 (税込/全席指定)
[TICKET] チケットぴあ 0570-02-9999 (P コード:338-871)
ローソンチケット 0570-084-003 (L コード:77728) / e+(http://eplus.jp)
[INFO] HOT STUFF PROMOTION 03-5720-9999

FAN CLUB『人形館』主催
「反命党」TOUR決定!!

12.9 (wed) 10 (thu) 名古屋 ell.FITS ALL
12.25 (fri) 26 (sat) SHIBUYA BOXX
1.18 (mon) 大阪 BIG CAT

OFFICIAL WEBSITE WWW.VIDOLL.JP

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com
www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

D feat.ASAGI

Wish a happiness tomorrow than today

前作『Tightrope』に続くシングル『Day by Day』が、早くも12月2日にリリースされる。
分を取り巻く状況に対して、強い気持ちが込められていた前作に対して、「Day by Day」の中では優しい世界観を打ち出しているASAGI。
メジャー・デビューしてから約1年半、怒濤のごとく駆け抜けて来た
今、彼は何を想うのか——久々のパーソナル・インタビューで、Dの現状と心情を探る。

Interview:KYOSUKE TSUCHIYA

移して、早1年半が経ちますが、それまではマネジメントからレーベル運営に至るまで、自分たちで全てやってきたバンドでしたから、環境はガラリと変わったと言ってもいいですよね。率直なところ、今はどのように感じていますか？**

ASAGI：そうですねぇ……やっぱり、初めてDを知ったみたいな声を聞くと手応えを感じますよね。インディーズで活動を続けていたら、きっと耳に触れることはなかっただろうなという人もファンになってくれたり。例えば、以前は出られなかったような大きなイベントに出演させてもらえる機会もあったり、ラジオやテレビもそうですね。そういった点では、メジャーの力は凄いんだなと思うところはあります。ホントに何日か前の話なんですけど、街中で年配の女性から〝ASAGIさんですよね？〟なんて声をかけられて。娘さんとテレビを観ていただいてたみたいでね。

——そのメジャーならではのプロモーション力については、戦略立案にバンド自身も大きく関わっているんですか？

ASAGI：もちろん、こういうイベントに出たいといった話を持ちかけたりすることもありますし、全く関わらないわけではないですが、わりとお任せしている部分も大きいですね。

——逆にメジャーでのやりにくさを感じることもありますか？

ASAGI：自分たちでも1～2年後を見据えてスケジュールを組んでいましたし、最初は戸惑いはありましたけど、改めて考えてみると、しょうがないことかなと思うんですよね。その当時もやりたいことはたくさんあったんですけど、メンバーの思っていることを、上手に伝えられなかったとすれば、噛み合わなくて当たり前なのかなって。だからなるべく、今はその辺、自分たちが思っていることを、分かってもらえるように話していきたいと思いますね。人と人ですから。

——かなりのことを自分たちで実現してきたバンドですから、それ以上のものを求められるレコード会社等にすれば、当初は相当、扱いにくいバンドだったんじゃないかなとも思うんですよ（笑）。

ASAGI：そうなのかもしれないですこのぐらいはやってほしいといった気持ちはすごく強かったんですよ。それを具体的に言ったこともあるし、思っていることを全ては言わなかったこともあるんですけど、少しずつ考え方も変わってきたんですよ。所属することになったり、契約することになったりしてるってことは、Dのことを好きでいてくれてるからだと思うんですよね。だけど、会社という組織の場合、単純にそういった個人々々の気持ちだけでは動かせないことも出てくる。だから、あまり無茶なことは言わないでおこうと（笑）。とはいえ、まるで任せっきりなわけじゃなくて、自分の意思や方向性はちゃんと伝えたうえで、それが出来るか出来ないかという判断などの部分で任せようということなんですけどね。

——実際のところ、具体的にやりたいと思った物事は様々にあるわけですよね。

ASAGI：はい。その一つがチャリティー・ライヴだったんですよ。それはこの前の横浜スタジアム（9月26～27日開催の、世界の水問題を考えるイベント「Think the water. Feel the music. LIVE for LOVE We support WaterAid」）で実現しましたよね。それについてはすごく感謝もしていて。参加できたこと自体にもすごく手応えを感じましたし、自分たちの音楽をそういった場で披露できたのも嬉しかったですし、改めてこういった活動を今後もやっていきたい気持ちになりましたしね。そういった意味では、この1年半で信頼関係みたいなものは出来てきたんじゃないかなと思うんですよ。今の時代、ガッツリと宣伝したからといって必ずしも数字に表れるわけでもない。それなりの実力や伝える力、惹き付けるものがバンド側になければ、いくら宣伝しても結果がついてこないと思うんですね。だからといって何も宣伝しなかったら、それこそ全然広がらないですけど、客観的に（バンドを取り巻く状況を）見ていきたいなぁって。いい曲を作って、いいライヴをする。やっぱりそれがいちばんだと思いますからね。目の前のことから一つずつやっていく。足下を見失うと、上手くいくはずのものもいかなくなってくると思うんですよ。

——バンドの基本に立ち返ると。

今、原点を見つめ直す時期

略だったりもすごく考えてやってはきましたし、そういうことを全くしないわけじゃないですけど、原点を見つめ直す時期なのかなって最近は思いますね。やっぱり人間同士なので、出会って何ヶ月というのでは、お互いになかなか理解できなかったりもしますし、そこは繰り返す中で、何も言わなくても、分かってもらえる部分は増えていくと思うんで。

——「Tightrope」の歌詞に対しては、どんな反応が返ってきていますか？　というのは、非常に具体的にメッセージが投げ掛けられていたと思うんですよ。それまでのASAGIくんのスタイルとは違うものを感じましたしね。

ASAGI：反応としては、自分たちが本気で思いっきりDというバンドをやっていることが、さらに伝わった感じですね。そこで何か触発されたんだと思うんですけど、〝自分も本気になれることを探します〟といった声はありましたね。

——ただ、なぜあのような内容の歌詞を書いたのか、そこも興味深いですよ。

ASAGI：自分が〝こう表現したい〟と思う気持ちが強まったのだと思います。いろいろと壁にぶつかることもあったり。もちろん、またぶつかることもあると思うし、それは何の仕事でも同じなんですよね。ただ、そんなことを考えて、ああだこうだ言う前に、自分を磨いていくことがいちばん大事なんじゃないかなって思うんですよ。

——でも、なぜあの時期だったんでしょう？　例えば、メジャー進出してから半年後といった時期に出てくるなら、流れとして分かりやすいと思うんですよ。

ASAGI：そうですねぇ……もちろん今も必死なのは変わらないですけど、たぶん、その中で積み重なってきたもの、吐き出したい想いもあったんだと思うし。ただ、「Tightrope」が出来たことで、自分自身を奮い立たせる、自分自身を見つめ直すキッカケにもなったんですよ。

——たまたまその時期に言葉に出たと。他のメンバーも大絶賛していましたが、今までの歌詞についての各々のコメントは、小説や映画の感想を言うのと同じような言葉だったと思うんです。だけど、「Tightrope」に関しては、みんな〝これたようなものの言い方でしたよね。

ASAGI：言ってましたね（笑）。この歌詞を渡した時、みんなスタジオでの力の入り方もすごかったですよ（笑）。感情を音で表現するというところでね。そんなふうにして絆が強まったり、そういった結果を生み出せた曲になったんですよね。だから偶然かもしれないけど、そういう時期だったのかなとも思います し、活動を続ける中で、みんな思うところはあっただろうし。自分たちだけでやってた時は、全てが自分たちにダイレクトに返ってくるじゃないですか。そこにやり甲斐も感じてましたけど、その環境が変わったことで、上手くいかないことも出てくる。でも、さっきの話と同じになりますけど、自分たちに全く責任がないわけじゃなくてね。

——それを自分の中に押さえ込むのも精神的に健全とも言えないですから、そんな時に、期せずして、同じようなモヤモヤした想いが一気に共鳴したような。

ASAGI：そういうところはありますね、正直。「Tightrope」をスタジオで合わせたりするようになって、メンバーの表情もより活き活きしてきたんですよね（笑）。それがお客さんにも、スタッフにも伝わって、結果を出していく……やっぱり自分たち自身がテンションを上げて、いい楽曲を作り、いいライヴをやっていかないと何を言っても説得力はないし、結果もついてこないですしね。

——実際に「Tightrope」にはワクワクするような、今までの楽曲で受けた印象とは別の種類の爆発力がありましたよ。

ASAGI：そうかもしれないですね。メジャーになってからは、どうしても以前と同じようには、頻繁に連絡を取らなくなる関係者の方も増えてきますよね。でも、「Tightrope」を出したら、例えば2年ぶりぐらいに連絡をくれる人もいて、〝頑張ってる姿が伝わってきた。〟〝これからも応援したい〟なんて言ってもらえて。すごく嬉しかったですね。実際、「Tightrope」をライヴやリハでやるようになってから、あまり小さいことを気にしなくなってきたんですよ。クヨクヨしてても、時間がもったいないなって（笑）。本来あるべき自分に戻れるという当時の気持ちを思い出すこともあるだろうし……未来に繋がっていく曲になったのかなと思いますね。

——そんな中、予想していたよりも早く新たなシングル「Day by Day」の発売が発表になって、驚きましたが（笑）。

ASAGI：ははは（笑）。「Day by Day」自体は「Tightrope」と同じ時期に作ったんですよ。当初は（9月にリリースする）シングル候補として、僕はこの2曲を持ってきて、それが結果的に2枚のシングルに分かれることになったというか。自分の中にはいろんな感情があるんですよね。「Tightrope」で言っていることも、「Day by Day」で歌っている平和を求める気持ちも本音だし。

——明らかに対比的な曲なんですよね。

ASAGI：はい。でも、実は同じ日に歌録りはしたんですよ。気持ちの切り替えはすごくしましたけど、「Day by Day」はすごく素直になれる曲だなぁと思ってて。いろんな経験を乗り越えたうえで、平和を望む気持ちだったり、そういう感情がより強まってきた部分もあって。柔らかな気持ちになってくれる曲になってくれればいいなって思うんですよね。少しでも共感してくれたとして、世界平和とか大きなことじゃなくても、例えば家族の喧嘩が一回でも少なくなったとか、そういうふうに結果として何か影響が与えられたらなぁって。少しでもみんなに変化があれば、それだけでもやり甲斐があるなぁと思いますしね。

——詳しくはまた次号で伺いますが、12月の東名阪ツアーでは「Day by Day」も披露されることになると思いますし、偶然にも同時期に生まれ、発表時期が分かれた2曲が、結果的にここでまた意図せずして一つになるのも面白いですね。

ASAGI：ええ。「Tightrope」に伴うライヴではありますけど、『見えない力が　今　私を動かす』というツアー・タイトルは、「Day by Day」に通じることでもあると思うんですよ。自分がどう動いていくべきなのか。自分本位ではなかなか正確な判断が出来ないこともあるんですよね。そんな想いを込めた言葉でもありますし、どういうライヴになるのか、自分たちでも楽しみですね。

【ライヴ・スケジュール】12月4日・心斎橋ビッグキャット、11日・名古屋ボトムライン、20日・中野サンプラザホール、31日・渋谷C.C.Lemonホール（OTE'09）。http://www.d-gcr.com/

蝴蝶网 hudie.com

アーティストとして伝えたいこと――それは〝継承〟していきたい

Versailles

Philharmonic Quintet

Before opening "JUBILEE"

10月25日、幕張のステージに立ったVersailles。
どんなに多くのファンが心待ちにしていたであろうこの夜のステージには、"彼"の姿もあった――。
突然の悲報が届いてから、音楽を奏でる意味をも見失っていたというVersaillesが、
幕張のステージに立つまで、中断していたアルバム制作を再開するまで、音楽に再び向き合うまでの心境の変化を、
そしてJasmine Youへの想いを、KAMIJOに訊いた。

Interview:RINGO AOMORI

蝴蝶网 hudie.com
www.shanghaidz.com

蝴蝶网 hudie.com

——“V-ROCK FESTIVAL”にて久々にステージに立った感想を聞かせて下さい。

「立つ前からだったんですけど、Youくんが伝えたい気持ちだとかの使命感もありつつ、何よりもライヴという時間で僕たちと同じ気持ちでいてくれてるファンのみんなに会いたかったっていうのが、正直な気持ちです。もう、凄く寂しかったんですよね。だからその当たり前の時間が恋しくて仕方なくて、それでステージに立って…1小節1小節、1音1音をかみ締めてその場にいられたことは、素晴らしい時間でした。でもやっぱり、今までとは違うんですよね。でも僕らも変わらなかったらいけないと思ってたし、変わって当然だと思ってたんですよね。ただ、今回は追悼ライヴではないんで、“V-ROCK FES”という大きな舞台に出させていただく上で、自分たちがやるべきことを純粋に考えましたね。あと、「ASCENDEAD MASTER」をやろうっていうのは絶対的に決めてました」

——それはなぜ？

「8月[illegible]日にYouくんが体調不良で出演できなかったライヴがあるんですけど、「ASCENDEAD MASTER」はYouくんと一緒にやりたかったのでその日はやらなかったんですよ。それもあって今回は、今やらなかったら一生やらなくなっちゃう、Youくんのためにも“5人のデビュー・ライヴ”という認識でセットリストを組みましたね」

——[illegible]側からすれば、どうしても追悼の意味合いを持ってしまう日でもあったと思うんですよね。

「もちろんあると思います。でも意識的に、あの日はYouくんのことを想わないことにしました。“5人で一緒に立ってる”っていう気持ちを大事にしたくて。あの場は、“想う”んではなくて“一緒に”という気持ちでやってましたね。どの曲だったか忘れちゃったんですけど、無意識にベースをぎゅうっと抱きしめてた自分に気づいてビックリしましたね」

——Youくんがそうさせたのかな。

「いやぁ…そうしたかったんでしょうね(照笑)。そういった素直な気持ちもファンの子の目の前で、ライヴっていう空間じゃないと出せないんですよね。悲しいし、みんなに会えたことは嬉しいし…っていう感情を出せる喜び。それは思いっきり感じましたね」

——そもそも、“V-ROCK FES”に出演することを決断した決め手は何でした？

「ん～…何だろう？　やっぱり、まずファ…たし、Youくんだったらこんな面白いことを逃すわけないだろう、みたいな感覚ですかね。“V-ROCK”出演の話に関しては、一度発表されてから、僕らもギリギリまで考えさせていただいたんですけど、それ以前が僕的にはもっとツラかったですね。Youくんが亡くなってから、メンバーで会ってもいたんですけど、“スタジオに入ろうよ”とかなかなか言わないし、実際入らなかったし、バンドの具体的な話なんて何も出ないんですよ。ただみんな友達として一緒にいるっていう。その中で……YUKIくんとか“Youさんのために早くやろうよ”って言ってて、TERUくんも“頑張らないといけないですね…”って感じで」

——Youくんの悲報があってから、しばらく後の8月末頃、ブログを書いていたメンバーもいましたね。

「それより前のことですね。でもそんな中、僕がいちばん最後まで“頑張ろう”って言い出せなかったことが情けないですね。本来だったら、僕がいちばん初めにリーダーとして言わなきゃいけなかったのかもしれないですけど……真面目に音楽をやるのが、その時はすっごく怖くなりました。デビューして1ヶ月足らずの物凄く忙しい時期にYouくんが亡くなっちゃって…まるで、この忙しいスケジュールが人の体調を気づかせられないものになっていたのかなとか、いろいろなことを考えてしまって。とにかく真剣にやるっていうことが怖くなってしまったんですよね。それが徐々に使命感に変わっていって、最終的には立ち上がれたわけですけど…。人が亡くなるということの大きさって物凄いことだと思うんですけど、自分は幸せなことに両親も兄弟も元気ですし、身近な人を亡くしたのって、幼い頃の祖父祖母ぐらいだったんですよね。だから、“死”というのを理解するのにも時間がかかりましたし、こんな悲しみも知らずに俺は歌ってたのかっていう自分の未熟さ…歌い手として認識していなければならなかったことって、いっぱいあったんだなって。それに気づいた時に、自分が恥ずかしくなりましたね」

——そんな4人を奮い立たせたものは何だったんでしょう。

「…Youくんの気持ちですかね。ホントにずっと、泣いて吐いての繰り返しの日々で、自分たちの写真を見ることすらダメだったんですよ。もちろん、今でも完璧とは言えないですけど、だいぶ強くなれたと思いますね」

——では、ヴェルサイユとして再び動き始めた時、まず何から始めました？

「何からだったかな…バラードの歌録りですかね。その前にリハに入ったかな？」

——いったん制作を中断していたアルバムをまずは仕上げよう、という気持ちだったんでしょうか。

「Youくんのお別れ会を9月22日に行なったんですけど、それを終えてから全て決めたんですよ。そしたら、やらなければいけないこと…それは仕事的にと言うより、自分たちの使命としてのことが一気に降りかかってきて」

——現実に引き戻されたような？

「現実と言うより、もっと精神的なところで、“これはこういうレベルで、こういう気持ちを込めてやりたい”っていう自分たちの想いが出てきて。それでレコーディングだったりリハーサルであったりを一気に始めましたね。アルバムの大半はYouくんが亡くなる前に終わっていたんですけど、やっぱりヴェルサイユなので“生と死”とか歌詞に出てくるので、そういう歌詞を書き直そうかっていう話も出たんですね。でも、それもやめました。Youくんが生前、“良い”って言ってくれた歌詞は全部生かしてます。全部は録りきれなかったんですけど、Youくんが弾いてくれたところは全部生かして、当初から今回のテーマである“継承”ということを前提に制作していきました」

——アルバム制作を再開してからまとめた曲や詞もあるんですか？

「あります」

——それらは、当初の構想から変わっていったものもあります？

「Youくんって、作詞も作曲もしないですけど、アーティストとして“こういうことを伝えたい”“こういう力になりたい”っていうことは明確に持っていたんですよね。それをしっかりと、Youくんの音が入ってるアルバムの中で伝えたかった。ただ、追悼アルバムにはしたくないので…“遺作”にはしたいですけど。だからその意味で、“どの部分”ということは明言しないでおこうと思うんですが、Youくんの気持ちは歌詞の中にもちゃんと言葉にしました。Youくんが亡くなってしまったことによって僕が手に入れた言葉は、“心の鍵”っていうキーワード。心の鍵を開けるような、心の鍵になるような薔薇になりたいなと。『Lyrical Sympathy』がストーリー時間軸の原点だとしたら、『NOBLE』という…そして今回の『JUBILEE』は、『NOBLE』より大きな意味で、外へ向けた継承…それは例えば、継承するからには心開かなければいけないし、それがどういった形で継承されるのか、その方法であり儀式であり式典であるのが、1月20日発売のデビュー・アルバム『JUBILEE』です」

——アルバムの詳細については、メンバー揃っての取材でお伺いしますが、現時点での感触はいかがですか？

「最後の1曲、今歌詞を書いてるんですけどね…10分半あるんですよ。僕の曲なんですけど…本格的に、ワケ分からない領域に入ってしまいました(笑)。全体的には、特に何か意識的に変えようとしたつもりはないですし、ただ様々な面で完成度は上がったなと。『Lyrical Sympathy』は初めての作品だっただけあって、物凄く魂が込められているんですね。そして『NOBLE』という大きな作品を経て、それらの総合的なヴェルサイユとしての城の拡大は果てしなく出来ていると思いますね」

——2010年に入ると、1月4日のライヴを経て、本格的に再始動ですね。

「今回、デビュー・ライヴとして“V-ROCK FES”に出ましたけど、まだスタートしたとは思ってません。やらなければいけないこと…Youくんと一緒にデビューしたかったし、“V-ROCK”ではYouくんのことを意識的に考えずに歌っていたので、まずは1月4日、すっごい喜んでもいいし泣いてもいいし、思いっきりYouくんのことばっかりを想ってライヴをやりたいですね。その後がスタートだと思っています」

SHOXX読者先行抽選予約受付!!

[World Tour 2010 “Method of Inheritance” -APOSTLES-]の、SHOXX読者チケット先行抽選予約が決定しました!

【抽選受付URL】http://eplus.jp/ver-shoxx/
【受付期間】11月24日(火)～12月2日(水)
【枚数制限】お1人様1公演につき4枚まで
【チケット料金】4,500円(大阪御堂会館・東京JCBホール以外は、入場の際に別途ドリンク代500円が必要になります)
【問合せ】http://eplus.jp

【Versailles情報】1月20日、メジャー1stアルバム『JUBILEE』発売。ライヴ・スケジュールは、1月4日・渋谷O-EAST(Jasmine You-Memorial Ceremony-)、2月28日・新横浜サンフォニックスホール、3月5日・名古屋ボトムライン、7日・岡山イマージュ、9日・神戸VARIT.、11日・松山サロンキティ、13日・博多DRUM Be-1、14日・鹿児島SRホール、16日・KYOTO MUSE、21日・新潟RIVERST、22日・金沢VanVan V4、4月2日仙台ダーウィン、4日・札幌クラップスホール、18日・大阪御堂会館、30日・東京JCBホール。 http://versailles.syncl.jp/

www.shanghaidz.com

復活

ailles

革命は美しく燃え上がるセレナーデ

VERSAILES WORLD TOUR 2010

"METHOD OF INHERITANCE"-APOSTLES-

2月28日(日) 新横浜 SUNPHONIX HALL
3月05日(金) 名古屋 ボトムライン
3月07日(日) 岡山 IMAGE
3月09日(火) 神戸 VARIT
3月11日(木) 松山 サロンキティ
3月13日(土) 福岡 Drum Be-1
3月14日(日) 鹿児島 SR HALL
3月16日(火) 京都 MUSE
3月21日(日) 新潟 RIVERST
3月22日(月) 金沢 VanVan V4
4月02日(金) 仙台 darwin
4月04日(日) 札幌 Kraps Hall

"METHOD OF INHERITANCE"-JUBILEE-

4月18日(日)大阪 御堂会館　4月30日(金)東京 JCB HALL

"Method Of Inheritance"-Apostles- ■前売 ¥4,500 ※入場の際に別途ドリンク代が必要となります　"Method Of Inheritance"-Jubilee- ■前売 全席指定 ¥4,500

一般発売に先駆け、上記全公演SHOXX読者様先行抽選販売あり!!
●受付期間 11/24(火)～12/2(水)　●受付 URL http://eplus.jp/ver-shoxx/

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

薔 薇

Vers

耽美派最強バンド・ヴェルサイユ

www.shanghaidz.com

［ジュビリー］
DEBUT ALBUM "JUBILEE" 2010.1.20 BORN

-METHOD OF INHERITANCE-

初回限定版【豪華パッケージ/DVD付】￥3,500[taxin]WPCL-3016970　通定版【CDのみ】￥3,500[taxin]WPCL-10755

ESP　EVANS　TAMA　WARNER MUSIC JAPAN

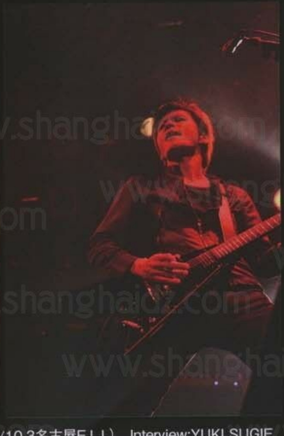
http://versailles.syncl.jp/

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

THE SHADOW IMPULSE "encore"

深く浸潤していくのは、きっとlynch.という名の哲学だ。
12月2日に発売されるDVD『『THE SHADOW IMPULSE』FINAL 2009.09.06 at AKASAKA BLITZ』を観ても分かることだが、
彼らがライヴ・バンドとして待つポテンシャルというのは、まさに唯一無二のもの。今現在行なわれているツアー
[THE SHADOW IMPULSE encore tour -INFILTRATION-]でも、彼らの哲学と美学は実践されていくに違いない。



www.shanghaidz.com

Photography:REIKO ARAKAWA（ZOISite/10.3名古屋E.L.L）　Interview:YUKI SUGIE

蝴蝶网 hudie.com

――少し前の話になりますが、9月に赤坂ブリッツで行なわれた全国ツアー「THE SHADOW IMPULSE」のファイナルは、実に良いライヴでしたね。

葉月：いやー、あれは自分でやってても凄く楽しかったです。まぁ、そう言いつつも、最初はちょっと焦ってた部分もあったんっすけど（笑）。

――えっ? あんなに貫録たっぷりのステージングをしておきながら!?

葉月：赤坂ブリッツ自体は、前にもイベントで数回やってるんですよ。でも、これがいざワンマンになると会場の見え方とか、雰囲気とかが全然違ってて。俺には、前にやった時とは別の会場みたいにデカく見えてました。

玲央：あったね、そういう感覚は。イベントだと、さすがに全員っていう風にはならないとこでも、ワンマンだと一斉にワーッって拳が上がって、〝あんな奥まで人がいるんだ! すげー!!〟ってよく分かるんですよ。

悠介：僕は、そういうとこはほとんど気にしてなかったですね（笑）。わりと、いつも通りにライヴやってました。いつも通りに精一杯やっただけです。

晁直：まぁでも、ワンマン＝lynch.だけを観に来てくれた人たちばっかり、って考えたら、あれだけの人があんな風に僕らと一緒に楽しんでくれてたっていうのは、ホント凄いなとそれは素直に思いましたねぇ。

――それだけ、みなさんが圧倒的なライヴ・アクトを見せていたということだと思います。あのファイナルを観れば、lynch.がどれだけ充実したツアーを行なって来ていたかは瞭然でしたよ。

玲央：そこは正直、僕らとしても意気込みがいつも以上のものだった、っていうことも影響してたと思います。実は、今年6月からマネージメント面での体制が変わりまして、そこを境にlynch.は、ライヴにしても、リリースにしても、全て自分たちでプロデュースと言いますか、メンバーで考えて動くようになったんですね。

――そして、その直後7月に発表されたのがアルバム『SHADOWS』であり、それを受けて始まったツアーが「THE SHADOW IMPULSE」だったと。

玲央：そうなんです。結局、全てを自分たちで決めて動かしているっていうことは、当然その後には全てが自分たちに返って来るわけじゃないですか。そういった部分で、この間のツアーに対して懸けてた意気込みには、ただならぬものがあったんです。

葉月：あと、そういう背景とはまた別に、この間のツアーはlynch.にとって、初の〝アルバム発売後に行なうワンマン・ツアー〟でもありましたからね。『SHADOWS』の世界を、ライヴでどう表現してくかっていう面でも、意気込みっていうのは凄く高まってました。

――『SHADOWS』の曲たちを、ライヴでやってみて改めて感じたこと、というのは多々ありましたか。

葉月：まず、「LAST NITE」に関して言うと、あれは曲を作った時からライヴの光景っていうのが頭の中にハッキリあったものだったんですね。で、それをライヴでやった時には〝そうそう、これこれ!〟って思えるような空間が作れたんで、そこで確かな手応えっていうのを得られたんですよ。何て言うか、他の曲たちも含めて、今回はレコーディングして、ライヴでやって、ツアーが終わって、そこで初めて〝『SHADOWS』の世界〟が完結したなって僕は感じてます。

晁直：ただ、「LAST NITE」のドラムはライヴでやった時のほうが、妙に難しく感じましたねぇ（苦笑）。レコーディングでは普通にするっと叩けたはずなのに、ツアー前半では若干試行錯誤が必要だったというか。あれはちょっと意外でした。

――でも、そうした努力の甲斐もあって、今回のツアーでは『SHADOWS』の世界が、よりコントラストを強めて体現されていったのではないですか。

玲央：日々、鍛練を重ねて行くようなところはあったかもしれないですね。曲たちが、どんどん磨かれていくような感覚は僕らも凄く感じてました。

悠介：それと、今まであんまりなかった傾向としては、今回はお客さんから「MAZE」で玲央さんと交互にソロを取ってるところとか、「I DON'T KNOW WHERE I AM」のソロとか、〝ここのフレーズがカッコ良いですね〟〝あの掛け合いが好きです〟って、けっこう具体的な意見もたくさんもらえたりもしたんですよ。音で聴いてるだけじゃなくて、ライヴだと弾いてる姿まで見えるから、みんなも改めて感じてくれた部分がいろいろあったみたいです。

どんな状況でもlynch.のライヴをやり抜く自信

――バンドにとっても、オーディエンスにとっても、充実したツアーになって本当に良かったですね。

玲央：ファイナルの赤坂ブリッツは、まさにその集大成っていうかたちになったと思います。

――ちなみに、この赤坂ブリッツ公演の模様は、12月2日にライヴDVDとしてリリースもされるそうで。

玲央：当日実際に会場まで来てくれた方はもちろんなんですけど、どうしても来られなかったっていう方もいると思うんで、ぜひこれでどんなライヴだったか観ていただけると幸いです。

悠介：こんなライヴしてたのか!?っていう映像で、客観的に自分で観ても、かなり凄いライヴになってます（笑）。

――それにしても、毎回あれだけの高いテンションで渾身のライヴをやるというのは、相当消耗しそうですよね。

葉月：ぶっちゃけて言えば、夏はそこがちょっとキツかったっす（笑）。ライヴ中シンドイとかはないんですけど、それ以外の時にどんどん喋れなくなってくんですよ。声が死んでっちゃって。

玲央：ツラそうな時は、僕らもあんまり喋りかけないようにしてましたね。

――喋るのもツラいくらいの状態で、よく歌えましたね。

葉月：いや、日によってとか、曲によっては（声が）出てないとこも全然ありましたよ。でも、それはもう一生懸命やって来た証なんでね。その時やれることを精一杯やるだけだって、俺はそう思いながら歌ってました。ただキレイな歌だけ聴きたけりゃ、家でCD聴いてろ!くらいの気持ちで。

――音楽を表現するという次元も超えて、ステージ上で自らの生き様を晒していくような一面もあったわけですね。

葉月：たぶんそういうことだと思います。

玲央：今回、ずっと隣でギター弾いてて感じたんですけど、仮に声が最良の状態で出てなかったとしても、葉月はそういう場合の見せ方、聴かせ方にもちゃんと説得力ある[illegible]んなライヴの時でも〝今日のライヴはダメでしたね〟っていう声はもらうことがなかったです。だから、どんな状況にあったとしてもlynch.としてのライヴをやり抜くっていう、そういう自信もこのツアーではついたと思います。元々、lynch.はライヴ・バンドであると自負してはいたんですが、よりその気持ちが強まりました。

――なお、今年は12月27日に名古屋ボトムラインにて「5th Anniversary Premium Live「THE IDEAL」」が行なわれるそうですが、その前にこの号が出る頃のlynch.は、「THE SHADOW IMPULSE encore tour -INFILTRATION-」で再び全国を廻っていることになりますね。

葉月：さっき、〝この間のツアーを通して『SHADOWS』の世界は完成した〟って言いましたよね。それを踏まえた上で、今度のアンコール・ツアーでは、その世界を逆に崩していこうと思ってるんです。

――もしや、ライヴ内容がより激化していく可能性アリですか??

葉月：今回は敢えてハコも狭いとこを選んでるんで、もうグッチャグッチャになるのは必至でしょう（笑）。いつメンバーが飛んでくるか分かんない!っていうくらいに、何が起こるか分かんないようなツアーにしてみせますよ。lynch.らしいロックで緊張感ある、毎回生傷作るくらいの、キレキレ状態で行きます!

晁直：まだ詳細は何も決まってないんですけど、とにかく楽しみですね。自分たちの理想とするようなライヴを、毎回出来そうな予感があります。

悠介：ただ曲を演奏をして、みんなでグシャグシャになるっていうだけじゃなくって、何か自分の内から沸き出る目に見えないようなものまで、みんなに近い距離で伝えて行きたいですね。

玲央：夏のツアーで、初めてlynch.のワンマンを体験したっていう人もけっこう多いと思うんですけど、あれがい入門編だったとすると、今度はより浸潤してくかたちで体感してもらうライヴになっていくと思うんですよ。より深いところまで、みなさんをお連れします。

【ライヴ・スケジュール】11月23〜24日・新潟ジャンクボックスmini、12月1〜2日・難波ロケッツ、7〜8日・新宿ロフト、11日・新横浜サンフォニックスホール、14日・仙台HOOK、16日・札幌クラップスホール、21日・岡山イマージュ、23日・福岡DRUM SON、27日・名古屋ボトムライン（5周年記念ワンマン）、28日・心斎橋ビッグキャット、31日・渋谷C.C.Lemonホール。 http://lynch.jp

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

ある意味、原点回帰を感じさせられる一枚

怒濤の東京7日間集中企画『東京七色音階祭'09』を企てたドレミ團。前号では第2夜であった渋谷O-Crestでの【ドレミ團プロデュース】のレポートをお届けしたが、20曲中11曲が、11月25日にリリースされるメジャー第1弾アルバム『ドント レットミー ダウン』に収録される楽曲たちで構成されていたのである。今回は、そんな『ドント レットミー ダウン』について、詳しく語ってもらいました。※ベースのシンジは体調不良のため欠席です。

Interview:NAOKO TAKEICHI

ドレミ團

ドントレットミーダウン

www.shanghaidz.com

―タイトルにはバンド名のドレミ團の語源でもある『ドント レットミーダウン』がタイトルとして用いられてるけど。

マコト：昔から、『ドント レットミーダウン』ってタイトルは、自分らのバンド名みたいに思ってるワードでもあるし、このタイトル付けるならベストか1stアルバムかなって思ってたとこあって。

―1stアルバムって、それまでのバンドが歩んできた集大成でもあるからね。

KEN：それありますよね。それか、3枚目のアルバムとか。3枚目って、それまでの自分たちを出し切った次のステップに行くという意味で付けてたり。

―そうだよね。でも、今回の1stアルバムって、〝インディーズ時代も含むいままでの集大成〟って感じではないよね。

KEN：シングル曲が1曲もない、新曲ばっかりな1stアルバムですからね（笑）。

マコト：たしかにね（笑）。でもね、ベストだろうが、1枚目であろうが、2枚目であろうが、最初に聴くときは、その人にとっては全部が新曲ってことでしょ？ってことは全部新曲でもいいんじゃない？ 的な。で、今回は全部新曲にしたんです。でも、ちゃんと、楽曲のテイストとか、ノリとか、歌詞も含め、その全てにおいて、いままでずっと築き上げて来た、ドレミ團らしさを感じてもらえる1枚になっているから、きっと納得してもらえるんじゃないかなって思いますね。

―昔の曲が入っていないのに、〝原点回帰〟だなって感じたからね。

マコト：そう。これからの僕らのイメージや要素も詰め込まれつつ、いままでの自分たちの原点もしっかり感じさせられてると思う。上京して環境を変えてから望んだ前作『夕暮ライン』では、それまでにない経験を積めたと思っていて、そんな音楽人としての成長を活かした、現段階のリアルな僕らもしっかりと詰まってると思ってますね。この8年間の僕らの成長が全部詰め込まれてる感じ。

―なるほど。零華も、「○○○○」っていう仮タイトルだった、かなり新しい風を今回このアルバムに送り込んだ訳で。

零華：それね、「スイミン天獄」っていう正式タイトルにしてやりました

www.shanghaidz.com

（笑）。

—こういう明るさを持った曲って、ライヴでどんどん育っていつしかマスト曲になっていくんだよね。

零華：あんまりハードル上げんといて下さいよ（笑）！ そうなっていったら嬉しいですけどね、ならんかったら哀しいんで（笑）。みんなにも〝新しい！〟って言われたんですけど、僕ん中では、そかな？ どっからどう聴いてもドレミ團やん？って感じなんですよね。でもまぁ、たしかに、ちょっと飛び抜けてるんかなぁと思ってもみたり（笑）。でも、辿ってきた道から一環したモノであるとは思ってるんですよね。前作の『夕暮ライン』に収録されてた「黄昏トラペジウム」っていう曲も僕の曲なんですけど、そんときは、打ち込み中心のキラキラした音色を使った曲にしたくて作った感じやったんです。けど、今回の「スイミン天獄」は、バンドサウンドを全面に押出した曲が作りたいと思って作った曲やったんで、音色もできるだけアナログな感じにしたし、鍵盤の音もピアノっぽい音を選びました。

—なるほどね。でも、すごくいいアクセントになってるよね。〝想い〟の詰まった情緒的な1曲だった「恋ごころ」や、ちょっと泥臭い、田舎たいメロとリフがカッコイイ「媚熱」は、昔からドレミ團を知る人には、きっとツボ楽曲であるだろうしね。その2曲はKENさん曲だけど、「恋ごころ」とか、すごく懐かしい臭いがした。小泉今日子の「木枯らしに抱かれて」的な温度感というか。

一同：そこっ（大爆笑）！

KEN：あははは。そうなんですよ、まさに、そこの景色というか、空気を狙ったんですよ！ だから、この曲の仮タイトル「木枯らし」やったんです（笑）。なんか、音で季節感や切なさを感じられる様な曲を作りたかったんです。

マコト：歌詞もそこを狙って書きましたね。聴き比べるとまったく違うんですけどね、なんか、その空気がふわっと臭ってくる的な感触の曲になりましたね。

—ギターのクリーントーンが切ない、昭和歌謡テイストの「パレエド」も、昔からのファンには嬉しい1曲だと思ったし。今回鍵盤の音もすごく印象的だった。

KEN：音源ではいつも、プロのジャズピアニストを入れてるんですよ。インディーズ時代からずっと一緒にやってきてくれてる人なんで、ここにこういう音が欲しいっていうのもすごく解ってくれていて。だから、今回もすごく曲に奥行きが出たと思いますね。シンセっていう鍵盤の音じゃなくて、オルガンとかピアノっていうアナログ的な鍵盤の音を入れてもらってるんですよね。そこでも一気に雰囲気を詰められてるんじゃないかな。

マコト：なんかね、ドレミ團ってぶっちゃけ新人バンドじゃないでしょ。オリジナルアルバムもいままで4枚出してたりもする訳だし。でも、やっぱりメジャーシーンでは新人でもある訳で。そのね、両方をちゃんと届けられる音にしたかったんですよね、今回。

—見た目は初々しくないけど気持ちは、

マコト：ちょっと！ 見た目も結構頑張ってますぅ～（怒）！

—あ。失礼。でも、たしかに、新人には出せない音の渋みが出て来てるからね。「見えない力に抑圧されるモノクロームの逆説思考」とか、イントロのギターが印象的な往年のディープ・パープル的なハードロックの臭いのする1曲で、マイナーなギターフレーズが、音を重ねてきたバンドのシブみを感じる。

龍：あははは。たしかに、それすごく解りますよ、自分たちでも（笑）。昔やったら、このシブみは出せてないなっていうね（笑）。ありますあります、そういうの（笑）。特に今回のアルバムは随所でそれを感じてもらえるかも。

—だよね。イントロの掴みがすごい印象的だったりするしね、今回全曲。

龍：「見えない～」とかも、まずはイントロで掴める曲作りたいと思って、ギターのリフをかなり考えて作ったんで、そう言ってもらえると嬉しいですね。

—当たり前に進んでいかない構成もすごくいい。「銃声」とか、最高にカッコイイ。イントロとサビの振り幅とか。

マコト：「銃声」は結構ポップだよね。

—サビはね。でも、イントロはそんな感じしない。

KEN：そうそう。そうなんですよ。「銃声」はね、特に、ブロックブロックで印象的にしたかったたってこともあって、それを1曲に組み立てていったって感じでしたからね。ところどころがすごく印象深い曲になったと思いますね。

—特にね、「見えない～」、「銃声」、「媚熱」のイントロは、かなりシブいからね。

KEN：ですね（笑）。まさに、ゴリゴリしてるゾーンですね。

龍：なんか、すごく潔くなれてる感じがしますね、曲作りも。長くしてごちゃごちゃ弄るよりも、短くても、そこに一気に凝縮させるっていう感じに変化してきた気がします。自分の曲作りも。「ブラインド アンドロイド」とか「見えない～」も、一瞬の勝負って感じなんですよね。

マコト：でも、龍さんの得意とする歌謡テイストなロックの「エンドロール」は、今回絶対に入れたいと思ったんで、そこはそこでちゃんと追求してますしね。

KEN：ミディアムテンポの曲でも、すごく個性が強くて、激しさ重視の曲やアップテンポな曲にも負けないくらいの個性を放ててるんじゃないかと思いますね。

零華：今回ね、アルバムの頭とお尻にインストが入ってるっていう構成になってるんで、ライヴでこのままの流れでやっても面白いんちゃうかな？って思ってたりもするんですよね。今回はアレンジ面もすごく工夫してるし、結構こだわってるんで、そんなとこも細かく聴いてもらえたら嬉しいなって思いますね。

マコト：今回ね、CD+DVDの初会限定盤と、CDのみヴァージョンの2タイプでリリースになるんだけど、CD+DVDの方は、「タイムマシン」のPVとそのメイキングと、8月20日に赤坂BLITZでやった、その日限りのスペシャルなオープニングと、「青春ロールオーバー」と「スロウモーション」と「ナミダ雲」と「ハロー!!ブランニューディ」の5曲が入って、CDのみヴァージョンの方には、11曲入りの方には入らない「媚熱」と「見えない力に抑圧されるモノクロームの逆説思考」が入るので、ぜひ、両方買って下さい（笑）！ 楽曲も歌詞も、いままでのドレミ團をじっくりと感じてもらえると思います。歌詞は、思いっきり前向きなモノから、後ろ向きなモノまで、思ったすべての感情を素直に書いていたりもするので楽しみにしていて下さい！

【ライヴスケジュール】●冬ワンマンツアー'09「タイムマシンにのって」12/4HRさいたま新都心VJ-3、12/6新潟JUNK BOX、12/7仙台HooK、12/9横浜BAYSIS、12/12福岡DRUM SON、12/13OSAKA RUIDO、12/16広島ナミキジャンクション、12/19金沢AZ、12/20長野CLUB JUNK BOX、12/23名古屋ell FITs ALL、12/26表参道FAB●「東京姫始メ5」2010/1/23LIQUIDROOM ebisu
（問）「青空倶楽部」〒150-0002東京都渋谷区渋谷3-26-15日通渋谷ビル3F　http://www.doremidan.com/

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

Mix Speaker's,Inc.

ミックススピーカーズインク

3rd Travel
宇宙から恐怖の×××が降ってくる

Live at LIQUIDROOM ebisu 2009.10.22

2009年10月22日。全国15本のワンマンツアーが東京・恵比寿リキッドルームからスタートした。『宇宙から恐怖のXXXが降ってくる』と題された今ツアー。彼らはこのツアーでいったいどんなMix Speaker's,Inc.を見せてくれるのだろうか？　ニューアルバム『BIG BANG MUSIC!』を引っさげての秋ツアー。初日の熱い夜をレポートしたいと思います！

Photography:MIWA OHYA
Report:NAOKO TAKEICHI

3rd Travelとなる今回のツアー『宇宙から恐怖のXXXが降ってくる』。なんとも意味深なタイトルが付けられたこのツアーは、なんともぎこちない6人のウェーヴダンスからスタートした。

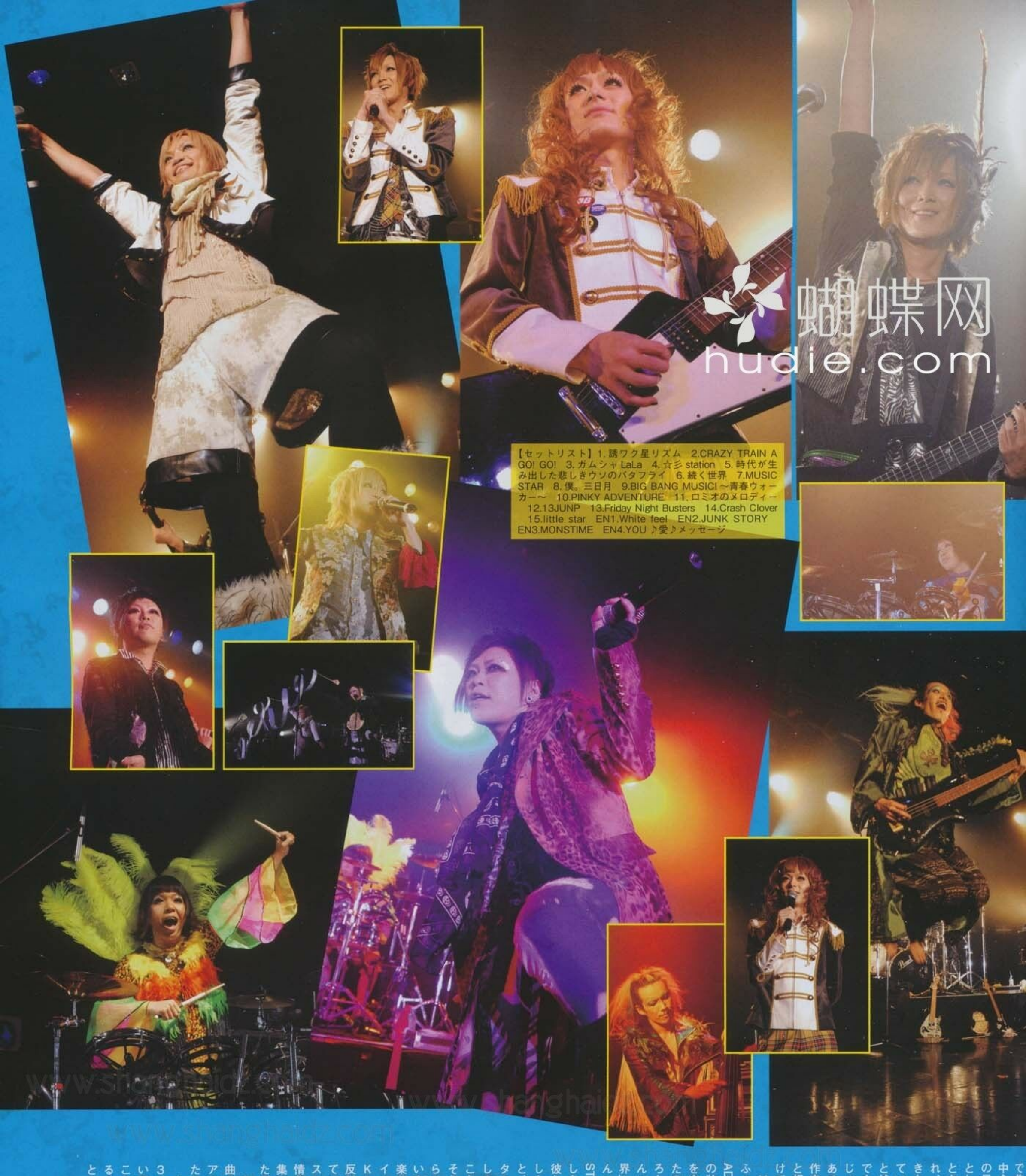
いつものように、彼らの住む世界と、私たちが住む世界を繋いでいるかのような、不思議なドアから6人が登場すると、フロアのオーディエンスは一気にステージ前へと押し寄せた。普通のバンドならば、ここでガツンと一発食らわしてくれるのだが、彼らは違う。オープニングがダンスなのだ。そんなダンスがご挨拶。彼らはオーディエンスに挨拶を済ますと、1曲目に「誘ワク星リズム」を届けた。ぐいぐいと人を惹き付けてやまない、とびっきり元気なこの曲に、フロアはもみくちゃになるほどに大はしゃぎ。この曲のモチーフでもあったヒマワリの花が一気にフロアに咲き乱れた。季節外れのヒマワリもなかなかいいもんだ。

そんな鮮やかで個性的な幕開けは、ハイスピードに攻め立てる「CRAZY TRAIN A GO! GO!」、一気にサビで開ける「ガムシャ LaLa」と、1曲ごとに景色を変え、その表情を変えていった。

そして。衣裳替えをし、登場して届けたのは、圧巻の個性を放っていた、"あの曲"だった。アルバムのインタビュー時から気になっていた「続く世界」だ。ステージには、詩の朗読をするM-KIを照らす小さな光だけ。MのようにM-KIの声にそっと添わせられるBGMのように、薄らと流れるYUKIの唄。なんとも不思議な、前代未聞の空間体験となった。

中盤では、テクノポップを意識して作られたという「僕。三日月」が届けられた後に、芝居が挟み込まれたのだった。

地球の危機を救うために、ウサギ列車に乗ってやってきた一同が、いよいよ地球に到着したというストーリーだ。その流れで届けられたのが、アルバムのオープニングを飾る「BIG BANG MUSIC!〜青春ウォーカー〜」だった。アルバムの表題曲であり、テーマ曲でもあるという特別曲なのだ。その特別感といったら半端ない。楽器隊も全員楽器を置き、6人でダンスをしながらヴォーカルを取るという、これまた前代未聞の裏技曲なのである。しかし。この曲は、7月21日から、都内7カ所



【セットリスト】1.誘ワク星リズム　2.CRAZY TRAIN A GO! GO!　3.ガムシャLaLa　4.☆彡station　5.時代が生み出した悲しきウソのバタフライ　6.続く世界　7.MUSIC STAR　8.僕。三日月　9.BIG BANG MUSIC! ～青春ウォーカー～　10.PINKY ADVENTURE　11.ロミオのメロディー　12.13JUNP　13.Friday Night Busters　14.Crash Clover　15.little star　EN1.White feel　EN2.JUNK STORY　EN3.MONSTIME　EN4.YOU ♪愛♪メッセージ

蝴蝶网 hudie.com

で集中的にライヴが行なわれた関東集中企画ワンマン【7NIGHT PARADE】の最終日で披露され、音源の特典映像としてもオーディエンスの知るところとなっていたことから、イントロが流れ、彼らが整列した時点で、会場は大きな歓声を上げたほどの注目曲となっていたのだった。もはやここまで来ると純粋にバンドとは思えない……。ま、でもそうだよな、彼らは単なるバンドじゃなく〝奇才の創作表現者集団〟であるからね（納得）。そんな奇才の創作表現者集団は、その後も次から次へと想像を絶する展開を私たちに見せつけてきたのだった。

ＭＣを挟んで届けられた、シンセをふんだんに使った集大成曲「PINKY ADVENTURE」でも、なんと、電飾の装飾が施された衣裳に身を包み、闇を楽しませるという仕掛けをみせてきたのだ。よくもまぁ、ここまでいろいろと思いつくものである。しかし、そんな見た目だけではない。「続く世界」の後に繋げられたホーンをふんだんに取り込んだインスト曲「MUSIC STAR」もそうなのだが、しっかりとしたスキルを感じさせる楽曲の良さも彼らの魅力である。そう。しっかりとしたメロと息の合ったリズム隊の演奏と、それぞれの個性の立った２本のギターの共存があってこそ、そこに〝楽しませるためのエッセンス〟を加えることが出来ているのだ。ヴォーカルもそう。充分な歌唱力を持った２人だからこそ、キャラクターになりきった歌い方や、極端とも思える程の振り幅の楽曲も歌い切ることが出来ているのだ。イメージカラーとなっている白（ＹＵＫＩ）と黒（ＭＩＫＩ）のように、正反対と言ってもいい個性を武器にかえている。そんな彼らはこの日、本編ラストに届けられた、感情の入った表情豊かな歌モノである「little star」を、集まったオーディエンスに心から唄ったのだった。

アンコールでは、勢いある楽曲が選曲され、オーディエンスを煽った。ツアー初日としては、最高の手応えだったのではないだろうか。

ウサギ列車に乗り込んでから以降の３つの衣裳を披露し、余力を残させない程に楽しませた彼ら。そんな彼らのことだ。既に、次なる展開を企んでいることだろう。次なる展開も楽しみなところである。

【ライヴスケジュール】●「3rd Travel 宇宙から恐怖の×××が襲ってくる!」11/21京都MUSE、11/22名古屋E.L.L、12/19心斎橋クラブクアトロ、12/25渋谷C.C.Lemon Hall
問 Mix Speaker's,Inc.　東京都港区北青山2-12-28 青山（SEIZAN）ビル2F ☎03-3475-7420（平日11:00～19:00）

DOMINTON

girugämesh

CHILDFOOD FRIEND'S TALK 弐×愁

―二人がいちばん最初に出会ったのは？

弐：小学校1年生かな。

愁：1年生から4年生まで同じクラスでしたね。最近、コイツんちで入学式のホームビデオを見直したら、それに映り込んでました（笑）。

弐：ほんの一瞬なんですけど、これオマエじゃない!?って。

愁：一時停止したら、俺の顔が映ってました（笑）。

―当時から仲は良かったんですか。

愁：グループ的なものは一緒だった気がします。

弐：お互いに家とかにも行ってたし。誕生日会とかにも呼ばれたり。一緒に野球もやってましたね。

―そのまま中学校でも仲良く？

愁：クラスは違いましたけど。野球部に入って、1年目の夏のツラい時期が終わって、同時に辞めました。ダメな二人ですよ、何も続かない（苦笑）。そっから別ですね。

弐：つるむ友達も全然バラバラだったんで。教科書貸してとか、廊下で会ったら元気？とか、話すのはそれぐらいでした。

―それからまた仲良くなるのは、バンドを始める時になるんですか。

愁：高校も別々になったんですけど、地元の駅は一緒じゃないですか。それで、たまたま会ったんですよ、高1の春に。〝それの学ラン、だっせ～!〟とか話してて。（弐が）すごい色の学ランだったんですよ。

弐：ねずみ色だったんですよ（笑）。今は巻じゃドブネズミって言われてます（笑）。

愁：それで、最近何やってんの？って。

弐：ギター弾いてんだろ？って。いきなりバンド組もうぜ、って言われました。

愁：高校で軽音楽部だったんですけど、それとは別で、地元でバンドをやりたくて。

―その時に弐さんに声をかけたのは、最初から一緒にバンドをやろうと思ってたわけではなくて。

愁：たまたまだよな（笑）。

弐：最初断ったんですけど、そっから、愁が毎日のように俺んちに入り浸って！

愁：高1の、たぶん3分の2ぐらいは帰りに寄ってましたね。別に口説くつもりもなかったんですけど、（最寄駅から家までの）帰り道だったんですよ。漫画も豊富に揃ってるし。だから、漫画喫茶的な（笑）。

―その間に自然にバンドやろうっていうことになったんですか。

弐：自然だね。やらないって言ってたのに、いつの間にかメンバーを探さないと!ってなってて。あれ？って（笑）。

愁：奇跡の連続だったな。

―メンバーを探し始めたのはいつ頃？

愁：高1の途中ぐらいかな。Яyoはまだ中2だったんですけど、別のバンドをやってて。

弐：メシアってバンド（笑）。

愁：メシアね！（笑）それを辞めることになったんで入ってもらって。ヴォーカルは、高校の同じクラスのヤツを呼んで、それで結成したのが初代ギルガメッシュなんです。

―その前にコピー・バンドをしていた時期はないんですか。

愁：あります。メンバーが見つかるまでは二人でやってました。

弐：LUNA SEAとかをやろうぜって、スタジオ入って、CDに合わせて二人で弾いたりしてました。ある時バスに乗って、スタジオに行ったんですよ。終わった後に帰ろうとしたら、外が大雪で。バスで帰ればいいんですけど、千葉で雪が降ることはあんまりないから、雪をかみ締めようよって俺が言って。家まで5キロぐらいあるところを歩いて帰ったんです。最初はウキウキで、雪っていいよな、イェ～！ってやってたんですけど、その10分後には無言になって（苦笑）。

愁：途中のコンビニで休憩して、あったかいココア飲んで。最終的にコイツんちに行って、二人で1個の湯船に入りましたからね（笑）。

弐：あれ、何だったんだろうな。

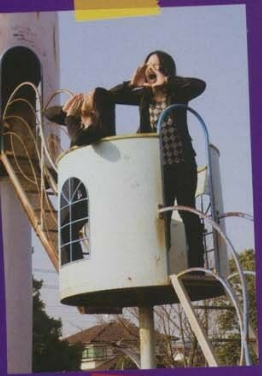
愁：でも楽しかったな。

弐：いい思い出だよな。

―青春の思い出ですね。それからギルガメッシュとしてオリジナル曲を作って、ライヴをやるようになるんですか？

愁：市川クラブGIO（注：現在は閉店）って、〝高校生の部〟の日があって、それはノルマも安かったのに、それに出るのはダサい！って思ったんで、わざわざ一般ブッキングで出て。動員5人とか6人で、ノルマの30（枚）×1800円を毎回払ってて。それを3年間ぐらいやってましたね。

弐：金がない時は、お母さんに土下座して、本当にお願いしますって。



ATHLETIC

SLIDE

CHEERS!!

CATCHBALL

ゲームが楽器に変わっただけ、って感じ

**傍目に見てもいつも仲がいいギルガメッシュのメンバー。
その中でも、弐と愁は小学校1年生からの幼なじみだと言う。
現在、12月にリリースされるアルバム『NOW』の制作中の彼らだが、
ちょっと抜け出してもらっての、弐と愁へのインタビュー。二人の思い出を、懐かしの公園で語り合ってもらった。**

Photography:MASAYUKI KUSAKARI
Hair & Make-up:DAISUKE"BOB"TANAKA(JET SPEEDeR)
Interview:MIYUKI MURAYAMA

られなかったですもん。

愁：俺も錆びたままでやってたし、ピックがなくて1円玉を使ってたもん。

弐：俺もやってた！

——え〜!?

愁：たまにライヴハウスでピック落っこちてたら、ラッキー！って（笑）。な？

弐：うん。

——それだけ大変だと、辞めようとか続けてもダメかなとか思いませんでした？

弐：全然なかったですね。お客さんもいなくて、ライヴもダメダメで、それでも何か知んないけど、次は行けるだろうってアホみたいに思ってました（笑）。

愁：だいぶプラス思考だよな。バンド同士の上下関係もあったんで、楽屋が使えなくて廊下で寒い中で準備したりして、いつか楽屋を使ってやろうって思ったりしてましたね。

弐：それがGIOで3年間続いて、そろそろ東京出ねぇとなって言ってる時に、左迅くんが入ったんです。

愁：高校卒業したぐらいですね。

——バンドをやり始めてからも、プライベートでの関係もそれまでと変わらなかったんですか？

愁：メシ食いに行ったり、普通に。バンドやってると友達いなくなるんですよ。

弐：友達と集まる時も、断り続けてたら誘われなくなって。最終的に残ってるのはメンバーだけ（苦笑）。

——二人の性格のどういうところが上手く噛み合っていると思いますか。

弐：コイツは結構聞き手なんですよ。俺が話を振ると、なるほどねって聞いてくれるんで、居心地いいのかなって。

愁：俺、自分からあんまり喋らないんで。話してくれたほうがラクですもん。そういう面では相性いいのかもしれないですね。

——これまで長く付き合いがあって、今はこうして一緒にバンドをやっているわけですけど、お互いの成長を感じるところはあります？

弐：小学校の頃はお互いバカみたいに遊んでただけなんですけど、真剣に一生バンドを続けて行くんだってなった瞬間に、彼が指揮を取るようになりましたよね。彼はそういうのが上手いんだなって。今、バンドの舵を取ってるのはコイツですからね。

愁：たまたま開花しましたね。ちっちゃ18歳過ぎてからですかね。いろいろ選択しないといけないことが増えて、しっかりしないとなって思いましたね。

——弐さんはバンドを始めてから変わりました？

愁：弐さんは逆に変わらずですかね。[illegible]のままな感じですよね。

弐：このまま体だけデカくなった？

愁：図体だけデカくなって、脳ミ[illegible]のままですね（笑）。本当にピュアだから[illegible]悔しいことは悔しいって言うし、楽しいことは楽しいって言うし、泣く時は泣くし。ヘンに染まってないって言うか。それが[illegible]感で動いてくれたりもするし。それが[illegible]い選択になったりもするんです。

——今ギルガメッシュとして活動しているのは、普通の友達だった頃から考えると不思議な感じだったりしません？

愁：でも、（遊んでいた）ゲームが楽器になっただけの感じですよ。

弐：あ〜、分かる。

愁：コイツがゲーム何面までクリアして、悔しいから俺も頑張る、みたいな。コイツ、ライヴであんなことやりやがった、じゃあ俺もやろう！とか。ちっちゃいまんまっすね（笑）。

——今もプライベートでのお付き合いは変わらず？

愁：わりと俺はコイツをよく誘いますね。

弐："暇？　じゃあIKEA行こう"とか（笑）。

愁：重要なことがあったら、呑みに行ったりもするし。

弐：集合って、みんなで呑み屋に集まるんです。

愁：文化祭の延長かもしれないですけどね。コーラがビールになった、みたいな。

——そういう関係性はずっと変わっていないと。

愁：プロ意識がないって言われたらそうかもしれないけど、ヘンに背伸びしたくないっていうのもあるし。

弐：俺的には仕事って捉えたくないですけどね。4人で合わせるだけで楽しいって思った気持ちを忘れないでやっていきたいっていうのが、いちばん大きいですね。

愁：メンバーみんなの夢が叶えばいいですよね。永くやりたいって人もいるし、いっぱいの人にCDを聴いてもらいたい人もいるし、それを全部やれるバンドになったらいいかなって思いますね。

【ギルガメッシュ情報】12月16日にニュー・アルバム『NOW』の発売が決定!!　リリースに続いて、2010年1月31日・新木場クラブコーストにてプレミアム・ワンマンショーも決定!!　http://www.girugamesh.jp

蝴蝶网
hudie.com

【set list】
1.薄紅と雨
2.［6］party
3.THE GOVERNMENT STOMPING GUM
4.浸色
5.サイクロン
6.newspaper
7.GENERATION
8.PISTOL
9.深海のベッド
10.逢いたいから…
11.MERRY GO WORLD
12.PSYCHO VIRUS
13.crazy the city
14.罠
15.breaking the modern society
16.As
<encore ?>
17.shower
18.SHINE
<encore ?>
19.薄紅と雨

12012

TOUR -薄紅と雨- START!!!

2009.10.11　MEGURO ROCK-MAY-KAN

最新シングル曲「薄紅と雨」をタイトルに冠した全国ツアーがスタートした。現在の12012のパワーをもってすれば、目黒鹿鳴館という会場は収まりきらないことは始まる前から明らかではあったが、彼らの揺るぎない存在感と今後をしっかりと提示した夜となったのだった。10月11日・目黒鹿鳴館での模様を独占レポート。

Report:TAKAYUKI MURAKAMI

ライヴ・バンドとしての力を見せつけたツアーの幕開け

12012の最新シングル『薄紅と雨』は、今の彼らが本当にやりたい音楽をパッケージした作品だった。ということは、シングルに続く全国ツアー〝薄紅と雨〟のライヴも、彼らの指向性を全面に押し出したものになるのは間違いない。大きな期待を胸に、ツアーのスタートを飾った目黒鹿鳴館（携帯サイト会員限定ライヴ）へと足を運んだ。

新曲の「薄紅と雨」からライヴをスタートさせた12012は、ハイボルテージかつエモーショナルなナンバーを、たっぷりと聴かせてくれた。それぞれの楽曲に合わせて様々な表情を見せつつ、情熱的なヴォーカルを聴かせる宮脇。安定したプレイを展開する一方、曲によってはギターを弾くのをやめて、マイクを手にしてオーディエンスに煽りを入れるという二面性が印象的な酒井。男っぽいオーラを振りまいて、パワフルなギター・ワークを決める須賀。フレキシブルなベース・プレイと、華やかなパフォーマンスのマッチングが光る塩谷。パワフルに叩きあげるドラミングから繊細なプレイまで、幅広いアプローチでグルーヴを牽引していく川内。多彩かつ上質な楽曲とプレイはもちろん、会員限定ライヴでいながら内輪受けっぽいムードや和み系のMCなどは一切ない、緊迫感に満ちた味わいも実によかった。

ライヴが始まる前は、今の12012にとって鹿鳴館のステージは狭いのでは…とも思ったが、それを感じさせなかったのもさすがと言える。ライヴハウスのサイズにバンドをアジャストして、ハードなパフォーマンスを披露したのは見事。酸欠状態だったにもかかわらず、最後までパワーダウンしなかったことも含めて、12012のライヴ・バンドとしての底力を再確認させられた。そんな彼らに応えて、オーディエンスもライヴを通して熱狂的な盛り上がりを見せていた。

独自のエモーションやシアトリカルな味わいは保ちつつ、ハードロック・テイストを強めた12012。彼らが今後進むべき方向をしっかり見据えていることは、メンバー全員の迷いのない表情からもうかがえた。独自の過激さを築きつつあることも含めて、2010年の彼らも

【ライヴ・スケジュール】12月12日・渋谷C.C.Lemonホール。　http://www.12012.jp

Daizy Stripper

鮮やかな色彩のつづれおり。
待望のミニアルバム「THE BEAUTY」完成

この曲は、イケナイことをしたくなる魔法がかかっています。

色んな意味での美しさを表したという『THE BEAUTY』。DaizyStripperにとって初めてのミニアルバムとなるだけに、かなりの気合いが詰まった作品に仕上った。きっと、これを聴いたとき、人の心の美しさが感じられるに違いない。そして、12月13日には、赤坂BLITZでワンマンライヴを決行する。ここでは、彼らの音楽に対する美学を思う存分味わってほしい。

Interview:ERI MIZUTANI

—ついに、待望のファーストミニアルバムが発売されますね。

風弥：ファンの子からも「アルバムとかって出さないんですか?」っていう声があったんですよ。それがようやく叶ったかなと（笑）。

—全曲、非常に聞き応えがありました。

風弥：1曲目の「色彩ヴィヴィッド」は「TRUTH」と同じ時期に録っていたんですけど、今回ミニアルバムに入れるにあたり、色々と変えていったんです。

Rei：ベースは録り直したんですよ。自分的に納得がいかなかったんで。やっぱり、世の中に出すものと考えたとき、妥協は良くないなって思ったんですよね。

夕霧：ついでに、歌も録り直しました。結果的に、前にも増して勢いが出せたと思います。なので、5人のパワーアップした所を感じて貰えたらなって思います。

なお：2曲目の「MR.UNCHAIN」は僕が作った曲なんですけど、自分でもよくひとつのものにまとまったなって思います。まさに、ミラクルですよ（笑）。

風弥：ミラクルと言えば、コーラス部分もそう。これ、エンジニアさんも含め、デッドコーラス隊を結成したんです。

まゆ：夜中の2時にみんなでワーワー言ってね（笑）。

なお：そうそう（笑）。だからこそ、何度聞いても飽きない曲になったと思います。

—「#13」は、まゆさんの曲ですが。

まゆ：温かいバンドなだけに、無機質なものを混ぜてみたら面白いんじゃないかなって思って作りました。それだけに、他の曲とは違う方向にいけたかなって。

夕霧：ライヴではまだ全然やっていない曲なんで、どうなるか楽しみです。

—バラード曲「雪恋華」も、素敵です。

風弥：僕、バラード曲っていうのを春夏秋冬で作っていて。なので、今回は冬のバラードを持ってきました。とにかく、聴いた瞬間に真っ白な雪の情景が浮かぶ曲にしたくて。ピアノも自分で弾いているんですけど、思い通りの曲に仕上ったんで満足しています。

Rei：是非、曲を聴いて、歌詞を読んで、泣いてもらいたいですね。

—自分的にも思い当たる節があるぞと。

Rei：それは、どうかな〜。

—（笑）次の「リリカルナイト」では打って変わってアダルティな音が炸裂していますね。

風弥：ジャズを目指して作っていったんですけど、さすがに試行錯誤しましたね。でも、まぁ、コーラスやトロンボーンも含め、リアリティのあるジャズになったかなって思います。

夕霧：作品の中で、唯一、女性目線で歌詞を書いたんですけど、女の子だったらどう思うのだろうっていうのを考えながら書いていきました。なので、歌詞を読んでから聴いてもらいたいですね。きっと、イケナイことをしたくなる魔法がかかっていると思います（笑）。

風弥：この曲を聴いて眉毛がピクッとした人は危ないよね（笑）。

なお：あれ、まゆぽん！

まゆ：えっ？今、ピクッとした!?

一同：あははは（笑）。

—そして最後は、「Little Ballerina」という曲が入ります。

なお：やっぱり、聴いてくれた人みんなに笑顔になってもらいたかったんで、力強い曲で終わることにしたんです。元気のないときの気合い入れとして聴いてもらいたい1曲ですね。

夕霧：この曲は、頑張ってねって、ただ背中を押すのではなく、頑張っている自分の背中を見せることで、君はどう思う?ってことを提示したかったんです。

なお：そこが今までと違うところなんですよ。今までだったら、一緒に頑張っていこう、だったんですけど、今回は、自分だったらどうするかっていうのを考えてくれたらいいなって。それって、人生の中ですごく大事なことだと思うんで。だから敢えて、俺はこう思うけどっていうところで止めました。

夕霧：ミニアルバムを締めくくるに相応しい曲になったと思います。

—この曲たちが、次回のワンマンでどう変化していくか楽しみです。

風弥：良い意味で、ビックリさせられたらなって思います。

夕霧：この1年間、みんなが流したであろう涙に、俺たちが虹をかけて[illegible]なと。全ては、会場に来てもら[illegible]かるので、是非とも楽しみにしておいてほしいですね。

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Aoi

遂に完成！　最新アイテム「Requiem」ドロップアウト!!

主人の悲しい末路のために「Requiem」が必要だった。

『MASQUERADE』『VIRGIN』と、2枚のシングル歌も収録した、Aoiの2ndアルバム『Requiem』が、ついに発売となった。12月12日には、日本では初となるワンマン・ライヴを、新宿MARZで開催。こちらも見逃せないが、まるで中世欧州映画の正義の騎士にも見えるAoiの姿を味わえる『Concord』のPVも、ぜひ観てもらいたい。まさに音楽/映像を通し、Aoiの描く"ゴシック&耽美な舞台劇"の数々を、たっぷり味わえるはずだから。

Interview: TOMONORI NAGASAWA

www.shanghaidz.com

成。今回は、1曲ごとその物語を紐解きたいと思います。冒頭を飾ったのが、幕開けを告げるインスト作『Requiem aeternam』です。

「前アルバム『Veil』でも、『Terra』というインスト的な要素を持った曲でアルバムの幕開けを飾り、続く『VISION』へと繋がっていったように、インスト曲はアルバム自体の世界観を広げてゆくのに重要な役割を果たしていると思うんです。その流れを、よくライヴでも用いてきました。そして今回、このアルバムの物語の幕開けを告げる曲として、インスト・ナンバー『Requiem aeternam』を作りあげました」

――物語は、幻想的な想い描きながら、続く『VIRGIN (Requiem ensemble)』へ、聴くものに高揚感を与えながら流れていきます。

「シングルの『VIRGIN』は、サビ頭から始まっていますが、当時は、シングルとしてのインパクトを考え、その構成美を描きあげました。だけど、この曲を最初に制作していたときは、Aメロから始まるという形でした。つまり、元ある姿へ戻したうえで、さらに始まりのインパクトを与えようと、ドラムロールからスタートする形を描いたわけなんです」

――続く『MAKE YOUR HEAVEN』では、ライヴで活きる、荒々しくも躍動的な表情を描き出しました。

「『Veil』で言えば、『GHOST IN THE [illegible]になります。Aoiの場合、幻想的な世界観を描くことが多いのですがデジタル的なスパイスを詰め込み、さらにライヴ感/幻想性を上手く交錯させながら作りあげました」

――『Carmen』は、大人の色気携えた情熱的な楽曲になりました。

「僕なりの視点で新たな『Carmen』の話を書きたい衝動に駆られて描きあげたのが、この曲です。

もともと曲のコード進行がスパニッシュな感じだったので、楽曲アレンジを手がけるToruさんと僕と二人で、スパニッシュな要素を活かした情熱的な形に仕上げました。楽曲の雰囲気の妖艶さが、そのまま『Carmen』の詞にも繋がっていきました」

――『Replica』には、サイバーパンクな雰囲気を覚えました。

「割と西洋的な感覚を持った雰囲気の中へ、少しオリエンタルな匂いを詰め込んだ曲調。しかもサビが完全英詞という、新しい一面を提示した楽曲になりました。前アルバム『Veil』の中に『Mirror』という(抽象的な詞の表現を用いた)楽曲があるんですけど。当時は、そこに描いた世界観を理解してもらえるのか懸念もあったのですが『Veil』のリリース後、みなさんが、しっかり受け止めてくれた感触を得たからこそ、「じゃあ、もっと奥深くにあるAoiの世界観に浸ってもらおう」と思い、この詞を綴りました」

[illegible]浮かんでいたのでしょうか?

「イメージとしては、『Terra』の世界観に近いですね。それこそ、水分を失った植物の葉が、緑色から茶色へ変化していく。その経過をうっすら眺めながら見えてきた映像を、ちょっと抽象的な視点で描いてみました」

――続く楽曲は『MASQUERADE』ですが、この歌から、今回のアルバムの物語が始まったわけですよね。

「『MASQUERADE』という楽曲を制作している頃から、「次のアルバムはこんな感じにしたい」という漠然としたイメージはあったのですが、やはり「一つ軸となるテーマ性を決めたほうがいい」という想いから、先に『Requiem』というタイトルを決めました。そこから、さまざまな収録曲の制作が始まったわけですが、その『Requiem』というテーマ性の元となるこの歌があったからこそ、アルバム自体が1本筋の通った作品になったと実感を持っています。むしろ、この曲が入っていなかったら、もっとバラバラな印象を与える1枚になっていたかも知れません」

――『MASQUERADE』と、続く『jester』って、歌詞の世界観的にも共通項を持っていませんか? もしや、関連する物語になっています?

「『jester』の楽曲を作っているときは、関連性はまったく考えていなかったんですが。"jester"という言葉が出てきたと[illegible]いたんですね。そのテーマ性をどんどん掘り下げていくうちに、「人を傷つけたり、殺めてしまうことでしか自分の愛情を表現することの出来ない人物像」が生まれていったんです。そこで思い描いた、Aoiが描き出す物語性との共通性を強く感じたんです。jesterという言葉の持つ意味と、『MASQUERADE』に綴った想いとの共通性を見い出したことから「言葉のしりとり」をしているような感覚のもと、まるで連なりを持って聴ける楽曲として、この歌が完成しました。そういう経過があったことから、この2曲を並べたわけなんです」

――『Lost』は、ライヴで活きるアグレッシブな表情持った楽曲として誕生。

「『MASQUERADE』『jester』と、物語的な世界観を強く描いた曲が続いたあとに、ライヴ映えする楽曲であり、ストーリー的な流れも心へ想起させる『Lost』『delayte』を、続けざま入れました。

この『Lost』に綴った想いは、BOUNTYを通して訴えかけているテーマ性にも共通すると言いますか。これまでは、BOUNTYとAoi Soloは対極を成すものとして成立させたほうが面白味が出ると思い、そう対比させていたのですが、何時しか自分の中で、BOUNTYとAoi Soloの音楽性が自然と共鳴しあったり、影響を与えあっていたんです。ならばと、その感覚を素直に受け止め表現したのが、この『Lost』になりました」

――BOUNTYの世界観と共鳴するという面では、『delayte』も同じじゃないですか?

「『delayte』は、BOUNTYのアルバム『Tribal』へ収録した『Delusion』の世界観にすごく似ています。と言うのもこの曲、アルバム『Veil』を作る前から手元にあった作品で、この『Requiem』という物語を描くうえで、「この雰囲気に共鳴しあえる」と思い、楽曲面で新たな彩りを加えながら収録した歌なんです。じつは『Lost』や『delayte』を通してBOUNTYとの共鳴性を感じたのは、作り終えた後のこと。そう考えたら、このアルバムを作ったことで、自分なりにいろんな発見をした面が多かったのも、

――本作では唯一となるバラード曲『THE WHITE LOVE』が登場。

「過去に『Veil』の中へ『Alone』というミディアム系の楽曲を発表しているとはいえ、現状では「Aoi Soloとしては、まだバラードに手を出すのは早い」という意識があったんですけど今年の夏、ドイツとフランスでワンマン・ライヴをやることになったとき、それまでイベントでは成立していた世界観がワンマンのライヴをやっていくにあたって、"起伏をつけてゆくための表情が足りないこと"に気づいたんです。ならば、ワンマン・ライヴの中へ緩急付けた世界観を描くためにもと、今回バラードの収録を決めました」

――確かにバラードがあると、楽曲の流れの中へ新しい起伏が生まれます。

「BOUNTYでは多少バラードも表現していますが、Aoiというアーティストに関しては"バラード"というイメージがこれまで一切なかったので、「Aoiもこういう世界観を描くんだ」という、そんな嬉しい裏切りがあってもいいかなとも思いましたしね」

――そしてラストは、『Concord』ですが、この曲もまた、『THE WHITE LOVE』との連なりを覚えてしまいました。

「「一致・調和」という意味を持つタイトルのよう、『THE WHITE LOVE』で描いた"二人"の物語が、ここで一致していくような感覚や『Requiem』[illegible]アルバムを通し描き出したいろんな物語が、ここで調和していく印象も与えますが、でも基本はどれも、1曲ご[illegible]独立した世界観を持った楽曲として制作しているんです。

これはアルバム全体に対し言えることですが『Requiem』という軸をベースに、1曲ごと独自の物語を描いたとはいえ、いろんな物語たちがアルバムを通し一つの連動性を想起させる形になったのは、僕自身も嬉しい発見でした。と同時に、物語の一遍一遍に登場する主人公たちが陥る悲しい末路や命を落としてしまう結末。その主人公たちへの鎮魂歌として、『Requiem』という題名が必要だったのかも知れないですね。

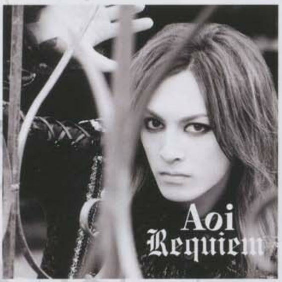
www.shanghaidz.com
蝴蝶网 hudie.com

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

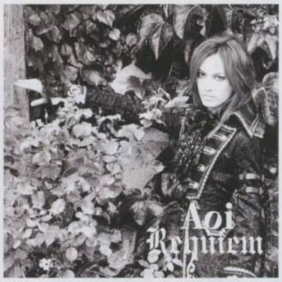
NEW ALBUM IN STORE NOW

Requiem



TYPE-A

KHCM-1104 ¥3,000（税込）
CD＋オリジナルカード１枚封入（全３種）



TYPE-B

KHCM-1105 ¥3,600（税込）
CD＋DVD（「Concord」PV）

［収録曲］

1. Requiem aeternam 2. VIRGIN (Requiem ensemble) 3. MAKE YOUR HEAVEN 4. Carmen 5. Replica 6. MASQUERADE 7. jester 8. Lost 9. delayte 10. THE WHITE LOVE 11. Concord

発売：ソルブレイド/ArtScape　販売：EMIミュージック・ジャパン

Monthly Aoi at 原宿

2009年11月2日から、ライカエジソン ラフォーレ原宿店でお買い物をされたお客様、毎月先着222名の方にAoiオリジナルコスメグッズをプレゼント！ グッズは毎月変わります。詳しくは、店頭やAoiオフィシャルホームページにて！

Aoi INFORMATION

［インストアイベント］

ライカエジソン全店にてニューアルバム「Requiem」か９月16日発売のシングル「VIRGIN」どちらかをお買い求めのお客様対象に、サイン＆握手会を実施いたします。

日時：2009年12月12日（土）
新宿MARZ　ワンマンライヴ会場にて
時間：16：30スタート
（問）ライカエジソン東京店 03-3369-3119

初の国内ワンマンライヴ決定！

「Romanesque ～Virgin Blue D'Hiver～」

2009年12月12日（土）新宿 MARZ

OPEN 17:30/START18:00
（問）新宿 MARZ　03-3202-8248

SOL BLADE メールマガジン

AoiやSOL BLADEに関する情報などをメールにてお知らせ致します！
ご希望の方は、メールタイトルに「Aoi」と入れ、本文には何も入力せずにinfo@sol-blade.co.jp宛に空メールをお送り下さい。
※ご登録頂いたメールアドレスはメール配信にのみ使用致します。
※詳しくは、Aoi OFFICIAL HPをご覧下さい。

Aoi OFFICIAL FAN CLUB MAXIM 入会受付中！　入会方法は、Aoi OFFICIAL HP内FanClubページをご覧下さい。

Aoi OFFICIAL HP http://www.aoi-line.com **BOUNTY OFFICIAL HP** http://www.bountyrock.com **SOL BLADE OFFICIAL HP** http://www.sol-blade.co.jp

THE KIDDIE ポプラ

The sky is filled with seeds of POPLAR

10月7日にリリースされた「soar」を第1弾とし、3ヶ月連続リリースをスタートさせたTHE KIDDIE。マイナーながらも、スピード感溢れるダークな楽曲を押出した第2弾の「BLACK SIDE」では、いつもと少し違うTHE KIDDIEの表情を見せたこともあり、3部作のラストを飾る今作が気になるところ。12月2日にリリースされる第3弾では、いったいどんな景色を見せてくれるのだろうか？

ography:TAKEHIRO SUGANUMA
view:NAOKO TAKEICHI
&Make-Up:MANAMI TANAKA

——今作「ポプラ」はユウダイ作曲のポップな歌モノだけど、この曲は連続リリース第3弾作を意識して作られたの？

ユウダイ：いや、作ったのは今年の夏頃で、特にそこを目指して作ったって感じではなかったんだけど、今回連続リリースをするってなったときに、ラストは聴かせる曲を持ってきたいよね、ってことになり、「ポプラ」の原曲が選ばれて、そこから、バンドで広げてった感じ。

——間奏が2回出て来たり、大サビに繋がるDメロがやけに印象的だったりする、不思議な構成の楽曲だよね。

ユウダイ：原曲の段階では、英語のセクションがあるDメロはなかったんですけど、アレンジしていく段階で、紗が、"こういうのあった方が良くい？"って、そこを付け加えたんで、サビ後に長めの間奏があって、Dメロ、大サビ、で、その後にまた間奏ある的な流れが出来てったんですよンジしていくんだけど、ちょっと捻って、更にサビくらい印象的なセクションを持たせてみるのも面白いんじゃない？ってことになったんです。

揺紗：面白かったでしょ。せっかくの3部作なんだし、最後は普通じゃないことを工夫してやりたくて。

——楽器隊の見せ場も多しね。

佑聖：そうなんです！ まさに、僕の見せ場は、間奏のギターそろだったりします。この曲、すごく壮大じゃないですか。だから、伸びる感じの壮大なイメージのギターを弾きたくて、いろいろ自分なりに試行錯誤して、いきついたのが、今回のソロなんです！

——2本のギターの音色に幅を持たせてたりもするし、プレイ面でも、お互いの役割りをちゃんと担う工夫がされてる。

佑聖：そう。わりと今回、僕は、ソロ以外はバッキングに徹してたりするんです。

——Aメロのクリーントーンのギター

淳：そうですね、歌との隙間を縫っていく感じで弾いてるのは僕です。個人的には、歌と絡み合ってる感じのサビのフレーズのギターとか、すごく気に入ってたりしますね。あとは、場面展開とか、上手くギターでも出来てるんじゃないかな。

そらお：ベース的には、雰囲気を大事にしたいなと思ったんで、指で弾く部分とピックで弾く部分とを分けてみたりしたんです。Bメロとサビは、勢いを出したかったんで、ピックでおもいっきり弾きました。個人的に気に入ってるのは間奏のアコギが入ってくる部分で、アコギの音色とフレーズがいい感じにベースのフレーズに絡み合っているんです。一番印象的に残る頭のヴォーカルメロディーをベースのフレーズとして弾いてみたり、この曲はいろんなアプローチをしたんですが、曲の中での展開が多かったからこそ出来た冒険だったと思います。

——この曲は揺紗の歌から幕を開けるよね。

揺紗：そう。そこはね、歌入れとかも相当苦戦しましたね。歌詞は、本当に大事に書きましたね。3ヶ月連続リリースのラストを飾る曲なんだっていうことを、歌詞ではすごく意識したんですよ。ここから、また新たに始まっていくんだっていう意味も込められてるし。ひとつの節目だったりもするし、今の自分たちのことを改めて見つめて書いてみようかなって。応援してくれるファンのみんなや、スタッフや、関係者のみなさんや、同じフィールドで頑張ってる対バンしてくれる仲間が居てくれるからこそ、僕らはここに、こうして居られて、頑張っていけてる訳で。そんなことを、この歌に込めたかったんです。今の心情を素直に書けた歌詞でもありましたね。

ユウダイ：英語の歌詞の部分の話してよ。英詞の部分の意味が深いんですよ。

揺紗：サビ以上に印象的に響かせたかったっていうDメロの部分の英語の

よ。っていう意味なんですけど、そのポプラの種っていうのは、僕たちで、風はファンの子達のことを指してるんですよ。

——種は風がないと遠くに飛べないと。

揺紗：そう！　まさに。僕たちは風向きによって、いろんなところへ飛んでいけるんです。こうして、僕らがバンドをやれて、音を出せて、歌を歌えるってことは、いろんな人たちが僕たちに風を送ってくれているからなんだってことを、この3部作のラストで歌いたかったんです。シングルでここまで素直に、ちょっと女々しいかな？って思えるくらいの歌詞を書いたの初めてだったんで、最初は迷いもあったんだけど、やっぱ、今の気持ちをどうしても素直に飾らない言葉で歌詞にしたかったんですよね。こういう歌詞を書かせてくれたのは、応援してくれたみんなだったなって思うんですよね。歌詞の中で、最初の方は【君が居る】って書いてて、最後の方では【君が要る】としてるっていうことを意味してるんです。

ユウダイ：3部作目に相応しい歌詞が乗ったことで大切な曲になった気がします。

——そうだね。カップリングの「Blow up」は淳くん作詞作曲ですが。作詞が揺紗以外って珍しくない？

揺紗：そう。初めて。淳くん作曲ってのも結構珍しいんですよ。淳くんのデモ曲から広げていった曲ってのは多かったりするんだけど、ここまで淳くて。それもあって、歌詞も淳くんが書いてみるのもいいなって思って。ひとつの冒険でもありましたね、これも。

淳：いやぁ、歌詞はホント難しかったですね。言いたいテーマを決めて書き出してはみたものの、書きたいことが多過ぎてなかなかまとまらず、揺紗に何個か見せて、伝わりやすいようにレクチャーしてもらったりしましたね。「Blow up」って吹き上げるっていう意味なんですけど、今と、この先の自分たちに重ねた歌詞になったことも

——なるほどね。楽曲はすごくシンプルな構成のバンドサウンドだよね。でも、サビでテンポが落ちるって珍しくない？

揺紗：テンポ落ちるとこはBメロだよ。

——え？　コーラス入ってるとこだよ？

揺紗：うん。そこサビじゃなくてBメロ。でも、たしかに、そこのが印象的っちゃ印象的だもんね。じゃぁ、今日からそこサビって呼ぶことにするわ

淳：いやいや（笑）。ちなみに、そこのコーラスは、英語の発音が良かったんで、ユウダイくんにやってもらってます（笑）。

ユウダイ：英語の部分ね（笑）。

そらお：あははは。【英語の部分】ってフレーズ気に入ってるね（笑）。

——ね（笑）。2Aで音数が押さえられてるとこではベースが際立ってるよね。

そらお：そう。バンドサウンド感を押し出したかったのもあって、出ることは出る感じで勢いよく弾きましたね。2A部分は、跳ねてる感じを出そうと思って、歯切れよく頑張りましたね。

ユウダイ：頭がフィルで始まる曲が好きなんで、結構得意パターンでもあったし、楽しめた曲でしたね。

佑聖：ギターはね、イントロとサビのコードが一緒だったりするんで、シンプルながらも、ちょっと捻りがあったりもするんですよ。Aメロもアクセントが違うだけで進行が同じだったりするんですよ。

——なるほどね。「Arise!」は？

ユウダイ：同期があって、そこに生のドラムがからんでいって、ラストにいくにつれ、どんどん盛り上がっていくっていう、右肩上がりの曲が作りたくて作った曲でしたね。サビをゴールとせず、ラストにゴールを持ってきた曲ですね。

そらお：同期がメインな曲というイメージがあったんで、こういう曲の[illegible]は生のバンドサウンド感を失わないようにするのはベースの役目かなと思い、曲を支えるフレーズという事を意識して弾きました。

——うん。すごくベースがいい役割をしてる曲だと思ったよ。

淳：ギターもシンプルながら[illegible]レーズが際立つ感じにしたくて、いろいろと考えた曲でしたね。ラス[illegible]にゴールを持っていきたかったんで、逆にサビは少し控えめに弾きましたね。

佑聖：僕はですね、この曲で、僕のクレイジーな部分をみんなに伝えたかったこともあり、かなりいききって頑張りましたね。Aメロのうにょうにょいってるギターの音色や、間奏のギターソロは、かなりクレイジーな[illegible]さ感じてもらえると思うので、じっくり聴いてみて下さい！

揺紗：歌詞は、【ここからが始まりだぞ！】っていう意味も込め、サバンナみたいなところに裸の女と男が居て、そこから何もかもが始まっていくっていうのをテーマに書きましたね。連続リリース後のTHE KIDDIEの決意表明的な1曲でもあると思うので、その勢いを感じて貰えたら嬉しいです！

佑聖

淳

そらお

ユウダイ

【ライヴスケジュール】●ONEMAN LIVE「KIDDIE WONDERLAND」12/2赤坂BLITZ●11/22渋谷C.C.Lemonホール、12/31高田馬場AREA・ラフォーレミュージアム六本木、2010/1/5渋谷O-EAST●THEKIDDIE SUMMIT vol. 1/23某所

（問）〒162-0831東京都新宿区横寺町32 TR神楽坂Bldg ☎03-3268-[illegible]（平日12〜18時） http://kiddie.jp/

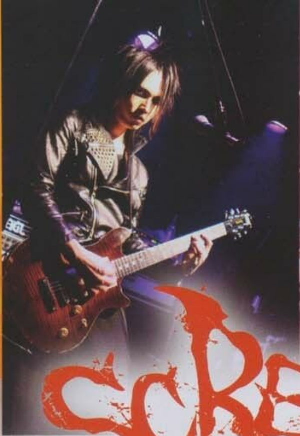
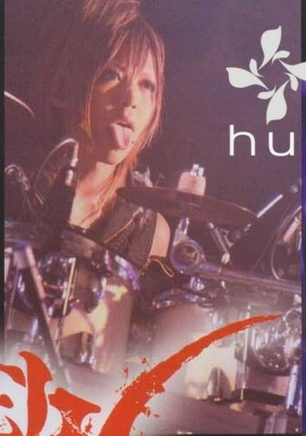
www.shanghaidz.com
hudie.com

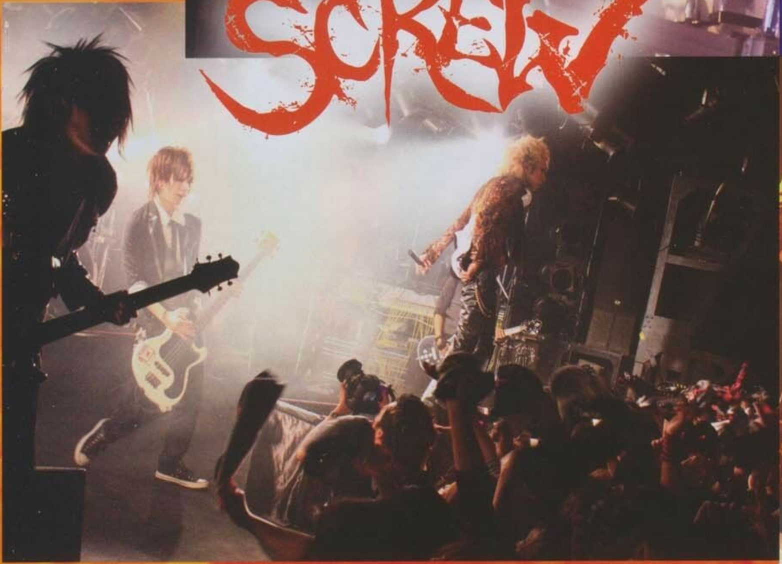
蝴蝶网
hudie.com
THE KIDDIE
KIDDIE
EMAN
LIVE
KIDDIE WONDERLAND
12/2(wed)赤坂BLITZ
open / 18:00 start / 19:00
adv / ¥3,500 day / ¥4,500
drink / ¥500
売券絶賛発売中！
チケットぴあ http://pia.jp/t ☎0570-02-9999 (Pコード:335-090)
ローソンチケット http://l-tike.com/ ☎0570-084-003(Lコード:77427)
CNプレイガイド ☎0570-08-9999(オペレーター対応)
e+(イープラス) http://eplus.jp
渋谷ZEAL LINK ☎03-5784-9666
ライカエジソン東京店 店頭販売＋電話予約 ☎03-3369-3708
E SCHEDULE
(sun) 渋谷C.C.LEMONホール / 12.31(thu) 高田馬場AREA
(thu) LAFORET MUSEUM ROPPONGI / 2010.1.5(tue) 渋谷O-EAST
TORE EVENT
(sat) 池袋Brand X / 11.23(mon) ライカエジソン東京店
也、続々決定！OFFICIAL WEB SITEをチェック！
THE KIDDIE OFFICIAL FAN CLUB kidd's
詳しくはOFFICIAL WEB SITEまで。 http://kiddie.jp/fanclub.html
入会受付中！
OFFICIAL MOBILE SITE
月額315円(税込)携帯3キャリア対応(docomo,au,softbank)〈アクセス方法〉http://eam.excite.co.jp/kiddie/
i-mode(R) 音楽/映画 ▶ アーティスト ▶ アーティスト総合 ▶ エキサイト☆アーティストモール ▶ THE KIDDIE
EZweb カテゴリ検索 ▶ 音楽·映画·芸能 ▶ 音楽情報 ▶ エキサイト☆アーティストモール ▶ THE KIDDIE
Yahoo!ケータイ 音楽·映画·芸能 ▶ 音楽情報 ▶ エキサイト☆アーティストモール ▶ THE KIDDIE

http://kiddie.jp
CANNON BALL
蝴蝶网
hudie.com
THE KIDDIE
初回限定盤【2song's CD+1song DVD】
￥1,890(tax in) VPCC-82638
収録曲 CD 1.ポプラ 2.Blow up
DVD 1.ポプラ -PV-
THE KIDDIE
通常盤【3song's CD】
￥1,575(tax in) VPCC-82288
収録曲 CD
1.ポプラ 2.Blow up 3.Arise!
3ヶ月連続リリース第1弾
『soar』
NOW ON SALE!!
初回限定盤【2song's CD+1song DVD】VPCC-82634
通常盤【3song's CD】VPCC-82284
初回限定盤
通常盤
3ヶ月連続リリース第2弾
『BLACK SIDE』
NOW ON SALE!!
初回限定盤【2song's CD+1song DVD】VPCC-82637
通常盤【3song's CD】VPCC-82286
初回限定盤
通常盤
3ヶ月連続リリース 第3弾!
ポプラ
2009.12.2(we
IN STORES
ポプラ購入特典
特典1 メンバーからのテレフォンメッセージ ※モバイル会員登録が必要となり
特典2 オリジナルFLASH待ち受け ※無料メールマガジン登録が必要となりま
特典3 オリジナル待ち受け画像
★2010.1/23 都内某所にて
Special Live【THE KIDDIE SUMMIT Vol.2】開催決
抽選で完全300名様限定ご招待!!(入場時にDrink代￥500別途必要)
10月発売「soar」,11月発売「BLACK SIDE」,12月発売「ポプラ」3タイトル
ご購入者対象のスペシャルライブ決定!
詳細はHP
近日発表
www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

【set list】
1.RUIN AND DREAD
2.Ⅶ CALDINAL SINS
3.Wailing Wall
4.BABY☆STAR
5.Haze
6.Thirty♂Revolver
7.The previous night of hell
8.幻影の鎖
9.灰の葬列
10.秋風
11.DEADLY SILENCE
12.Death's door
13.VANQUISH
14.KAIROS
15.VEGAS
16.ブラックモンスター
17.DRASTIC SLAVER
18.傀儡Fiction
＜encore Ⅰ＞
19.揺籠
20.スカーレット
21.FIREFLY
22.S**r&h
23.七色
＜encore Ⅱ＞
24.RAGING BLOOD



SCREW

TOUR09 X-RAYS OF SCREW 『THE FINAL』切望

2009.11.2 SHIBUYA CLUB QUATTRO

突然のゆうとの脱退発表に驚き、残念にも思ったが、この日の5人の姿を見て、過剰な心配はいらないと感じた。それほど彼らは自信たっぷりにステージに立っていた。おおいに手応えを感じたアルバム『X-RAYS』の発売、そしてツアーを経た現在のSCREWの姿を、ツアー・ファイナルのレポートから感じ取ってほしい。1月9日には、この5人での完成形とも言えるライヴが見られることだろう。

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:MIYUKI MURAYAMA

ツアー・ファイナル2デイズの2日目は、本編18曲、予定外のダブル・アンコールで6曲、合計24曲というたっぷりの内容となった。それだけのボリュームを、密度の濃い空間を維持し続けてプレイしたという点から見ても、彼らの成長は明らかだろう。そして、その内容のクオリティもまた、彼らの成長を如実に語るものだった。

オープニングを飾った「RUIN AND DREAD」から、熱狂的に拳を突き上げるオーディエンスはもちろん、メンバーも高いテンションで最初からぐんぐんトバし、気合いの入ったところを見せつける。スピードに乗って、地鳴りのように響くサウンドはフロアを圧倒し、勢いまかせのプレイでグイグイ突き進んだ。「The previous night of hell」では、まるですでにライヴ終盤のような盛り上がりで、オーディエンスと共に作り上げたその勢いは、どこまでもとどまることを知らないような様相を呈す。

が、ここでガラッと表情を変えて、じっくり聴かせる曲を持って来ると、会場全体の雰囲気までも塗り替えてしまう。アンコール1曲目の「揺籠」もそうだが、こういった聴かせるタイプの曲での説得力は、ワンマンを重ねることに明らかに増していると言えるだろう。

そして後半は「DEADLY SILENCE」から再びフロアへ火を点けていく。ストイックなまでにプレイに集中し、一切のムダもスキもなく、男らしいステージを展開する楽器隊は一回りも二回りも大きく成長し、逞しさを感じさせた。特にプレイ面でのまとまりが、そういった印象を強く残させたのだろう。フロントを務める鋲の姿も、そんな4人を率いるかのように堂々としていて目を引いた。

アンコールでは、一転リラックスした表情も見せ、無邪気に思い切り楽しむ様子を見せた5人。オーディエンスもまた負けないほどの暴れっぷりで、会場全体が遠慮など一切なく、このライヴ空間を味わっている清々しいほどの空気が満ち溢れた。ゆうとの脱退が発表されているだけに、涙しているファンもいたが、湿っぽい雰囲気は彼らのライヴには似合わない。この5人最後のステージまで、この

イヴ・スケジュール】11月29日・高田馬場エリア、12月28日・心斎橋ビッグキャット、29日・名古屋E.L.L、31日・高田馬場エリア、1月9日・渋谷O-WEST。 http://www.indie-psc.com/screw/

www.shanghaidz.com

Dolly　11/5　LIQUIDROOM Ebisu
「REM -Remake,Epic in the Moment-」

M-1 Heaven's door
M-2 天体逃飛行
M-3 Alice in Dizzypit
M-4「R」
M-5 水彩パレット
M-6 トレモロジック
M-7「金魚」
M-8 revolver's-go-round
M-9 $ゲーム
M-10 Word's end
M-11 鬱雲ドロップ
M-12 ジオラマネバーランド
M-13 夕闇に溺れた白いバルーン
M-14 INject Candy
M-15 クロゼットレター
アンコール1
M-16 時の列車
M-17 兎明
M-18 四季彩グラデーション
アンコール2
M.19 オレンジ

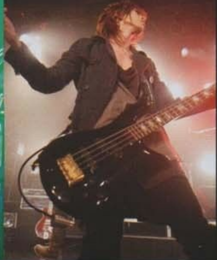
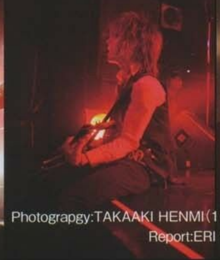
そして今、岐路に立つ5人。また新たな場所へと歩きだす。
LIQUIDROOM Ebisu 2Days　速報レポート

Dolly

Dolly　11/4　LIQUIDROO…
「REM -Recall,Escort to the…

M-1 …
M-2 ジオラマネ…
M-3 Alice in…
M-4 SCRAP BULLET…
M-5 雨降り…
M-6 …
M-7 月光は…
M-9 天…
M-10 星…
M-11 水…
M-12 シャイ…
M-13 …
M-14 INje…
M-15 四季彩グラ…
M-16 クロゼ…
M-18 サ…

活動休止から半年。counting a sheepを経て、いよいよ、Dollyが復活するときがきた。
ここ、恵比寿リキッドルームには、早い時間から多くの観客が詰めかけている。
11月4・5日と、2日間に渡って行われたDollyの単独公演「REM」。
それは、一生忘れられない日となったのだった。たくさんの涙と笑顔に包まれた2日間、その様子を、速報でお届けします。

Photograpgy:TAKAAKI HENMI（11/4） HIROE YAMAUCHI（11/5）
Report:ERI MIZUTANI

いうか。「水彩パレット」をやるにしても、何かが違うんですよね」これは、Dollyが期限付きの休みに入ってまもなく、counting a sheepが動きだした頃に蜜が言っていた言葉だ。そのとき私は何も言えず、ただ黙って頷く事しかできなかった。今思えば、そこですぐに「そんな事ないよ」と言ってあげればよかったのかもしれない。けれど、蜜があまりにも寂しそうな顔をするものだから、何て声をかけていいのかわからなかった。それから月日は流れ、Dollyが復活する日が近付いてきた。

「-Recall,Escort to the Moon-」「-Remake,Epic in the Moment-」と名付けられた2日間。久しぶりに見る5人のステージは、活動4周年を記念するに相応しいライヴになる事だろうと誰もが思った。だが、この後、思いもよらない現実に直面する事となる。最初は何の冗談かと思った。ゆいながこのライヴをもってDollyを脱退するというのだ。何と、ゆいなのことだから、みんなを驚かせたくてこんな嘘を言っているのだろうと。けれど、それは本当だった。5人のDollyを見ることができるのはこの2日間だけ。だからこそ、目を逸らさずにしっかりと見ておかないといけないのだ。

そして、ついに1日目がやってきた。当日、会場に集まったファンたちは、複雑な気分ながらも、ライヴが始まるのを今か今かと待ち構えている。すると、辺りが暗くなり、目の前の幕がスーッと開いていった。その瞬間、場内からは安堵の声が。そう、そこには5人の姿がしっかりとあったのだ。久しぶりに見たDollyは、前と同じ、…いや、それ以上にパワフルになっていた。とにかく、このメンバーでライヴが出来ることが嬉しくてたまらないのだろう。「時の列車」から始まると、無我夢中でステージングに没頭していった。「ただいまリキッド！空いていた時間をうめていくぞ！」と大きく叫ぶと、立て続けに激しめのナンバーを披露し、これでもかというぐらい会場を揺らしていく。counting a sheepとは比べ物にならない迫力、これこそがDollyの底力なのだと改

ノリを含め、穏やかに進行。最初のMCでゆいなが言った「今日は良いライヴになるよね」のとおり、ほほえましい雰囲気が場内を包んでいったのだった。もちろん、この日は、名曲である「水彩パレット」も演奏された。久しぶりに聴いた5人の「水彩パレット」を、ファンたちが涙を滲ませながら聴いていたのは言うまでもないだろう。

笑顔で終わった1日目。高鳴る鼓動と多くの歓声を受け、始まった2日目。それは、優雅な質感ながらも強い印象を残す「Heven's door」からだった。ツインギターの特性を活かしつつも、しっかりと聴かせていく聖とゆいな。いつも以上に大胆に演奏するはちと亜樹。自由でありながらもきちんと縦のラインが揃っている辺り、この4年間、真面目に頑張ってきたことを証明していた。そのまま、アグレッシブさと繊細さを絡ませ、最高の流れを見せていく。だが、楽しい時間はあっという間に過ぎていった。刻々と近付いてくる〝終わり〟。だが、彼らはそれを敢えて避けるようにしてライヴを続けていったのだった。このまま終わらないでほしい、終わらせたくない、そんな、悲鳴とも取れる感情が、曲を通して伝わってくる。「イヤやけど、時間は止められんからね」ポツリと呟いたゆいなの目は、あのときと同じ、「何かが違うんですよね」と言った蜜みたいに寂しそうだった。それを見たファンたちは、言葉を失ったように、ただその場に立ち尽くすしかなかった。アンコール、本来ならば楽しい時間。けれど今日は違う。ゆいなを筆頭に、メンバーの正直な気持ちに大いに泣かされた。最後、[illegible]の衣裳に着替えた彼らは、「オ[illegible]ライヴ[illegible]を締めくくった。「Do[illegible]たこと忘れんといてな[illegible]言い残[illegible]て去っていったゆいな。[illegible]見たファンたちは、いつまでも[illegible]抱[illegible]と〝ありがとう〟の声を贈っていた。

ゆいなの想いを乗せ、[illegible]4人で進んでいくことを決めた[illegible]Dolly。彼らの未来が明るいものに[illegible]ますように。そう強く願った帰り道、少[illegible]だけ欠けた月が足元を明るく照らしていた。

蝴蝶网
hudie.com

メンバー加入!
新生 α:Vout 始動!
http://avout.net
α:Vout
アヴァウト
ID-JAPAN PRESENTS "Death trap-GIG"
2009.12.26 渋谷 RUIDO K2
出演：VAJRA / VANESSA / ReivieЯ / 'D' ROLE / Para:noir / α:Vout / etc
Open /Start 16:00/16:30 前売り ¥3000 当日 ¥3500 (D代別)
チケット：Death trap-ID 原宿店 ローソンチケット
RUIDO K2
18 禁セッション / etc
Open /Start 16:00/16:30 当日 ¥3500 (D代別)
3rd Maxi single 12.23 Release
ギルティー
3songs/¥1,575(tax in)/DTR-025/Ltd.1000- SPEED DISK 通販特典：メッセージ DVD
4th Maxi single 1.27 Release
SCAR EDGE
3songs/¥1,575(tax in)/DTR-026/Ltd.1000- SPEED DISK 通販特典：メッセージ DVD
《SPEED-DISK》〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-3-8-609 TEL 03-5386-5828 SPEED DISK HP http://www.xxxrecords.jp/speeddisk/
LETTERS：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-13-20-802 D.T.M Entertainment内 α:Vout事務局

蝴蝶网
hudie.com

Administrator
アドミニストレーター
2009.12.23 Release
2nd Maxi Single
Heart is...
S.D.R-208 / ¥1,575-(tax-in) / Ltd 1,000
[収録曲] 1. Heart is... 2. skinny ray 3. transient of life
Administrator 2ndMaxiSingle先行発売主催
～trident in the Ace act.2～
2009.12.15 (TUE) 高田馬場 AREA
Administrator / amber gris / トゥーン工場 / ALSDEAD / ヴァルナ / Like absolute myself. / ReivieЯ
OPEN 16:30 / START17:00 ADV ¥2,500 / DAY ¥3,000 info 高田馬場AREA 03-3361-1069
Ticket A(001-100) : ...rator物販にて先行販売 B(001-200) : ローソンチケット Lコード(70689)
THANKS SOLD OUT!!
NOW ON SALE
1st Maxi Single
Official Website にて
『 SELFISH CLOVER 』
『 手招く太陽 』
LIVE SCHEDULE
11.25 高田馬場AREA 11.26 HOLIDAY OSAKA 11.27 HOLIDAY NAGOYA 12.08 名古屋ell.FITS ALL
12.09 大阪soma 12.11 博多DRUM SON 12.13 高田馬場AREA 12.15 高田馬場AREA 12.27 高田馬場AREA
12.31 高田馬場AREA 1.8 高田馬場AREA 1.15 新宿RUIDO K4 1.19 高田馬場AREA 2.26 高田馬場AREA
hudie.com

SPEED DISK PRESENTS

Shinrabanshow tour'10

1月8日(
名古屋 E.L
Cast:Ap(r)il/VANES
Guest:キャンセ
花少年バディー
Virgil/Lyca

1月9日(
江坂 MU
Cast:Ap(
Guest:キャンセ
花少年バディー
Virgil/VELGRE
Lyca

1月10日(
江坂 MU
Cast:ダウト /R指
Guest:Wiza
しゃるろっと
ゾロ /vis

1月11日
名古屋 E.
Cast:ダウト /R
Guest:Wiz
しゃるろっと
ゾロ /DuelJewel/vis

http://xxxrecords.jp/speedd

蝴蝶网
hudie.com

2010年1月13日 NEW SINGLE
ドッグゼロスター

【初回盤】CD+DVD　RSCD-003/004　¥1,890 (tax in) / 【通常盤】CDのみ　RSCD-005　¥1,260 (tax in)
発売元:Resistar Records

DOG inThePWO パラレルワールドオーケストラ 主催イベント

2010年1月16日(土)「犬小屋 #1」
渋谷WOMB

開場 16:00 / 開演 16:30
チケット料金(ドリンク別):前売り 3,000円 / 当日 3,500円
出演:DOG inTheパラレルワールドオーケストラ、シリアル⇔NUMBER、amber gris 他
シークレットバンド有り!

先行発売1 11月20日(金)〜11月30日(月)びじゅなびにて先行申し込み
先行発売2 12月6日(日) 無料ワンマン会場外にて先行発売

一般発売　12月12日(土)〜
・チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:339-080)
・ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード:77853)
・e+ http://eplus.jp
・FLIP SIDE ONLINE TICKET http://www.flipside.co.jp

2010年2月20日(土)「犬小屋 #2」
渋谷WOMB

開場 16:00 / 開演 16:30
チケット料金(ドリンク別):前売り 3,000円 / 当日 3,500円
出演:DOG inTheパラレルワールドオーケストラ、vistlip、アンド、HERO
シークレットバンド有り、ゲストバンド有り!

先行発売1 11月20日(金)〜11月30日(月)びじゅなびにて先行申し込み
先行発売2 12月6日(日) 無料ワンマン会場外にて先行発売

一般発売　12月12日(土)〜
・チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:339-080)
・ローソンチケット 0570-084-003 (Lコード:77853)
・e+ http://eplus.jp
・FLIP SIDE ONLINE TICKET http://www.flipside.co.jp

シングル購入者対象無料ワンマンライヴ
2009年12月6日(日) 渋谷BOXX

応募方法:ファーストシングル「ハルシオン飴缶」の封入用紙が必要となります。抽選の結果、当選者のみご招待。

応募期間:11月10日(火)〜11月25日(水) 締切間近!

NOW ON SALE

近代ヴィジュアル史の2大名曲
あなくろフィルム (baroque)
夕暮れの謝罪 (蜉蝣)
カヴァーを収録!

Single
ハルシオン飴缶 (キャンディー)

RSCD-002 ¥1,575 (tax in)　発売元:Resistar Records

Mini Album
メルトトルカカトル

RSCD-001 ¥2,520 (tax in)　発売元:Resistar Records

www.shanghaidz.com
蝴蝶网 hudie.com

蝴蝶网
hudie.com
DOG inThePWO
パラレルワールドオーケスト
OFFICIAL SITE
http://www.inu-para.com/
www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com
www.shanghaidz.com

2月9日（水）　3タイプ同時発売

【3タイプ購入特典】
CDについてある応募券を3枚集めて応募すると特典限定オリジナルコンプリートBOXをプレゼント！！

A type 【初回限定3000枚】
CD2曲入り +DVD ¥1,890
RONA0102A
1.Loyal Milk T
2.Lovers again
（DVD）Loyal Milk T

B type 【初回限定3000枚】
CD2曲入り +DVD ¥1,890
RONA0102B
1.Loyal Milk T
2.stare melody
（DVD）ゼクたんの☆お掃除しませう

C type 【通常盤】
CD3曲入り ¥1,575
RONA0102C
1.Loyal Milk T
2.colorless mercury
3.NEOPHILIA

オフィシャルサイト
【パソコン版】
http://www.goshujinsama.com/
【モバイル版】
http://www.goshujinsama.com/i/

〒160-0022
東京都新宿区新宿 3-11-12
永谷テイクエイトビル 9F
フューチャーリンクジャパン内「Virgil」係

蝴蝶网 hudie.com

12月12日(土) 高田馬場AREA

Virgil 単独演奏会

〜重大発表ですよ御主人様〜

※来場者特典あり（ウルトラミラクルゼクたんはたき）

Open18:00/Start18:30

前売り￥3.000/ 当日￥3,500

【チケット情報】

ローソンチケット　0570-084-003（Lコード：74887）

11月11日(水

単独演奏

〜お帰りなさいませ、

I

RONA030

【通販限定：77

www.shanghaidz.com

Virgil

御主人様専用奇才楽団

2009年。御主人様への最後のお託!?
2ndシングル『Loyal』リリース

執事キャラと質の高い音楽で人気急上昇中の御主人様専用奇才楽団Virgil。そんな彼らが待望の新作を発表するとのことで、話を訊いた。今回の作品テーマは、"今までのVirgilにはなかったもの"。それだけに、全てのタイプをゲットして聴き込んでほしいものだ。また、12月12日には高田馬場エリアにてワンマンライヴが行なわれる。こちらも是非、足を運んでみてはいかがかな。

Interview:ERI MIZUTANI

――新作は、いつものVirgilとは違った印象を受けましたけど。

ロア：今回はすごいですよね。今作のテーマは〝みんなで行こう、美味しい洋食屋さん〟なんですけど。

――……はい、みんな、このお兄さんは無視して話を進めていきましょうね。

ロア：えぇ！ちょっと！

――何でしょう。

ロア：今のフリは絶対にボケてくれってフリでしたよ！（笑）。えっと、真面目に話すと、今回はメンバー全員の曲でいこうって思ったんですよね。いつもは、自分が曲を書いているんですけど、みんなの色をもっと出していきたいと思って。なので、私が出せないVirgil色を出してほしいってメンバーに伝えて制作に取り掛かりました。

――と聞いて、みんなは？

ゼクス：僕は、Virgilに足りないものはラブソングだと思ったんですよね。ラブソングって今までに1曲しかなかったし。それで、キラキラとした「Lovers again」という曲を作りました。これはほんと、みんなのアレンジのおかげで良い曲になったと思います。

白：気に入ってもらえて良かったです。やっぱり、どういう感じにしたらいいかなって聴きながら作っていったのが良かったかなって。

――それにしても、今まで1曲しかラブソングがなかったっていうのが驚きなんですけど。

ロア：恋もしてないのに、ラブソングが書けるわけないじゃないですか！

ゼクス：じゃあ、過去を思い出して書いて下さい。

――ロア様、まさかの展開です（笑）。

ロア：で、でも、ピュアな気持ちで歌ったんで、ゼクたんの思い描くキラキラとしたところが出せたと思いますよ。

ゼクス：ライヴをイメージして作ったっていうのもあるので、笑顔で盛り上がってくれたら嬉しいなって。

――でも、この曲だけで驚いている場合ではないぞと。

ロア：そうです、「NEOPHILIA」や「colorless mercury」、「Loyal Milk T」なんかはまた違ったタイプの曲ですからね。

大地：今までのVirgilは品を求めすぎていた感じがするんですよね。もう少し、御主人様を引っ張っていきたい、俺たちに付いてこい、というところがあってもいいんじゃないかなと。そう思って、僕は曲を書いていきました。それで出来た曲が「NEOPHILIA」と「Loyal Milk T」なんです。

白：自分には出せない色を出してきてくれたなって思いましたね。ギターのフレーズもイメージしやすかったんで、すごくかっこいい曲になりました。

大地：自分としては、今持っている力は出せたと思います。きっと、これらの曲は、Virgilだからこそやってみたいって思えたんですよね。

白：逆に、僕は、爽やかなものが欲しかったんです。そうですね、天気の良い日にドライブしているような。そんな曲がVirgilに入ったらどうなるんだろうと思って、何曲か作っていったんです。その中で選ばれたのが「Stare melody」なんですけど、白っぽい面もありつつ、意外な一面が覗ける曲になっていると思います。

――歌詞も白さんが手掛けたそうで。

白：はい。悩んでいたりとかしているときに聴いてもらいたいですね。きっと元気をもらえると思うので。

ロア：それにしても、これだけ色んな曲が出てきたのに、まったくひるまないタクミはすごいと思いますよ。

タクミ：誰かがデモを作ってきたら、その人が作ったドラムが入っているんですけど、その時点で出来るものと出来ないものにわけて、出来ないものは省いていくんです。それが、僕のやり方というか。

ロア：この潔さが、かっこいい音を作るんですよ。

――素敵ですね。

タクミ：今回の作品は、今までVirgilにはなかった曲が多かっただけに、演奏していて楽しかったです。

ロア：そうですね。それに、みんなそれぞれ得意分野が違うだけに、色んなところから曲を出してくることによって良い化学反応が生まれたんだと思います。そして、12月12日には単独演奏会（ワンマン）があるので、皆様こぞって遊びに来て下さい。この楽曲を超えるライヴをしてみせますよ。

hudie.com
www.shanghaidz.com

今全貌を現す！
衝撃のパフォーマンスレポート

S3V3N

Live at C.C.Lemon Hall 2009.1

そのヴィジュアルで、写真だけでもおおいに関心を集めたSevenが、
CD『キラーチューン』の発売に続き、
10月3日、初ライヴでその全貌を現した。
そのステージとなったのは、渋谷C.C.Lemonホールで自らが
行ったイベント『ヴィジュアル大フィーバー』。
シーンを賑わすたくさんの出演者の中、見事トリを飾ったSevenは、
その堂々たる姿を見せつけ、力強くスタートを切った。

Report:MIYUKI MURAYAMA

蝴蝶网
hudie.com

Sevenの初ライヴの場であり、彼らと親交の深いたくさんのバンドが集う場となったイベント『ヴィジュアル大フィーバー』。既に熱くなったステージは、メインアクト・Sevenの登場を今か今かと待っている。

荘厳な重々しいSEが流れ出し、会場が静まり返る。ゆっくりと幕が開くと、Sevenの大きなバックドロップの下、後方中央の壇上から、メンバーが現れて来る。写真で見ているだけだった、そのド派手なヴィジュアルは、生で見るとさらにインパクト大。初めて目にし、思わず圧倒されている観客を前に、初ライヴは「ハナ」でスタート。和矛からは早速満面の笑みがこぼれだし、ミチルは回転するような不思議な動きを繰り出し、プリンもパフォーマンスで魅せる。一方、SANAはソロもカッコよく決め、そのギタリストぶりをアピール。そんな[illegible]と、まだ様子を見ているような雰囲気の観客を率いるかのように、KIRAは堂々とステージに君臨している。「渋谷、待たせたな！」力強く呼びかけ、次は「ステイ」。ロックなノリの熱い曲で、会場をさらに引っ張って行く。どんなバンドなのかと興味津々、まるで見極めようとでもするような観客は、まだまだノリ切れてはいない。沈黙の中、ピアノのイントロから始まったのは、「ダークネス」。静かに訴えかけていたKIRAは、徐々にドラマチックに歌い上げて行く。切々と迫って来るような歌声は会場を満たし、じっと立ち尽くしていた観客に浸透するよう。さらに「ソウ」では、スピード感溢れる迫力のあるサウンドに負けないようなKIRAの歌声が広がる。和矛は気合いと元気を求め、SANAを交えて煽り続ける。

KIRAが高らかに名乗りをあげ、「キングダムで遊ぼうか！」と、いよいよ会場全体を巻き込んで行く。ミチルのフリに合わせ、観客も少しずつライヴに溶け込み始めた。「振りかざせ！」と激しく求めるKIRAに対し、観客の手があちこちで挙がり、少しずつ会場全体がひとつにまとまって行く。和矛やSANAのシャウトと共に熱い空気が客席へ流れ、いつの間にか会場は熱気溢れるライヴ空間へと変化していた。

そんな中で、KIRAはこのステージに立てた感謝を口にし、最後に再び「ハナ」をプレイ。会場全体が煌々と照らされ、光り輝く。Sevenのスタートを祝福するような明るい空気が満ちていた。メンバー4人は、各々笑顔を振り撒き、晴れやかな表情を見せている。彼らならではの華やかなスタートを切った自信が、そこには現れていた。

ライヴ終了後、たくさんの出演者と初ライヴを祝福する友達や関係者でごったがえしている楽屋にお邪魔して、ステージを降りたばかりのメンバーに感想を聞いた。

KIRA「初めてのライヴだったんで、皆もなかなかノリ方がわからないだろうし、伝えなきゃって感じだったんですけど、だんだん伝わって来たなって感じで、最後ひとつになれたかなって手応えありました。ここからSevenが始まるんで、今後どうなって行くのか見守っててもらいたいなと思います」

ミチル「久しぶりのちゃんとしたステージだったんで、新境地に行きたかったんですよ。ロリータっていうキャラから、音楽的にもパフォーマンス的にも、新しい自分を発見できた収穫のあるライブになりました。そしてファンのみんなと大フィーバーできたイベントになったと思います。ただ、この衣装は動くっていう点では過去最悪ですね（笑）」

SANA「初ライヴをやって、やっと生まれたなって感じですね。こんな汗だくで生まれました（笑）。とっても新鮮で生まれたって言う表現が一番近いですね。C.C.Lemonホールは、天井が高くて、最高に気持ちよかったです。もうダメです（照笑）。ワンマンやりたいです。とってもよかったです」

和矛「すごい楽しかったです。一人だけの力じゃなくて、皆の力で出来たなって思いました。メンバーもそうだし、出演してくれたバンドさんもそうだし、見に来てくれたファンの子もそうだし。最高でしたね。ありがとうございました。いや〜、楽しかったです（笑顔）」

汗と笑顔が光るメンバーは充実感でいっぱいだった。来年1月7日には『ヴィジュアル大フィーバー#2』も決定。彼らの今後の活動に期待したい。

蝴蝶网
hudie.com

[_Vani;lla]

アブナイ、イケナイ映像集、まとめて公開!

漏

初の映像集「平成二十年度提出春夏秋冬狂声聴視覚集」リリース

【_Vani;lla】初となる映像集が11月27日にリリースされる。春夏秋冬をテーマにした4曲、しかも、「平成二十年度提出漏春夏秋冬狂声聴視覚集」というタイトルだけあって、刺激的な映像が盛りだくさんだ。そして、来年には待望の2ndワンマンツアー全国五悪趣蛇行「悪逆無道」が決行される。"とんでもない悪さをしてかしにいぐ"とメンバー全員気合い充分なだけに、こちらも要チェック!

Interview:ERI MIZUTANI

—意外なことに、映像集を出すのは今回が初だそうで。

まろ：そうなんです。最初は完売音源集を出そうって話だったんですけど、それじゃつまんないだろうってなって。なら映像にしちゃわない?って（笑）。ちょうど、昨年度リリースした音源達は春夏秋冬の季節ごとにリリースしていて、曲の雰囲気だったり歌詞に季節感を含めてたんです。タイトルの平成二十年度提出漏なんですけど、これは提出していたのは音源であって映像を出し忘れてたって意味です（笑）。うちらの音楽を象徴する言葉として狂声にしました。耳でも目でもうちらを感じれるって事で聴視覚です。

Kru：とりあえず、王道じゃない映像作品になっていると思います（笑）。

まろ：映像での季節感は、それぞれの曲でポイントとして出てるんですけど、例えば、春の「独りぼっち」では、桜を使っていたり、夏の「嘔吐DEATH CUSSION」では、背景にぐにゃっとさせたヒマワリを入れてもらったり。

—秋と冬は?

Kru：秋の「夕焼け恋差」は、枯葉を使ってて、冬の「Capsule YUMMY」は、ライトアップで表現しました。

まろ：冬って街がネオンで彩られるじゃないですか? 冬を表すにはこれだなって。それで、ライトアップされた十字架を使ってます。冷たさを伝える為に色味も白と青で。とにかく、映像を撮るのが初めてってこともあり、バリ楽しかったです。

—演奏シーンのみならず、イメージシーンもあったわけだしね。

鐘-ベル-（以下：鐘）：「独りぼっち」の主人公は女の子なんです。最初は女の子の役者さんとかを考えてたんですけど、段々自分で表現してみたくなっちゃったんです。

—そういえば、全曲に対して椅子が出てくるけど、これは何かの意味があるのかな?

まろ：はい。「独りぼっち」では、大人に「敷かれたレール」という意味が込められています。だから、メンバーが椅子に縄で縛られてるんです。この縄は大人からの「拘束」っていう意味が込められてます。このシーンはふすまで囲われた部屋になってるんですけど、一部破れて、人の目に覗かれてるんです。これが、大人からの「監視」という意味を込めて、ふすまで囲われているのはさっき言った「敷かれたレール」、「拘束」、「監視」といった大人が作りあげた場所に閉じ込められ「管理」されてるって意味です。「嘔吐DEATH CUSSION」は椅子とソファーて、椅子は硬い椅子なんですよ。しっかりと物事を考える時に使う場所として示してます。なので、ここでは、そこで繰り広げられる主人公の葛藤が見所ですね。そして、「夕焼け恋差」では、現在・過去・未来といった時間を示すものとして椅子を使ってます。で、「Capsule YUMMY」は、理想のカップルと言われる2人が主人公の曲で、歌詞では途中まで、男女それぞれの気持ちを交互に書いてるんです。でも、クライマックスになるにつれ、男女どっちの視点だかわからなくしてあって、最後は拳銃でどっちかが打たれて死んでしまうんです。ここでは椅子とライトアップされた十字架が出てくるんですけど、椅子が自分だったら相手の死んだ十字架を背負ってるって意味で、椅子が相手だったら自分が死んでいるって意味です。

—なるほど。ちなみに、撮りで印象に残っていることはある?

ユウナ：「嘔吐〜」はCGを使ったんですけど、そのときグリーンバックで撮影したんですよ。そのときはどうなるのかわからなかったけど、出来上がったものを実際に見せてもらったら、こういう風になるんだっていう発見ができて面白かったですね。

暁斗：面白いといえば、「夕焼け恋差」で使った枯葉って、俺らが集めたものなんですよ。

—あの床に敷き詰められた枯葉を!? 結構な量が必要だったでしょ?

暁斗：段ボール3箱分ぐらい（笑）。このとき、枯葉を集めろって言ってるのに、まろとKruが青い葉っぱばかり集めてきて。しかも、かなり大量に。

まろ：言っておくけど、面倒臭くなったわけではないからね（笑）。でも、曲が表すように、2人の恋の差と夕焼けに気持ちが連鎖しているのが映像でもうまく表現できたのではないかなと思います。

暁斗：「Capsule〜」はライヴを意識したこともあって、1テイク目から、みんな全力投球だったよね。

鐘：でも、衣裳が衣裳なだけに、熱を逃がさないんですよ。

ユウナ：熱かったね……。

鐘：終わるごとにエアコンの取り合いでしたから（笑）。

まろ：そんな苦労の甲斐あって、めまぐるしい映像が出来上がったかなと（笑）。

—手応えのほどは?

ユウナ：自分で思っていたよりも、すごく良いものが出来たなって。

鐘：だからこそ、次はもっと良いのを作りたいっていう欲が出てきたよね。

まろ：うん。また新しいものを生み出す自信が付きました。来年には2ndワンマ

蝴蝶网 hudie.com

Interview : MIYUKI MURAYAMA

全国パトロール、決定!!

宇宙戦隊NOIZ

宇宙戦隊の原点をまた作り込む時期

新メンバーを迎えてからも、宇宙戦隊NOIZは変わらず全国をパトロール(ツアー)し、世界平和のために活動を続けている。その会場で、新たな魅力を増した、今の彼らの姿を目にした人も多いだろう。もし、まだ新生NOIZを観ていないという人がいれば、ぜひ12月からのワンマン・ツアーに足を運んでほしい。音楽で世界を平和にするという彼らの本気の想いが、何ひとつ変わっていないことが感じられるはずだ。

―インタビューは久しぶりなので、近況を教えて下さい。

ANGEL-TAKA（以下、ANGEL）：ワンマン・ツアーが終わった後に、このメンバーでは初のイベント・ツアーに出てました。僕らのことを知らない人にも観てもらえるようにライヴをしまくってました。

―そこでの反応はいかがでした？

MASATO：やってる僕らと観てる側にギャップはあったと思うんですよ。僕らはワンマン・ツアーもあって、この数ヶ月で相当ライヴをやって来たけど、イベントで初めて観る人にとっては〝NOIZどうなったんだろう？〟っていう感じだったんで。だから構えて観てる人はいたんだろうけど、ライヴが終わってみると、全然そんなことは感じなかったですね。

ANGEL：イベント・ツアーで面白いなって思ったのは、構えて観てた人にも良かったって思えてもらえたのか、ライヴが終わった後に拍手が起こったんですよ。イベントではあんまり味わったことがないことでしたね。

MASATO：〝何かええもん観たな〟って感じだったんでしょうね（笑）。

―お客さんにも、それぐらい伝わるものがあったと。

叫：そうなんでしょうな。

ANGEL：MC、下ネタしか言ってないんだけど（苦笑）。

叫：反省点としては、ANGELが下品になりすぎたことですね（笑）。

ANGEL：地球の平和を守るっていうのは、やっぱり〝ラヴ&ピース〟ですよね。〝ラヴ〟の部分はエロであって、僕もエロを伝えてるんですよ。

叫：エロは全世界共通ですからね。

ANGEL：…今ちょっと、ウマいこと言うたかな？（笑）

―本来の宇宙戦隊の任務遂行のための下ネタ、ということで（苦笑）。

一同：（笑）

叫：だから、呆れた顔をしないようにね。

MASATO：バンドが楽しいとかライヴが楽しいってことに立ち返ってたから、そろそろ曲も作りたいし、みんなを音楽で笑顔にしたいっていう宇宙戦隊の原点とか、平和を守るっていうところを、また5人で作り込んでいく時期が来てますね。

―呼太郎くんとYAMATOくんも、それだけライヴを重ねて、すっかり馴染んだんじゃないですか？

YAMATO：最初からやれるだけのことをやって来たんで、慣れて来たなっていうのは、人に言われて初めて気づくぐらいですね。

呼太郎：最初と比べると、ステージングとか見せ方とかが変われて、お客さんとの空気感を楽しめるようになりましたね。

ANGEL：呼太郎の場合は、アクションとかステージングが変わりましたね。YAMATOはキャラクターを確立して、それがすごく浸透してるんですね。

YAMATO：あれ？ 俺の音楽的な部分の変化は？

一同：（笑）

―年末から年明けにかけてはまたワンマン・ツアーが決まりましたね。今度はさらに余裕を持って臨めそうですか。

YAMATO：今はお客さんが、YAMATOっていうのはこういう人、呼太郎はこういう人って理解した上で来てるんで、そこは全然違いますね。もっと自由に出来ると思うんで、面白いことをどんどん出来たらなって思ってます。

ANGEL：二人からいっぱい意見が出て来るんですよ、こういうことやりたいって。

叫：この前YAMATOは、ぼそっと二胡弾きたいって言ってました（笑）。

YAMATO：ドラム・ソロで、二胡弾きたいなって（笑）。

―呼太郎くんはどうです？

呼太郎：自分の中では余裕感も生まれたし、技術的にも向上できたと思ってるし、今回はガガッと、ドドッと、ワーッと、ワーッと、楽しむのみです。

MASATO：キャラ立ってんな〜。

ANGEL：アドレナリンを上手に使う子なんですよ。

叫：上手に使いすぎて、時々ステージ上で大コケしてたりしますけど。

―ツアー中は、クリスマスとも重なるんで、これも楽しみですね。

叫：俺も寂しいし、寂しい方々も来てくれると嬉しいよね。

ANGEL：24・25日と両方ライヴするのって初めてかも。また違ったものが観られるかもね。さらに、ファイナルの1月10日はMASATOの誕生日なんです。

―面白いツアーになりそうですね。

叫：自由にやってますんで、自由に観に来て下さい。汗をかいたらタオルで拭こう！

MASATO：物販で買ってくれたら、移動がラクになりますから。

一同：（笑）

ANGEL：切実やな（苦笑）。

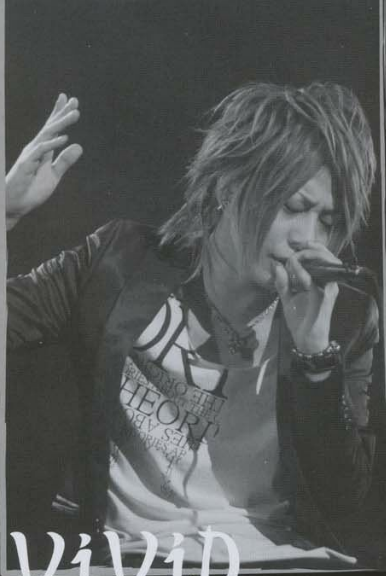
呼太郎：エクスタシーマックスで、絶頂な感じで楽しみたいので、みんなイって下さい。

YAMATO：前回のツアーで太ったんで、今回は痩せます！

ANGEL：一瞬しかないライヴの時間のために僕らもやって来てるわけで、その一瞬一瞬を精一杯楽しみに遊びに来てほしいなと思います。サーカス団のようなバンドですけど、いろんな街にこれから先も行きますんで、軽い気持ちで楽しみに来てほしいと思います。よろしく〜！

www.shanghaidz.com

【ライヴ・スケジュール】〝JAPAN TOY'S PANIC TOUR KING OF ONEMAN SHOW 2009〜2010「絶対強者」〟決定!! 12月5日・横浜サンフォニックスホール、11日・新潟ジャンクボックス、12日・金沢AZ、22日・名古屋E.L.L、24日・ESAKA MUSE、25日・高松DIME、27日・博多DRUM Be-1、28日・広島並木ジャンクション、30日・さいたま新都心HEAVEN'S ROCK VJ-3、1月10日・恵比寿リキッドルーム。その他のスケジュールは、11月30日・恵比寿リキッドルーム、12月2日・高田馬場フェイズ（FC限定）、1月20日・名古屋ell.FITS ALL、21日・ESAKA MUSE、25日・渋谷O-WEST。 http://uchusentainoiz.com/



counting a sheep

【セットリスト】
1.シャイニーメリー　2.天体逃飛行　3.水彩パレット　4.オレンジ
5.INject Candy

ViViD

【セットリスト】
1.睡蓮人　2.波紋　3.Dear

地中楼閣
-チチュウロウカク- その100
Live at CLUB CITTA'川崎 2009.10.17

先陣を切ったのは、新進気鋭のバンド、ViViD。その名のとおり、鮮やかな輝きが魅力的な彼らだが、今日はいつもと様子が違う。聞くところによると、メンバー2人が前日に体調不良でダウンしたとのこと。それにより、本日のステージは3人編成で行うことに。シン曰く、〝キャンセルもやむを得ないと思ったけれど、心待ちにしてくれているファンの方の為に、今日はアコースティックライヴという形を取りました〟そんな潔いコメントの後に披露された3曲は、多くの観客の心を打ったことだろう。

　続いては、counting a sheep。こちら、ご存じの方も多いとは思うが、Dollyの期間限定活動休止に伴い発足されたバンドだ。「シャイニーメリー」を筆頭に、「水彩パレット」や「INject Candy」など、Dol

unting a sheepとして魅せてくれた。〝次はDollyとして会いましょう!〟それを聞き、会場からは更に大きな歓声が沸き起こったのだった。

　3番手に登場したのは、SuG。メンバーが飛びっ切りの笑顔でステージに現れた瞬間、観客からも自然と笑みがこぼれる。そして、フロント陣がドラム台を囲み、勢いを付けると、ライヴが始まった。武瑠の〝それっ!〟という掛け声と共に華やかな音が辺り一面に広がっていく。オープニングに持ってきたのは「LOVE SCREAM PARTY」。おもちゃ箱をひっくり返したように、カラフルな音が次から次へと溢れ出す。そのままのテンションで、「16bit HERO」へと移ると、これまた観客は大盛り上がり。その後も、メンバーコールを挟むなどして楽しませる

SuG

【セットリスト】
1.LOVE SCREAM PARTY　2.16bit HERO　3.Life ♥2Die
4.CALL NUMBAER　5.39GalaxyZ

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

人格ラヂオ

【セットリスト】
1.お人形さん　2.水彩画　3.サクラ　4.空蝉　5.回路　6.再生の朝

Duel Jewel

【セットリスト】
1.Last Letter　2.PartyTime　3.against
4.マイノリティコンプレックス　5.Trust

**対バン形式のイベントの先駆け的存在と言える「地中楼閣-チチュウロウカク-」が、
この度めでたく100回を迎えることとなった。
主催者であるPS COMPANYに所属するバンドはもちろんのこと、彼らと親交の深いバンドが川崎クラブチッタに
集まり、宴はにぎやかに行われたのだった。その様子を、かけ足ではあるが、ここにレポートする。**

Photography:MIWA OH[...]
Report:ERI MIZUTA[...]

Kra

【セットリスト】
1.LOST NUMBER　2.雨の告白　3.カラスノマクラ　4.サァカス
5.Cab.D　6.明日屋　7.ショータイム　EN.bird

た。

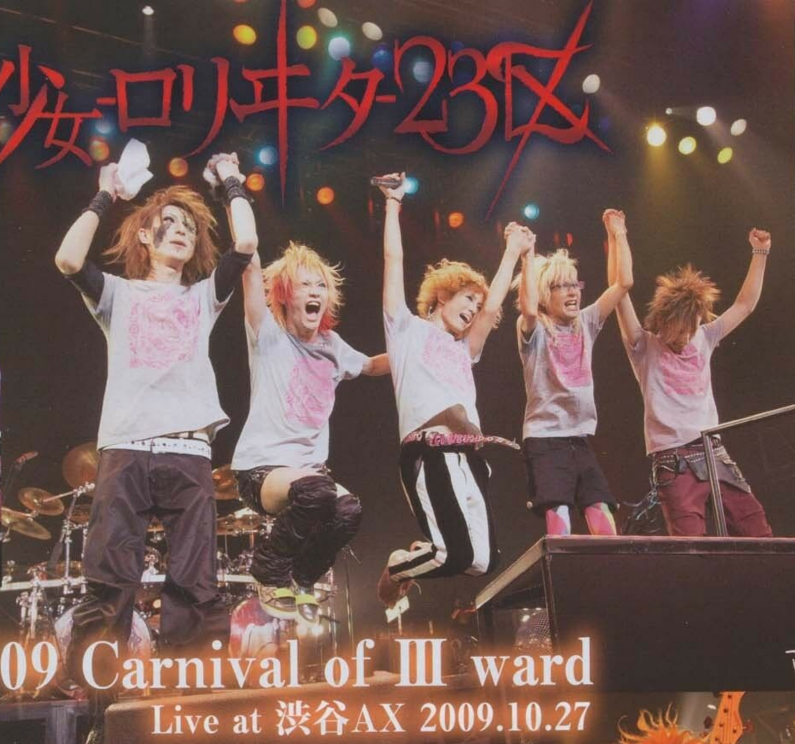
Ｄｕｅｌ Ｊｅｗｅｌは、さすがライヴバンドというステージングを披露してくれた。ＳＥが鳴ると同時に男性ファンが拳を上げる。それにつられるようにして女性ファンが大きな声でメンバーの名前を呼ぶと、重厚な音がそれらを飲み込んでいった。そうした中で始まった「Lsat Letter」は、隼人の滑らかか歌声に皆が目を奪われた。続く、「PartyTime」では、下手2人のじゃれ合いが楽しく、また、観客が一丸となってタオルを振り回していたのも印象的だった。その後には、ＭＣで会場を温めつつ、ダイナミックなノリでラストまで突っ走っていってくれた。

他のバンドとは異なる独特の雰囲気を醸し出していたのは、人格ラヂオ。彼らのライヴを見るのはこの日が初めてという人も多かったに違いない。ＳＥが鳴る、それでも幕は閉まったまま。そこからどうなるのだろうというワクワク感と緊張感が会場内を包んでいく。すると、ゆっくりと幕が開き、メンバーの姿が視界へと入っていった。その瞬間、悠希が人形を頭上で振りかざした。そう、「お人形さん」の始まりだ。華麗でいてシュール、人格ラヂオにしか出せない世界観に観客は釘付けとなった。もちろん、この日も毒舌ＭＣは健在。こちらも、観客一同釘付けになってい

を含め、全6曲、非常に気持ちの良いライヴを繰り広げてくれた。

トリを飾ったのは、Ｋｒａ。前に登場した人格ラヂオから散々からかわれていただけに、開口一番、反撃にかかった景夕はさすがと言えよう。ちなみに、Ｋｒａは『地中楼閣』の第１回目に出演した記念すべきバンドなのである。後にそれはＭＣで触れられることにもなるのだが、自分たちにとって特別なイベントというだけに、初っ端から並々ならぬ気合いが感じられる。〝激しくいってみようか！〟その声をきっかけにサウンドの波が押し寄せた「LOST NUMBER」では、これでもかというほど腕を高く上げるフロア。それは、「雨の告白」でも同じことで。繰り出される音に合わせ、豪快なノリを見せてくれた。〝地中楼閣１００回目を記念して古い曲をやろうかなと〟フロアからワーという声が聞こえると、懐かしの曲たちがライヴに彩りを添えていった。中でも、「ショータイム」は格別。思い起こせばこの曲、第1回目のときのオープニング曲だったわけで。〝次は、１５０回。いや、200回といきましょう。それまで、Ｋｒａ頑張るんで！〟最後には、そんな頼もしい言葉も飛び出した。その言葉こそが、記念すべき１００回目の成功を物語っていたように思う。

少女-ロリヰタ-23区

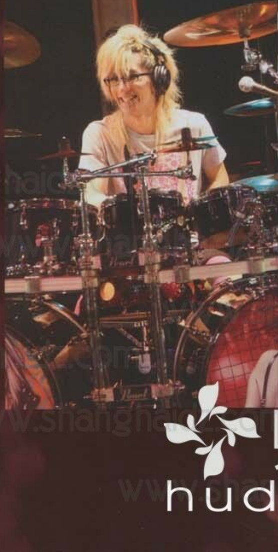


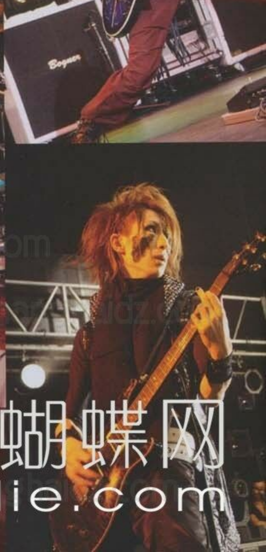
Tour' 09 Carnival of Ⅲ ward

Live at 渋谷AX 2009.10.27

最後、5人が手を繋ぎ、笑顔でジャンプした姿を見て、誰もがこの日を忘れないと思ったことだろう——。
10月27日、Shibuya-AX。そこで繰り広げられた少女-ロリヰタ-23区のワンマンライヴ
『Tour'09 Carnival of Ⅲ ward』は、文句なしに素晴らしいものだった。
現メンバーとしての最後のステージ、その様子を速報でお届けします。

Report:ERI MIZUTANI





【セットリスト】
01.-faith-
02.スーパーノヴァ
03.Red Room
04.セキレン・ブルウ。
05「ベッドは王座、僕は皇帝。」
06.未完成サファイア
07.黎明-reimei
08.極彩色キャッスル
09.ホシノカケラ
10.うさぎにげる花園
〜BAN TIME！〜
11.Pherommone Cherry
12.Brand New World
13.蝶子時計リビドゥー
14.Carnival of JULIA
EN1.天上アクアリウム
EN2.異色オセロ
EN3.My Territory
EN4.睡-スイレン-蓮の部屋
EN5.ジェノセンス

始まりはあの時と同じ。そう、3年前に行われたAXワンマンライヴと同じ曲「-faith-」から。あの時はAXでのライヴが初ということもあって、メンバーに若干の緊張が見られたものだが、今は違う。全員が一丸となって曲に立ち向かっている。その様は、王者の貫禄充分といったところだ。満員となった会場は逸る衝動を抑えきれずに前へ前へと攻め寄っていく。それを見たメンバーは、新旧の曲を織り混ぜながらその場を盛り上げていった。「セキレン・ブルウ。」「極彩色キャッスル」「うさぎにげる花園」そして、「Brand New World」「Carnival of JULIA」。この5人でなかったら生まれていないであろう斬新な楽曲たち。それらを聴いて、今から数ヵ月前、颯が少女-ロリヰタ-23区から脱退するという知らせを受けたときのことを思い出した。

ロリヰタは類い稀なる個性で固められたバンドだ。そのひとつが欠けるということは、バンドそのものの存在を危うくする。しかし、龍兎・ユ≠キ・リョヲ丞・BANの4人は決意したのだった。颯が抜けてもロリヰタを続けていこうと。それは、それは、大きな決断だったと思う。バンドの顔でもあるヴォーカルが抜けても尚続けていこうというのはそれ相当の覚悟がないとできないことだから。けれど、BANは言った。〝先に待っているものがどんなものかはわからない。だけど、続けていきたい〟と。いつも笑顔の堪えない彼が真剣な眼差しでこう語ってきたとき、この子たちは本当にロリヰタを守りたいのだなと思った。それだけに、存続を決めてくれたことが嬉しくもあった。

〝離ればなれになっても、ライバルであり仲間でいようね〟ライヴが終わりに近付いた頃、颯はメンバーにこう告げた。〝この5人で1番高いところに絶対行きます！〟3年前のあの日、リョヲ丞はファンのみんなにこう約束した。別々の道を歩もうとも目指すところは同じ。彼らはこの先も、お互いを切磋琢磨して己を磨いていってくれることだろう。大ラスに演奏された「ジェノセンス」、そこで見せた5人の笑顔が、これからの明るい未来を感じさせた。

時代の先駆けともいえる音楽を提示してきたからこそ、これからもまだその先を見ていきたい。その切なる願いはこの先きっと叶うことだろう。どれだけ時間がかかっても絶対に叶う。それを、今日のAXワンマンを見て感じたのだった……。

www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

01 てぃーち

シリアル⇔NUMBER

最近リリースされたシングル8曲に加え、公式モバイルファンクラブ内でしか聴けなかった4曲（こちらはライヴバージョンとして収録）を贅沢に詰め込んだニューアルバム『01』が遂に発売！更に、デジタルシングルとしてダウンロードが開始している「ハブ a nice day」も必聴！そんな、己の道をひたすら突っ走るシリアル⇔NUMBERに、久しぶりの直撃インタヴューを試みた！

Interview:ERI MIZUTANI

—アルバム『01』は、「YA!NUMBER～ぬちくすい～」を初めとしたシングル曲と、激レアのライヴテイクを収録した、バラエティ豊かな作品に仕上がっているということで。

佐々木 仁（以下：仁）：これは、自分たちの中での一区切り。言うならば、ベストアルバムって感かな。今までのシリアル⇔NUMBERを知っている人たちはもちろん、知らない人にも聴いてもらいたいなって思ってるさぁ～。

—ここから、また新たに始まると。

仁：そう。だから、アルバムタイトルを『01』ってしたんだけど。やっぱり、シリアル⇔NUMBERっていうバンド名だけに、数字を使いたくて。で、色んな案が出てきたんだけど、その中でも俺達らしさを出すためには沖縄の数え方かなって思って。で、『01』って書いて、〝てぃーち〟って読ませることにしたわけ。

—なるほどね。ところで、仁さんとしては、どの曲が印象に残っている？

仁：俺はね、〝全部！〟って言いたいところなんだけど、敢えて1つを挙げるとするなら……。

一同：全部！　全部！

—ちょっと、外野うるさい！

仁：あはは（笑）。しいて言うなら「アテンションプリーズ」。これ、レコーディング前日に歌詞を全部書き変えていて。だから、すごく大変だった思い出があるかな。後は、「夢人の空」や「愛らシーサー」かな。この曲は、プロデュースを手掛けてくれている中島卓偉さんと一緒にやった1発目の曲でもあるし、思い出深いさぁ～。

—紫遊さんは？

紫遊：僕はね、「夢人の空」。いっつも、みんなで一緒にベーシックは録ってるんだけど、この曲だけ、僕、別に録ったんですよ。しかも、ベーシック録りのときはラインで録るんで歪んでいないんです。歪んでいない上にダウンピッキングで弾いているんで、すごく疲れた記憶がありますね（笑）。

響希：別録り、寂しかった？

紫遊：うん。みんなが向こうの部屋にいて、何言ってるかわからなかったし。

—悪口言われてたらどうしようって？

紫遊：そうそう（笑）。あと、ボーナストラックに入っている「Happy Life～2人のらぶねっと」に関しては、ライヴでやるのが初めてだったんですけど、なかなか良くできたと思います。

響希：俺は、この中で印象に残っている曲っていったら、やっぱり「GOIYA!」っすかね。今までは、ドラムが先に録って、その後に俺が重ねるって形を取っていたんですけど、ここからリズム隊で一緒に録るってしたんで、グルーヴの大切さを痛感した曲でもあります。

—グルーヴができていなかったら、その後の曲も生まれなかっただろうし。

響希：そうなんですよね。だから、グルーヴってほんと大事だなって。で、俺が作詞作曲した「SQUALL」は、ライヴバージョンでの収録なんですけど、詞を書くのってこんなにも大変なんだなって思いましたね。ね、華威くん。

華威：そうなんザマス。ミーも、自分の曲は大変で、大変で。

—……それで出来たのが、「ミーとじいちゃんと麻婆茄子」。

響希：何で、若干、震えながら読んでるんすか（笑）

—いやぁ、衝撃的な曲を作ってきたものだなぁって（笑）。

華威：そこが、ミーの狙いザマスよ！（自慢気）。あと、シングル曲でいうと、「COLOR STYLE」が印象的ザマス。「GOIYA!」「アテンション」と続いた後にこの曲をリリースしたんですけど、前の2曲に負けないくらいインパクトのある曲になったんで、ミーは満足ザマス。

—総括すると、かなり良いアルバムになっているぞと。

仁：最初にも言ったけど、ほんと集大成的な作品になったと思うさぁ～。あ、そうそう、このアルバムが出る前に、デジタルシングルとして「ハブ a nice day」っていう作品がダウンロードできるのね。これ、シリアルらしさ全開のパーティーロックチューンになっているから、これも聴いてね。

—気軽に曲が聴けるって嬉しいね～って、待って！今、タイトル何て言った!?

一同：「ハブ a nice day」！

仁：最高でしょ（笑）。11月は、今までのシリアルと、これからのシリアルを味わってくれたらいいなと思ってます！

【ライヴスケジュール】●主催イベント　11/25渋谷O-WEST_12/31ラフォーレミュージアム六本木、2010/1/10高田馬場AREA、1/16渋谷WOMB、1/17高崎CLUB FLEEZ、1/30横浜SUNPHONIX HALL in YOKOHAMA ARENA、1/31さいたま新都心HEAVEN'S ROCK VJ-3　（問）http://www.serial-no.com/

Brother

結成1周年記念

聚楽行幸～東の陣～

Live at 渋谷 O-WEST 2009.10.8

　2008年の9月11日にさいたま新都心で行われたYURAサマバースデーライヴにて産声を上げたBrotherが、結成1年を迎えた。
　正式な初のワンマンライヴであった2008年10月29日の、表参道のFABでのライヴから丸1年となる2009年の10月8日。彼らは、1周年を記念したライヴを渋谷のO-WESTで行なったのだった。新たな衣裳に身を包んだ5人の勇士を、ここにレポートしよう。

Photography:MIWA OHYA
Report:NAOKO TAKEICHI

蝴蝶网
hudie.com

【セットリスト】

01.皐月の雨
02.Own Count Down
03.セルロイド
04.夜のラビリンス
05.メタモルフォーゼ
06.Blue Flowers
07.D.I.D
08.ア・モーレ
09.真夜中の水中花
10.夢篝
11.花鳥風月
12.ライジングサン
13.空翔ル翼
14.籠の中のrule
15.蝶来来
EN1.ラビリンス
EN2.皐月の雨

（問）http://www.brother.bz/

Brotherの音には不思議な魅力がある。和を基調とするバンドは、彼ら以外にも多く存在するし、その在り方自体は特別物珍しいことでもなければ、取り立てて新しいことでもない。が、しかし、彼らの音と唄には、何故か独特な〝和〟が存在するのだ。産声を上げてから約1年が経とうとしているが、着実に彼らの音を求めて集まる聴き手は増えている。

10月8日。彼らは結成1周年を記念し、渋谷のO-WESTのステージに立った。

YURAサマ、yuhsuke、Reo、最鋭輝が順にステージに姿を現すと、新たな衣裳に身を包んだ凛々しい4人の姿に歓声が上がった。ステージに、凛とした空気感が立ち込めたところへ、謎に包まれたヴォーカル真実が加わる。すると、そこには一風独特な、なんとも言い表しがたい、異様な空気が漂った。

【輝・勇・真・志・礼】

最鋭輝を指す「輝」、yuhsukeを指す「勇」、真実を指す「真」、YURAサマを指す「志」、Reoを指す「礼」のそれぞれの文字は、新たな衣裳にも誇らしげに輝いていた。

白と黒で厳かにまとめられた4人の衣裳と、まるで人間の心の闇（黒）と、生きている証である血液を思わせる赤のコントラストが、猟奇的にも映った真実の衣裳。そんな5人は、1曲目に2ndシングルだった「皐月の雨」をぶつけてきた。

バンドサウンド押しのメタル調な激しい楽曲に、どこか哀愁を感じさせるギターフレーズと、YURAサマが、百人一首の中にある、【花の色は うつりにけりな いたづらに わが身世にふる ながめせしまに】という小野小町の歌の反歌を、男目線で書いてみようと試みた、古語を交えた歌詞が特徴のこの歌は、切なく激しく聴き手の心を揺さぶったのだった。

これこそがBrotherの個性であると、この曲をライヴで聴き、改めて感じたのだった。セットリストにも、まだ仮タイトル状態で記載されていた新曲の「Own Count Down」は、ラジオボイスを挟み込んだダークな印象の楽曲だ。曲は、間髪入れることなく、哀愁感満載の「セルロイド」へと続けられた。この曲は、モッキーこと最鋭輝作詞・作曲曲であり、彼が今も貫く、歌謡ロックテイストだ。彼のオリジナル曲は、GS風のポップロックだったというが、Brother流にヘヴィなアレンジで届けられるのだ。〝愛することをしりました 苦しむことを知りました 憎むことを知りました 切ない夜をすごしました〟という歌詞も、彼が銀座四丁目の路上で唄い続け、実際に目にしたこと、体感したことがリアルな言葉となって綴られているのだ。生きる重さを痛感させられる、実に深い曲である。楽曲面では、yuhsukeのベースが唸りをきかせ、Reoのギターが切ないメロを奏でる。YURAサマの鮮やかなドラム裁きは素晴しく美しい。後半、ツーバスで刻まれるリズムが変化していくところなど、実に素晴しい。MCでも、まったく言葉を発することなく、錯乱状態にあるかのようなパフォーマンスを見せる真実の唄は、歌詞に託された、人間という業の深い、哀しい生き物の心情を赤裸々に吐き出していたのだった。

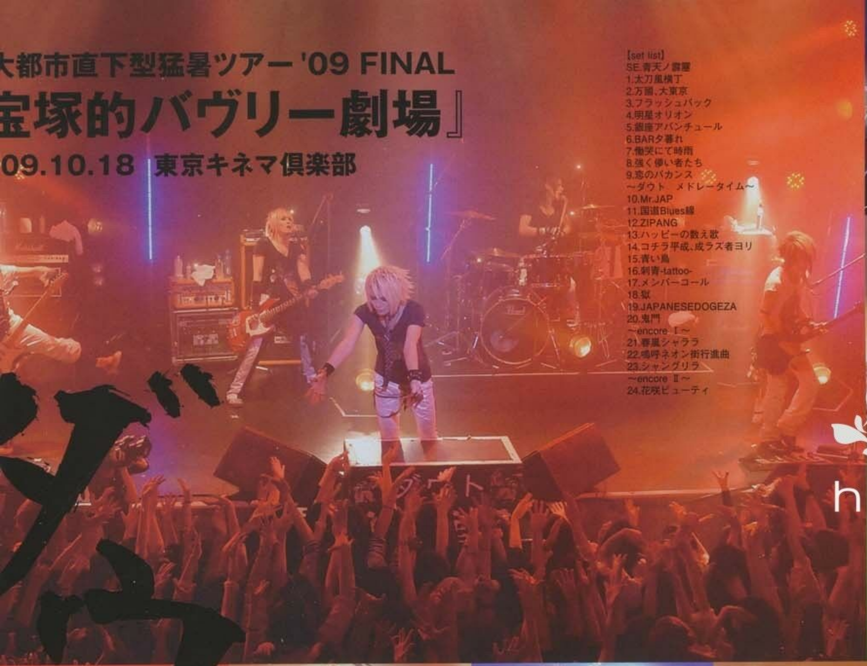
この日も届けられた「Blue Flowers」も、最鋭輝作のシャンソン・ロックなのだ。この古い感覚こそ、あ、失礼、この懐かしさこそが新鮮であり、手放しな幸福感がない刹那的な物悲しさを含んだ歌詞世界が、Brotherの中で、素晴しい魅力となって開花していると言っても過言ではないと私は思う。

中盤では、歯切れのいい最鋭[illegible]キングと、柔らかく切ないR[illegible]ペジオと、力強いマーチィン[illegible]印象的だったYURAサマのドラムを繋ぐyuhsukeのベース。この[illegible]レ」では、真実と最鋭輝の唄の[illegible]しめた。後半では、彼らの初の音源の表題曲であった「夢篝」を届け、[illegible]本編の締めくくりにも、やはり[illegible]曲「蝶来来」を持って来ていた彼[illegible]〝みんな一緒に頑張っていこう〟という内容が描かれた「蝶来来」の歌詞[illegible]【ただ前向きに頑張っていこうと[illegible]ことじゃなく、人生に挫折したり[illegible]き詰[illegible]た人たちに対して、そこからの[illegible]をもう一度ちゃんと見つめ直して頑張[illegible]ていこう】というBrotherの歌詞の原点をしっかりと感じ取ることが出来た。

素晴しく、潔い、見終わった後に爽快感が残る、いいライヴだった。

猛烈な勢力をもった台風が暴れまくっていたこの日の午前中だったが、彼らのライヴが終わる頃には、跡形もなく嵐は過ぎ去り、星が光り輝いていたのだった――。

蝴蝶网
hudie.com
www.shanghaidz.com



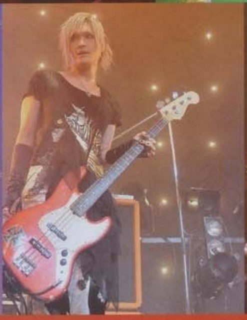
大都市直下型猛暑ツアー '09 FINAL

『宝塚的バウヴリー劇場』

2009.10.18　東京キネマ倶楽部

【set list】
SE.青天ノ霹靂
1.太刀風横丁
2.万國、大東京
3.フラッシュバック
4.明星オリオン
5.銀座アバンチュール
6.BAR夕暮れ
7.慟哭にて時雨
8.強く儚い者たち
9.恋のバカンス
〜ダウト　メドレータイム〜
10.Mr.JAP
11.国道Blues線
12.ZIPANG
13.ハッピーの数え歌
14.コチラ平成、成ラズ者ヨリ
15.青い鳥
16.刺青-tattoo-
17.メンバーコール
18.獄
19.JAPANESEDOGEZA
20.鬼門
〜encore Ⅰ〜
21.春風シャララ
22.嗚呼ネオン街行進曲
23.シャングリラ
〜encore Ⅱ〜
24.花咲ビューティ

ダウト



Photography:SAWAE HARA
Report:TOMONORI NAGASAWA

妖しく花開いた ツアー・ファイナル

秋の気配が街中にも漂い始めた10月18日、ダウトは東京キネマ倶楽部を舞台に、9月上旬よりスタートした全国ワンマン・ツアー『八大都市直下型猛暑ツアー'09』のファイナル公演『宝塚的バウヴリー劇場』を開催した。ひんやりとした外の空気とは裏腹に、軽妙な音頭が流れる場内には、人波による熱気が早くも立ち込めていた。そんな嵐の前の静けさ描いた会場へ、ついに5人が姿を現した。

舞台となった東京キネマ倶楽部がある場所は、駅で言うと上野駅の隣の鶯谷駅。つまり下町情緒…と言うよりは、昭和のいかがわしい風情が今でも強く漂う、いなたい場所。そこをワンマンの舞台に選ぶのもさすがだが、その場所柄な雰囲気を活かした選曲を施してくるところもまた、ダウトらしさ!

この日の冒頭を飾ったのは、音頭の掛け声から幕を開ける、暴れ祭りに相応しい「太刀風横丁」。荒々しいいなき上げる演奏に合わせ、観客も思いきりタオルを振り回しながら、熱狂の風を巻き起こしていく。この荒ぶる和な幕開けほど、この場所に似合うものはない。

花の都・大東京の地へ降り立った時の決意を描くように、熱狂と熱唱に包まれた「万國、大東京」。様々な追憶が脳裏を駆け巡っていく「フラッシュバック」で感じさせた興奮。まるで一つの物語を描くように、舞台の流れは進んでいく。むしろ、そこにダウトのメンバーも、この日のワンマンへの意味を求めてたと言っても、間違いではあるまい。

明けの空に輝くオリオン座へ、どんな想いを馳せてゆくのだろうか…そんな孤独な想いさえ抱かせる「明星オリオン」。さらに物語は、「銀座アバンチュール」で、恋の愛憎劇を描くような派手なネオン輝く街・銀座に舞台を移していく。無情と憐憫な想いを嘆くように、熱く慟哭の叫びを上げながら、会場中を熱く揺らした「BAR夕暮れ」。泣き濡れた女の心の叫びのように、抑揚を持った歌声で「慟哭にて時雨」が熱く激しいウネリを持って響

く儚い者たち」「恋のバカンス」と、2曲のカヴァーも、巧みにドラマを彩る場面の一つとして組み込まれていた。ここに書いた〃上京物語〃は筆者の空想劇とはいえ、それくらい、心へいろいろな妄想の世界を、激しい演奏を通して見せてくれていたのだ。

中盤では、メドレー形式を取りながら、「Mr.JAP」「国道Blues線」「ZIPANG」「ハッピーの数え歌」「コチラ平成、成ラズ者ヨリ」と立て続けに披露。続けざまに繰り出される曲の中で、〃平成の世を謳歌する、大和魂を心に携えた男の、時には心哀愁にむせびながらも、無頼にしか生きられない不器用で無骨な人生物語〃といった情景が、熱く綴られてゆく。

夢と恋を天秤にかけながら時代に流され生きる女。無様なほど時代を背負えず、恋さえも無情に突き離してゆく男。相反する生き方示す2人の恋の行く末。そんな男と女が気づいた本当の幸せを告げるよう、しっとりと「青い鳥」が流れ始めた。やがて、生きる真実見出した2人を祝福するように、空から無数の青い羽が会場中に舞い堕ちてきた——。

なんて泥臭く不器用なほど純粋でロマンティックな物語なんだろう。叙情的な一つの物語を描いた後は、ラストへ向け、2人の解き放たれた心の欲望を祝すように、徹底した煽りナンバーが立て続けに解き放たれていった。

裏腹な想いと本心を熱情的な演奏が炸裂。終盤、「メンバーコール」では、幸樹の誕生日を祝うサプライズも! そして、白煙に包まれ、真の面(つら)さらし猛り狂った「鬼門」で、本編は幕を閉じた。

巡る想いを回想するように、哀愁味を持った演奏を綴れ織った「春風シャララ」。再び心に花咲かそうと、ネオン街を舞台に夢が描かれた「嗚呼ネオン街行進曲」。そして、「シャングリラ」では、ともに物語を綴ってきた演者(観客)たちに興奮と恍惚を呼び起こさせながら、快楽の桃源郷へ誘っていったダウトの面々。

そしてこの夜の最後となったのは、ダウトに触れた全ての人たちの心秘めた想いを一気に花開かせるように「花咲ビューティ」を演奏。〃この5人でいられることが何よりも最高の幸せ。俺はここで倒れても絶対に後悔しない自信はある〃とステージで涙声で叫んだ幸樹の言葉は、この会場に足を運んだ全ての人たちが、この日感じた想い。ここで花咲いた感情は、一生心の中で枯れることはない。確かに

【ライヴ・スケジュール】12月18日・原宿アストロホール、3月19日・高田馬場エリア、22日・神戸VARIT.、24日・高松DIME、26日・博多DRUM Be-1、28日・名古屋E.L.L、4月2日・札幌メッセホール、4日・仙台マカナ、25日・心斎橋キャット。 http://d-out.net/

Visual Modernism Now On Sale

hudie.com

Visualise Music Japan より東京、埼玉、茨城、仙台、大阪、香川、岡山の注目バンド全１２バンドが参加する、期待のオムニバスが遂に発売!

Vital Magie

奏楽天使Sary

Darkness resident

ライチ

SWEET TRANCE

極東機械人形

虎てっちゃん

架嬢

F-Forte-

Scherzando

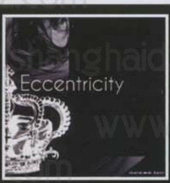
Chat noiR

Vernal BlaZ'

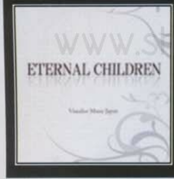
タイトル：Visual Modernism（第３弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2009/10/31
参加アーティスト：Chat noiR / 架嬢 / 虎てっちゃん / Vernal BlaZ' / Darkness resident / 奏楽天使Sary / ライチ / SWEET TRANCE / Vitalmagie / Scherzando / 極東機械人形 /F-forte-
東京、埼玉、茨城、仙台、大阪、香川、岡山の注目バンド全１２バンドが参加する、注目の第３弾。

www.shanghaidz.com

タイトル：N clever（第２弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2009/05/31
参加アーティスト：ホワイトパレット / きらぁ / MAIND / Hot Spepper / 和鶴 / 関西耽美系～Lilyproject～ / Mirage / evo'L / BLUETOPAZ / Alfheim / パレッタ
※名曲揃いのオムニバス第２弾。 完売必須の名盤です。



タイトル：Eccentricity（第４弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2009/12/xx
参加アーティスト：Discord Cry /evo'L /他



タイトル：ETERNAL CHILDREN（第１弾オムニバス）
価格：2625円
発売日：2008/12/24
参加アーティスト：Amaryllis-アマリリス- / Castle Vellffaria / Lilac / MICA TYPE / Necrophilia / Pinky / RuCe / RUBBISH / RESSURECTION / Steal / 学園ロザリオclass†ZERO / 月華
※記念すべきVisualiseオムニバスの第１弾。すでに初回プレス1000枚は完売。

蝴蝶网
hudie.com

"次"を見据えた2ndシングル『HIDDEN』

boogieman

"やりたいことをやる"だけでない、今後へのキー・パーツとなる作品

boogiemanの待望の2ndシングル『HIDDEN』が、11月25日にリリースされる。大盛況のうちに終えた1stワンマンでも披露された楽曲も収録され、"次を見据えた上でのシングル"という今作は、boogiemanたる独自性をさらに色濃く打ち出した仕上がりになっている。12月から1月にかけては、いよいよ東名阪ワンマン・ツアーも決定。彼らの今後の展開に、ますます期待がかかっていく。

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

――ニュー・シングル『HIDDEN』のタイトル曲「d.CHILD」は、緊迫感に溢れたハード・チューンですね。

ユアナ：この曲は、boogiemanのライヴをイメージしていたら頭の中で鳴ってる音があって。それを、形にしました。その後、世界観を固めるために、ジュンノと曲を聴きながら歌の大まかなニュアンスを決めていって。自分の個性とジュンノの持ち味を、上手く融合できたかなと思います。

ジュンノ：この曲の歌詞は、いろんな解釈が出来るでしょうね。俺は自分で歌詞を書いてて、結末が分かっていなかったりするので。歌詞を書いてる時は、もう自動書記なんです。いきなり降ってきて、完全に周りをシャットアウトして書いて。そうやって書き上げたものを読み返した時に、いろんな解釈が出来るなと思って、また想像が膨らんで。それを楽しんでいる部分があるんです。

――意味が漠然としすぎているかなと思って書き直したりはしない？

ジュンノ：しないです。意味を突き詰めて語ると、つまらないものになってしまうというのが俺の考えとしてあるので。ただ、今回もキーワードは散りばめてあって。"d"は、"ダミー"を意味しているんです。それを踏まえた上で、後は自由に解釈してほしいです。

――実際、歌詞を読んでいると、いろんなイメージが湧いて楽しめました。レコーディングは、どうでした？

ユウイチロー：この曲は、楽しくレコーディングできました。いつもどおりアプローチを決めるまでの大変さはあったけど、アプローチが決まってからは、もう迷うこともなく。"ズバン!"と突き抜けたリズムが出せたかなと思います。

万作：ベースは、ボトムに徹しています。ここベースの居場所も、かなり低くて。ここまで下のほうでベースが鳴っているのは、あまりないと思います。それくらい低い位置にいて、ラインもなるべく立たせずに下で支えてて、聴きやすい…みたいなところを意識したので。"謎な感じ"になって満足しています（笑）。

晃：ギターに関しては、ユアナのメイン・リフは最初から決まってて。俺は後ろでクレ者なので（笑）。出すぎず、引っ込みすぎず、お互いが上手く活きるところに落とし込みました。ただ、俺が一歩引いてる部分が、今までよりはあると思います。サビのパートを録ってみたら音がぶつかっていることに気づいて、フレーズを替えたりしたし。「我執」の時に、ユアナにフレーズを替えてもらったので、今度は俺かなと思って（笑）。

万作：じゃあ次は、ユアナなんだ（笑）。

晃：うん。次は、俺は替えない（笑）。

ユアナ：アハハ（笑）。自分のパートは、もうリフのループでグイグイ押すと。それだけです（笑）。ただ、機械的に弾くんじゃなくて、場所によってはルーズなところも出しました。そういうところで、ワイルドさを出したかったので。

ジュンノ：今までは、歌録りの時にメンバーが立ち会っていたんですけど、今回はエンジニアと俺だけでレコーディングしたんです。"自分が歌いたい歌を、好きなように歌えばいい"ということを察した部分があって。それは、すごくありがたかったですね。結果的に、自分が想像するとおりの作品が出来ました。ユアナにも、すごくいいと言ってもらえたし。上手く噛み合ったかなと思います。

――ヘヴィなシャッフル・ビートを活かした「パラダイムシフト」と、エモーショナルな「紅い月、沈む意識、逸れる想い」も要チェックです。

晃：「パラダイムシフト」は、単純にライヴで必要なものというか。3連（符）の曲があったら面白いんじゃないかなと思って作り始めて。独自の雰囲気に仕上がったし、いいんじゃないかなと（笑）。

ジュンノ：「紅い月、沈む意識、逸れる想い」は、晃が作った「奈落に咲く」という曲に刺激を受けて作りました。「奈落に咲く」と同じようなテイストでいながら、ベクトルは違う方向を向いているものを作りたいなと思って。でも、途中でやめようと思ったんです（笑）。

晃：いつも自分の曲の時に、やめようとするんですよ（笑）。

ジュンノ：宮崎駿監督が『もののけ姫』とか『千と千尋の神隠し』を作った時の記者会見で"私は、まだこの作品の意味が分からないんです"と言った気持ちが、

ブギーマン君主催 ハロウィンパーティー開催

1stシングル・リリース時には、都内各所に出没し話題を呼んでいた"boogieman君"が、『HIDDEN』のリリースに合わせて今度はハロウィンパーティーを開催した。六本木で行なわれていたハロウィンパレードに現れるや、コドモたちに囲まれるboogieman君。その現場を発見できたラッキーなファンは、boogieman君に連れられてパーティー会場へ…そこにはboogiemanメンバーも登場!! 嬉しいサプライズ・パーティーとなったようだ。

ような感覚があって。この曲を作っていた時は、もう完全に楽曲の世界に入り込んでいたので。歌詞もこれ以上ないくらい、俺の負の部分が露わになっている感じですね。

──《増える傷を眺め 冷めた鉄を添える》という言葉から、自ら命を絶つ歌なのかなとも思いました。

ジュンノ：いや、違います。解釈はリスナーに委ねたいので細かいことは言いませんけど。決して、死を歌っているわけではないとだけ言っておきます。

──もしかして、死を耽美なものと捉えたり、安易な姿勢で死をテーマにすることに抵抗がある？

ジュンノ：そういう人を批判するわけじゃないですけど、俺とは感覚が違うんでしょうね。「パラダイムシフト」も自由に捉えて構いませんけど、頭の英語の部分は、わりと大事なことを言っているので。歌詞カードを見て、ネットとかで検索してくれれば…と思います。

ユウイチロー：「パラダイムシフト」は、フレーズ作りにすごく時間を掛けたし、本番もなかなか良いテイクが録れなくて。それで、バスドラをノーミュートで録って、それにミュートしたバスドラも重ねたりしたんです。そんな音を作ったのは初めてだったので、叩いてる時は、〝なんじゃこりゃ？〟っていう感じでしたけど（笑）。新しいことに挑戦して結果を出せて、よかったです。「紅い月、沈む意識、逸れる想い」は、どっしりとしてて、一発一発にインパクトのあるドラムを録りたいと思って。そういうドラムになったし、上手く人間味も出せて気に入っています。

万作：「パラダイムシフト」は、生のグルーヴというか、自分が気持ちいいと思えるように弾きました。もう、意味が分からなくしてやろうと思って。

──イントロと間奏のベース・フレーズは、かなりキテいますね。

万作：アハハ（笑）。いや、初めは普通に弾いたりしてたんですけど、〝ダメだ、全然違う〟とか思って。もっとグチャグチャにしたいと思ってるうちに、あの形になったんです（笑）。完全なアドリブなので、二度と弾けないっていう（笑）。コー

晃：万作の録りが終わって自分の番になった時に、ヘッドフォンを外しましたから（笑）。〝どうなってんだ、これ？〟っていって（笑）。

万作：……ゴメン（笑）。「紅い月、沈む意識、逸れる想い」のベースは、オーソドックスですね。ただ、1番のAメロのベースが、オクターブ・ベースになっているんです。普通のベースを録った後、数小節にズレたオクターブ上の音をダビングしてて。ちょっと気持ち悪い感じの面白い効果が出せたので、意識して聴いてもらえると嬉しいです。

晃：「パラダイムシフト」は、シ[illegible]ートして3連を刻むという、ややメタル寄りのアプローチを採りました。独特のニュアンスになっていいかなと思って。やってみたら、超難かしくて大変だったんですけど（笑）。「紅い月、沈む意識、逸れる想い」は、常に自分の色を出したギター！アレンジをしてきたんですけど、それを殺して引いた曲ですね。楽曲の中の俺のポジションとしてではなくて、〝曲として〟ということを重視しました。

ユアナ：この曲は、僕も前に前に…というフレーズではなくて。ドラムの横にいるくらいのギターを目指しました。「パラダイムシフト」は、支えるバッキングをストイックに弾いて。あとは、自由に変態なソロを（笑）。イメージ的には、身体をクネクネしてる感じで、アブナい雰囲気のツインリードで締めるっていう（笑）。最初は1本でいくつもりだったんですけど、その場でハモることにしたんです。そうすることでストーリー性が生まれるなと思ったので。

──正解だったと思います。今作も密度の濃い1枚になりましたね。

ジュンノ：今回は、次の音源に向けたキー・パーツという側面もあって。ちゃんと意味のあるものにしたいと思って作りました。「我執」は、自由にやったというか。〝やりたいことを、やろうぜ〟みたいな感じだったんですね。でも、『HIDDEN』は、次の展開……恐らくフル・アルバムになると思うんですけど、そこも見据えた部分がありました。そういう意味で、『HIDDEN』に限らず、今後の展開にも期待してほしいです。

【ライヴ・スケジュール】東名阪ワンマン・ツアー「憮然ト嘘」決定!! 12月20日・心斎橋FAN J、21日・名古屋ell.SIZE、1月23日・渋谷Womb。その他のスケジュールは、11月29日・OSAKA MUSE。
http://www.boogieman.jp

www.shanghaidz.com
hudie.com

ひかる。

番外編 幕張への道

トゥーン工場

平均点79.4!? その"先"が見えた日

2008年に結成したばかりのバンド、トゥーン工場。しかし、ここのところ、SHOXX誌上ではめきめきと注目度を上げて来ているのであります！先日、10月24・25日に、幕張メッセで行なわれたヴィジュアル系最大キャパイベント『V-ROCK FESTIVAL』にも出場した彼ら。そこを目指し、毎月頑張ってきた様子を追った連載も大好評!! そんな彼らは、当日、いったいどんなライヴをしたのか!? ライブレポートとアフターインタビューをここにお届けします！

Photography:MASAKAZU KOBAYASH（SHOXX）
Interview:NAOKO TAKEICHI

私が彼らのライヴを初めて見たのは、5月31日渋谷BOXX。彼らにとって3度目のワンマンライヴだった。正直、ライヴの完成度をどうこう言うとか、厳しい評価をするというところではない、純粋にライヴを楽しむ、彼らと彼らのファンが作り上げたその空間が、とても新鮮で初々しく、久々に、この原石が、この先どう磨かれて、どれだけの光を放つことになるのだろうか？ と楽しみになったライヴであった。

しかし、そんな彼らが10月24・25日に、幕張メッセで行なわれたヴィジュアル系最大キャパイベント『V-ROCK FESTIVAL』に出場することになったと聞き、屈託なくその現実を喜ぶメンバーの横で、押さえきれない不安に襲われた。

「大丈夫？ チビんじゃない？」

言葉を選ばず素直な気持ちを彼らにぶつけてみると、まったく物怖じすることなく、「大丈夫っすよ～！ マリリン・マンソンと勝負してやります！」という、なんとも恐ろしい言葉が返ってきた。

あ……。この調子なら大丈夫かも……。

と、彼らの根拠のない自信に押し切られた感じだった。

そしていよいよやってきた当日。

一番緊張していたのは、この日までの道のりを追った連載を担当してきた担当編集者だった（笑）。彼らのライヴが始まるのは、24日の11時。イベントライヴの初日のトップバッターである。21時過ぎまで続くイベントライヴだというのに、彼らが立つVステージ前には、多くのオーディエンスが彼らの登場を待っていた。

11時ちょうど。SEに乗って5人がステージに現れた。それぞれ、右手を大きく上げ、オーディエンスを煽るような仕種をし、いまにも"やってやるぜ！"という気合いの入った声が聞こえてきそうな程、勇ましい姿で、堂々と定位置に着いた。大きな歓声に包まれた彼らは、つい5ヶ月前に見た彼らよりも大きく見えた。根拠のない自信と、"絶対来る！"と信じてもらえているという自負と、自分たちを応援してくれているファンたちの声（声援や手紙）が、彼らを一回り大きくしていたように思った。

「いいじゃん、今日！」

私の隣りで担当編集者がボソッと呟いた。ずっと見続けてきた彼女から見ても、"今日"の彼らはいつも以上の輝きを放っていたようだ。

1曲目に届けられた「Dessert」では、安定した演奏と、しっかりとしたハモリを聞かせ、一気に集まったオーディエンスの体温を上げた彼らは、間髪入れずに、トゥーン工場のメインとなる曲調の「Tiny Planet」を届けた。ミディアムチューンながらも、充分な勢いと広がりを持つこの曲は、彼らの激しさとポップさが共存した不思議な楽曲だ。この日のド頭も、彼らの曲の中でも特にポップで明るい「Dessert」を持ってきていたことや、ヴィジュアル的にもポップな印象が強い彼ら故、この曲の間奏のディープなギターフレーズに、ハッとさせられたトゥーン工場初体験組も居たことだろう。

彼らの持ち時間は20分とあって、3曲目に届けた「アオゾラメロディー」がラストだ。メロディの良さはもちろんのこと、揃いの振りでフロアをひとつにしていた彼ら。

評判を聞き、この日、初めて彼らを味見したオーディエンスも多く居たと思うが、彼らは確実にそんなオーディエンスに、トゥーン工場の魅力を見せつけた結果を残したのではないだろうか。

＊

ライヴ直後。イベントの一貫であった写真撮影会を終えた彼らに、この日の感想を訊いてみることにした。

——お疲れさま。良かったよ。あんなアグレッシブなトゥーンは見たことないって、担当編集者が横で呟いてた（笑）。

夢叶：ホントですか!?

雫：嘘ですよね？

——嘘言ってもしょうがないから。"曲いいね"とか"可愛い～"とか言われてたよ。

ゆーいち：マジっすか!?

レガ：誰が可愛かったんだろ（笑）。

——（笑）。本人達的にはどうだった？

雫：ワタクシ雫はですね、泣きそうになりました。会場が広いから、音の返りがいままでに味わったことない感じだったこともあって、うわぁ～、自然リヴァーブだ！って、感動したっす！

——雫はギターももちろんだけど、ハモリとか最高にキマってたね。

雫：でしょ。音感あるからね。

——あ、はぁ（苦笑）。ゆーいちは？

ゆーいち：俺ね、マジでステージ立つまでは、本気でチビるんじゃないかと思ってたんですよ（笑）。でも、いざ本番になったら、平気だったというか、すごい心の底から楽しめたんですよ！ それがすごく良かったなって思いましたね。ノビノビ出来た感じだったんです！ 前日とか、全面鏡ばりのスタジオでリハーサルとかして、みんなで、こうしよう、ああしようって、いろいろと見え方の研究もしたんですよ。当日、緊張してそんなことまで頭まわんなくなっちゃうかな？って思ったけど、ちゃんと出来たんで、ひとつ成長出来たなって思いました。

——夢叶は？

夢叶：寂しくなっちゃいました。終わっちゃったから。やっぱ、ワンマンのときは自分たちだけのステージでもあったから、甘えてた部分ってあったと思うんです。でも、今回は僕たちのファンじゃない人も多く見てくれると思ったんで、しっかりしなくちゃ！っていうプレッシャーがあったんですよね。だから、今日まで、この日のライヴのことだけを考えて生きて来たみたいなとこがあったから、明日っからどうしようかなって。

——これからだから！ 寂しくならない。

夢叶：あ、ですよね（笑）。でも、ホントに緊張もなく、思いっきり頑張れたんで、満足してます。もっともっと頑張りたい！っていう欲が増しました！

レガ：ホント、欲が出たよね。今日までは、とにかく今日のライヴを成功させたくて、どう見せてったらいいか、みんなですごく話し合って、演奏はもちろん、振りを揃えてみたり、大きく見せるための動きを考えてみたり、いろいろやったんです。でも、変な気負いもなく、楽しめたんで、一生の思い出になりましたね。

——ひかる。は？

ひかる。：本番前、もっと緊張するかな？って思ってたんですけど、いざステージに上がっちゃったら、すごく自然体で出来たんです。自分たちが本当に楽しめたからこそ、無理なくみんなを引き込めたと思うし、反省点もあるにはあったけど、楽しかった方が強かったですね。

——反省点はどんなとこだったの？

ひかる。：やっぱ、MCとかかな。完璧に考えてたりもしたんだけど、やっぱそこは緊張してたのかな（笑）？ 言おうと思ってたことが飛んじゃって（笑）。

レガ：でもちゃんと締めるとこは締めてたし、俺は良かったと思ったけどね。

ひかる。：うん。まぁ、あんまり完璧すぎるのもねって[illegible]（笑）。でも、こういう想像[illegible]ないような経験をいっぱいしていくこと

www.shanghaidz.com
hudie.com

雫

夢叶

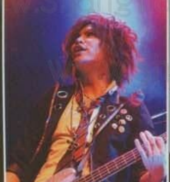
レガ

ゆーぃち

蝴蝶网
hudie.com

【ライヴスケジュール】●主催イベント『～Brand New Wind～Chapter1』2010年1月8日高田馬場AREA ●11/28高田馬場AREA、12/3高田馬場AREA、12/7渋谷club asia、12/8原宿アストロホール、12/15高田馬場AREA、12/21渋谷BOXX、12/31高田馬場AREA、2010/1/7渋谷O-EAST・O-WEST、1/24渋谷Crest
（問）〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-2
フィヨーレ西新宿102
http://www.toonfactory.jp/
※11月28日発売の「glitter pop No.2」にて、カラー2P掲載&そして、なんと!! 彼等の特大ポスターが付録として付いちゃいます！ 数量限定発売商品のため、売り切れ必死です！ お買い逃しなく☆

V-ROCK FESTIVAL 09
～Live at 幕張メッセ 2009.10.24～



たね。大きな会場で、自分たちを鍛えていけたらいいなって思いました。

——こういう場所でライヴを経験することで、作る曲に変化も出てくるだろうし。

ひかる。：ですよね、今日も「アオゾラメロディー」をやったとき、この曲ってフェスに似合うなぁって思ったんですよ。

——そうだったね。じゃぁ、今日のライヴに点数付けるとしたら？

雫：俺は65点。欲張りかもしれないけど、もっと完全燃焼出来たかなぁって。3曲だけだったからしょうがないっすね。

ゆーぃち：俺は今の段階では100点かな。

レガ：俺は80点かな。割りと高得点（笑）。個人的に、もうちょっと出来ただろ！ってとこが心残りで。そこがマイナス20点なんですよねぇ～。完璧にしたかった。

夢叶：72点かな。僕ももうちょっと燃え尽きたかったなぁって。

……ていう心残りがあるんですよ。まぁ、完璧がいいってことじゃないんですけど、やっぱそういう欲も大事かなと。

——そうだね。

夢叶：幕張への道を追ってくれてた連載も終わっちゃうんですよね？

——次の目標定めたらいいんじゃない？

ひかる。：武道館までの道とか！でも、どうしよう……4年間くらい連載続いてるのに、辿り着けないと悲しいか……。

雫：頑張るのぉ。ところで今日何点？

——今の時点では100点かな。

雫：うっそぉ。

——今の時点でね。

雫：今日を基準点としてってことね。こっから上に上がっていかないとね。なんか、ホント、今日のライヴで、もっと頑張れるって思ったから、頑張っていこうと思うので、応援よろしくっす！

www.shanghaidz.com

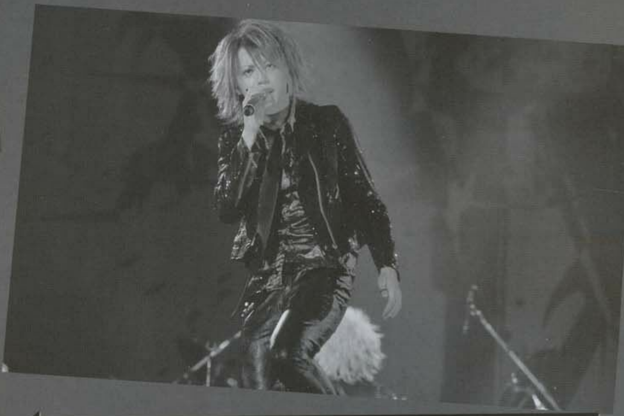
V-ROCK FESTIVAL '09

超メガトン級のロックフェスが実現!!
ピックアップレポート

0月24日

D

たとえ昼日中であっても、彼らが音を放てば、その空間はたちまち漆黒の夜闇へと変貌する。「めくるめく世界へ皆さんをお連れしよう！」そんなASAGIの言葉どおり、ここでのDは代表曲のひとつである「闇より暗い慟哭のアカペラと薔薇より赤い情熱のアリア」や、現時点での最新シングル曲「Tightrope」などで、重厚かつ華麗な音像を安定した頼もしい演奏力で綴り上げてみせた。



Alice Nine

はアルバム『VANDALIZE』の
以降、断続的に夏まで続いた
DAL（ism）］シリーズを通じ、徹
ライヴバンドとしての叩き上げを
来ていた彼らだが、その成果はこの日のライヴからも伺えた。途中、まさかの機材的トラブルに見舞われるも、最終的には5人の力できっちり場を盛り上げてみせたほか、端々から彼らの逞しさを感じた人は多かったに違いない。

Plastic Tree

ネットスラング的に表現するなら、この日の曲順は“神セトリ”だった。唯一無二の存在として、シーンの中で長く漂い続けて来た彼らの真髄を、たった6曲の中に凝縮してみせるとは全くもって恐れ入る。竜太朗のパントマイムを取り入れた充実のパフォーマンス、楽器隊の醸し出す良い意味で癖のある音たち。それらをもって描かれた神セトリは、聴衆を深く惹きつけて当然のものだったのだ。

La'cryma Christi

値なしに、この日のベストアクト
せたのは彼らだ。約4年ぶりに“5
復活し、ファン垂涎の名曲ばかり
発してくれた様に、オーディエン
揃って心酔することとなった。しかも、お約束の「TAKAを呼ぶ声が小さいな！」[illegible]いう煽りも健在（笑）。なお、彼らは[illegible]に［Re[illegible]ction [illegible]PRA[illegible]］と[illegible]を東京・大阪で行う[illegible]とが決定[illegible]る。

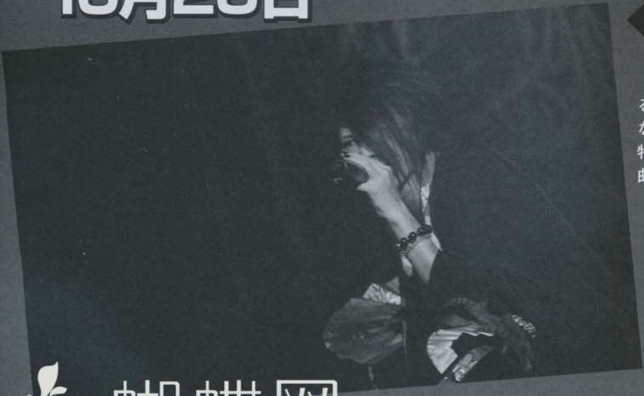
www.shanghaidz.com
蝴蝶网
hudie.com

メガトン級のロックフェスをレポート!!

日本独自の特殊なサブカルチャーとして、ゆうに20年以上の時間を経ながら刻々と進化して来た、
このシーンの今現在というものが、ここからはきっと見えてくるはずだ。
気鋭のブライテストホープから、今まさにムーヴメントの中核を担うバンドたち、さらには何とアノ高見沢王子までが参加し、
海外にもリアルタイムでその模様がウェブを通じ配信されたという、
前代未聞の大規模豪華絢爛ロックフェス[V-ROCK FESTIVAL '09]が、ようやく無事終わった。
幕張メッセに通算2万人以上を動員し、2日間で総勢50アーティストがそれぞれに渾身のライヴを繰り広げたわけだが、
ここでは本誌上でも常々おなじみの8アーティストを厳選し、当日のライヴの模様をお届けしてみよう。

Report:YUKA SUGIE

10月25日



Kagrra,

繊細な日本的美意識を音と言葉に託することにかけて、彼らの右に出る者はいないだろう。中でも、この日のライヴで特に秀逸だったのは最後に最新シングル曲「四季」が演奏された場面。楓弥のアコギと真の箏が響きあい、その上で一の透明感ある歌声が拡がって行くさまは、日本固有の感覚である侘び寂の精が息づいていた。聴く者の琴線を震わ良質な音楽がそこには在ったのだ。

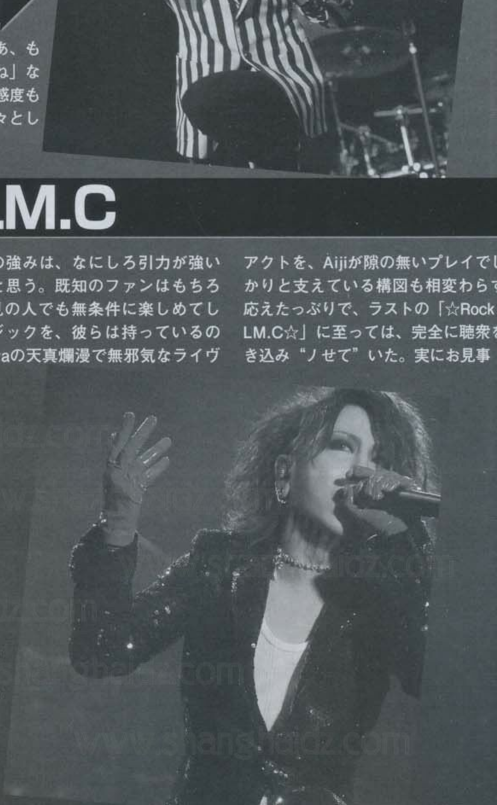
蝴蝶网
hudie.com

彩冷える

メジャーデビューから、約半年。ここに来て、またバンドとしての勢いを増して来ている彼らは、この日も冒頭から素晴らしいハジけっぷりを披露してくれた。それでいて、MCでの葵は「今日は凄いバンドさん、いっぱい出てます。あ、もうちょっとで僕ら終わりますからね」などと、やたらと腰の低い姿勢で好感度もアピール（笑）。謙虚ながらも堂々としたステージングが印象的だった。

LM.C

彼らの強みは、なにしろ引力が強いことだと思う。既知のファンはもちろん、初見の人でも無条件に楽しめてしまうマジックを、彼らは持っているのだ。mayaの天真爛漫で無邪気なライヴアクトを、Aijiが隙の無いプレイでしかりと支えている構図も相変わらず応えたっぷりで、ラストの「☆Rock LM.C☆」に至っては、完全に聴衆をき込み“ノせて”いた。実にお見事



the GazettE

まるで、というか。むしろ、まるっきりワンマンの如き圧倒的ライヴを繰り広げた彼らは、やはり大トリにこそ相応しかった。今現在シーンの頂上に君臨するバンドとしての、鮮やかなまでの存在感は、ある意味もう他の追随を許さない次元にあるようにさえ思えたほど。怖いモノ無しの5人が繰り出す激烈轟音が、痛快なニュアンスさえはらみながら、場内を完全掌握したことは言うまでもない。

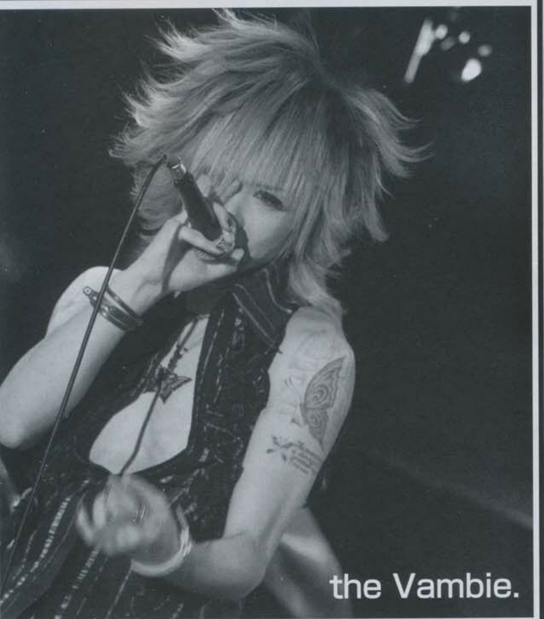
©V-ROCK FESTIVAL

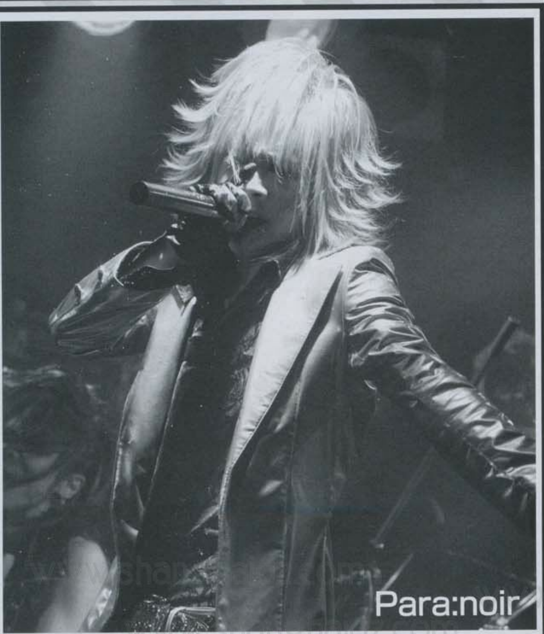
SHOCK WAVE アポロ Vol.31

Live at 高田馬場AREA 2009.10.18

“毎月18日はアポロの日”そんな合言葉が広がりつつある今日この頃。というわけで、やってきましたアポロの日！　今回出演してくれたバンドは全7組。どのバンドも個性たっぷりなだけに、ステージにこれでもかというほど華を添えてくれました。さてさて、次回のアポロは…、もちろん18日に開催です。ぜひぜひ、参加して下さいね！

Photography:MASAKAZU KOBAYASHI(SHOXX)
Report:ERI MIZUTANI


the Vambie.


Para:noir

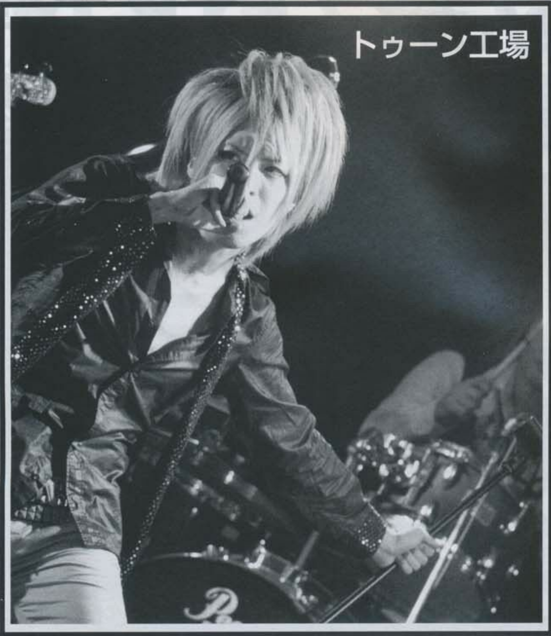
-tarrot-

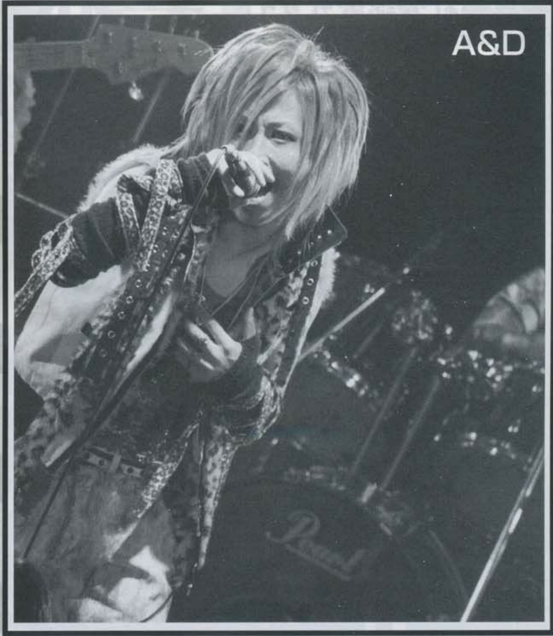
本日のトップバッターを飾ったのは、the Vambie。ステージに登場したその瞬間、フロアからは〝かっこいい〟との声が。〝来いよ！来いよ！〟と激しく煽ると、後ろで見ていた観客たちが次から次へと前に移動する。そんな中で演奏された「シークレットワード」は縦ノリの暴れナンバー。積極的に仕掛けてきたかと思えば、MCではシャイな一面も。そして、「Counting」と「Ride on」を披露すると、ステージを後にした。フロアを良い感じに温めてくれただけに、今後注目のバンドだ。

2番目は-tarrot-。おとぎの国から飛び出してきたような5人はきらびやかな音で観客を魅了した。まずは「悲劇のフィオーレ」でフロアの度肝を抜くと「Guilty」へ。ここでは、咲が上着から伸びた裾をひらひらとさせながら歌っていく。その優雅な仕草とバランスの良い音が相俟って、観客は溜め息を飲んだ。かと思えば、ハードナンバー「愛ノ前科」で自由にステージを動くなどして、二面性を出していく。12月27日にはワンマンライヴも決まっているだけに、これから彼らがどのように変化していくか期待したい。

続いては、Para:noir。ステージ後ろに掲げられたバックドロップが何とも目立つ。これから始まる儀式は如何なるものか、そんなことを思ってしまうほどだ。そうして始まった彼らのステージは「刈ルベキ華ヨ刻キタレリ」からスタートした。明と暗、その両方がくっきりと浮かび上がり、聴[illegible]のある[illegible]に仕上っていた。「Re:gret」や「Mogaz」、最後の「Show time in the [illegible]」に至るまで、勢い重視ながらもしっかりとした演奏力で聞かせて[illegible]ンバーに、観客は大きな拍手を贈[illegible]。

A&Dは大阪のバンドというだけあって、会場の盛り上げ方[illegible]った。[illegible]リア、暴れていけるか、[illegible]煽った「鈍色傷」を始め[illegible]しむことはもちろん、観客が楽しんでくれることを第一に考えた[illegible]テージングを披露してくれた。MCで[illegible]テンポ良く進んでいっただけに、[illegible]は心を鷲掴みにされていたようだ。そこからは、[illegible]





「GO TO MY WAY GO」「T.W.G.T.69」を演奏すると、笑顔でステージを去っていった。

5番目に現れたのはトゥーン工場。今期注目度ナンバーワンのバンドだけあって、歓声もすごい。その期待に応えるべくしてライヴは始まっていった。この日1曲目に持ってきたのは「[illegible]」。[illegible]の歓声を受け、甘く切なく響くひかる。楽器陣はそれを更に引き立たせるように渾身の力を振り絞って演奏していく。その姿はとても純粋で[illegible]、それがあるからこそ、こんなにも[illegible]キラとした音が作れるのだと感心[illegible]。また、「Sweet&Dispain」では[illegible]しげ[illegible]激しく、息を付く暇も与えないほ[illegible]スピーディーに迫っていった。色々な引き出しを持っているバンドなだけに、来年どのように飛躍してくれるか楽しみだ。

更なる盛り上がりを見せてくれたのは、Virgil。執事がバンドコンセプトというだけあって、どれほど優雅なステージを見せてくれるのかと思いきや、最初から一本筋の通ったロックなノリを見せ付けてくれた。それはまさに、ショー。繰り広げられる様々な世界観に見る者は圧倒された。その中でも〝心と耳で感じて揺らそうか!〟と煽った「Auxo」と、ハタキを振り回しながらコミカルに歌い上げた「ゼクたんのお掃除しませう」が印象的だった。〝ありがとうございます、エリアの御主人様〟そこで執事らしさを出したのもなかなかのものだった。

ラストは、ν[NEU]。進化した彼らを見るのはこの日が初となるだけに、始まる前からどんなことをしでかしてくれるのだろうかと胸が高鳴る。すると、SEに合わせ、サイバーな衣裳に身を包んだ5人が登場、フロアの熱は一気に高まっていった。同期の音を巧みに使い、生音を活かしていく、その手法は最近のバンドでよく見られることなのだが、彼らに至っては、そこに更なるスパイスを効かせ、自分たちの音楽へと変貌させていた。この日はニューシングルの中から「ピンクマーブル」を披露するなどして会場を沸かせてくれた。さすが、ラストだけあって、最高のステージングを見せてくれた。

楽専科社公認公式サイト **音楽せんか?**

p://mobile.ongakusenka.com/

i-mode EZ Y! Keitai

※ディズニーモバイルでも見られるよ！

SHOXX ARENA37℃と連動したヴィジュアル系・邦楽専門サイト

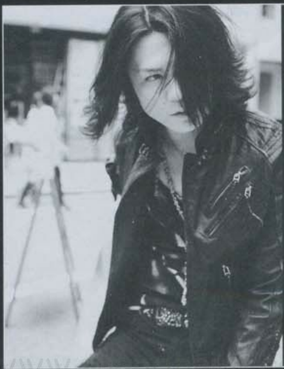
「ARENA37℃」と「SHOXX」に掲載された記事と連動した企画が盛り沢山!!
撮影メイキングムービー、待ち受け画像、着ボイス、デコメ素材など、
どんどん増えていくコンテンツに乞うご期待!!

今すぐアクセス!!

AN CAFE アンティック-珈琲店-

SHOXX表紙巻頭撮影 【撮影メイキングムービー】

今号の表紙巻頭特集は、ドヴィジュアル仕様のアンティック-珈琲店-でした。
「音楽せんか？」では恒例のSHOXXの撮影の裏側をお届けする撮影秘話を公開。
他では絶対に見ることの出来ない撮影メイキングムービーをお楽しみ下さい。



柩＆Ni~ya
●SHOXX撮影秘話

RUKA
●ARENA37℃撮影秘話

THE KIDDIE
●SHOXX撮影秘話

表紙巻頭特集以外にも、都内のロケ撮影となった柩＆Ni~ya（ナイトメア）や、別冊SHOXX glitter popにも登場してくれるTHE KIDDIE、そしてARENA37℃撮影秘話では、ナイトメア・パーソナルシリーズのラストを飾るRUKAパーソナル撮影などの裏側をムービーとレポートにて大公開!!

【その他のラインナップ】

●11/2渋谷BOXXで開催された「音楽せんか？Presents『Triangle Prism Vol.1』」のレポートや、出演バンドのコメントムービーを公開。出演アーティストは、愛狂います。、キャンゼル、Zip.erの3バンド。

●ARENA37℃で好評連載中のALvino翔太の男塾。フリークライミングにトライした様子をムービーにて公開。

●ARENA37℃SPECIALで連載中のON/OFF。恒例の撮影メイキングをお届け。

額315円の会員になれば、待受け取り放題!! ムービー見放題!! さらに、発売前の音源の試聴、ライヴスケジュールやイベント情報も調べられるよ。
まか、アーティスト情報満載の楽しいコンテンツを配信しています！ 詳しくは携帯からアクセスしてね★

-mode:「メニューリスト」→「音楽/映画/芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか?」
EZweb:「トップメニュー」→「カテゴリー検索」→「趣味・娯楽」→「音楽・映画・芸能」→「音楽情報」→「音楽せんか？」
Yahoo!:「メニューリスト」→「芸能・映画・音楽」→「音楽情報」→「音楽せんか？」

http://mobile.ongakusenka.com/

【問い合わせ】株式会社 音楽専科社 〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3ダヴィンチ銀座アネックス5F E-Mail:ongakusenka@ongakusenkasha.co.jp

www.shanghaidz.com
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

SHOXXが厳選してお届けする最新情報!!

DELUHI

芯は残しつつ、変化球も織り交ぜたミニ・アルバム

SHOXX VOICE!!

2008年1月に結成され、先頃7月30日には渋谷O-WESTをソールドアウトにさせた3rdワンマンも大成功に収めたDELUHIが、2ndミニ・アルバム『ユグドアライヴ-Yggdalive-』を11月4日にリリースした。彼らが持つ芯の部分は残しつつも、変化球的ヴァリエーションも込めたという意欲作。華麗なる進撃を続けるDELUHIへのファースト・コンタクトだ。

Interview:TAKAYUKI MURAKAMI

——『ユグドアライヴ-Yggdalive-』を作るうえで、テーマなどはありましたか？

Leda：〝ユグドアライヴ〟というのは、神話に出てくる〝ユグドラシル〟という大樹の名前と〝alive〟という言葉を合体させて作った造語で、〝成長し、育っていく〟という意味合いを持たせてあって。それが、今回のアルバムのテーマそのものでした。最初に出した『Surveillance』（2008年3月）というミニ・アルバム以降はほとんどシングルだったので、直球的な内容が多かったんですね。なので、変化球みたいな部分をもっと見せていきたいなという想いがあって。DELUHIの芯の部分は残しつつ、いろいろな変化球も織り交ぜたミニ・アルバムに仕上げました。

Juri：今回は、〝やりたいことを、やりたいようにやる〟ということもテーマとしてあって。歌のスタイルも変わりましたね。今までは、〝ヴィジュアル系らしさ〟を意識している部分があったんですけど、今回は本当に自分がいいと思える歌を歌いました。中でも「星の無い夜に」は、印象に残っています。僕は、R&Bとかも好きなんですけど、そういう部分をDELUHIで活かせるとは思ってなくて。この曲が出来た時は、〝ああ、自分もこういう曲を歌えるんだ〟と思って（笑）。全く新しいDELUHIと言える曲なので、ぜひ聴いてほしいです。

Leda：「星の無い夜に」は、アルバムのテーマが固まりつつある中で、最初に出来た曲なんです。曲調的には、DELUHIの中心からいちばん遠い感じですけど（笑）。でも、この曲が出来たことでアルバムの全体像が見えたし、自分的には〝ユグドアライヴ〟というテーマを象徴する曲だと思っています。

Aggy：「WAKE UP!」も、新境地ですね。楽器隊がやっていることは、そんなに変わってないんですけど、シーケンスが加わったり、今までにない歌が乗ることで新しいものになって。出来あがった時に、〝これは、予想を上まわる仕上がりだな〟と思いました。僕は、今回の中では「WAKE UP!」がいちばん好きです。

Leda：この曲は、バックはニュー・メタルみたいな感じなんですけど、Juriが適当に歌ったAメロがR&Bっぽいニュアンスで。それが良かったので、そこを活かしつつ他のメロも作っていったんです。で、僕はジャニーズも好きなので（笑）、ジャニーズっぽいサビにしたくて、みんなで歌う感じに仕上げました。

——えっ？ジャニーズですか？

Leda：はい（笑）。Kinki Kidsとか、大好きなんです（笑）。

Aggy：移動中の機材車とかでも、よく聴いていますよ（笑）。ウチはみんな、キャッチーなものも好きなんです。

Sujk：俺は、今回の曲で印象に残ってるのは…どれだろう？うーん……

一同：「FOLLOW THE FUTURE」だろう！なぜ、考える？（笑）

Sujk：アハハ（笑）。確かに、「FOLLOW THE FUTURE」は好きですね。汗臭いというか、男らしい感じで（笑）。ラウドだったり、ヘヴィなものは好きだし、前からやりたかったビートでもあるし。でも、今回は「星の無い夜に」とか「WAKE UP!」「Hello」みたいに、すごく楽しい曲もあって。そういう曲も、すごく楽しかったです。

——「FOLLOW THE FUTURE」や「G.A.L.D」といった曲は、DELUHIのテクニカルな部分が全開ですね。

Leda：「G.A.L.D」は、難しかったですね。リズム・セクションがポリリズムで始まっているので、Aメロとかが難しいんです。それに、今回は曲が揃った時点で曲の並びを決めて、アルバムの後ろに入っている曲から歌詞を書いていったので。2曲目の「G.A.L.D」は、ネタがなくて苦労しました（笑）。僕は、この曲がいちばん印象に残っていますね（笑）。

——幅広さと完成度の高さを併せ持ったアルバムで楽しめました。2010年1月9日に渋谷O-EASTで行なわれるワンマン・ライヴも楽しみです。

Sujk：今後は、『ユグドアライヴ-Yggdalive-』をリリースして、摩天楼オペラさんとツアーを廻って年明けにワンマンという流れになってて。ツアーでいろいろ勉強して、いい形でO-EASTに繋げたいですね。進化したDELUHIを、ぜひ観に来てください。

Aggy：今はまだ、CDを作っただけじゃないですか。楽曲は、お客さんとライヴで共有することで、また新しい形になっていくので。ツアーを通して新曲をどんどん育てていって、O-EASTの時点で、一つの完成形を提示したいと思っているので期待してください。

Leda：前回ワンマンをやったO-WESTと比べると、キャパシティが倍なので。ステージングも一気に変える必要があると思うんですよ。そういうところも踏まえてライヴとリハーサルを重ねていって、O-EASTでは収まりきらないようなバンドを目指します。そうすることで、自分たちもお客さんも本当に楽しめるライヴになると思うので。全力で頑張って、O-EASTではいいカタルシスを得られたらいいなと思っています。

Juri：来てくれるお客さん1人1人に感謝して、後悔のないように熱いライヴにしたいです。『ユグドアライヴ-Yggdalive-』で提示している今までとは違ったDELUHIの顔と、僕の新しい歌を、ぜひ体感しに来てください。

【ライヴ・スケジュール】11月28日・川崎クラブチッタ、1月9日・渋谷O-EAST。 http://www.deluhi.com

www.shanghaidz.com

電脳オヴラアト

SHOXX VOICE!!

原点回帰と"時代錯誤"感

2005年に解散した電脳オヴラアトが2009年7月に完全復活を果たし、この度正式に活動を再開させた。12月1日には、マキシ・シングル『アナクロトラウマー』を発売、さらに12月13日には難波ロケッツでワンマン・ライヴも決定と、着々と活動を続いていく。懐かしがられるだけではなく、新しい人にもどんどん聴いてもらいたいと、Vo・トモロウの発言はこれまで以上に前向きだ。シーンに新しい風を吹き込んでくれるか、期待したい。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

——活動を再開するキッカケとなったのは、2009年1月に行なった復活ライヴだったんですか？

「ぶっちゃけそうですね。僕らも電脳の音楽は嫌いじゃないし、メンバーも仲がいい。じゃあ解散してる意味があるのか？ってなったんです。それで、解散寸前のおとなしい感じじゃなくて、初期のいちばんドロドロしてた感じをコンセプトにして復活しようってことになりました」

——気持ちとしては心機一転ですか。

「曲は前からあるんですけど、〝2009年電脳〟みたいな感じですよね。当時を懐かしむんじゃなくて、新しい人にもいっぱい聴いてもらいたいし、めちゃめちゃヤル気なんです」

——コンセプトとしては、〝怪しさ〟とか〝哀愁〟ということがいちばんのポイントになるんですか。

「完全な歌モノですね。激しい曲って言うより、僕らは〝バカな曲〟って呼んでるんですけど、バカな曲かしっとりした歌モノか…みたいな感じで分かれてます。元々、歌謡曲を聴いて育ってるし、どうしても性格がこれなんで、物悲しいと言うか切ないと言うか、暗いネガティヴな思考が歌詞には反映されてると思うんです。そこは変わらずですね」

——活動再開して初の音源となる『アナクロトラウマー』は、どんなものにしようと？

「聴きやすさですね。それと、原点回帰に近かったんで、僕らがいちばん最初に出した『アナログトラウマー』と引っ掛けてタイトルは考えました。今まさにヘヴィロックとかが流行ってる中で、音の薄いバンドをこれからやっていこうっていう時代錯誤（アナクロニズム）的なところが、僕らみたいだなと思って」

——なるほど。ただ書き下ろしの「四つ角の通り魔」の歌詞は、現代的な部分も出てますよね。

「平成じゃないところを歌ってることが多かったんで、現代的なところで何か書いてみようって思って、ベタですけど、〝メール〟っていうのが出て来まして。それと、今の少年犯罪的なものを交えたお話にしようかなって。バックだけ聴いてるとすごく明るい曲なんですけど、そこに敢えて暗い歌詞をつけていこうと」

——メロディは綺麗ですもんね。

「ブチ壊したかったんで（笑）。最初からそんな綺麗な曲はやりませんって。そこら辺ヒネくれた性格ですよね。歌詞カードも歌詞じゃなくて、歌詞の内容を普通の文章にして載せるつもりなんですよ」

——1曲1曲に世界観があって、ドラマがあるからこそ出来ることだと思います。

「そうです、そうです」

——物語性がサウンドにも出てますし。

「ガチャガチャ入れてますね、メールの着信音とか。歌で伝えるのも大前提かもしれないですけど、雰囲気で伝えたいんです」

——次の「涙雨」は、まさに哀愁といった感じです。

「らしい、としか言えないです。4年前に作った曲なんですけど、そこに効果音の雨とか踏み切りの音を入れて。たまにライヴとかでやって、お客さんが泣いてると、若干戸惑うところもあるんですけどね（苦笑）」

——「人工天使」は全体的にノリが出ていて、電脳オヴラアトのバンド感みたいなものが出てるのかなと。

「僕も聴いた時に、〝ザ・電脳オヴラアト〟やと思いました」

——「カムカムアゲイン」も、サビのメロディとかすごくキャッチーですよね。

「この4曲はほんまに歌モンやと思いますね。今までの電脳オヴラアトよりも歌モンになってる気がします」

——並べて聴くと、やっぱり「四つ角の通り魔」は新しい印象がありますね。

「どんどん新しいものをやっていきたいんで。過去にあったバンドが復活して、懐かしがられるっていうのがいちばんイヤなんです。ちゃんと新しいバンドとしてやっていきたいし、知らない人にこういうバンドがいますよっていうのをガッツリ伝えたいですね」

——ワンマン・ライヴも決まっていますね。

「新曲も用意してるんで。ぜひお越し下さい。来年辺りは東京でもワンマンしたいし、何から何まで前向きですね。復活して、電脳の良さを自分たちで実感してるところがあると思うんです。それがあるからみんな自信があるのかもしれないし、1本1本のライヴも面白いし。ホームページで過去の音源はほとんど聴けるんで、どういうバンドか知ってほしいです」

【ライヴ・スケジュール】11月23日・HOLIDAY OSAKA、12月13日・難波ロケッツ（単独公演）、27日・大阪西九条ブランニュー、1月9日・HOLIDAY OSAKA、30日・難波ロケッツ（電脳オヴラアト主催イベント）。
http://ebisukikaku.com/

www.shanghaidz.com
hudie.com

DEATHGAZE

新生DEATHGAZE登場!!

絆や血の繋がりを表したというニュー・シングル『BLOOD』は、今までのDEATHGAZEワールドからさらに一歩踏み込んだ作品になっている。初のコンセプト・シングルとなっているだけに、聴き応え充分だ。今回のインタビューでは、先日、正式メンバーとして加入した貴樹の紹介も含め、最新作について語ってもらった。12月にはワンマン・ツアーも控えているだけに、今後の彼らから目を離すな！

Interview:ERI MIZUTANI

――この度、新しいメンバーさんが加入されたそうで。

藍：そうなんですよ。前任のギターが今年の4月に辞めて、6月22日のライヴから、貴樹にサポートとしてやってもらっているんですけど、僕たちはしては、入ったその時から正式メンバーみたいな感じでツアーを廻っていたんですよね。

――それなのに、すぐに正式加入という形を取らなかったのはなぜなんでしょう。

藍：いきなりメンバーになってくれっていうのは彼としても荷が重いかなぁと。もちろん、僕たちとしても短時間で彼のことを全て分かるとは思っていなかったので、普段の生活も含め、1本のツアーを一緒に廻ることでお互いのことを理解していったんです。そして、こいつとなら一緒にやれると思ったので、正式メンバーになってもらうことにしました。

――貴樹さんはいかがですか、DEATHGAZEの正式メンバーになってみて。

貴樹：ありがたいですね、こうやって言ってもらえるなんて。最初、サポートをやる前は、DEATHGAZEは激しいバンドだなって思っていたんですよ。メンバーも怖い人たちの集まりなんだろうなって（笑）。でも、実際に入ってみるとみんな良い人たちで。ツアーをやっていく度に間の取り方も分かってきたし、今は緊張もなくライヴも出来ています。

――こうしてお話を聞いていると、非常に真面目な人間性が伺えますが。

藍：そうなんですよ、彼はすごく真面目で。けど、俺たちといるとだんだんと…

――不真面目になっていくと（笑）。

藍：いやいや、そういうわけではないんですけど（笑）。そうそう、昔、孝介と貴樹は一緒にバンドを組んでいたんですよ。それもあってか、急速に打ち解けたというか。今では、ライヴ以外の時でも楽しんで過ごしています。

――それはとても良いことだと思います。バンドをやる上で大事なのは、人間性とも言いますからね。

孝介：それはありますね。まぁ、人間性はもちろん、楽器隊としての相性もバッチリなんで、俺としてはすごく良い感じに出来てますよ。しかも、驚くことに、いちばん最初に音を合わせた時からそうだったんですよね。

――それ、かなり珍しいことですよね。

孝介：さすがに、完璧とまでは言えなかったけど、なかなかのものでしたよ。それに、彼からもいろいろ発案してくれるんで助かってます。

――直樹さんから見た、貴樹さんの印象というのは？

直樹：今、孝介くんが言っていたように、演奏面は全く問題がありません。僕の中では理想のギタリストですね。あと、普段の付き合いでいうと、すごく仲良くしやすいというか。彼、見たとおり真面目な人なんで、良い感じにやってます。

――素晴らしい人材を迎えたと。確かに、こうして4人を並べてみると、まるで違和感がないというか。

藍：サポートでやっていてくれた時からそうだったんですよ。だからきっと、僕たちも今までどおりにライヴが出来たんだと思います。

――さらに骨組みがしっかりしたなという印象を受けました。そして、11月18日には、待ちに待ったニュー・シングル『BLOOD』がリリースされました。

藍：タイミング的なこともあり、ギターは全て僕が弾いてしまったんですけど、かなり良い作品になっていると思いますよ。今回、「BLOOD」と「SICK」という2つの曲が、対になるように仕上げていきました。「BLOOD」は僕が作ったんですけど、スピーディかつキャッチーなだけに、ずっとノレる曲になっています。言うならば、DEATHGAZEの王道をさらに広げた感じですね。

直樹：この曲は、アルバム『THE CONTINUATION』を作り終えてすぐのレコーディングということもあって、そこからの勢いが詰め込めたんじゃないかなと思います。今までのドラム・フレーズとは違う感じになっているので、そこら辺も注目して聴いてもらいたいですね。

孝介：ベース録りはガムシャラでした。やっぱり、アルバム作ったすぐ後っていうのが効いていたのかもしれません。そのテンションが良い感じに作用したと思います。

――貴樹さんとしては、これからこの曲をどのように演奏していきたいですか？

貴樹：とりあえず、楽しく弾けたらいいかなと。みんなのことをグイグイと引っ張っていきたいですね。

――もう一方の「SICK」に関しては？

直樹：これは僕が作ったんですけど、ホント単純な感じで持っていきましたね。良いのが出来たから持っていったっていう。それで、みんなに任せて。

藍：だから、歌詞もサクッと付けていきました。人からどう思われても自分らしく生きてみればいいじゃないか、そんなことを歌っています。まぁ、コンセプト・シングルとはいえども、そこまでガチガチなものにはしたくなくて。いつものスタンスである"良いのが出来たからやってみよう"というところは、2曲とも貫けたと思います。

――良い作品が出来ただけに、これからのワンマン・ツアーも楽しみですね。

藍：自信はありますよ。僕たちにしか出来ない経験をいっぱいしたんで、それを武器に頑張っていきたいなと思います。

【ライヴ・スケジュール】12月5日・OSAKA RUIDO、8日・名古屋ハートランド、20日・表参道FAB。 http://www.deathgaze.jp/

蝴蝶网
hudie.com

アヲイ

ただ重いだけのバンドじゃない！

SHOXX VOICE!!

アヲイにとって初となるミニ・アルバム『ZACRO』が、11月25日に発売となる。「重く激しく…さらに、胸揺さぶるメロディックな要素を強く押しだしたドラマチックな楽曲」を、全部で6曲収録。ここには、"今のアヲイらしさ"が、楽曲+ヴィジュアル面の両方を通し、しっかりと描かれている。この後彼らは全国ツアーを実施。ファイナルは、1月29日・表参道FABでのワンマン・ライヴ。これは見逃せない内容になりそうだ!

Interview:TOMONORI NAGASAWA

――最近のアヲイは、どんどんヴィジュアル畑へ寄り添ってきていませんか!?

サキ：自分らのメイン活動場がヴィジュアル畑である以上、そこへ順応していくのは、当然のこと。でも芯となるスタイルは、変わらずに持ち続けていますよ。

翔。：そう。芯となる音楽性さえぶれなければ、ファンの人たちにとっても〝信じられる安心感〟が生まれますからね。

オトギ：アヲイの魅力は何か？と考えたら、やっぱり「歌をしっかり聴かせられるバンド」と胸張って言えることなんですよ。よく、僕らのことを〝重いサウンドのバンド〟と言われますけど、僕らが目指しているのは、そこじゃない。むしろ、今の軸にしている機材やチューニング方法で演奏していれば、〝重さ〟は自然に描き出せるもの。それよりも、初めて音源やライヴへ触れた人でも、〝印象深く耳に入ってゆく歌〟であることを、僕らは目指しています。

――アヲイ自身はもちろん、最新作『ZACRO』の魅力もまた、〝グサグサと身体突き刺すアグレッシヴ&ヘヴィグルーヴィなサウンド〟と、その音の上で〝印象深く踊ってゆく歌&メロディ〟との重なり合いにあると感じました。

オトギ：『ZACRO』で一番大切にしたのが、「歌物作を作ること」でした。今のアヲイの楽曲すべての詞やサウンドを手がけているのは歌い手である僕自身ですが、まずは〝自分の歌声やメロディ〟を優先して楽曲を作ります。そのうえで〝歌を邪魔しない演奏アレンジ〟を心がけていく。メンバーへも、それを伝えたうえで形作ってもらっているので、『ZACRO』には、一つとして演奏と歌それぞれの聞かせどころを邪魔するような楽曲はありません。中でもギターに関しては、隠し味的な細かい演奏テクニックを随所へ組み込んでいるので、パッと聴きではわからないような小さなこだわりをたくさん積み重ねながら、今の懐深い楽曲へ仕上げています。

翔。：ミュートの仕方や、強弱な音のニュアンスを出すためのピックの当て方一つにまで細かいこだわりを施したのはもちろん、その楽曲を活かすため、サビだけギターを持ち変え、音の表情を広げたり、1曲の中で何本もギターを変えて演奏したりして、1曲ごとにかなり凝った作りをしていきました。

サキ：ギターが凝ったスパイスを、楽曲の中へたくさんまぶしていったからこそ、リズム隊は、どんな音がのっかろうが、支える音の芯はけっしてぶれない」という姿勢のもと、シンプルな演奏を心がけてもいたからね。

ヒロ：『ZACRO』へ収録した楽曲たちはどれも、〝歌〟を魅力のメインにしている。そのぶん、どれだけ〝メロディを活かせる演奏にするか〟を、リズム隊は強く心がけていきました。

オトギ：今回は「リード曲があり、それを彩るC/W作をというシングル的な作りではなく、最初から6曲で一つの流れを持った作品作りを強く心がけていきました。それこそ、シングル『インソムニア』を作り終えて以降から、楽曲を作っては、納得のいく音源のみをストックし続けて、それらの楽曲の良い部分のみを融合させ、さらに良質な1曲を作りあげてという作業を繰り返しながら、『ZACRO』の制作前の段階で、フル・アルバム分の楽曲を用意。その中からさらに絞り込み、それぞれの楽曲をミックスアップさせたうえで、濃縮した6曲を導き出しました。全体的には〝アップでアグレッシブな歌物作〟という印象もありますけど、それぞれの曲の入り口の扉を空け、中へ踏み込めば踏み込むほど、マニアックに凝った懐の深い要素もたくさん見えてくるはずですから。

ヒロ：収録歌一つ一つに新しい要素を加えているのは、もちろん、オトギがラップをしたり、凝ったリズムパターンを演奏したりなど、どの楽曲からも小技活かした新鮮な表情を味わえると思うからね。

サキ：自分たち自身、「まだまだアヲイはこんな表情を出せるんだ」という可能性を見いだした1枚にもなったし。

オトギ：歌詞だって、日本語へのこだわりという枷を外し、英詞も柔軟に使ったおかげで、より楽曲自体へ深い説得力を持った表情を描けました。

翔。：この『ZACRO』を手に、アヲイはこれから全国ツアーへ突入するわけだけどライヴを繰り返すたびに、曲たちの持つ味に深みや彩りが増えていくはず。その成長した成果を、1月のワンマンではしっかり描きあげたいですね。

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

S.Q.F

SHOXX VOICE!!

ゴージャスでポップな"Party"へ……

艶やかで蠱惑的な、深きダークファンタジーの世界へようこそ。
圧倒的な声量とテクニックを持つヴォーカリスト・michi.と、円熟した技巧で聴かせるギタリスト・NaoによるS.Q.Fが、11月18日に発表したアルバム『Living Dead Party』は、ゴージャスなサウンドと物語性の強い詞で綴られた逸品に仕上がった。S.Q.Fからの誘いを、ここは興じてみるとしよう。

Interview:YUKI SUGIE

――まずは単刀直入に。今作『Living Dead Party』は、前作『DIAMOND』からの流れを受け継ぎつつ、S.Q.Fとしての新たな可能性を探求した内容になっているようですね。

michi.：そうなんです。もちろん、ただ単に焼き直すつもりはなかったですけど、前の『DIAMOND』が出来た時に自分たちでも強い手応えっていうのは感じてたんで、今回はその世界の延長線上で作っていこう、っていうことはNaoとも当初から話をしてたんですよ。

Nao：ただ、あのゴージャスできらびやかな雰囲気は継承しつつも、曲自体は前と被んないように、っていうのが意外と大変でね（苦笑）。曲作りは、今回ちょっと試行錯誤しましたよ。

――印象としては、ゴージャスかつアダ[illegible]作に対し、今作『Living Dead Party』では、そこによりポップな要素も入り込んで来たように感じましたけれど。

michi.：まさに、明らかな違いはそこでしょうね。前作のああいうアダルティなテイストも良かったんですけど、今回はそこにさらなる躍動感とか、もっとハジけたポップセンスだとか、そういうものがプラスされていったんです。簡単に言うと、遊び心が増した、みたいな。

Nao：ひとつには、ここまでやって来たライヴっていうものも大きかったですよ。『DIAMOND』に入ってる曲たちをやりながら、"もっと、こういうタイプの曲も欲しいな"とか、いろいろ感じたことも、かなり反映されてるんで。

――そうした側面が、特に強く出た曲はどれになりますか。

Nao：「BLOOD CHERRY CIRCUS」とか、最後に入ってる「PUMPKIN IN THE PARK」かなぁ。ライヴで堅苦しいことナシに、もっと盛り上がりたい！っていう気持ちが出ましたねぇ。あと、それとは逆のタイプなんやけど、僕らラジオをやってましてね。その番組中でアンケートを取ったら、意外とみんな重いバラード系の曲も好きだっていうことが分かったんで、そういう面については今回1曲目の「Living Dead Party」に集約させました。

――こちらは、いわゆるタイトル・チューンにもあたるもので、圧倒的な存在感を放つ曲となっていますね。

michi.：Naoに、"1曲目になる曲を作ってくれ"って頼んだんですよ。このアルバムの世界の門となるものが欲しい、って。

――この門は、きっと重い鉄製でしょうね。彫刻の施された、それこそ"地獄の門"のようなものだったりして（笑）。

michi.：ホントそのくらい、重厚な感じの曲を求めてたんですよ。

――この「Living Dead Party」という楽曲タイトルや、詞の世界にまつわるイメージは、曲が出来てきた後どのように固まっていったのですか。

michi.：『DIAMOND』を出して以降、僕らのライヴって、ストーリーを重視した演出要素の強いステージングが多かったんですね。そういう中では、ちょっ[illegible]な世界を描いていくことも多かったんで、この曲でも悪魔とかヴァンパイアなんかをモチーフに、詞を書いてます。だから、さっきの地獄の門っていう言葉はホント当たりですね。

――michi.くんは元々、暗黒世界を描かせたら天下一品ですからね。この仕上がりは、さすがです。

michi.：お陰様で、伸び伸びと妄想しながら書かせてもらいました（笑）。

Nao：「Diablo～ロザリアへ愛を込めて～」とかもね。ホント、このヒトはこういうの書かせると凄い（笑）。

michi.：とはいえ、ただ暗いだけじゃなくって、そこにはティム・バートン（映画監督）的なウィットも入れたくて、そういうニュアンスも入れたのが今回のポイントですね。

――今作には他にも興味深い曲が満載なのですが、中でも「スケアクロウ」には特に心惹かれました。S.Q.Fにはこれまでもジャズやシャンソン的な曲はありましたが、ついにタンゴにまで手を伸ばしてしまったとは！

michi.：これね、前の「SHOXX」のインタビューがキッカケで出来た曲だったんですよ。"次はタンゴの曲があってもいいのでは？"って、あの時言ってましたよね？　あの言葉をヒントに、Naoと2人で旅先で囲炉裏を囲みつつ、酒呑みながら作ったんです。

――何とまぁ。異国情緒溢れる旋律と官能的な歌が秀逸ですし、鳴っているガットギターの音も乙で最高ですよ。

michi.：こんなギター、なかなか誰も弾かないでしょ（笑）。

Nao：こういう歌も、アナタくらいしか歌わんでしょうなぁ。

michi.：いやー。クドいに限りなく近い、濃い世界が出来ちゃいました（笑）。

――11月後半には、このアルバムの発表を受けた東名阪ツアー「††† Living Dead Party †††」がありますから、こちらも大変楽しみです。

Nao：みんなで楽しく騒ぎつつ、ここは思いっ切り行ければなと。

michi.：また、いろいろ演出的にも凝ったライヴになると思いますよ。せっかくこれだけ濃い作品が出来たんで、ライヴも深く濃厚に行きたいです。

【ライヴ・スケジュール】11月21日・大阪ルイード、22日・HOLIDAY NAGOYA、28日・高田馬場フェイズ、12月31日・渋谷ルイードK2。　http://sqf.jp/

www.shanghaidz.com

DOG inTheパラレルワールドオーケストラ

SHOXX LIVE!!

1stワンマンLIVE OPEN THE『DOOR』
Live at MEGURO ROCK-MAY-KAN 2009.10.3

蝴蝶网 hudie.com

Report:TOMONORI NAGASAWA

この日のショウは、ステージ前に設置された白幕に「ハルシオンキャンディ」のPVが流れる形でスタート。メンバーの姿が映し出されるたびに上がる黄色い嬌声。その映像が終わると同時に、映像と同じ姿をしたメンバーが登場。もちろん始まったのは「ハルシオンキャンディ」だ。いきなり会場が、ド頭から飛んで跳ねる熱狂の宴へ突入。

観客の思考も感情もメルトさせていきながら、アグレッシヴでエキセントリックなパラレルロック・ナンバーを次々叩きつけていく4人。「参千世界-夜と音-」「コラン」「奇妙なサァカス。」と、感覚を亜空間へ導く楽曲に身を預けた観客たちは、無我夢中のまま踊り、暴れ続けていく。

脳髄をミキサーのようにガンガン攪拌してゆく熱狂ナンバー「ケミカルPiCt」や「CALL NUMBER [119]」。一転、「Rainy rain」で会場中に鬱蒼とした青の恍惚を充満させると、ゆったり壮大な音の調べに乗せ綴っていった。

激しいだけではなく、内省的な表情も描き出したとはいえ、彼らのライヴの醍醐味は、やはり感情を無邪気に炸裂させてこそ。腰を激しく揺らす横ノリ・ダンサブル・チューン「Because Dead」を通して見せつけた、FEVERした風景。カラフルなドロップをブチまけたようなポップにハジけ飛んだ「aPPIE [worLd] go-RouNd」を合図に、「Style Lover」「電脳花壇」と、恍惚な味の、ロックな音の飴缶を彼らは炸裂させていった。

アンコールでは、大先輩バンドたちの曲のカヴァーを披露。会場を驚嘆の渦へ巻き込んだ、蜉蝣の「夕暮れの謝罪」。フリーキーな演奏を通し、視神経を麻痺させていった、baroqueの「あなくろフィルム」。この名曲たちを、DOG色へ塗り上げてゆく手腕にも、彼らの持つ懐深さを覚えた次第だ。

ファンたちへの感謝の想いを詰め込んだ「声-voicE-」から、再び、熱狂の坩堝へ飲み込んだ「CALL NUMBER [119]」。そして最後は、この日の冒頭を飾った「ハルシオンキャンディ」を奏でながら、熱狂の幕を閉じていった。

この日のライヴを観て、このバンドの輝く未来への道を見続けたくなった。

ライヴ・スケジュール】11月25日・渋谷O-WEST、12月6日・渋谷BOXX、1月16日・渋谷WOMB（主催イベント）、2月20日・渋谷WOMB（主催イベント）。 http://dog-lavo.com/

www.shanghaidz.com

ネガ

蝴蝶网
hudie.com

0420092158040617704 2

SHOXX VOICE!!

初のフルアルバム『GRAVE OF THE SACRIFICE』の制作を経て、さらに自信を深めたネガが、11月25日にKISAKIプロデュースによるニューマキシ『Haunted Jealousy』をリリースする。「とりつかれた嫉妬」という一見不思議なテーマには、彼らの男性観、女性観が盛り込まれている？　発売後には、大阪と東京でワンマンライヴも決定。個々の見せ場はもちろん、バンドとしてさらに成長した姿を見せてくれるに違いない。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

――「Haunted Jealousy」は　どんな風

に出来た曲なんですか。

ル：ネガが出来るいろんな要素を1曲に詰め込みたいなって思って作りました。静かなところもあり、激しいところもありって感じで。

Ray：ライヴも意識して、ネガの激しい部分も取り入れて。

――プレイするときも、構成ごとの表情を意識して？

ル：歌い方も構成ごとに違うし、楽器隊の音作りもそうですし、そこは皆苦労した曲ですね。

SAN：ヘヴィな部分と静かな部分でメリハリをつけるのに苦労しましたね。全体を通して歌詞の世界観的な重さがずっとあるんで、アレンジでは重苦しさ的なところを出すのにも苦労したんですけど。

――ギターソロはまた雰囲気が違って。

SAN：「とりつかれた嫉妬」っていうテーマだったんで、ワーミーを使ってちょっとネバネバした感じを出したくて（笑）。

――確かに、らしいですね。

Ray：SANが言ったみたいにメリハリを意識してレコーディングしましたね。だから、ストレートなんですけど、一番表現できてるんじゃないかと思います。

優：ドラムはシンプルにしようって言ってたんですけど、実際に出来たときに何ですか、これはって（苦笑）。バスドラがドコドコ言ってないと我慢できないのかなって。大変でしたね。構成ごとに全然フレーズが違うんで、ヤバイですね。

ル：今までで皆一番レコーディングに時間かかったんじゃないかな。

――「とりつかれた嫉妬」っていうのは、不思議なタイトルですよね。

ル：確かに。直訳すると意味不明な感じになると思うんですけど、嫉妬しなくてもいい対象にまで嫉妬するっていうテーマなんです。こういう感情って男のほうが多いと思うんですけど、相手にまとわりつく生活の全てに嫉妬するような。次の「Ogress」は女性目線で書いたんですけど、その嫉妬はシンプルなんで、対比を描きたかったんです。そういう嫉妬心があって、純粋に相手を愛せないってところから「とりつかれた」って言葉が出て来たんです。

――対比と言うことは、男性のほうが執

着心があるってこと？

優：絶対にそうです（断言）。

――なるほど（笑）。

ル：そりゃそうだと思いますよ。女の子の嫉妬ってシンプルだと思うけど、男はそうじゃないんじゃないかなって。

――「Ogress」はポップでキャッチーな曲に仕上がってますね。

SAN：ネガでもこういうのをやっていいんかなって思ったんですけど、アルバムでそういう曲も表現できたんで、これもいけるかなって思って持って来ました。

Ray：曲調は「Haunted Jealousy」とは正反対でストレートな感じですよね。

優：これはシンプルですよね。だから逆に不安になるんですよ。バスドラ踏まんルかなって。シンセもこれは最初に入れへんって決めたんで。抜くところは抜いて、同期は一切入れてないですね。

Ray：だから、今までこういう曲をやった中でも一番グルーヴ感を感じるし、満足と言うか達成感がありますね。

――Bタイプに収録される「朧」は、和な要素が含まれてるんですね。

ル：曲を作ったときに、和でこの曲調って面白いなって。イントロでタイトルどおりの和な感じかなって思うと、意外と曲調が激しかったりラップがあったり、そういうトリッキーな感じで、遊び心のある曲ですね。

――Cタイプの「淫雨と暗澹」は？

優：僕とRayがコラボ的な感じで作りました。タイトルをもらったときに、これやなって感じで、すぐ出来ましたね。

Ray：俺も同じような曲を作ってたんですよ。このタイトルで、俺と優のイメージが一致したって言うか。最初は意味わからなかったですけど。辞書とか調べて、イメージを膨らませました。

ル：それが、ああいいやんって。一番すんなり行った曲だと思いますね。

――発売後、ワンマンライヴが控えています。

SAN：楽曲だけじゃなくて、空気感とかステージングを目でも楽しんでほしいです。テルミンをもっと練習してちゃんと奏でられるようにしたいですね。

優：個々の見せ場的なものを考えるのが楽しいですね。ピアノとかドラムソロとか。あとは、とにかく練習です（苦笑）。

愛狂います。

たまには、僕の人間味ある部分も聴いて欲しいな～。

12月16日に、マキシ盤『サイコ×レタア』を発売する愛狂います。「通常盤」には新曲3歌を収録。「限定盤」に収録した『サイコ×レタア』のPVもぜひ観て欲しい。思いきり嬉しい裏切りを魅せてゆく極上な愛狂います。の姿を味わえるはず。12月19日～20日には、高田馬場AREAを舞台に企画プロデュース・ライヴも実施。来年には3周年を記念したクアトロ・ツアーも決定中だ!

SHOXX VOICE!!

Interview:TOMONORI NAGASAWA

──最新マキシ盤『サイコ×レタア』が完成！また、新しい扉を開けましたね。

ルビ：今回一番心がけたのが、〝3曲通して1枚のCD〟として楽しめること。もちろん、1曲ごとに持っている個性を最大限に活かしつつ、そのうえで、〝聴きやすさ〟も重視していきました。

──収録した3曲、それぞれの魅力も探りたいなと思います。冒頭を飾ったのは、『サイコ×レタア』です。

えみる：今まではカオスめいた曲に乗せ、非現実／仮想空間的な歌詞を書くことが多かったので、今回は全体的に聴きやすい言葉を用いながら、もっと〝体温を感じる〟歌詞を乗せてみました。

ルビ：えみる君が持ってきた歌詞を見たときに、「こうきたの!?」と驚いてしまうくらい、素直でわかりやすい表現を使ってきたんですよ。だから曲をアレンジしていくときも、愛狂います。らしさでもある〝いろんな音を詰め込んだうえでのポップさ〟ではなく、〝シンプルでわかりやすく〟作っていきました。こんな素直な詞って、初めてだよね。

えみる：たまには、僕の人間味のある部分も聴いて欲しいな～と思って。確かに楽曲アレンジはシンプルになってるけど、あくまでもそこは〝愛狂います。基準〟として捉えた場合ですから（笑）

──歌詞には、壊れた恋を引きずる切ない想いを描いてますが。そういう経験があったから生まれた歌なんですか？

えみる：涙、涙の、涙で前が見えなくなるくらいに…むしろ、聴いてくれる人たちのほうが〝心情的に共感度の高い〟歌になったと思ってる。この曲、歌詞は丸いけど、楽曲はバリバリ激しい。そのギャップも、じつは面白かったりしています。

──えみるくんって、とても繊細で純粋でセンチでロマンチストな人なんですね。

さらん：どっちかと言うと、むしろ歌詞とは逆のパターンのような…。

えみる：なにそれぇ～！これは、涙が出るほど切ない体験物語なんだよ…えっ、何!? その冷たい視線……はい、そうです。僕は人の心の温度などを、あっさり切り捨てて冷たい人ですよ（笑）。でもね、こういう切ない気持ちをリアルに受け止めてくれたら嬉しいな～とは、真剣に思って書いてますから。

──『オーバードライヴ』は、とてもライヴ感を持った楽曲です。

えみる：愛狂います。がロックナンバーを演るとこうなるという、ライヴ感がすごく出た楽曲になっています。歌詞に出てくる♪時速1200km♪というのは〝音速〟のことなんですよ。つまり、僕たちの発した音が、お客さんたちの耳に届くまでのスピードのことなんです。と同時に、僕たち愛狂います。の音楽が、これからどんどん世界へ向け伐り進んでいくうえでのスピードも、重ねあわせました。

──♪超神界1600ccの塊♪というのは？

えみる：これは、脳味噌の重さなんです。

ルビ：彼は、すごいウンチク王なんですよ。

えみる：でも、誰も聴いてくれないよね。

玲音：俺は聴いてるよ。時々、ウンチク話を聴きながら寝ちゃうんですけど（笑）、聴いてて損はしない話ばかりなんで。

えみる：嬉しいよ、その言葉が！歌詞を書く立場としては、なるたけ面白い言葉の表現をしたいから、蘊蓄は必要だね。

ルビ：だけど「消える魔球」のよう、かなり変化球効いた歌詞も多いけどさ（笑）

えみる：でもファンの人たちは、その変化球な歌詞さえもしっかり受け止め、解釈を広げてくれる。だから僕も、胸張って変化球を投げれるんですよ。

玲音：愛狂います。と言えば、変拍子を多用するのが当たり前なバンドだけど『オーバードライヴ』のようスピード感を重視したロックな楽曲も、ライヴでお客さんもノリやすくて良いと思う。また、「通常盤」に収録した『まみむめモンスター君』の中へコーラスを入れたことで、念願の歌デビューも出来ました。

ルビ：『まみむめモンスター』の最後に、みんなで合唱したり騒いだりという声や音を入れてるんだけど、なぜか一人だけ…。

えみる：ルビくんと玲音くんは[illegible]前で叫んでるのに、なぜかさらん君は後ろから大声で叫んでるんだよね（笑）

──まさに、彩り豊かな1枚として完成！

えみる：この作品は、僕らからファンの人たちへ、想いしたため出した手紙[illegible]る1枚でもあるんです。

さらん：12月には、ファンの人たちへの感謝祭となるライヴも行うしね。

えみる：僕らの持つ無限の可能性を、音速でみんなの胸へ届ける内容にし[illegible]から。

www.shanghaidz.com
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

Zip.er

12月9日に、初のフルアルバムとなる『MiLKinG』をリリースするZip.er。彼らの持つ魅力をぎゅっと凝縮した作品を作り終え、大満足の様子のメンバー。その中でも特にお気に入りのポイントを訊いてみた。来年1月6日には、渋谷O-WESTで2周年記念となるワンマンライヴも決定。この2年間の集大成と、夢は叶えるためにあるという熱いメッセージが感じられそう。

SHOXX VOICE!!

Interview:MIYUKI MURAYAMA

——アルバム全体を通してのコンセプトは何か考えたんですか。

サクラ：アルバム1枚でジッパー全てがわかる作品を作ろうと思いましたね。

とわ：タイトルは、ミルクとキングを掛けてるんですけど、ミルクって牛乳飲んで成長しようってイメージがあって。それに最上級ってことでキングをつけて、僕達と一緒に成長してこうぜって意味があるんですよ。ジッパーの全てがわかって、さらに一緒に昇り詰めて行こうぜっていう1枚なんです。

——ジッパーの持ってる面が全て詰め込まれているんですね。

サクラ：ポップだったり、シリアスだったり、始動してから一番最初の勢いだったり、今まで経験したいろんなことを踏まえたものを凝縮してます。

——そこは個々でもこだわったり？

ケント：曲数が多いんで、ギターとかアンプを変えていろいろ試したりして、成長してる感じがありました。

伽児：僕これまでドラムセットを2タムでやってたんですけど、今回パンクっぽい曲もあるんで、それに合わせて1タムにしてみたりしましたね。

サクラ：アルバムなんで皆冒険してこうぜって感じで、どんどん新しいことに挑戦しましたね。

——収録曲の中で、特にお気に入りの曲を教えて下さい。

your：「冷たい雨」ですね。勢いのある曲の中で、一発こういうすごいバラードがあると、さらにそれが映えるんじゃないかって思います。ジッパーに今まであったバラードとはまた違う、大人のバラードになってる感じは最初に聴いたときにありました。

ケント：この曲はギターも3本使って、ソロも挑戦したんで大好きですね。ギターソロはこだわりました。

——歌い方も他とは違いますよね。

とわ：頭の中に風景をイメージしたり、心の中で泣きながら、感情表現にこだわって歌った曲です。一番目立つ曲ですよね。他の曲と違うし。でも個人的には、「バイバイ。」が好きなんですけど。メロディーが大好きすぎて、サクラ君からデモが送られて来たときに、早く歌いたいなって思いました。

——伽児君が好きなのは？

伽児：「冷たい雨」です。

サクラ：伽児君から初めて曲に関してメールが来たんですよね。デモを渡したときに、あの曲すごいいいよみたいな。

伽児：聴いたときから涙が出るぐらいいい曲でしたね。

——プレイでも力が入ったんじゃないです？

伽児：これでもかってぐらい、何度も録り直しました。

とわ：力入り過ぎたよね（笑）。

伽児：好きな曲なんで、ベストテイクを録ってやろうって。

——サクラ君が好きなのは？

さくら：やっぱり「ミルキング」ですかね。勢い感と言うか、一番5人がひとつになって弾けられそうなんで。

ケント：コーラスがすごかったんです。

サクラ：全員でひとつのマイクでせーので録ったんですけど。何テイクも録って、皆一回ライヴやったぐらい疲れて帰って来ましたね。

とわ：ヴォーカル録りするより疲れましたね。何が一番好きです？

——「セブンスカラー」がいいですよね。ポップでキャッチーだし、歌詞も前向きなメッセージがあって。

サクラ：これはサクラがジッパーを始める前に作った曲で、それを皆に聴かせてバンドに誘った曲のひとつでもあるんですよ。最初はサクラの色一色で出したんですけど、ジッパー5人と関係者とお客さん、7つの色が重ね合わさったときにこういう色になりましたっていう楽曲ですね。

——さて、1月6日には2周年となるワンマンが控えてますね。

とわ：僕達の夢はかなえるためにあるっていうのを見てもらいたいです。皆と僕達で一緒に夢をつかみとって、グングン成長して行きたくて。夢をかなえようねって感じのワンマンにしたいです。

サクラ：ワンマンのタイトルが『milky way』ってことで、天の川って意味なんですけど、ひとつひとつは小さな輝きでもジッパーとお客さんと関係者の方々が集まれば、ひとつの大きな川になると。そういう感じで皆で夢をつかもうぜっていうワンマンにします。

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

平成維新

SHOXX VOICE!!

売されたばかりの『パブリックセンチメント』に続き、12月16日には『美しき鼓動』と、2ヶ月連続でKISAKI
ロデュースによるミニアルバムをリリースする平成維新。各々異なるコンセプトを掲げ、さらなる挑戦をしな
ら、たくさんの曲の制作に取り組んだ彼ら。その成果が最近のライヴにも現れていると言うだけに、東京と大
で行われる発売記念ワンマンもおおいに期待できそうだ。

Interview:MIYUKI MURAYAMA

――2ヶ月連続のミニアルバム発売ですが、各々のコンセプトは?

拓：『パブリック～センチメント』は、直訳すると公の感情っていう意味なんですけど、今の若者誰もが持ってる感情を各々の曲のテーマにしてます。『美しき鼓動』は、アルバムを通して、生命が生まれてから死ぬまで思っていることをひとつのテーマにしています。

――サウンド的な方向性としては?

拓：『パブリック～』のほうが、想いをぶつけるってところがあるので攻撃的な曲が多いのかなって思います。

――そういうコンセプトの違いは、プレイするときも意識しましたか。

善：『パブリック～』はロックな曲が多かったので、僕らも丁寧に弾くって言うより、いい意味で雑でもOKなアルバムになってますね。逆に『美しき～』は丁寧に弾くっていう違いは出しました。

ライ：ドラムスタイルは変わらないんですけど、使ってるスネアが違ってて。『パブリック～』は重くのしかかるようなドラムで、『美しき～』は全体を通してスカッと聴こえるように意識して録りました。

JILL：『パブリック～』は特にライヴを意識して、リフもグルーヴを意識したし、『美しき～』はカッティングとか綺麗なフレーズが多くて、その辺が違いがあるのかなと思います。

YUKKIE：音作りの際に『パブリック～』は荒々しい音にして、迫力重視で、

なってると思います。

――ミニアルバム2枚って曲数も多くて、制作は大変だったんじゃないですか。

YUKKIE：曲数が多いんで、冒険できることの幅も増えたし。『パブリック～』の「暴動ジェネレイション」は、平成維新のデジタル面の極みと言うか、そういう曲調に持って行けたし、いい経験になりました。

JILL：今まで作って来た曲で平成維新らしさは出来てるんですけど、そのデジタル面はこっちとか、バラードとかポップな感じは『美しき～』とか、分けれるようになったなって感じですね。歌詞も今までは、前を向いて行こうっていうおおまかな感じだったんですけど、どうすれば前に向けるのかっていう考え方をもっと深く掘り下げられたと思います。

善：曲もいっぱい作りましたし、今まで出して来た作品にも似せたくもなかったし、自分達も挑戦して行きたかったんで、そういう面では毎日大変でした。

ライ：如何に自分の中のドラムの型にはまらずかぶらないように、どうすれば曲にぴったり合うか、考えたり、叩いたりするのに苦労しました。

YUKKIE：イメージした音やフレーズに近づけて行くっていうのが難しくて大変でしたね。

――歌を録るのはどうでした?

拓：結構しんどかったです(苦笑)。作曲に追われてしまったので、詞もギリギリ

うのがいつもより時間もなかったですし。しかも歌い方も今回メンバーからも要望があったりして。時間もかけましたね。

――そんな中で、これまでの制作の経験が活かせたんじゃないですか。

善：メンバー間のプレイとか考え方をより理解して来たのかなって思いますね。それでクオリティが少しずつ高くなって来たのかなって。

JILL：良くなってるし、深くなって来てると思いますね。打ち込みの音ひとつにしても、正解とか不正解とかが見えて来ているので、一回軌道に乗ればゴールは近いみたいな感じはありました。

――ワンマンが大阪と東京でありますが。

善：もっと自分達の色を出して、いい意味で他に影響されないような、バンド名のとおりのものを出して行きたいし、最近のライヴではそれが出来てると思うので、ワンマンでは今の僕らの集大成を見せたいです。

JILL：平成維新っていうバンドなんだから、やりたいように皆でやって行こうっていう気持ちになって来ているので、それをワンマンでぶつけられたらと思ってます。

ライ：自分達が楽しまないと、お客さんを楽しませることが出来ないって思ったんで、自分達も精一杯楽しんだ上で、お客さんを楽しませたいですね

――大阪のワンマンはクリスマスですね。

拓：ちょっと企画も考えているので、楽

www.shanghaidz.com

SHOXX VOICE!!

ZEST

11月4日に、1stミニ・アルバム『A NEW TRANSLATION』を発売したZEST。彼らにとって約1年半ぶりとなる音源は、生まれ変わった新生ZESTとしての姿をくっきりと提示した作品にも仕上がっている。12月20日(日)には、渋谷CHELSEA HOTELを舞台に、1年ぶりとなるワンマン・ライヴも実施。この日もまた、ZESTの新たなる始まりの場となるだけに、ぜひ目撃していただきたい。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

——最新ミニ・アルバム『A NEW TRANSLATION』を耳にしたとたん強烈に飛び込んできたのが、胸をくすぐるメロディアスな楽曲の数々でした。

智弥：結成当初から僕らが軸に据えているのが、激しく楽しく美しく。しかもどんな曲調だろうと、メロディを大切にした曲であること。そのコンセプトは、本作でもしっかり貫かれています。

——一発でハート射抜かれてゆく、キャッチー&メロディアスな楽曲が多いので、ファンの支持層も幅広いんでしょ。

Ayaka：10代から、最近では40～50代の方まで。それこそ、親子でライヴへ足を運んでくださる方々も多いです。

智弥：ノリ重視で攻めてくバンドが多い中、歌物で勝負をしているので、ライヴハウスという舞台ではときに厳しさも覚えますけど、その山を乗り越えた先に広がる地平を求めたいからこそ、僕らはその姿勢を崩すことなく突き進んでいます。

——タイトルに掲げた『A NEW TRANSLATION』には、「新訳」という意味があります。その新訳とは？

智弥：じつは今回の作品リリースに合わせ、楽曲やヴィジュアル・イメージを一新し、新しいZESTをスタートさせようと、あえてライヴ活動も3ヶ月ほど止め、生まれ変わる姿の準備をし続けてきました。だからこそ、「ここからZESTの新訳が始まる」という想いを伝えようと、そうタイトルしたわけなんです。

——もしや1曲目へ『Rebirth』という楽曲を入れたのも…。

SEN：楽曲自体は、昔からあったものなんですが、それを今のZESTのスタイルでリ・アレンジしたところ、メロディーは一緒ながらも、アレンジ面ではガラッと装いを変えていき、今のZESTが求めたい姿に変貌していきました。

智弥：そこから「ZEST本体と楽曲自体の生まれ変わりを掛け合わせ、〝新しく生まれ変わった〟意識を伝えようと、『Rebirth』と名付けました。

——収録した楽曲は、どれもポップでキャッチーなスタイルが多い中、『UNDER (the world)』は、マイナー調な表情を描き出しました。

智弥：ライヴでも2曲目に持ってくることが多く、ZESTの別の一面を強く押し出した看板曲の一つにもなっています。メロディアスな表情をしっかり魅せながらも、普段魅せない影の部分というか、「ダークな内面だって持ち合わせている姿」も、提示しておきたかったんです。

——歌始まりの『ホシノカケラ』は、まさに、歌心で聞き手の感情をガシッと捉えてゆく楽曲じゃないですか？

智弥：この歌へ綴ったのは、「織姫と彦星」の物語。「ストレート&ポップな楽曲で勝負しよう」とも思ったよう、ライヴでもすごく支持や人気の高い曲になっています。

——最後を飾った『Dusty Millier』を聴いたときには、心が一気に開放された気分でした。

智弥："Dusty Millier"とは、「あなたを支える」という意味を持った花ことば。

Ayaka：楽曲へ触れた人が、幸せに満ちた想いに包まれる物語を描きたくて、このドラマチックな展開を施した楽曲を制作していきました。

智弥：結果どの楽曲も、「ハングリー精神を持ちつつも、プラス指向を持った想い」に心包まれゆく曲たちになりました。

流衣：僕はネガティブを擬人化したような人間だけに、この作品を聴いていると前向きな気持ちになれるから嬉しいんです。

つぅ：ホント、そう。このミニ・アルバムを聴いていると、温泉に入ったあとのように、心と肌がツルツルしてゆく感覚を覚えるからね。

SEN：形になったことで今感じているのが、「それ以上でも、それ以下でもない」と言うか。「今のZESTの姿をリアルに映し出した作品」になったということなんです。そうやって新たな始まりの地点に新鮮な想いのもと立てたことが、僕らにとっては大きいことなんだと思う。

——12月20日には、この作品を手にしたワンマン・ライヴも開催になります。

Ayaka：この日のライヴを持って流衣が、このバンドを旅立ちます。もちろん、5人のZESTとしての集大成となる姿もしっかり魅せますけど。

智弥：同時に、この日が〝新しいZEST〟の始まりの場にもなっていく。その飛躍の場を通し、訪れる人たちへZESTの魅力を存分に見せつけてやりますよ！

www.shanghaidz.com
hudie.com

SHOXX INFO!!

摩天楼オペラ
ニュー・リリース決定!!

現在、DELUHIとの2マン・ツアー中の摩天楼オペラだが、12月16日にニュー・シングル『Murder Scope』のリリースが決定した。初回限定盤はCD+DVDの2枚組仕様。DVDにはタイトル曲のPVの他、ライヴ映像も収録。通常盤には初回盤収録の新曲2曲に加え、貴重なライヴ音源4曲の計6曲を収録。

また、11月25日には、7月23日・赤坂ブリッツにて行なわれた初ワンマンを映像化したDVD『DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ』もリリース。こちらには、来年5月6日に行なわれる渋谷C.C.Lemonホールでのワンマン・チケット、第一弾先行予約方法が封入されているとのこと。

次号では、これら新譜についてインタビュー予定。お楽しみに!!

http://opera.syncl.jp/

D'espairsRay
待望のベスト盤リリース!!

1999年結成当初から、コンセプチュアルで圧倒的なライヴパフォーマンスと、完成度の高い楽曲をリリースし続け、現在のシーンの中で確固たる独自のポジションを築いてきたディスパーズレイ。遂に待望のベスト盤がリリースされる！

●結成10周年を記念するD'espairsRay初のベスト盤
●バンド結成から2008年までのインディーズ時代:9年間の集大成。
●"MANIAC"を象徴するコアな楽曲から、メジャー・フィールドへの布石となったスケール感溢れる楽曲、そして、どこよりも早く海外での評価を獲得した時代の楽曲を含む、ディスパーズレイの代表曲をコンプリート。
●"ゴシックロック"という個性を貫きながら、他には真似出来ない唯一無比の緻密な音楽性を築いてきた彼らの変遷を堪能出来る一枚。
●メンバーズ・セレクション全15曲収録予定。まさに、ディスパーズレイ初心者向けの必聴盤!!

『IMMORTAL』
2009年12月16日発売
全15曲収録（・檻の中で見る夢・MaVERiCK・闇に降る奇跡・Garnet・BORN・「浮遊した理想」・"Forbidden"・アベルとカイン・凍える夜に咲いた花・Closer to ideal・Squall・MIRROR・Cocoon・Scissors・HORIZON　※曲順未定）
¥2,800（tax in）

the Riotts
新バンド始動。リリースも決定したぞ！

惜しまれつつ今年3月にその活動に幕を閉じた176BIZの雪希、楓栖、たらが新バンドを結成した。その名は「the Riotts」（ライオッツ）。そして早速ミニアルバムのリリースも決定!! リリースは通販限定商品なので、今すぐ、下記のサイトにアクセスするべし!!

1stミニアルバム『Starinvitation』 通信販売限定。ご購入希望者はhttp://www.riotts.comにアクセス。

TOSHI
天才ピアニストとの奇蹟のコラボ実現!!

Heal the Earth, Heal the Childrenをテーマに精力的に活動をしているTOSHIと今世紀最高のピアニストの1人であるシプリアン・カツァリス氏とのコラボレーション・ライヴが10月19日、新宿文化センターで行われた。ライヴは最初にTOSHIの単独のライヴがあり、続いてカツァリスのソロ、そして最後に二人の競演と大まかに3つのパートに分かれての構成だったが、圧倒は最後のパートの二人によるインプロヴィゼーション・セッション。TOSHIが発信したモチーフにカツァリスがレスポンス、サポートしていく形で曲は展開し、スリリングではあるが、非常に洗礼されたステージを展開。ライヴに足を運ぶ前までは、異種格闘技的な色物的（スイマセン）なイメージで捉えていたのだが、実際のステージに触れての感想は"まさに化学反応とはこのことか"ということだった。必ずしも1+1が2ではないことをこのステージを観て実感した。TOSHIにはこれ機会にまた、我々が度肝を抜くライヴを希望、期待する。

Aoi
コスメプレゼント企画第2弾スタート!!

大好評のLike an Edison.comラフォーレ原宿店での"Monthly Aoi"企画の第2弾のアイテムが発表されたぞ。"Monthly Aoi"は、Like an Edison.comラフォーレ原宿店にご来店のお客様を対象に、11月2日から毎月2日に、Like an Edison.comラフォーレ原宿店でお買い物された方、先着222名様に、女性には嬉しいコスメグッズ（Aoi仕様）を、月替わりでプレゼントする企画。

12月2日（水）から開始される第2弾アイテムは、"特製アトマイザー"。第1弾アイテム"特製ネイルブロック"は、即日無くなり、問合せが殺到したほど！　今度の"特製アトマイザー"も、即日無くなる可能性あり。ぜったいにこのチャンスを見逃すなっ!!　また、12月12日（土）新宿MARZにて行われる、国内初のワンマンライヴにも要注目！

※12月12日（土）Aoiワンマンライヴにて、入場者全員に未発表フランスライヴ映像のDVDをプレゼント致します！
非売品の貴重な映像を、ぜひ手に入れて下さい！

これがもらえちゃう！

カル・ヴァリ
12月2日、初のフルアルバム堂々完成!!

その確実な活動で2010年の活躍が期待されるカル・ヴァリが待望のフルアルバムを12月2日にリリースするぞっ!!　さてその内容は、ライヴでおなじみの曲や今回の為に書き下ろしたチューンなど全11曲。彼らの紡ぎ出す珠玉のチューンをとくとご賞味あれ。

1st Full Album「Liquid Puzzle」12月2日発売!!
【仕様】CD 【価格】¥3,150（税込） 【収録内容】CD:11曲入り

SwallowtaiL-スワロウテイル-
1周年記念ワンマン決定

独自の世界観を放つSwallowtaiL-スワロウテイル-が、結成一周年を記念するワンマン・ライヴ『或る冬の囀り』～Swallowed the mist whole～を行なうことが決定。

◆日付:2009.12.13（sun）
◆会場:渋谷CHELSEA HOTEL
◆OPEN-18:00 / START-19:00
◆ADV/DAY-¥2,800/¥3,300
*1DRINK別途（¥500）
ライヴ当日公演会場にて
1st Mini Album先行発売。
http://swallowtail.st/

ALiBi
アリバイがヤバイバイ!?

あのALiBiちゃんが、ガンガンに動き出すぞ。まずは、12月2日にファーストミニアルバム『RaInBoW CoLoRs』をリリース。そしてそれを受けて12月12日に難波ロケッツ、12月23日には高田馬場AREAでワンマン・デート・ツアーと題してライヴを行う。この怒濤の勢い、もう誰にも止められないっ!!

1st Mini Album「RaInBoW CoLoRs」12月2日発売!!
【仕様】CD+DVD
【価格】¥2,800（税込）
【収録内容】CD:7曲入り
DVD:「イエローバナナサーフィングー」

蝴蝶网 hudie.com
www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

C"LOW"N

EXPECT RUSH

エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

VAJRA

C"LOW"N (クラウン)

【メンバー】治(オサム/Vo)　諒(リョウ/Gt)　時雨(シグレ/Gt)
晴(ハル/Ba) KEN(ケン/Dr)
【結成日】2008年4月25日
【主な活動場所】広島ナミキジャンクション
【アイテム】CD
VA「HEAT introduction of HIROSHIMA Real Age」SSRC-014　2008.6.18発売
VA「HEAT introduction of HIROSHIMA New Standard」2009.5.27発売
【問い合わせ】
C"LOW"N OFFICIAL WEB　http://clown-web.com
セカンドシーン　TEL:082-212-0810　http://secondscene.com
広島市中区八丁堀12-2日経ビル2F

VAJRA (ヴァジュラ)

【メンバー】Nobro(Vo.)/「L.」(Gt.)/如月悠里(Gt.)/希ユキ(Ba.)/Rohan(Dr.)
【結成日】2009年11月
【主な活動場所】都内近郊
【アイテム】2009年11月25日　1st MAXI SINGLE「THE RISING SUN」、2009年12月23日 2nd MAXI SINGLE「THE GALLOWS」
【問い合わせ】D.T.M Entertainment
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-13-20-802
http://vajra.fem.jp

www.shanghaidz.com　www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

C"LOW"N

ぼくらが大切にしたいのは、歌と演奏の相乗効果。

広島を拠点に活動中のC"LOW"Nが、12月9日に、待望となる1stミニ・アルバム『The Shadow is Buried』を発売。この作品を手に、全国各地をツアーで廻ることが決定した。来年からは、毎月のよう主要都市へ足を運びライヴ活動を行っていくよう、そろそろ全国区へその名を轟かせていきそうな勢いだ。そんなバンドの萌芽してゆく前の声を、お届けしたい。

Interview:TOMONORI NAGASAWA

――印象深いリフをガシガシに刻んでゆくギター陣。それを重く激しい音で際立たせてゆくリズム隊。壮絶な音の迫力にさえ勝るメロディックな歌を届けゆくヴォーカルの存在感。マジ格好イイじゃん!

時雨：このバンド、僕が加入する前、kenがサポートという形で演っていた頃は、メチャクチャ重く激しいヘヴィロックな音をしていたんですよ。でもこのバンドの可能性を考えたとき、「今の色を活かしつつ、メロディックな歌を全面に押し出したほうが、絶対心へ響くバンドになる」と確信。自分がメンバーへ参加して以降、いろいろミーティングを重ね、今の音楽スタイルを導き出しました。

治：自分らとしても、「バンドの可能性が広がるなら」という姿勢のもと、柔軟な考えで、制作へ望んでいったからね。

――メロディックな歌の印象も強いけど。C"LOW"Nの場合、印象深いギター・リフも多いよね。

時雨：普通ヴォーカルって、歌を邪魔される演奏を嫌がるじゃないですか。でもこのバンド、歌い手である治みずから楽曲制作に関わっているので、印象的なギターリフを次々と作ってくるんですよ。

治：C"LOW"Nが大切にしたいのは、〝歌と演奏の相乗効果〟なんです。だから、両方とも印象深くあるべきなんですよ。とくに1stミニ・アルバムへ入れた新曲の『Dec-i-de』は、今のC"LOW"Nが、もっとも理想とする姿を描きあげた楽曲。作品の中でも特に、歌物色を強く出せた曲なんです。

諒：新しいC"LOW"Nの音楽性を作りあげようと、僕と治の2人で、朝から翌日の昼まで徹底して突き詰めながら、完成へ導いた楽曲だったからね。

治：C"LOW"Nの楽曲って、かならずシャウトを入れてるんです。と言うのも、それが哀しみや怒りの感情を表すうえで一番最適の手段だから。けど、『Dec-i-de』に関しては、歌心を通してすべての感情を描こうとの想いから、一切シャウト抜きの曲にしていきました。

諒：そのくせ、最後にデスボイスを入れようとしていたから、せっかくの歌が霞んでしまうので、辞めさせました(笑)

時雨：今のC"LOW"Nの魅力となっているのは、〝メロディが一番際立ちつつも、ガッと印象深いリフで盛り上げ、サビではしっかり心に歌を響かせていくスタイル〟。そこは『Dec-i-de』の完成とともに、最新アルバムの中へしっかり詰め込めた実感を持てていますからね。

ken：確かにミニ・アルバムを聴くと、「C"LOW"Nはヘヴィという言葉だけでは括りきれない魅力と可能性を持った姿」が、見えてくるはずです。

諒：この作品には、ヘヴィ／メロディックという柱を掲げたうえでの多彩なバリエーションを詰め込んでるんで…。

晴：個人的には、ライヴの盛り上げに欠かせない、C"LOW"N結成時から演っている『OuterShell』に強い思い入れがあるんですよ。

――歌詞にも、〝光求めゆく前向きな感情〟を、いろいろ記していませんか?

治：以前はヘヴィな音に合わせ、内側な感情を綴ることが多かったけど「歌を届けたい」という想いに変わってからは、むしろ「前向きな想いを届けたい」、「共感してもらいたい」という意識が強くなってきた。それは、メンバーみんな、そう。今は全員が音源やライヴを通し、繋がり合いたい意識を強く持っています。

諒：C"LOW"Nの場合、ライヴを通したほうが、より「リアルな感情」が伝わっていくんです。これからは全国を舞台にライヴ活動をしていくので、ぜひ一緒に騒いでもらいたいと思ってる。

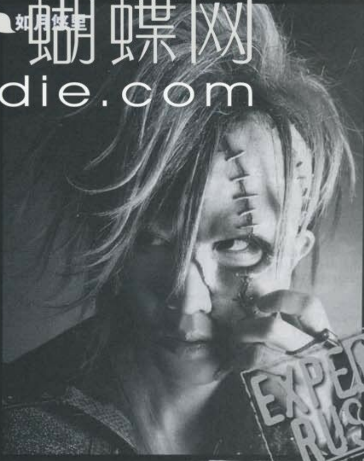
ken：うちの赤い頭のギターは、ヴォーカルを食ってしまうくらいの勢いのもと、ステージ上で暴れまくるからね(笑)

時雨：まだまだバンドとしては、進化の過程。とはいえ『The Shadow is Buried』は、今のC"LOW"Nが持っている〝らしさと新しさ〟の両方を詰め込んだ作品にもなりました。さらに大きな進化した音を描いていくための、最高に〝らしい姿〟を記した1枚になりました。だからこそ、この作品を持って全国各地をまわり、最後に地元広島でワンマンを演ったとき、どれだけの勢いを持って成長した姿を見せられるのか、それが今から楽しみなんですよ。

治：俺ら、好きになってくれる人がいるなら、何処にでも足を運ぶ気持ちだから。

蝴蝶网
hudie.com

如月悠里



Nobro

『L.』

EXPECT RUSH
エクスペクト・ラッシュ
期待の注目バンドをピックアップ!

希ユキ

VAJRA

Rohan

THE RISING SUN

視覚、聴覚、その両方に訴えかけてくるVAJRAの音楽。“心の奥に潜む人間の本質”を出しているだけに強烈だ。それがどんなものか知りたければ、11月25日にリリースされる1stマキシシングル「THE RISING SUN」を聴くといい。そして、その2日前にはShibuya RUIDO K2にて始動記念無料ワンマンも開催される。VAJRA誕生の瞬間を、是非その目で…。

Interview:ERI MIZUTANI

—それでは、結成のいきさつから教えて下さい。

Nobro：元々、ベースの希ユキ以外は〝期間限定〟という形で一緒にバンドをやっていたんです。それで、希ユキが入ったことにより、期間限定に終止符を打ち、今回、完全な形として1からスタートを切ることになりました。

—4人でやっていた期間限定のバンドというのは、今とは全く異なるものだったの?

『L.』：期間限定の時って、継続セッションみたいな感じから始まってかなり長い期間やってたんですけど、今とは全然違いますね。

Nobro：当初はやりたいことやってたって感じでしたね。そのとき思い付いたものをそのまま出してたというか(笑)。

如月悠里(以下：悠里)：早い話、全然決まっていなかったんですよ(笑)。

『L.』：迷いつつも、色んなことやってましたね。けど、期間限定とは言ったものの、終わってしまうのはもったいないなって思ったんですよ。それで続けることにしたんです。

—5人になってからは明確に方向性が定まってきたと。ちなみに、希ユキさんはどなたかの紹介で入ったんですか?

『L.』：ベースは4人でやってたときからずっと探していたんです。それで募集したときに彼が連絡をしてきてくれて。

希ユキ：でも、ずっと返事がなくて(苦笑)。これはもうダメかなぁって思っていた矢先、〝一緒にやらない?〟って言われて。それからライヴを観に行ったんですけど、かっこよくて。散々待たされたけど、やっぱり入りたいなって。

『L.』：今だから言えることなんですけど、最初は僕、彼のことが得意じゃなくて。何ていうか、僕の勝手な判断で、この人は怖い人だって決めつけてしまったんですよね(笑)。けど、喋ってみたらこの温厚さですよ。それで一気に大好きになりました。

—良かったです(笑)。ところで、バンド名の由来とは?

Nobro：これはですね、こういうやつです(と言ってジェスチャーをする)。

—さっぱりわかりません(笑)。

Nobro：あははは(笑)。簡単に言うと、インドに昔からある武器がモチーフになっていて。形としては槍のようなものなんですけど、煩悩や悩みを断ち切るという意味を込めて、VAJRAと名付けました。

—なるほど。そして、11月25日には1stシングル「THE RISING SUN」がリリースされます。こちら、どんな作品になっているんでしょう?

Nobro：ダークな要素はありつつも、人間の本質を捉えたものになっていると思います。

『L.』：世の中、嘘が多いだけに、嘘のない作品にしたかったんですよ。

—3曲とも、作詞はNobroさんが、作曲は『L.』さんが手掛けたとのことですが。

『L.』：僕としては、Nobroが歌いやすいように作っていったっていうところはあるんですけどね。

Nobro：なので、聴きやすく仕上っていると思います。メンバー全員、聴きやすいものが好きなので。

—ということは、レコーディングも順調に?

悠里：俺はスパスパッと出来ましたね。弾くフレーズも完璧に作り込んでいたし、迷うことなかったです。「UNDER FALL」のギターソロは満足のいくものが弾けたし。

Rohan：ドラム録りは全体的に大変ではあったんですけど、どれも聞き応えのあるものになったと思います。「Dope the psycho」ではAメロのところにツーバスを入れたいって思っていたので、そこはうまく出来たし、ドラムの1番の見せ場になっていると思います。

希ユキ：自分としては、「the womb of bud」と「UNDER FALL」は感覚で弾いていったっていう部分が大きいんですけど、結果として思った以上のものになりました。それにより、今後もっと発展できそうだなっていう自信も付きましたね。

—これからどうなっていくか、自分たちとしても楽しみだと。

Rohan：これからの進化に期待していて下さい。

『L.』：11月23日には始動記念無料ワンマンもあるので楽しみです。きっと、ド派手なことになりますよ!

【ライヴスケジュール】●始動記念無料ワンマン 11/23渋谷RUIDO K2●12/26渋谷RUIDO K2
(問) D.T.M Entertainment 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-13-20-802 http://avout.net

蝴蝶网 hudie.com

Closet Child

ゴシック/ロリータ/パンク/ロックブランド古着ショップ

h.NAOTO / Moi-meme-Moitie / alice auaa
BPN / ALGONQUINS / SEXPOT ReVeNGe / PUTUMAYO
Angelic Pretty / BABY,THE STARS SHINE BRIGHT / metamorphose
Emily Temple cute / MILK / Innocent World / Mary Magdalene

ご不要なお洋服 靴/鞄 アクセサリー お買取いたします★

http://closetchild.ocnk.net

リニューアルオープンしました!!携帯電話でもお買物いただけるようになりました!!

インフォメーション

ゴシック/パンクブランド買取大強化中!!

期間限定 買取キャンペーン

ゴシック/パンクブランド秋冬物買取大強化中!!

対象ブランドの秋冬物を指定着数お売りいただくと

…で査定額5%UP 10点以上で査定額 10%UP

秋冬物まとめてお売りいただくとお徳です!!

買取キャンペーン内容の詳細はHPにてご確認下さい!!

※状態の悪い物/デザインの古いものは対象外となります。

…BOZ ATELIER-PIERROT MIHO MATSUDA EXCENTRIQUE BPN VISIBLE MARBLE MA gouk Qutie Flash Millefleurs
…Arlequin Jean Paul GAULTIER StiGMATA Na+H despair 危機裸裸商店 Deorart OZZ on
…INS Hysteric Glamour candy stripper RNA MEDIA WORLD WIDE LOVE PEACE NOW PUTUMAYO LISTEN FLAVOR
…FISH SEXY DYNAMITE LONDON CHOICE SEX POT ReVeNGe HIDE ROCK Design HELL CAT PUNKS GEORGE COX D.r.Martens

● 買取/宅配買取のご案内

ご不要になられた洋服/アクセ/靴・鞄を買取致します。買取対象ブランドは下記HPをご覧下さい。
遠方/数量の多いお客様には宅配での買取をお勧めしております。段ボール等に梱包し、必要事項
(氏名・住所・電話番号、メールアドレス・生年月日・銀行名・支店名・口座番号・口座名義人名
(フリガナ・雑誌名) を記入した用紙と身分証のコピーを同封し、下記住所までご郵送下さい。

※必ず佐川急便をご利用下さい。送料無料!!

商品到着後一週間ほどで確認のお電話をさせていただき、了承をいただきましたら、ご指定の銀行口座へ入金させていただきます※振り込み手数料はお客様負担となります。(ぱるるはご利用いただけません)
キャンセルアイテムの返品にかかる送料はお客様のご負担となります。
未成年の方は保護者の方の同意書が必要となります。

● 宅配買取送料無料!!

宅配買取受付窓口・お問合せ先 160-0023西新宿7-10-20ワセダSTビル5F
クローゼットチャイルド ショックス 9.10月号宅配係
TEL 03-3365-6361 webtakuhai@closet-child.com

宅配買取用段ボールご用意致します

宅配買取をご希望の方に梱包用の段ボールと郵送用の伝票をご自宅まで無料でお送りいたします★ご希望のお客様は webtakuhai@closet-child.comまでご連絡下さい★

今月の超高価買取アイテム!!

◆ Angelic Pretty 高価買取アイテム一覧 ◆

Star Night Theater
★ピンク
ワンピース14000円買取 ジャンパースカート14000円買取 ベアトップジャンパースカート13000円買取
★アカ
ワンピース14000円買取 ジャンパースカート15000円買取 ベアトップジャンパースカート15000円買取
★アオ・クロ
ワンピース14000円買取 ジャンパースカート15000円買取 ベアトップジャンパースカート14000円買取

Melty チョコレート
★ピンク×シロ・クロ×ピンク
ワンピース18000円買取 ハイウエストジャンパースカート18000円買取 ミニ袖ジャンパースカート18000円買取
★ミント×チョコ・ピンク×チョコ
ワンピース20000円買取 ハイウエストジャンパースカート20000円買取 ミニ袖ジャンパースカート20000円買取

TOY PARADE
★ワンピース全色30000円買取 ジャンパースカート全色30000円買取

パペットサーカス
★シロ×クロ・ワイン・クロ
ワンピース20000円買取 ジャンパースカート20000円買取
★濃ピンク
ワンピース17000円買取 ジャンパースカート17000円買取

カーニバル
★サックス×ピンク
ワンピース35000円買取 ジャンパースカート35000円買取
★クロ×濃ピンク
ワンピース33000円買取 ジャンパースカート33000円買取
★その他カラー
ワンピース30000円買取 ジャンパースカート30000円買取

◆BABY,THE STARS SHINE BRIGHT高価買取アイテム一覧 ◆

なかよしくみゃちゃん
★全色 ジュディジャンパースカート 10000円買取
★全色 ソフィージャンパースカート 10000円買取

サーカス
★全色リボンジャンパースカート 12000円買取
★全色チュチュジャンパースカート 12000円買取

バンビ
★オフホワイト・クロ
ノースリーブワンピース10000円買取

クロッキートランプ
★アイヴォリー・ピンク
ノースリーブワンピース 9000円買取
★ブルー
ノースリーブワンピース 9000円買取

◆Emily Temple cute高価買取アイテム一覧 ◆

トランプネコ
★生成・パープル ワンピース / ジャンパースカート 14000円買取
★ピンク ワンピース / ジャンパースカート 13000円買取

◆Moi-meme-Moitie秋冬物買取20%アップキャンペーン!! 高価買取アイテム一覧◆ 査定額一部値上げしました!!

2005 S/S
●ゴシックアーチ
白/黒
◆ワンピース 55000円買取
◆ジャンパースカート 55000円買取
◆ミドル/ミニ丈スカート 28000円買取
黒/白
◆ワンピース 52000円買取
◆ジャンパースカート 52000円買取
◆ミドル/ミニ丈スカート 27000円買取
黒/青
◆ワンピース 50000円買取
◆ジャンパースカート 50000円買取
◆ミドル/ミニ丈スカート 25000円買取

2009 S/S
●クロスライン裾上げ
◆ワンピース黒/青 11000円買取

2006 S/S
●アイアンゲート
白/黒
◆ワンピース 45000円買取
◆ジャンパースカート 48000円買取
◆スカート65丈 27000円買取
黒/白
◆ワンピース 44000円買取
◆ジャンパースカート 47000円買取
◆スカート65丈 25000円買取
黒/青
◆ワンピース 43000円買取
◆ジャンパースカート 46000円買取
◆スカート65丈 24000円買取

2009A/W
●薔薇フロッキー(サイズ2)
◆ジャンパースカート 17000円買取

2008
●X'mas限定
◆ミニドレス黒 12000円買取

2009
●X'mas限定
◆ミニドレスネイヴィー 15000円買取

2008 A/W
●十字架フレーム
黒/ネイヴィー
◆ワンピース 15000円買取
◆スカート65丈 8000円買取
その他カラー
◆ワンピース 13000円買取

2000 S/S
●薔薇十字シルエット
黒/白
◆ワンピース 38000円買取
◆ジャンパースカート 38000円買取
◆スカート 18000円買取
白/黒
◆ワンピース 35000円買取
◆ジャンパースカート 35000円買取
◆スカート 16000円買取

2009 S/S
●レース柄フロッキー
ボルドー
◆ジャンパースカート 20000円買取

2009 S/S
●青薔薇シフォンワンピース
◆青 35000円買取

2008A/W
●刺繍ベルベット ミドル丈
◆グリーン 15000円買取
◆黒 13000円買取

2007 A/W
●カテドラル
黒/(白・グレイ・ブルー)
◆ワンピース 17000円買取
◆ジャンパースカート 16000円買取
◆スカート 12000円買取

2005 S/S
●ネット&プリント
◆ワンピース 15000円買取

査定額は美品でキャンペーン適用後の査定額となります。ご了承下さい。掲載アイテム以外も勿論高価買取中!!

h.NAOTO
ANARCHY
CHANNEL H
DARK RED RUM
HEAVEN
h.naoto Blood
Sixh
H.jelly
GRAMM/GRIM

BPN

ATELIER BOZ

秋冬物買取 20%UP

デザインの古いもの・季節外商品
状態の悪いものは対象外となります。ご了承下さい。
掲載アイテムは20%アップ込みの査定額となります。

クラシカルロリータも強化中です!!

Victorian maiden

ロココブーケ
★ロココピンク / ロココブルー
フリルワンピース 8500円買取

ロココブーケ
★ロココピンク / ロココブルー
リボンドレス 8500円買取

ボーレット フリル
★ロココピンク / ロココブルー
ワンピース 9000円買取

ロココ
★ロココピンク / ロココブルー / ロココミント
クラシカルドールドレス 9000円買取

アンティークドール
★ブラック / ブラウン / レーズン
ワンピース 7500円買取

alice auaa秋冬物買取20%アップキャンペーン!! alice auaa定番アイテム一覧

Netシリーズ
●ロングスリーブカットソー 5500円買取
●ミニワンピース 10000円買取
●コルセット 10000円買取

帆布シリーズ
●カットソー 4000円買取
●ワンピース 5000円買取
●キャンバス&帆布 4000円買取
●キャンバス&帆布(立体) 4000円買取
●立襟ブラウス 4000円買取

縫合シリーズ
●トップス 5000円買取
●ワンピース 9000円買取
●スカート09S/S FLOWER 3000円買取
●ワンピース01S/S薔薇 10000円買取
●ブラウス 7000円買取

シャツ(黒/白)
●ガーゼシャツ 3000円買取
●フリルブラウス 6500円買取
●ロングスリーブブラウス 6000円買取
●モスリンシャツ 5000円買取

パールチョーカー(10連)
●4000円買取
パールブレス(10連)
●3000円買取
コウモリパールベルト
●7000円買取

カラス羽根ハット
●10000円買取
刺繍シリーズ
●ショートパンツ 6000円買取
●コルセット 4000円買取

VivienneWestwood高価買取致します

80年代モノのレアなヴィンテージ～希少価値の高いオーブライター等のレアモノ～アーマーリング等のオーブモチーフ定番モノを初めとしたリーズナブルなユーズドアイテム、更に市場価格より5割～リーズナブルな新品、常時800点以上を展開!!ヴィヴィアンマニア・ビギナーまで満足いただけるショップです!!

移転しました!!

楽天 ICHIBA

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ

http://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

…付属品が全て揃った、外傷なしのキャンペーン適用後の買取金額となります。予めご了承お願い致します。

…woodを何処よりも高額で買取させていただきます。
…一般販売価の30－50%が目安となります。サイズ・キズ・傷み等によって査定額は変動いたします。ご了承お願い致します。
…カーディガン買取大強化中!!バッグ&財布等小物類高価買取中!!レオパード柄アイテムは特に高額にて買取いたします!!

Classical Lolita

Mary Magdalene

アデラローズ
★オフシロ / ルビー
ワンピース / ジャンパースカート 10000円買取
★ピーコックグレー
ワンピース / ジャンパースカート 8000円買取

ローズボーダー
★生成 / ピンク
ジャンパースカート10000円買取

ミルローズ
★生成 / ミント
ワンピース / ジャンパースカート 10000円買取

アデラベルローズ
★ローズ
ワンピース10000円買取
★ブラック / ベージュ
ワンピース9000円買取

ローズスカラップ
★ストロベリー / オフ
ワンピース 10000円買取

フェリシアローズ
★ブルー / ピンク
ワンピース 10000円買取

クラシカルフルール
★ブラックティー / チョコビスケット
ワンピース 10000円買取

ローズメランジェ
★エクリュ
ワンピース10000円買取
★ショコラ
ワンピース9000円買取

アンジェリカ
★長袖 ネイビー / アメジスト / ブラック
ワンピース 9000円買取
★袖なし ドットブラック
ワンピース 9000円買取

セントクレア
★全色
ワンピース 9000円買取

ホワイテリーフ
★全色
ワンピース(全型) 9000円買取

エレオノール
★ミルクショコラ / シュガーローズ / ミルクティー
コート 17000円買取

アマンディーヌ
★ミルクショコラ / シュガーローズ / ミルクティー
コート 17000円買取

Innocent World

森の収穫祭
★チェストナッツ / ストロベリー ショコラ
ジャンパースカート 9000円買取
マルグレーテ
★ミルクティ x ショコラ等 全色
ワンピース / JSK 7000円買取
森の音楽隊
★全色
ワンピース 7000円買取 JSK 9000円買取
リボンテープ
★全色
ジャンパースカート(全型) 7000円買取
森の動物アニバーサリー
★全色
ジャンパースカート 8000円買取
森の動物
★全色
ワンピース / JSK 8000円買取

冬物買取大強化中
コート歓迎!!

※ご注意 こちらの金額は買取キャンペーン適用後の査定金額となります。

Vivienne Westwood 専門オンラインショップ

…なヴィンテージアイテム 入手困難なオーブライター等のレア物 人気のアクセサリー等の定番アイテム
…なユーズドアイテム、更に市場価格より最大7割引きの財布などの新作新品等を随時300点以上出品中!!
…マニア ビギナーまで満足いただける専門ショップです!!

…://www.rakuten.co.jp/ainahaina/

…クロリータブランド古着オンラインショップ

…O/BABY,THE STARS SHINE BRIGHT/Moi meme Moitie/Emily Temple cute
…ロリータブランドのユーズドオンラインショップ!!
…の完売品 今期物 定番物までを随時800アイテム取り揃えたゴスロリ専門オンラインショップ!!

…://closetchild.ocnk.net

スィーツアクセサリー・ロリータ雑貨オンラインショップ

スィーツ/ロリータをテーマとした雑貨オンラインショップオープン!!
人気のスィーツモチーフアクセサリーを中心にカワイイ小物を取り揃えました!!

ミニハット★リボン★カチューシャ★スイーツアクセサリー★キャンドル★マグカップ

http://www.rakuten.ne.jp/gold/chocomint/

www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

closet child

日本一の在庫量!ユーズド~貴重盤~アーティストグッズ~新譜 超高額買

クローゼットチャイルドオンラインショップ!!

モバイルシ

クローゼットチャイルドのCD/レア盤/グッズ等が携帯電話&PCにて購入いただけます!!

メールでも在庫確認が出来ます☆

closetchild_cd@closet-child.com

発売されたばかりの新譜がリーズナブルに,入手困難な貴重盤が,そして
ライブ会場やファンクラブ限定のアーティストグッズ...がお買い物いただけます!!
更に、お宝アイテムのオークション&新譜の予約も可能になりました!!!

http://closetchild.j

12月中旬頃 池袋店移転します!!

旧店舗より徒歩3分

サンシャイン通り(ヤマダ電機横(旧三越)
スターバックスの入居しているビルの3階。
ABCマートが向かいにあります。

移転特大アウトレットセール&蔵出し大放出やります!!乞うご期待!!

移転キャンペーン/日時等の詳細は決まり次第発表いたします。東京都豊島区東池袋1-20-5七福久ビル3F

12.1-12.31 期間限定買取査定額大幅アップキャンペーン 20%UP

対象アーティストのアイテムは査定額20%UP

愛狂います。 ViViD vistlip THE KIDDIE アンド
D'ESPAIRSRAY ギルガメッシュ DELUHI 摩天楼オペラ lyn

< 中古CD/DVD/アーティストグッズ/貴重盤 買取表 >

アーティスト	タイトル	形態	買取額
ア行			
R指定	裏音源盤。	CD	¥1000
愛狂います。	心臓。(初回限定盤)	CD+DVD	¥2000
秋葉原少年団電脳ロメオ	PHYSALIS	CD+DVD	¥1500
アンティック-珈琲店-	BEST ALBUM	2CD	¥1800
アンド	AGENT FILE	CD	¥1800
アンド	-&- [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000
犬神サーカス団	籠の鳥、天空を知らず	2CD	¥2000
イロクイ。	オープン・ハート・キングダム	CD	¥1500
ViViD	Take-off	CD	¥2000
ViViD	Dear	CD+DVD	¥1000
ViViD	THE ViViD COLOR(初回盤)	CD+DVD	¥1800
vistlip	THEATER -visiter [CD+DVD]	CD+DVD	¥2000
vistlip	THEATER -lipper [通常盤]	CD	¥1700
Versailles	NOBLE(通常盤)	CD	¥1800
Versailles	Philharmonic Quintet 【写真集】	GOODS	¥2000
Versailles	CHATEU DE VERSAILLES	DVD	¥3500
X-JAPAN	BLUE BLOOD、Jealousy /SPECIAL EDITION	2CD	¥2000
カ行			
ガゼット	鬼畜教師(32歳独身)~、午前0時のトラウマ~	CD	¥7500
the GazettE	TOUR -DIM SCENE- FINAL AT SAITAMA [初回限定盤]	DVD	¥4800
cali≠gari	再教育　会場限定盤セット(封筒入り完品)	2CD	¥12000
cali≠gari	cali≠gariの世界【初回限定盤】	CD+DVD	¥2600
cali≠gari	従 [初回生産限定]	3DVD	¥4000
THE KIDDIE	NOAH / elite STAR+	CD+DVD	¥ 900
キャンゼル	NeO PRESENCE E.P.S./ NeW WINDOWS E.P.	CD	¥1200
ギルガメッシュ	第二投下『開戦宣言』 - 企画型円盤 -	CD	¥2500
ギルガメッシュ	1216発売 [通常盤]	CD	¥1800
ギルガメッシュ	CRAZY CRAZY CRAZY	2DVD	¥2500

アーティスト	タイトル	形態	買取額
サ行			
SuG	BL⇔Rock Party MonstAr	DVD	¥4500
Sadie	「SADIE」~UNDEAD13+2~(初回/銀スリーブ)	CD+DVD	¥2800
Sadie	MASTER OF ROMANCE(初回限定盤)	CD+DVD	¥2600
シド	流通盤	CD	¥3500
シド	SIDNAD Vol.3~TOUR 2008(初回限定盤)	DVD	¥3000
SHULA(シドVo.マオ在籍)	Shu-la-tic	CD	¥10000
人格ラヂオ	証拠 (通常盤)	CD	¥1800
新興宗教楽団NoGoD	夢幻教(初回限定盤)、極彩色(初回限定盤)	CD+DVD	¥2000
ゾロ	「COSMO」・ステンレスミュージック(通常盤)	CD	¥1700
ゾロ	CORE(初回限定盤)	CD+DVD	¥2200
タ行			
ダウト	ZIPANG(初回CD+DVD)	CD+DVD	¥2600
D	ALICE	CD	¥15000
D	TOUR2008 Alice in Dark edge FINAL	DVD	¥2800
DaizyStripper	CROSS(初回CD2枚組仕様)	2CD	¥1800
DaizyStripper	THE BEAUTY	CD	¥1200
DaizyStripper	「CROSSTRIP」 2008.0909.LIVE	DVD	¥1700
D'espairsRay	モノクロになった最後の日(配布CD)	CD	¥5000
D'espairsRay	murder Day 2004.9.23(限定盤スリーブケース仕様)	DVD	¥3500
D'ESPAIRSRAY	REDEEMER [初回限定盤]	CD+DVD	¥2000
D'ESPAIRSRAY	1216ベストアルバム	CD	¥1400
DIR EN GREY	AVERAGE BLASPHEMY	DVD	¥2800
デスゲイズ/葉月在籍	294036224052	CD	¥3000
DEATHGAZE	THE CONTINUATION	CD	¥1800
DELUHI	Surveillance	CD	¥4000
DELUHI	Two Hurt / JAGANNATH	CD+DVD	¥ 800
DELUHI	ユグドアライヴ	CD	¥1600
DOG in The パラレル~	メルトトルカカトル	CD	¥1200

アーティスト	タイトル	形態
ナ行		
9GOATS BLACK OUT	devils in bedside	CD
9GOATS BLACK OUT	20090411 Shibuya-Boxx live in Bright Garden	DVD
ハ行		
heidi.	慟哭(2nd/ステッカー付)	CD
HERO	Oh My HERO	CD
姫苺	姫苺白書(初回DVD付)~完全限定生産盤~	CD+D
Plastic Tree	パレード(初回限定スリーブケース仕様)	CD
Plastic Tree	テント [通常盤]	DVD
Plastic Tree	SHOXX FILE #2 2006-2008(ナンバー入りポスカ付)	GOOD
有村竜太朗	あおむしドロップ(帯付)	GOOD
ペリィ	白痴	CD
ボワトリン	ボワレツ大百科	CD
マ行		
摩天楼オペラ	alkaloid showcase	CD
摩天楼オペラ	GILIA(初回限定盤DVD付)	CD+D
摩天楼オペラ	ANOMIE (通常盤)	CD
摩天楼オペラ	COUPLING COLLECTION 08-09	CD
摩天楼オペラ	DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ	DVD
ムック	カップリングベスト、カップリングワースト	CD
ムック	SHOXX FILE2000-2007(ポスター付)	GOOD
ラ行		
LAREINE	Fleur (BEST ALBUM)	CD
lynch.	『THE SHADOW IMPULSE』 FINAL 2009.09.06	2DVD
lynch.	SHADOWS(初回限定盤)	CD+D
lynch.	greedy dead souls(初回盤)	CD
少女-ロリヰタ-23区	:BeSt	CD+D
V.A.オムニバス		
V.A.	裏貴族「日本耽美革命」ドキュメンタリーDVD	DVD

www.shanghaidz.com

もちろん、掲載品以外も買取してます!

< 配布アイテム買取の際はその時のライブなどのチケット半券と共にお持ち下さい。上記の買取額は実際の査定時の在庫状況、人気、状態などにより変動いたします。査定後のキャンセルもできますのでご了承下さい。>

ツアーグッズ・ファンクラブグッズ・物販写真・ツアーTシャツ・コラボアクセサリー・写真集等アーティストグッズ大歓迎!!

宅配買取大募集中!!10点以上は送料無料!!

遠方のお客様・大量処分のお客様は宅配買取をご利用下さい。
段ボール等にCD等の商品が破損しないよう梱包し、以下の住所までお送り下さい。
(**必ず佐川急便にて着払いでお送り下さい**) ※混雑状況により1~2週間程お時間をいただく事がございます。
★ 買取の際に必ず身分証をご持参下さい。宅配買取の際には身分証のコピーを同封下さい。
★ 氏名/住所/TEL/E-MAIL/銀行名/支店名/口座番号/口座名義人名(フリガナ)を記入した紙を同封下さい。

→発送先住所 160-0023 新宿区西新宿7-16-12YSビル1F 03-3365-6316
[closetchild(グッデー) 宅配買取 SHOXX]係 宛

宅配キットご自宅までお届けします

梱包用ダンボール・佐川急便送付状
をご自宅までお届けいたします!!
ご依頼方法 メール・電話
webtakuhai@closet-child.com 03-3365-6316

新情報と楽しいコンテンツが盛り沢山！
ライカエジソンの携帯サイト！
カエジソン公式携帯サイト「Like an Edison.com」では、商品情報やオリジナル特典情報、インストアイベント情報等
報はもちろん、簡単に商品の予約や通信販売の申込が出来ます。
にメルマガ会員になると最新情報をいち早くメルマガにてお届けします！
に携帯サイトラジオ番組『どこラジ』やここでしか観られないアーティスト動画、着うた、アーティスト特集企画等コ
ンツが盛りだくさん！是非一度アクセスしてみて！
全キャリア着うた配信中！

蝴蝶网 hudie.com

次号にて
ライカエジソン
お正月企画 大発表！！
お楽しみに★

THE KIDDIE

12月2日 Maxi Single
ポプラ
初回限定盤(PV DVD付き) ¥1,890
通常盤(ボーナストラック収録) ¥1,575

D

12月2日 Maxi Single イベントあり
Day by Day
初回限定盤A(PV DVD付き) ¥1,890
初回限定盤B(ボーナストラック収録+メイキングDVD付き) ¥1,890
通常盤(CDのみ) ¥1,050
★封入特典：トレカ

DIR EN GREY

12月2日 Maxi Single
激しさと、この胸の中で絡み付いた灼熱の闇
初回限定盤(スタジオ収録映像、レコーディング風景収録DVD付き) ¥1,890
通常盤(CDのみ) ¥1,260

the GazettE

12月16日 LIVE DVD
TOUR 09 -DIM SCENE-
FINAL AT SAITAMA SUPER ARENA
初回限定盤(3DVD+60ページブックレット付き) ¥9,765
通常盤(2DVD：初回限定盤と共通のDVD) ¥6,090

D'ESPAIRSRAY

12月16日
LIVE DVD タイトル未定 ¥10,000
★メーカー特典：ポスター
Best Album タイトル未定 ¥2,800

Sadie

12月30日
Mini Album
Gain 限定盤(PV DVD付き) ¥2,940
通常盤(ボーナストラック収録) ¥2,310

ガ
Maxi Single
Haunted Jealousy
限定盤TYPE:A ¥2,205／通常盤TYPE:B ¥1,575

boogieman
Maxi Single イベントあり
11/25 HIDDEN TYPE A・B ¥1,890
★メーカー特典：ポストカード

摩天楼オペラ
11/25 LIVE DVD DOWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ ¥4,200
12/16 Maxi Single Murder Scope ¥1,575

LAYZis
Maxi Single ¥1,890
11/25 Disappears/Melody.

deadman
Full Album ¥2,500
11/30 in the direction surise and night light (2nd press)
同時発売
no alternative 2.0 (rimix) ¥2,500

ν[NEU]
イベントあり
Maxi Single ¥1,260
アマオト

Zip.er
Full Album イベントあり
12/9 MiLKinG ¥3,150
★オリジナル特典：缶バッチ＆フォトカード

chariots
Maxi Single イベントあり
12/9 闇 ¥1,575
★オリジナル特典：「光」「灰」「闇」トリプル購入でSPECIAL DVD

vistlip
12/9 Full Album イベントあり
THEATER
vister ¥3,780／lipper ¥3,150
★オリジナル特典：(vister)「vistlip TV」001(アルバム制作秘話編)＆フォトカード5枚組
(lipper)「vistlip TV」002(vistlipボーリング対決編)＆携帯電話用フォトステッカー
★封入特典：メンバー書き下ろしイラストカード

MaitoreiA
Maxi Single イベントあり
12/9 ユグドラシル ¥1,260
★オリジナル特典：DVD(4店舗内容が異なります)

dministrator
Maxi Single
Heart is… ¥1,575

BAELSCOPE
ライカエジソン限定！
Maxi Single
1/1 DISCHARGE ¥1,000

Lycaon
Full Album 初回限定盤 ¥3,300／通常盤 ¥3,000
1/27 Royal Order

閃-4-AIM
11月25日 Mini Album
S.O.W ¥2,100

呀修羅
11月25日 Maxi Single
BLUFF ¥700

AGE of PUNK
11月25日 Mini Album イベントあり
Red Hot Spices ¥2,100

XI～サイ～
12月2日 Maxi Single
One miss Call ¥1,260

an Edison.com
ォーレ原宿店イベント情報
♣：カメラタイムあり

コクイ。 /22(日) PM3:00 イベント(サーカ他)&サーカのホストクイズ)＆サイン＆握手会	キャンゼル 11/22(日) PM6:00 ♣6ショット撮影会
nnivalism /23(月) PM5:00 フォーレミュージアム トーク＆握手＆サイン会	DaizyStripper 11/23(月) PM6:00 会場：ラフォーレミュージアム トーク＆握手会
ールテンボンバー /26(火) 時間未定 内容未定	boogieman 11/25(月) PM6:00 トーク＆握手会
LiBi 2(水) PM7:00 1時間店員 3(日) PM2:00 トーク＆4ショット撮影会	ν(NEU) 12/1(火) PM6:00 先行発売サイン会
/9(水) 時間未定 フォーレミュージアム 内容未定	シリアル⇔NUMBER 12/5(土) PM5:00 内容未定
	Zip.er 12/20(日) PM2:00 トーク＆握手＆サイン会

即日発送！
最短で翌日受取★
ライカエジソン通販改革！

ライカエジソン WEBショップ
Like an Edison.com
ライカエジソン通販改革！
さらに便利になりました！
ライカエジソンのWEBショップがオープンしました！
これまでの電話受付、携帯サイト受付に加えパソコンからのご注文も出来るようになりました！
どんどん便利になっていくライカエジソン通販を是非ご利用下さい！詳しくは「ライカエジソン」で検索！！
PC>http://www.like-an-edison.com/

通信販売専用ダイヤル
0120-624-999
もしくはライカエジソン東京店(03-3369-3119)まで！
お問合せは お電話で！
全国一律 送料400円！！
＊代金引換の場合は手数料が別途300円です。

通信販売をご利用で、名古屋／大阪のイベントへご参加希望のお客様へ
通信販売でもイベント参加可能です(但し枚数制限がございます) ※一部対象外のイベントがございます。詳しくは通販センターまでお問合せ下さい。
通信販売は東京店で受付しております(名古屋店／大阪店では通信販売を行っておりません)
尚、イベント参加希望の通信販売の受付は現金書留のみとなっております。

ライカエジソン東京店
〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-15-14 坂本ビル1F／2F
☎(1F)03-3369-3119／(2F)03-3369-3708

ライカエジソン名古屋店
〒460-0011
愛知県名古屋市中区大須2-1-15 伏見ヨックスビル2F
☎052-229-8211

ライカエジソン大阪店
〒542-0086
大阪府大阪市中央区西心斎橋1-6-8 トムズハウスビルディング2F
☎06-6252-6262

Like an Edison.com ラフォーレ原宿店
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿B1F
☎03-3746-6002

Like an Edison Release Information

※価格はすべて税込

kannivalism

11月18日

Maxi Single

イベントあり

初回限定盤A(PV DVD付き) ¥1,890
初回限定盤B(DVD+メイキングDVD付き) ¥1,890
通常盤(CDのみ) ¥1,050

★オリジナル特典:(初回限定盤A)ポストカード4枚組
(初回限定盤B)B2ポスター/(通常盤)コメントDVD

蝴蝶网
hudie.com

Plastic Tree

11月25日
LIVE DVD テント

初回限定盤(2DVD+オリジナルポーチ付き) ¥9,800
通常盤(ボーナス映像収録) ¥6,800

★オリジナル特典:缶バッチ

ムック

11月25日
Maxi Single フリージア

初回限定盤(3曲入り:ボーナストラック収録) ¥1,680
通常盤(2曲入り) ¥1,050

★封入特典:(初回限定盤)ランチトートバック

彩冷える -ayabie-

イベントあり

12月2日
Maxi Single サヨナラ

初回限定盤A・B(DVD付き) ¥1,500
通常盤(ボーナストラック収録) ¥1,000

★封入特典:(通常盤)ポストカード

ナイトメア

12月2日 LIVE DVD
PARADE TOUR FINAL
"MAJESTIC"@日本武道館 ¥5,800

1月1日 10th Anniversary Album
ジャイアニズム
初回限定盤(CD+DVD) ¥4,800
通常盤(CDのみ) ¥3,200

ヴィドール

12月2日
Maxi Single EVE

初回限定盤A(PV DVD付き) ¥1,800
初回限定盤B(豪華ブックレット付き) ¥1,800
通常盤(ボーナストラック) ¥1,260

東京店にて イベントあり

★メーカー特典:(通常盤)ポスター/オリジナル特典あり

Anli Pollichino

イベントあり
Mini Album ¥2,000
11/21 Fahrenheit 31

アヲイ

Mini Album
11/25 ZACRO ¥2,310

ゴールデンボンバー

イベントあり
Maxi Single 初回限定盤・通常盤 ¥1,300
11/25 もうバンドマンに恋なんてしない

シリアル⇔NUMBER

イベントあり
11/25 Full Album 「01」 ¥2,800

ドレミ團

イベントあり
Full Album
11/25 ドントレットミーダウン
初回限定盤 ¥3,300/通常盤 ¥2,800
★メーカー特典:(初回限定盤)ポストカード、(通常盤)ポス

ALiBi

イベントあり
Mini Album ¥2,800
12/2 【RaInBoW CoLoRs】

イロクイ。

Best Album ¥3,150
12/2 オープン・ハート・キングダム

お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】

LIVE DVD ¥3,780
12/2 1ST ANNIVERSARY PaRADEiS

cali≠gari

LIVE DVD
12/2 従 初回限定盤 ¥8,400
通常盤 ¥6,300
★メーカー特典:「武井誠」メジャーデビューシングル

カル・ヴァリ

イベントあり 詳細未定
Full Album ¥3,150
12/2 Liquid Puzzle

愛狂います。

イベントあり 詳細未定
12/16 Maxi Single サイコ×レタア
初回限定盤 ¥2,100/通常盤 ¥1,575
★封入特典:(初回限定盤)トレカ

E'm~grief~

Maxi Single
12/16 In paradism ¥1,575

ギルガメッシュ

12/16 Full Album NOW
スーパー初回限定盤 ¥5,000/初回限定盤 ¥3,990/通常盤 ¥3,150

nil delete heads

CLIP DVD
12/16 Dumping↓DropShow ¥1,260

平成維新

イベントあり
12/16 Mini Album 美しき鼓動
TYPE A ¥3,150/TYPE B ¥2,62
★オリジナル特典:(TYPE A)未発表 LIVE DVD(TYPE B)メッセージ

★東京店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

AnliPolitino	11/21(土)	PM4:00~ 1時間店員
イロクイ。	11/21(土)	PM6:00~ トークイベント(しゅうた司会&しゅうたのカルトクイズ)&握手&サイン会♣
the UNDERNEATH	11/22(日)	PM6:00~ アコースティックライブ&トーク&握手会
ν(NEU)	11/23(月)	PM3:00~ トーク&握手会
THE KIDDIE	11/23(月)	PM6:00~ トーク&握手会
お遊戯わが魔々団×【PaRADEiS】	11/26(木)	PM6:00~ トーク&握手会
ゴールデンボンバー	11/27(金)	時間・内容未定
ドレミ團	11/27(金)	PM6:30~ トーク&握手会
Ricky	11/28(土)	PM1:00~ トーク&サイン会
ADAPTER。	11/28(土)	PM3:00~ トーク&握手&サイン会
VANESSA	11/29(日)	PM6:00~ トーク&握手&サイン会
ALiBi	12/ 2(水)	PM5:00~ 1時間店員
彩冷える	12/ 3(木)	時間・内容未定
boogieman	12/ 5(土)	PM6:00~ トーク&握手会
Aoi	12/12(土)	PM4:30~ サイン&握手会(会場:新宿MARZ)
SOMATIC GUARDIAN	12/12(土)	PM6:00~ トーク&握手会
AGE OF PUNK	12/13(日)	PM3:00~ トーク&握手&サイン会
MaitoreiA	12/13(日)	PM5:30~ トーク&握手&サイン会
平成維新	12/16(水)	PM4:30~ ショートトーク&6ショット撮影会&サイン会
chariots	12/18(金)	PM6:30~ chariotsはサンタでやってくるのか!?パーティー&握手&サイン会
DEATHGAZE	12/19(土)	PM3:00~ トーク&ゲーム&握手&サイン会
Megaromania	12/20(日)	PM6:00~ トーク&握手&サイン会
ν(NEU)	12/22(火)	PM6:00~ トーク&握手会
vistrip	12/23(水)	PM4:00~ トーク&クリスマス企画&握手会
ALiBi	12/26(土)	PM2:00~ トーク&アメーバピグお楽しみゲーム大会&サイン会
Zip.er	12/26(土)	PM5:00~ トーク&6ショット撮影会
シリアル⇔NUMBER	1/11(月)	時間・内容未定

★名古屋店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

Kannivalism	11/21(土)	PM5:00~ トーク&握手&サイン会
Ricky	11/23(月)	AM11:30~ トーク&サイン会
メガマソ	11/24(火)	PM6:00~ トーク&握手会
boogieman	11/28(土)	PM1:00~ トーク&握手会
ゴールデンボンバー	11/29(日)	時間・内容未定
彩冷える	12/ 5(土)	時間・内容未定
chariots	12/ 6(日)	PM3:00~ 1時間店員&6ショット撮影会
DEATHGAZE	12/ 6(日)	PM5:00~ トーク&ゲーム&握手&サイン会
vistlip	12/10(木)	PM6:00~ ミニアコースティックライブ&トーク&握手&サイン
D	12/12(土)	時間・内容未定
ALiBi	12/13(日)	PM12:00~ トーク&アメーバピグお楽しみゲーム大会&サイン会
Zip.er	12/13(日)	PM2:00~ トーク&6ショット撮影会
平成維新	12/17(木)	PM6:30~ ショートトーク&6ショット撮影会&サイン会
ν(NEU)	12/19(土)	PM12:00~ トーク&握手会
ドレミ團	12/22(火)	PM8:00~ トーク&握手会
MaitoreiA	12/23(水)	PM12:30~ トーク&ジャンケン大会
chariots	12/23(水)	PM2:00~ chariotsはサンタでやってくるのか!?パーティー&握手&サイン会
Megaromania	12/25(金)	PM6:00~ トーク&握手&サイン会
PENICILLIN	12/27(日)	PM1:00~ トークイベント
シリアル⇔NUMBER	1/24(日)	時間・内容未定

★大阪店イベント情報(♣:カメラタイム有り)

Ricky	11/21(土)	AM11:30~ トーク&サイン会
ADAPTER。	11/21(土)	PM1:00~ トーク&握手&サイン会
SOMATIC GARDIAN	11/21(土)	PM4:00~ トーク&握手会
dieS	11/22(日)	時間未定 トーク&アコースティックライブ
メガマソ	11/27(金)	PM6:00~ トーク&握手会
ゴールデンボンバー	11/28(土)	時間・内容未定
boogieman	11/28(土)	PM6:00~ トーク&握手会
D	12/ 3(金)	時間・内容未定
DEATHGAZE	12/ 4(土)	PM6:00~ トーク&ゲーム&握手&サイン会
彩冷える	12/ 6(土)	時間・内容未定
ALiBi	12/12(土)	PM12:00~ トーク&アメーバピグお楽しみゲーム大会&サイン会
Zip.er	12/12(土)	PM2:00~ トーク&6ショット撮影会
the UNDERNEATH	12/12(土)	PM6:00~ アコースティックライブ&トーク&握手会
vistlip	12/13(日)	PM5:00~ ミニアコースティックライブ&トーク&握手&サイン会
ドレミ團	12/15(火)	PM6:00~ トーク&握手会
ν(NEU)	12/18(金)	PM4:00~ トーク&握手会
平成維新	12/20(日)	PM3:00~ ショートトーク&6ショット撮影会&サイン会
MaitoreiA	12/22(火)	PM6:00~ トーク&ジャンケン大会
chariots	12/24(木)	PM3:00~ chariotsはサンタでやってくるのか!?パーティー&握手&サイン会
Megaromania	12/27(日)	PM2:00~ トーク&握手&サイン会
PENICILLIN	12/27(日)	PM6:00~ トークイベント
シリアル⇔NUMBER	1/23(土)	時間・内容未定

高額査定中！

盤、ブランド古着、音楽雑誌、ツアーグッズ、
ーパンフ、ファンクラブ会報...
は、お問い合せ下さい！！

リスト

初回　CD　3,000円
ロップ』本　3,000円
UR2006[chandelier]』通販限定写真集　7,000円
ーグ』DVD付き本　3,000円
初回CD 3,000円
』初回CD 3,000円
初回CD+DVD　3,000円
』初回CD+DVD　3,000円
アル』初回CD 3,000円
CD　3,000円
ドール2』初回DVD　4,000円

（無職）』2ndMD　6,000円
3,000円
CD　3,000円
回CD　2,000円

d CD　10,000円
らうまラヂヲ』CD　8,000円
2才独身）の悩殺講座』CD　8,000円
イフ』配布CD　5,000円
青春』会場限定CD　4,000円
Gedicht』初回CD付き写真集　4,000円
LIVE TOUR 2006 NAMELESS LIBERTY SIX GUNS
TOUR FINAL AT BUDOKAN』初回DVD 5,000円

全国に即日発送いたします！

全国一律 **700**円 送料+代引手数料

ポスターが付く場合、ポスター箱代200円が別途かかります

送料全国一律500円　代引手数料200円
10,000円以上ご購入の場合は送料無料！

＊月末一括発送＊
まとめ発送　毎月最終日発送

商品を複数注文されている方は、毎月月末に一括発送しちゃいます。（同月発売の商品のみです）発送を急がない人で、送料を節約したい方や、給料日後に一括購入したい人は、是非利用してね！
※途中での変更は出来ませんので、よく検討してから申し込んでね！

通販方法

1.代金引換
商品を即日発送いたします。商品到着時に、商品代+700円(送料代引き手数料)の合計金額を、配達員にお支払い下さい。送料代引き手数料は全国一律700円です。関東はもちろん、九州、沖縄まで送っちゃいます。

2.現金書留
在庫確認の上、商品代と送料(500円)の合計を現金書留で送金下さい。お金が届きましたら、商品を発送いたします。

3.銀行振込（1週間以内の振込でお願い致します）
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちの方→インターネットで 24 時間 365 日お振り込みができます。ジャパンネット銀行間の手数料は 52 円ととってもお得です。
■ジャパンネット銀行に口座をお持ちでない方→通常の銀行からのお振り込みになります。
オンラインによる管理ですので、24 時間リアルタイムで確認いたしますので、振込確認次第、即発送しちゃいます！
オーダーフォームより、お申し込み下さい！

約3500アイテムを網羅
CD、DVDの他
貴重盤、ファンクラブ会報
ツアーグッズ、ツアーパンフ
ブランド古着も
取り扱ってます！！

http://www.guruguru.co.jp

GURUGURU　検索

http://www.guruguru.co.jp/

GURU GURU

2009年9月5日さいたまスーパーアリーナにて行われたライブの模様を収録！

12.16 on sale
the GazettE
TOUR09 -DIM SCENE-
FINAL AT SAITAMA SUPER ARENA
◆初回限定盤　DVD3枚組　価格¥9,765
マルチアングル映像を収録したBONUS DISC付き。
別冊ブックレット（60P）付き、特殊パッケージ仕様。
◆通常盤　DVD　価格¥6,090
DVD2枚組。
GURUGURU特典 ポスター+交渉中！

12.02 on sale　3種同時発売
D
Day by Day

◆初回生産限定盤A　CD+DVD　価格¥1,890
PVを収録したDVD付き。トレーディングカード（全6種うち1種をランダム封入）、応募券付告知ペラ封入。
◆初回生産限定盤B　CD+DVD　価格¥1,680
PVのメイキングを収録したDVD付き。トレーディングカード（全6種うち1種をランダム封入）、応募券付告知ペラ封入。
◆通常盤　CD　価格¥1,050
トレーディングカード（全6種うち1種をランダム封入）、応募券付告知ペラ封入。
GURUGURU特典 いずれか2種でコメントDVD

12.02 on sale　2種同時発売
Dir en grey

激しさと、この胸の中で絡み付いた灼熱の闇
◆初回生産限定盤　CD+DVD　価格¥1,890
DVDには「蝕紅」のスタジオ収録映像やレコーディング風景などを収録予定。
◆通常盤　CD　価格¥1,260

11.25 on sale　2種同時発売
Plastic Tree
テント

2009年8月30日日本武道館にて行われたライブの模様を収録したDVD！
◆初回限定盤　DVD　価格¥9,800
オリジナルポーチ付きの豪華パッケージ仕様。
◆通常盤　DVD　価格¥6,800
ボーナス映像収録予定。
GURUGURU特典 4枚組ポストカード
◆12/23　クリップ集DVD
価格¥5,250
◆12/23　ニューアルバム
初回盤　価格¥3,800
通常盤　価格¥3,000
GURUGURU特典 ポストカード

12.16 on sale　CD・DVD2種同時発売
D'espairsRay
タイトル未定
◆初回限定盤　DVD　価格¥10,000
2009年10月1日に行われたC.C.Lemonホールでのライブの模様を収録！
写真集+オリジナルTシャツ付きのスペシャルパッケージ！
GURUGURU特典 ポスター
◆CD　価格¥2,800
結成10周年を記念するD'espairsRay初のベスト盤！

12.02 on sale　3種同時発売
ヴィドール
EVE

◆初回限定盤A　CD+DVD　価格¥1,800
DVD付き。
◆初回限定盤B　CD　価格¥1,800
ブックレット付き。
◆通常盤　CD　価格¥1,260
トラック収録。
GURUGURU特典 ポスター+いずれか2種でコメントDVD

3種同時発売　**12.16 on sale**
ギルガメッシュ
NOW
◆スーパー初回限定盤　CD+DVD　価格¥5,000
「ALIVE」「BORDER」VIDEO CLIP+G-TRAVELの模様+「SUMMER EVOLUTION」ドキュメント、アルバムに関する特別インタビュー映像収録。
◆初回限定盤　CD+DVD　価格¥3,990
「arrow」「DIRTY STORY」VIDEO CLIP+裏BORDER+裏ギルガメッシュ収録。
◆通常盤　CD　価格¥3,150
ブックレットにはメンバーによる解説インタビュー付き。
GURUGURU特典 交渉中！

12.09 on sale　2種同時発売
vistlip
THEATER-vister
◆初回限定盤　CD+DVD　価格¥3,780
THEATER-lipper
◆通常盤　CD　価格¥3,150
◆12/23
「visual collections（仮）」
DVD　価格¥3,990
デビューから1年間の軌跡を追ったvistlipの全てをまとめた映像集リリース！

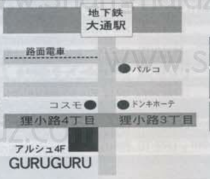
2種同時発売　**12.02 on sale**
THE KIDDIE
ポプラ
◆初回限定盤　CD+DVD　価格¥1,890
DVDにはPVを収録。
◆通常盤　CD　価格¥1,575
ボーナストラック収録。

11.25 on sale
摩天楼オペラ
DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ
◆DVD　価格¥4,200
封入特典 ■「DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ」メモリアルチケット
■来年5月に行われる、渋谷CCレモンホールワンマンライブのチケット第一弾先行予約受付
GURUGURU特典 12月発売のシングルとW購入でコメントDVD
◆12/16　「Murder Scope」
初回限定盤　CD+DVD　価格¥1,575
通常盤　CD　価格¥1,260
封入特典 ■来年5月に行われる、渋谷CCレモンホールワンマンライブのチケット第二弾先行予約受付

2009年9月6日AKASAKA BLITZにて行われたライブの模様を収録！
12.02 on sale
lynch.
『THE SHADOW IMPULSE』FINAL
2009.09.06 at AKASAKA BLITZ
◆DVD　価格¥5,980
全25曲+TOUR '09 『THE SHADOW IMPULSE』ドキュメンタリー映像を収録の2枚組仕様。
GURUGURU特典 特製ポストカード

2009/11/25　boogieman「HIDDEN」完全限定生産TYPE A　CD+DVD　¥1890　GURUGURU特典：ポストカード（全6種/ランダム）DVDには「d.CHILD」のPVを収録。
2009/11/25　boogieman「HIDDEN」完全限定生産TYPE B　CD+DVD　¥1890　GURUGURU特典：ポストカード（全6種/ランダム）DVDには「8/23代官山UNIT LIVEダイジェスト映像」を収録。
2009/11/25　HERO「Oh My HERO」CD　¥3200
2009/11/25　LAYZis「Disappears/Melody.」CD+DVD　¥1890
2009/11/25　VAJRA「THE RISING SUN」CD　¥1575
2009/11/25　アヲイ「ZACRO」CD　¥2310
2009/11/25　シリアル⇔NUMBER「01（てぃーち）」CD　¥2800
2009/11/25　ドレミ團「ドントレットミーダウン」初回限定盤　CD+DVD　¥3300　全11曲収録。DVDにはPVと2009年8月20日赤坂BLITZでのLIVE映像を収録。
2009/11/25　ドレミ團「ドントレットミーダウン」通常盤　CD　¥2800　全13曲収録。
2009/11/25　ネガ「Haunted Jealousy」初回限定盤TYPE A　CD+DVD　¥2205
2009/11/25　ネガ「Haunted Jealousy」初回限定盤TYPE B　CD　¥1575
2009/11/25　ネガ「Haunted Jealousy」初回限定盤TYPE C　CD　¥1575
2009/11/25　ムック「フリージア」初回限定スペシャル仕様　CD　¥1680
2009/11/25　ムック「フリージア」通常盤　CD　¥1050
2009/11/25　閃-4-AIM（ヒラメキフォーエイム）「S.O.W」CD　¥2100
2009/11/25　哆啰羅「BLUFF」CD　¥700
2009/11/27【_Vanilla】「平成二十年度提出瀟春夏秋冬狂声聴視覚集」DVD　¥2950
2009/11/30　deadman「in the direction of sunrise and night light 2nd press」CD　¥2500
2009/11/30　deadman「no alternative 2.0（remix）」CD　¥2500
2009/12/02　ALiBi「RainBoW CoLoRs」CD+DVD　¥2800
2009/12/02　cali≠gari「ただいま－－－＆そろそろ（仮）」初回限定盤　DVD　¥8400
2009/12/02　cali≠gari「ただいま－－－＆そろそろ（仮）」通常盤　DVD　¥6300
2009/12/02　hide「We hide~the Clips~」初回限定盤　DVD　¥9800　DVD2枚組。初回限定盤はスペシャルグッズ付きの豪華仕様！限定生産シリアルナンバー入りスペシャルBOX　DVD2枚組（クリップス＋未発表映像）オリジナル・ロングスリーブ・Tシャツ　オリジナル・ポストカード
2009/12/02　hide「We hide~the Clips~」通常盤　DVD　¥5500　DVD2枚組。未発表映像収録予定。
2009/12/02　V.A.「Organize Daring Party」DVD　¥3150　M/ダリス/SOMATIC GUARDIAN/ハートレス/MEZE/DecoLa Hopping/Re:Sk/Ends∞Infinity
2009/12/02　ν（NEU）「アマオト」CD　¥1260
2009/12/02　イロクイ。「オープン・ハート・キングダム」CD　¥3150
2009/12/02　お遊戯ゎが魔々団×【PaRADEiS】「1ST ANNIVERSARY PaRADEiS」DVD　¥3780
2009/12/02　カル・ヴァリ「Liquid Puzzle」CD　¥3150
2009/12/02　ナイトメア「PARADE TOUR FINAL "MAJESTIC" @日本武道館」DVD　¥5800　2009年8月29日日本武道館でのライブの模様を収録したDVD！
2009/12/02　ロットマン「アンタイトル」CD　¥1575
2009/12/02　彩冷える-ayabie-「サヨナラ」初回生産限定盤A　CD+DVD　¥1500
2009/12/02　彩冷える-ayabie-「サヨナラ」初回生産限定盤B　CD+DVD　¥1500
2009/12/02　彩冷える-ayabie-「サヨナラ」通常盤　CD　¥1000
2009/12/05　雑誌「h'evn045」BOOK　¥1050　表紙巻頭：ギルガメッシュ
2009/12/09　chariots「闇」CD　¥1575
2009/12/09　Zip.er「MiLKinG」CD　¥3150
2009/12/09　アンティック-珈琲店-「タイトル未定」CD　¥3465
2009/12/16　E'm~grief~「In paradism」CD　¥1575
2009/12/16　Sadie「Gain」初回限定盤　CD+DVD　¥1890
2009/12/16　Sadie「Gain」通常盤　CD　¥1575
2009/12/16　愛狂います。「サイコ×レタア」初回限定盤　CD+DVD　¥2100
2009/12/16　愛狂います。「サイコ×レタア」初回通常盤　CD　¥1575
2009/12/16　平成維新「美しき鼓動」TYPE A　CD+DVD　¥3150
2009/12/16　平成維新「美しき鼓動」TYPE B　CD　¥2625
2009/12/16　邦画DVD「Attitude」DVD　¥2940　東のX、西のCOLORと謳われたCOLORのダイナマイト・トミー初監督作品であるこの映画は、2008年7月東京を封切に、大阪、名古屋の映画館で順次公開され業界に衝撃を与えた。XのTAIJI、X-JAPANのPATAをはじめとし、Moon Child、Ladies Room、By-Sexual、A.R.B、G.D.FLICKERS、かまいたち、ANGIE、アニメタル、NEW ROTE'KA、アナーキー、スターリンなど、二度とない豪華出演陣による、"ロックの原点"を追求した作品である。今回は、熱狂的なファンの期待に応えて、本編の他に、特典映像として出演者のライヴ映像や、メイキングも収録！
2009/12/23　Administrator「Heart is...」CD　¥1575
2009/12/23　Art Cube「螺旋月」CD　¥2415
2009/12/23　forbidden days rhapsody「canticum」CD　¥1890
2009/12/23　Para:noir「THE VIRTUES」CD+DVD　¥1500
2009/12/23　VAJRA「THE GALLOWS」CD　¥1575
2009/12/23　α:Vout「ギルティー」CD　¥1575
2009/12/23　ダウナー「Candy[A]diveR」A-TYPE　CD　¥1050
2009/12/23　ダウナー「Candy[A]diveR」B-TYPE　CD　¥1050
2009/12/25　A&D「LACRIMOSA」CD　¥2625
2010/01/01　ナイトメア「ジャイアニズム」初回生産限定盤　CD+DVD　¥4800
2010/01/01　ナイトメア「ジャイアニズム」通常盤　CD　¥3200
2010/01/13←12/16　XodiacK（ゾディアック）「神羅万象-摂理-」CD+DVD　¥2940
2010/01/20　ベルベット「悩殺スパンコォル・バグ」CD　¥1260
2010/01/21　Lycaon「Royal Order」初回限定盤　CD+DVD　¥3300
2010/01/21　Lycaon「Royal Order」通常盤　CD　¥3000
2010/01/27　ダウナー「タイトル未定」A-TYPE　CD　¥1050
2010/01/27　ダウナー「タイトル未定」B-TYPE　CD　¥1050

〒060-0063
札幌市中央区南3条西4丁目アルシュ4F
TEL 011-251-4480
e-mail▸order@guruguru.co.jp
FAX 011-251-4481
OPEN10:30-CLOSE20:00
有限会社　グル・グル



全国通販OK
代引きOK
即日発送

Radio-UZU-「渦」ON AIR
毎週火曜23:00　FMアップル　76.5MHz
※札幌圏のみの放送になります。
インターネットでも生中継します！
http://www.channel-apple2.com/streaming_apple.html

Kagrra,白水と女雅の道産子牧場
ヴィドールの真夜中の美人館　放送中！！
バックナンバーはこちら
http://www.guruguru.co.jp/other/radio.html

http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp http://www.brand-x.jp
kannivalism
★発売中「life is[限定盤A]」M-CDs+DVD¥1,890
★発売中「life is[限定盤B]」M-CDs+DVD¥1,890
★発売中「life is[通常盤]」M-CDs¥1,050
※オリジナル予約特典付！イベント12/13開催決定！
Versailles Philharmonic Quintet
大好評予約受付中！
渾身のメジャー1st ALBUM！
-JUBILEE-
'10/1/20発売！初回盤 CD+VD¥3,500
'10/1/20発売！通常盤 CD¥3,150
待望のNEWアルバム、発売決定！！
彩冷える -ayabie-
☆'10/1/13発売CD+VD
「きらきら星(仮)初回限定盤A」¥3,500
☆'10/1/13発売CD+VD
「きらきら星(仮)初回限定盤B」¥3,500
☆'10/1/13発売CD+BOOK
「きらきら星(仮)通常盤」¥1,050
※オリジナル予約特典等、交渉中！
DIR EN GREY
「激しさと、この胸の中で絡み付いた灼熱の
★12/2発売 M-CD+VD 初回盤 ¥1,890
★12/2発売 M-CD 通常盤 ¥1,260
※オリジナル特典考案中！
Megaromania
☆発売中 CD+DVD「Prophetic Faction-the Universe-[TYPE A]」¥3,990
☆発売中 CD+DVD「Prophetic Faction-the Universe-[TYPE B]」¥3,150
インストアイベント開催！
特典等はweb siteにて！
NightingeiL
連続リリース決定！
▼発売中「赤い目」M-CDs¥1,575
▼発売中「孤島の彼女…」M-CDs¥1,575
◆オリ特：各タイプにコメントDVD！(内容異)
◆イベント：11/22(日)PM5:00〜PM6:30
-Haunted Jealousy-
★11/25 M-CD+VD 初回盤A ¥2,205
★11/25 M-CD 通常盤B ¥1,575
★11/25 M-CD 通常盤C ¥1,575
★12/2発売 M-CD 通常盤 ¥1,260
※オリジナル特典やイベントはwebにて！
JULLY(ジュリィー)
▼発売中 M-CDs¥1,000
「秋茜」
◆オリ特：コメントDVD！
◆イベント：12/11(金)19:30〜開催決定！
rice
一万時間ぶりにリリース決定！
▼発売中!! CD¥3,150
「六極シンパシー」
オリ特：コメントDVD+アーティストカード
インストアイベント開催決定！
2010年1月8日（金）PM7:30〜
Sel'm
「VOICE」
▼発売中!! M-CDs¥1,575
オリ特：コメントDVD+アーティスト
-パブリックセンチメント-
★発売中 CD+VD TypeA ¥3,150
★発売中 CD TypeB
-美しき鼓動-
Em -grief-
▼発売中「Amentia」M-CD¥1,575
-Vanilla-
▼11/27発売
DVD¥2,950
〜オリジナル特典：考案中！〜
待望の6thシングル発売決定！
▼発売中「L OVERS E.P.」M-CDs¥1,500
オリジナル予約特典付！
イベント12月4日(金)PM7:00〜開催決定！
ALiBi
【RaInBoW CoLoRs】
★12/2発売 CD+VD ¥2,800
オリジナル予約特典付！
大好評予約受付中！
2010年1月
イベント開催！
Zip.er
「MiLKinG」
▼12/9発売!! CD¥3,150
オリジナル予約特典付！
※'10/1/17 PM5:00〜
イベント開催決定！
HERO
☆「Oh My HERO」
11/25発売 CD¥3,200
オリジナル予約特典：考案中！
'10/1/24(日) PM7:00〜イベント開催
▼発売中「Crusaded 4-」
〜Clover of 4 leaf〜+アーティストカードセット
インストアイベント開催決定！
・11月28日(土)PM7:00〜
・(トークは人数制限あり)
C4
THE UNDERNEATH
[US.]
発売中 CD¥2,800
オリ特：コメントDVD！
インストアイベント
開催決定！
12月25日(金)PM7:30〜
[Liquid Puzzle] カルヴァリ
12/2発売 CD¥3,150
オリジナル特典付き！
インストアイベント開催決定！
'10/1/24(日)PM7:00〜
愛狂います。
★12/16発売 CD+VD
限定盤 ¥2,100
★12/16発売 CD 通常盤 ¥1,575
※オリジナル予約特典付！
インストアイベント'10/1/16開催
3か月連続リリース決定！
▼発売中「光」M-CDs¥1,575
▼発売中「灰」M-CDs¥1,575
▼12/9発売「闇」M-CDs¥1,575
※各オリジナル予約特典付！
【インストアイベント開催決定】
12/19(土)PM7:00〜
chariots
12月16日、待望のLIVE DVD発売決定！
・LIVE DVD TOUR09
-DIM SCENE-FINAL AT SAITAMA SUPER ARENA
[初回生産限定盤]
DVD ¥9,765
・[通常盤]DVD¥6,090
オリジナル特典：ツアーデータ入りパンフレット！
the GazettE
連続リリース決定！
☆12/16発売 M-CD¥1,575
「Murder Scope/初回盤」
☆12/16発売 M-CD¥1,260
「Murder Scope/通常盤」
☆11/25発売 DVD¥4,200
「DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ」
摩天楼オペラ
vistlip
☆12/9発売CD+DVD¥3,780
「THEATER-vister[初回限定盤]」
※オリ特：コメントDVD[A]+カード
☆12/9発売CD¥3,150
「THEATER-lipper[通常盤]」
※オリ特：コメントDVD[B]+
インストアイベント開催決定
2009年1月9日（土）
・第1部PM6:00〜・第2部PM
D
▼12/2発売「Day by Day」
★限定盤A M-CD+VD ¥1,890
★限定盤B M-CD+VD ¥1,680
★通常盤 M-CD ¥1,050
3種同時購入特典付！
▼インストアイベント開催決定！
・12月2日（水）夕刻開始予定！
・スペシャルイベント！
・場所：南大塚ホール
※詳細はWEB SITEにて！
現在、店内にて破格値コーナーを設置！
様々なアイテムが¥100、¥300、¥500、¥700と
4つの価格帯にて大奉仕中！
お近くにお寄りの際は是非ご覧下さい！
Brand X
boogieman
■待望のNEWシングル発売！
【HIDDEN】
▼11/25発売！
★【初回限定盤A】DVD付
M-CD+VD¥1,890
★【初回限定盤B】DVD付
M-CD+VD¥1,890
◆イベント開催決定！
・2009年12月6日(日)
・第1部PM6:00〜
トークライブ＆握手会！
Ricky
☆発売中CD¥2,940
『R☆POP』
※オリジナル特典
・コメントDVD！
・コメント＆サイン入りカードセット(2枚組)
※コメント＆サインはプリントになります。
インストアイベント開催決定！
12月12日（土）
PM6:00 Start!
-『EVE』-
★12/2 限定盤A M-CD+VD ¥1,800
★12/2 限定盤B M-CD+VD ¥1,800
★12/2 通常盤 M-CD ¥1,260
※3種同時購入特典付！
ヴィドール
-『Monad』-
★'10/1/20 限定盤 CD+VD ¥4,980
★'10/1/20 通常盤 CD ¥3,150
※オリジナル予約特典考案中！
※インストアイベント開催予定！
ヴィドール
▼発売中「ファンタヂックドリーマー〜Sleeping beauty〜」M-CDs¥1,600
オリジナル特典：アーティストカードセット
▼12/2発売「オープン・ハート・キングダム」CD¥3,150
【インストアイベント開催決定】
▼12月23日(水・祝)PM6:00〜
トークライブ＆サイン＆握手会！
(クリスマススペシャル！)
XOVER
【フルアルバム】
▼発売中 CD¥3,300
様々な経歴を持つVocal.shauraと
現Everlasting-K、ex.LaputaのKouichiの2名による業界震撼させる
超強力ユニット！
オリジナル予約特典、
インストアイベント11/26開催決定
詳細はWebにて！
THE KIDDIE
3か月連続リリース！
▼発売中「soar/A」M-CDs+DVD¥1,890
オリ特：コメントDVD+アーティストカード
▼発売中「soar/B」M-CDs¥1,500
オリ特：アーティストカード
◆インストアイベント開催決定！
▼発売中「BLACK SIDE/A」¥1,890
▼発売中「BLACK SIDE/B」¥1,500
◆オリ特：アーティストカードなど考案中！
▼12月発売シングル詳細はWebにて！
SuG
☆発売中 M-CDs+DVD¥1,890
「P!NK masquerade.（初回盤）」
☆発売中 M-CDs¥1,890
「P!NK masquerade.（通常盤）」
オリジナル特典や、インストアイベント等の詳細は
当店Web siteにて！
アンド
待望の新音源発売決定！
☆発売中 CD+DVD¥3,465
「-&-[初回盤]」
☆発売中 CD「-&-[通常盤]」¥3,150
※オリジナル予約特典付！
詳細はWebにて！
インストアイベント開催決定！
12月20日(日) PM5:00〜(人数制限あり)
・発売中[ピンクマーブル]
M-CD¥1,260
・12/2発売[アマオト]M-CD
※オリ特：各タイトルにコメント
W購入でコメントDVD付！
インストアイベント開催決定
'10/1/15(金)PM7:00〜
トークライブ＆サイン会！
PICK UP ITEM
シリアル⊕NUMBER
☆11/25発売 CD¥2,800
「01(でぃーち)」
オリジナル予約特典付！詳細はwebにて
※インストアイベント開催決定！
・2009年12月18日（金）PM7:00〜
・トークライブ＆握手会！
通信販売をご希望の方へ
通信販売をご利用の際は必ずお読みください!!
当店の通信販売は①代金引換（着払い）と②先にご送金して頂く方法の2通りがございます。下記の注文方法をご覧の上、どちらかをお選びください！！また、どちらの方法でも「クロネコヤマトの宅急便」によるお届けになります。一度お受けしました商品のキャンセルは固くお断りしております。
①代金引換（着払い）とにかく早く商品がほしい人！！
TEL・FAXまたは、葉書にて希望の商品・あなたの住所・氏名・電話番号をお知らせ下されば、すぐに商品をお送り致します。(FAX/ハガキの場合は第2希望まで明記してください。)※予約の場合は、商品が入荷次第ご発送致します。
商品到着時に商品代金＋送料(全国どこでも¥800)を配達員にお支払い下さい。商品の到着は、ご注文から1日〜2日です。※予約の商品は当店に入荷してから1日〜2日でお届け致します。
②先にご送金して頂く方法 なるべく安く欲しい人！！
TELにて在庫の確認をして下さい。そして先に送金することをお申し付け下さい。
※予約の場合は入金確認後の受付になりますので発売日前までにこちらに到着するようにご送金下さい。
現金書留・郵便為替
商品名、数量を明記の上、商品代金＋送料(¥500)をお送り下さい。
※予約の場合も同じです。
郵便振替
商品名を通信欄に明記の上、商品代金＋送料(¥500)を下記の口座にお振り込み下さい。
※予約の場合も同じです。
口座名：(株)ブランドエックス
口座番号：00130-9-147670
※振込手数料は、お客様のご負担となりますので、ご注意下さい。
銀行振込
口座種別：普通
口座番号：7009021
口座名：(株)ブランドエックス
入金確認後、1日〜2日で商品をお届け致します。
※予約の場合は、商品が当店に入荷後、1日〜2日でお届け致します。
※自主盤制作の音源持ち込み大募集！！
※委託販売、承ります。
詳しくは一度お電話にてご連絡下さい！！
池袋駅
サンシャイン60
Brand X webshop
ブランドエックス
http://www.brand-x.jp
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-2-5 池袋サンシャインプラザB1F
TEL. 03-3980-6780 am11:30-pm8:30 年中無休
通信販売をご利用のお客様で来店イベントに参加ご希望の方は、必ずご予約時に当店スタッフまで「イベント参加希望」とお申し付け下さい。

通販～通販まで在庫あります

hudie.com

(PC＆携帯 共通)
http://lucyspocket.com

販売＆買取　ヴィジュアル系中古CDショップ

Lucy's Pocket
ルーシーズ ポケット

http://lucyspocket.com

販売＆買取

TEL 011-223-4666
lucyspocket@mac.com

【買取送料は無料】CD・DVD・ツアーグッズ・FC会報・写真・配布・会場限定

発売6ヶ月以内の新譜5枚送っていただけると全商品 20%アップ

lynch.	cali≠gari	Plastic Tree	シド
D'espairsRay	ダウト	ViViD	DIR EN GREY
THE KIDDIE	the GazettE	LM.C(グッズ)	-OZ-
愛狂います。	vistlip	姫苺	キャンゼル
ギルガメッシュ	DELUHI	新興宗教楽団NoGoD	JZEIL
摩天楼オペラ	陰陽座	Versailles	DAIGO (インディーズ)
X JAPAN	SuG	DaizyStripper	アンド

上記アーティストのCD・DVD・会報・パンフ・グッズ・物販写真　(貴重盤は特に高評価)

高価買取例　(リスト以外の商品も高く買います)

lynch.『underneath the skin(CD)3千』『greedy dead souls(CD)4千』『CD・DVD各種』 **lynch.特に高く買います**　**Plastic Tree**『あおむしドロップ(本)4千』『カメラ・オブスキュラ
DVD付き写真集)7千』『ネガとポジ・シャンデリア・シロクロニクル・Cell.・Puppet Show(初回各3千』『WORLDTOUR2006[chandelier]通販限定
集(8千)』『忘却モノローグ(DVD付き本)4千』『CD・DVD・パンフ・会報・ツアーグッズ各種』 **Plastic Treeに関する物は特に高く買います！**
『Alice(配布CD)1.2万』『CD・DVD各種』、**ガゼット**『Verwelktes Gedicht(CD+本)6千』『午前0時の～(CD)8千』『STANDING LIVE TOUR 2006 NAMELESS～
初回DVD)6千』『十四歳のナイフ(配布CD)5千』『泥だらけの青春(会場限定CD)5千』『初回＆通常CD・DVD各種』『会報、ツアーグッズ』、**D'espairsRay**『murder
ay(通販版DVD)5千』『CD・DVD各種』『物販写真各種』、**SuG**『I SCREAM PARTY(初回CD+DVD)3千』、**Dir en grey**『会報＆グッズ＆Tシャツ各種』『BLITZ 5
AYS(DVD-BOX)1万』『初回CD・DVD各種』『自虐斂葬腐乱～(本+CD)5千』『前略お元気ですか～(本+CD)5千』『FC限定DVD各種』『写真集、本各種』、**陰陽座**『初回
D・DVD・スコア各種』『幽玄霊舞(DVD)5千』『ツアーグッズ』、**X JAPAN**『CD・DVD各種』『I'LL KILL YOU(レコード)2万』『ラルム(香水)未使用1.5万使用済も買取
』『スターライトヨシキ各種』、**hide**『ぬいぐるみ＆フィギュア各種』『ミュージアム限定グッズ各種』『トライバルぬいぐるみ(7千)』、**シド**『吉開学17歳(無職)初回2万・
nd 5千』『流通盤(CD)5千』『憐哀・星の都(初回CD各3千～5千)』『CD・DVD・ツアーグッズ各種』 **シド関係特に高く買います**　**SHULA**『What's up
CD)7千』『Shu-la-tic(CD)1万』、**cali≠gari**『第5実験室(初回CD)5千』『再教育(CD)1.2万』『CD・DVD各種』、**ムック**『CD・DVD各種』、**ギルガメッシュ**『CD・DVD各
』、**L'Arc-en-Ciel**『『FIVE LIVE ARCHIVES(DVD-BOX)1.5万』、**ナイトメア**『天下大暴走～我等(本+DVD)4千』『トレカ SP&ヘン顔各種』『CD・DVD各種』
ツアーグッズ』、**DaizyStripper**『ダンデライオン(CD各種)』、**Janne Da Arc**『ツアーグッズ、会報、DVD各種』、**アンド**『特攻 神風大作戦 -任務秘録-(プレゼント
VD)5千』、**DELUHI**『Surveillance(CD)5千』 **各アーティストグッズ買取強化中・2007年以降のV系雑誌（付録付きの完品）買取します**

各アーティストのツアーグッズ、会報、抽選プレゼント品、物販写真
貴重盤・通常盤・CD・DVD・配布モノ・会場限定など色々買わせていただきます
特典付きで売ってください(査定アップ)　大量処分も大歓迎

V系お売りください
シドに関する物は高評価です

同一アーティストをまとめて売っていただければ、＋αの査定になります

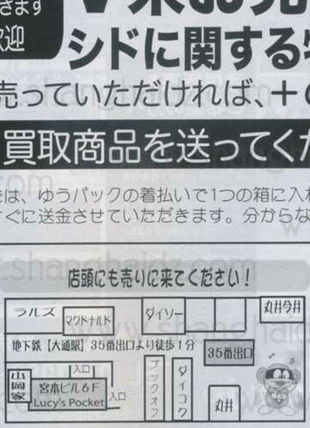
遠方の方は宅急便で 買取商品を送ってください

送料は当店が負担させていただきますので、宅急便（佐川以外で）または、ゆうパックの着払いで1つの箱に入れて送って下さい。
送る時は必ず名前にフリガナをふって下さい。査定後、電話連絡の上すぐに送金させていただきます。分からない事がありましたら電話して下さい

〒060-0062 北海道札幌市中央区南2条西1丁目 宮本ビル6F

ルーシーズポケット
営業時間12:00～19:00頃（毎週水曜と木曜が定休日）
TEL 011-223-4666
http://lucyspocket.com (PC＆携帯共通)
問い合わせメール lucyspocket@mac.com

店頭にも売りに来てください！



店頭買取も
お待ちしております
V系買います

www.shanghaidz.com

ARTIST'S BOX

ミュージシャンが作るページ

リド・マオ 第四十八回
ステキコラム。

ツアーも終わり、ほっと一息。この時期がいちばん太りやすい僕は、地味にダイエットを始めました。前みたいに究極のやつじゃなくて、ゆるめなダイエット。それでも少しずつですが体はしぼれてきました。毎朝体重計に乗るのが楽しいです。で、おなじみのマオです。

近況。今は新曲one wayのプロモーション活動で、日々動いてる。雑誌、テレビ、ラジオ。充実した日々です。けどテレビだけはやっぱりまだまだ不慣れで、緊張しちゃう。特にミュージックステーション。これは生放送だから、歌詞間違いや失敗は許されない一発勝負。潜在してる集中力をどこまで引き出せるかがカギだと思って、本番前はひたすら目を閉じて成功を祈る。ああ、また緊張して手汗が…笑。

こないだメンバーみんなでご飯に行ったときの話。ふとしたきっかけから、あの伝説のゲームが始まった。そう、遅刻罰金制度。最近メンバーの細かい遅刻（あまり細かくない人もいたけど笑）が目立ち始めたということで、おれが自ら提案した。理由は、人に待たされるのが好きな人はいないから。

ルールは1分～5分遅刻は●●●円。5分～10分は●●●●円。それが増えていって、1時間以上のふとどき者は●●●●●円。結構残酷です笑。

すでに効果絶大。集合時間の10分前にはみんな揃ってるという、すごく健全なバンドに大変身。もちろんおれも必死。言い出した人が遅刻しちゃったら、しめしがつかないからね。その罰金で貯まったお金で目覚まし時計を買う予定。今よりもっともっと強力なやつね。うふふ。

読者のみなさん、どのメンバーが最初のふとどき者になるか予想してみてください。
またね。

彩冷える 葵 の
ヒナタごっこ 第44回

「心の琴線に触れる」というフレーズが今お気に入りでして。

ただ今制作している曲の歌詞でもテーマとして書いてみようと思っているのです。意味合いとしては「興味をもつもの・心惹かれるもの・心揺らすもの」と言ったところでしょうか？

僕もまだまだ未熟ながら「アーティスト」という肩書きのもとに生きているから、皆さんから見たら「刺激的な毎日」なんだろうなって思われがちですが意外とそうでもない訳で・・。皆さんと同じテレビを見て、同じチェーン店でご飯食べて、同じ映画やドラマやコミックスを見て感動して、同じ電車で移動して・・。「アーティスト」とは遠い存在で絶対に「一般人の方と交わらない生活をする存在」であるべきなのかもしれないけれど、それでこそ夢や憧れを与えられるのかもしれないのだけれど、現代のアーティストに求められてるものって意外とそうでもなくて、インターネット（ブログとか）を通じてみんなと同じ時間を共有したり、色んなものを同じ目線で共感したり。シークレットの部分を作るのが大変な世の中になってしまったけれど、意外とそれが同じ人としての境界線を薄くしている気がします。

僕の理想のアーティスト像というのは作品に関しては絶対ですが、それ意外は皆さんと同じ目線でいたいと思うんです。僕もブログをやっているのですが日常生活でコンビニの新商品とかには敏感で見つけたものをブログに載せてみんなに情報を提供したり、逆に解らないことがあったらブログを通して皆さんに尋ねてみたり。ネットによって嘘も本当も解らないくらいたくさんの情報が交差して「住みにくい世の中になってしまった」とよく聴くけれど僕はそんなに悪くないなって思うし、どんな環境でも楽しめる自分でいたいなって思います。

話はちょっと反れてしまいましたが、最近「琴線に触れる」機会が増えたんです。僕は今まで本当に友達が少なかったのですがメジャーデビューしてからジャンルを越えて、たくさんの方とお仕事する機会が増えて友達も増えたんです。美容師さんとかスタイリストさんとかタレントさんとか役者の方とか。同じエンターテインメントの世界にいるのだけれど、職種が違う人達と触れるのが本当に刺激になるんです。

っと言ってもお酒を飲みながら話をする程度なんですが。その人その人それぞれの考え方や思っていることを聞くのって凄い大事で自分に還元できることがたくさんあるんだって最近気が付いたんです。そこにはお仕事の話は一切ないのですが、それぞれの自分との向き合い方がジャンルは違っても同じで自分も負けてられないなって凄く良い刺激になるんです。最近小説を書いている方とも話すキッカケがあって、僕の作詞した作品も聞いてくれてるのですが、「きみは言葉に愛されている」って言われたんです。言葉と向き合うことって楽しいけれどやはり自分を削って作品を造っていくから、言葉を紡ぐことに嫌気がさすことだって時にあるんです。ちょうどその時に言われて僕は最初「いやいやそんなことないですよ～」って全否定したのですが、それでも嬉しい言葉でまた考え方が変わったことがあって。単純なんですよね僕って人間は（苦笑）。

自分を表現してご飯を食べてる方々ってやはり自分の作品には絶対的自信があるし、真剣だし。これはアマチュアもプロも関係なく大事なことなんだって思うんです。例えばバンドを始めてライヴハウスのステージに立つ時に、お客さんはそのステージを見るためにお金を払ってチケットを買いますよね。その時点でそのアマチュアバンドはプロの方々と同じステージに立っているんです。だから「今日は初めてのステージだったし、お客さん少なかったから調子でなかったしつまらなかったな～」って言う気持ちは持ってはいけないと思うし、まだステージに上がる資格はないって僕個人は思います。どんな環境であっても自分を最高に表現できるようにならなければステージに立てないって。そんなこと言ってても僕自身も初めてステージ立った時にそういう気持ちを抱けていたかっていうとそうでもないのですがね・・。

でも、僕が生きてきた中で得たものを、このコラムを読んで下さってる方々に伝えることが出来るこの機会を生意気にも使わせてもらえるのであれば、このSHOXXを読んでいるステージに立ってる方々、これから立とうとしている方々に友達トークとして「こういうこと言ってるヤロウもいるんだな」ってくらいで心の隅にでも、僕の言葉を置いてもらえたら何か少し違うものが観えるんじゃないかなって思うんです。僕も「もっと早くそのことに気が付いてたら」ってことがたくさんあります。まあそうやって少しずつ自分を生きていく中で得ることも人生の楽しみなのかもしれないけれど。色んな境遇の方々と話すことって素敵なことなんだって気が付きました。もっと早くから積極的に色んな人と話すれば良かったって人見知りの自分に嘆いています。

「心の琴線に触れる」きっかけってたくさんありますよね。僕の言葉が僕の音楽が皆さんの「琴線に触れる」ものを造れたら幸せだな～なんて思いながら、今日もパソコンに向かい書し続けます。早く制作終わらせてお酒を呑みに行きたく思います。

あおい

●各コーナーへのお便りの宛先は〒104−8228 音楽専科社 SHOXX編集部アーティストBOX「○○○○○」（コーナー名）係ま

www.shanghaidz.com
蝴蝶网 hudie.com

トゥーン工場

第7回目 雫

Kiss☆My★Choice

オススメの食べ物BEST3」

はりとうとうこの話題がきたか…

ルメハンター雫さん

んまり言いたくないんだぬよぬぇぇぇー
ФшФ")

ーずラーメン屋部門
第3位
ーメン屋
武蔵」
ここのつけめんは甘口な味付けで美味いだ
)
第2位
けめん専門
やすべぇ」
とりあえず行っとけ（笑））
第1位
ーメン屋
からしや」
多分これ以上美味い店はないだぬ）

ぬ(ФшФ")

まり周りの友達とかに言わないで(・_・´

ー、後は下北沢にある鉄板焼き屋とか

ここはまじ美味い（笑）。
前はあえていいません(ФшФ")

と、オレの地元（茅ヶ崎）にある

「えぼし」ってゆー
新鮮な海の幸だらけの店の「天使のムース」
ってデザートがやばばー(○^ω^○)

横浜にある
「ハングリータイガー」ってゆーハンバーグ
屋も行ってみたほうがいいだぬ(ФшФ")

ま、最終的にお袋の味には叶いません(・Д・)

みんなもオススメな美味くて倒れそうな店
あったら是非
メッセージ待ってます(ФшФ")

でわでわ

次のお題は
「来年の豊富」

でお願いぬーん(ФшФ")

アンティック -珈琲店-

ローポ君は役立たず

第六十一事件簿 輝喜の回

輝喜です。

小さい頃仲がよかった友達と一時期疎遠になり、大人になってから再会したときって妙に恥ずかしいというか接しずらかったりします。

決して嫌いなわけではなく、距離感がつかみにくいというか…。

小学生のとき、毎朝一緒に登校していた友達がいます。

彼のあだ名は「つか」。

そして当時の僕のあだ名は「つる」。

つかとは中学卒業以来一度も顔を合わせてなく、連絡もとっていません。

中学時代、同じ中学に通っていたものの、すでにお互い他の友達と付き合うようになっていたのです。

そんなつかから先日、いきなりメールが来ました。

僕は地元で連絡を取り合ってる友達が一人だけなのですが、その人がまた顔が広いというか友達付き合いがすごくマメなんですよね。

その人を介してつかからメールが来たのです。

Zepp仙台見に来てくれるそうで。

親に見られるより、高校大学の友達に見られるより、なんだかとても気まずいです（笑）。

その日、やたらカッコつけてしまいそうです。

heidi.

第7回：コースケ

『ハイジのアルプス日記』

っかり冬だね！

絶賛ツアー中なんだけどこの前オフ日に念願の水族館行ってきた！

やぁすげー良かった癒された！

メ、ラッコ、クラゲ、ペンギン

かなクン並みにはしゃぎました。

無理やり連れてった桐ちゃんには悪い事したけど（笑）

全国の水族館制覇してーなー！

よし来年の目標が決まった！
とりあえずシャチを観に行こう!!

それはそうと遂にプリズンブレイクが終わっちゃったねー！

凄く好きな海外ドラマだっただけに寂しいです！

4も気付けばシーズン7です。

ツアー終わったら24時間かけて観てやろうと思ってます！

大好きなヴィドールのジュイ君は元気かなー？

これ読んでたら連絡下さい！（笑）

12012の須賀ちゃんとも遊びたいなー！

そしてKraの結良君とも仲良くなりたいな！

4バンドで4マンライヴなんてどうでしょう!!

あんまり勝手な事言ってると怒られそうなんでこの辺で（笑）

12月29日のC.C.レモンホールみんな遊びにきてね～！

一応言っておこう（笑）

バイバイ。

少女-ロリヰタ-23区

"KING" of the world!!

第二十一回　颯

遂にロリヰタとして僕にとってのラストツアーが終わりました。

ファイナルの東京渋谷AXは自分の中に一番思い出深く刻まれたし、最高の日になったと思ってるよ。

終わった後あるスタッフさんに
『颯にとってロリヰタって一言で言うと何だった？』
って聞かれたんだけど、今振りかえるとロリヰタは「試練」だったのかなって思ってるよ。

沢山の壁を乗り越えられたからこそ、道が開けて「今」があるんだと思ってる。

この先も何があるか分からないし、きっと色んな事が待ち受けてると思うけど、必ず自分が決めた道を突き進もうと思うよ。

今まで支えてくれたみんな本当に有難う。

いつか会う日まで。

またね。

蝴蝶网 hudie.com
www.shanghaidz.com

ドレミ團マコトの♪
月刊少年マコトピア

第69回 「いよいよ」の巻

どうもっ。

しかし今年も早いっ！

もう11月も終わりって…。

というわけでとうとう出ますよ！

待望のフルアルバム「ドント[illegible]ット ミー ダウン」製作をはじめたのが5月[illegible]らいからだったのでなんかやっと出る[illegible]感じで[illegible]

音源のリリースは去年の夏ぶり[illegible]から（春に会場限定はありましたが）待たせた分とっても充実した内容になってます！

これからドレミ團に触れる方にもオススメの1枚ですよ！

きっと気に入ってもらえると思います。

よろしくっ！

そしてこれまた久々のツアーもやるのでお近くの方は是非。

おいしいもの食べれるといいな。

そうそう、11月は誕生日もあるのですがバンド始めてからほぼ毎年誕生日はイベントやライヴをやってきましたが、今年はファンクラブ旅行に行くので誕生日をみんなと過ごせるのもうれしいです。

そんな感じでリリース後はツアーにキャンペーンに大忙しですがめちゃくちゃ楽しみにしてるんでみんなアルバム聴いてツアーで会いましょう！

今年の冬もたくさんの笑顔に会えますように。

胡蝶図
hudie.com

THE KIDDIE 佑聖 絶頂モンスターハイゲイン

第6回

はい今月もやってきました「絶頂‼ モンスターハイゲイン」略して「ゼツモン」(･。･)

なんかポケモンとかデジモン的なノリでいいね。先月はたーーいについて語っちゃったね！

今回のゼツモンは俺の大好きなエナジーについて語っちゃおうかしら。

みなさんエナジードリンクをご存知でしょうか？

まぁ栄養ドリンクみたいなもん？（あれ？違うのか？笑）

まぁ THE KIDDIEでポピュラーなのはRedBullですね。

最近では色んなバンドさんが飲んでるのを見かけるのですが、俺らかなり早くからこいつにてを出していて、これを飲んで初めてライヴをした時にこのドリンクのパワーは忘れもしないね。スゲーんだ‼

飲んだら鼓動が高まってガンガン自分の鼓動を感じるのさ。

このRedBullにも外国にはまた違った種類があったりして、俺が飲んだのはノンシュガーのやつと、RedBullShoot ってやつ。

後者のほうは濃縮されたRedBull って感じで普通に売ってるやつはこれを炭酸で割ったやつみたい。

だからスゲーこいぃぃのよ。

僕らの中に眠っているパワーって計り知れないモノでそれを引き出してより良いパフォーマンスをサポートしてくれるツールそう？が、RedBullだ(･。･)ひぇあ

こんなに自由に語っちゃっていいのかしらってくらい自由になっちゃってるこのスペースにピぃース‼

はい、先月も問題出しましたが、知る人ぞ知るTHE KIDDIEの寂しがりやさんはもちろんユウダイくんでした。

今月もいくぜ‼

RedBullの容器の下のほうに書いてある「ココロ、カラダ、○○○○」

○の中に入る言葉を答えなさいっピぃース

んじゃ

ヴィドールの美doll?微

第七十四体目 ラメたんの巻

みなさんお久しぶりで～す(^-^)/
僕らは今アルバム作りを頑張ってます○(^-^)o
12月2日にはニュー・シングル「EVE」発売ですが、アルバムも楽しみに待っててね☆

曲作りってその時その時の感情とか生活が反映されてくるんだよね～。
どういう面で？って聞かれるとなんて答えたら良いかわからないんだけど…
やっぱり悲しい気持ちが大きい時には悲しみのサウンドがいろんな所に注ぎ込まれるし、楽しい時に曲作りやレコーディングしていると音達が楽しい方向の楽曲に導いてくれるんだよね(・ω・)/

だから5人の気持ちが一つに向いた時なんか楽しみも悲しみも最高のパワーになって良い楽曲が産まれてくるんだよね(^-^)/
でも例え気持ちが一人一人少しズレていてもそのズレがまた良い味を出してくれたり…
まぁ音楽って一言では語れない奥深さや可能性を秘めてる物だからそういう部分も大事に曲作りしてますよ(^-^)o

そんないろんな気持ちがつまってる新しい最高の楽曲達をみんなに聴かせれる日も近いo(^-^)o

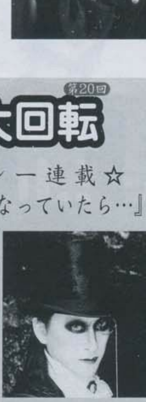
まずは「EVE」を聴いて次のアルバムも楽しみに待っててねo(^▽^)o

夢のぐるぐる大回転

第20回

アーティストがつなぐ、リレー連載☆
M(Art Cube)『もしも、朝起きて女性になっていたら…』
➡Kaya

Art CubeのキーボードM（エンメ）です。同一人物とウワサもありましたが、実はいとこのような気がする⁉スーパービーストK氏よりバトンを渡された今回のお題は『もしも、朝起きて女性になっていたら…』
う～ん、とりあえずベタに鏡の前で全裸になっとこかな？
クソまじめに答えるなら、男に不可能なのは子供を産むコト。生命を宿し、産み出すって本当に凄いと思う。どんな感覚なんやろな？ でも痛いの苦手なので、恐らくワタクシに出産は無理。やっぱ、究極の特権は偉大な女性達にお譲りしときます。
イメージとして、女の子ってナンか楽しそう☆
女子高生とか面白そう。部活やらバイトとかして、先輩に告白なんかしちゃって、毎日がドキドキだらけなんやろな～。
その頃から眉毛整えて、化粧して…
でもよく考えたら、今はステージで街ゆく女性よりむしろ濃いメークしとるわ。
そんな何でも有りのビジュアル系なワタクシでもやったコトが無いのは女形。
ヘタすりゃモヒカンとかする様なキャラなので、スカートを履いたコトが無い。
モヒカンと対局の髪型と言えば、盛り盛りの巻っき巻き。
鍵盤を弾くのに邪魔なので、爪はいつも短く切っているから思いっきり伸ばしてみたい。
ネイルサロンに行って、デコデコな爪にしよう。
エステにも通って、モミモミされてお肌ツルツルになろう。
綺麗になるのって、楽しいと思う。
せっかくだから、その美しさを生かしたい。
お、見えてきたゾ‼ そうだ、キャバ嬢になろう‼



綺麗に着飾り、夜の蝶と化す。
歌舞伎町を歩いたら、キャッチに声掛けられまくり。
男を手玉に取るってのも痛快なんやろな。
単純でアホ過ぎて、しまいには可愛く見えてくるのかな？
そしてバンバン働いて、ナンバーワンを目指す‼
稼ぎは湯水の如くホストに使いまくってモチベーション上げまくり。
いや待てよ、もっと夢を追い掛けてバンドに通おう。
そうだ、バンギャになろう‼
おや⁉巡り巡って、身近なトコに落ち着いた。
そうか、自分がステージから見えているのはあこがれの人達だったのね。
ギャ、サイコー☆
つまりは、今コレを読んでるあなた達がサイコー‼ってコトやね。
このコラムを書くコトで、普段気付かなかった意外な事実が判明したなぁ。面白かったス。
さて次回は、Art Cubeとの2マンなどでも親交のある、ステージでスカートが最も似合い、蝶の様に舞うKayaさんにバトンタッチ。
お題は『昭和』。古き良き魅力を語って頂きたいと思いマス☆

www.shanghaidz.com

ix Speaker's, Inc.

seekの凡人水族園

第92回

下がり。電車に揺られる。車内は比較的
いていて座席に座る。穏やかな秋の陽射
温もりに眠気を誘われたのか隣に座って
女子大生が頭を揺らし始めた。二、三駅
た頃には完全に僕の肩に身を委ねた。良
いがした。アカの他人とはいえ若い女子
り添われるのは無論嫌な気分ではない。
の揺れが来たとて彼女を邪険に振り払う
はなく出来るだけ振動を伝えない様にと
慮もした。十五分程で彼女は目を覚まし
僕に向かった彼女の視線はみるみると怪
表情へと変わり一瞥したと同時に「チッ」
発舌打ちをしたのである。「べべッべ別
心があった訳じゃないもん。っていうか
に寄ってきたのオメーだし。うんぬんか
ん」とゴニョゴニョ言うた所で。もう痴
扱いっていうか。変態扱いっていうか。ト
な感じで電車を降りた。何故にこのよう
扱いを受けなければならないのか。安定し
た職業ではないからか。社会的信用が無いからか。目の前にある鏡に映る自分の姿を見た。食べ零し涎に塗れたヨレヨレのシャツ。股下の擦り切れたパンツ。穴が開き水の染み入る靴。成る程。世の中「身成」なのだ。周りを見渡せばサラリーを手にする安定した人間達は皆一様にスーツを羽織っている。僕は急ぎ小銭を握りしめ「テーラー」へと走った。

一社会人としての信用を得るべく出来合いの物ではなく僕の体型、思想即ちアイデンティティーの詰まったスーツを誂えることにした。踏み入れた洋装店は乱雑に積み上げられた生地が空間を圧迫していた。その隙間から見えた店主は大きな口を開け眠っていた。「すいません」と声を掛けると眼鏡に白髪交じりのおっさんはビクッと椅子を揺らしあたかも寝ていなかった体で仏頂面ぶら下げノロノロと歩み寄ってきた。まずおっさんは生地、ボタン、仕様等を尋ねてきた。そこで細かな要望を返すのだが、このおっさんが頑固者でこちらの注文になかなか頭を縦には振らず、やれ「この生地だと合わない」だとか「時代錯誤だ」だとか吐かしやがる。頭にきた僕は「ほなそんなもん店ん中に置くなっちゅーねん」と切り返し頑固対偏屈の壮絶なバトルが始まった。二人共脂汗を垂らし唾を浴びせ掛けながら罵詈雑言を投げつけ合った。最終的に「こんなもん仕立てるかい」「お前さっき寝とったやろ。仕事せい。こら。」と言っている頃にはお互い生も根も尽き果て虚しさだけが胸の中に滲み渡った。

一社会人になるという事はこんなにも苦労と時間を費やさなければならないもので阿呆らしくなった僕は一生サンダームーチョでサンバを踊り続けようと決めた。

今月はこの辺で。しいくでした。バイバイ。

D'espairsRayの覗き穴

第87ブレイク
TSUKASA 編

ばんは。

いま夜中の3時ということで、え〜と。

日ちょっと乗り遅れて最近はまっている
OOKIES」のドラマのドキュメントDVDを
ってきました。どちらかというと自分はコロ
コロコミック派だったので、正直マンガ版は読
でいなかったんだけど「ろくでなしBLUES」
読んでいました。なのでだいたいの想像はつ
てたんだけど「ROOKIES」もすごい熱い物
語で何かこう自分に考えさせられるものがありました。

あと自分はドラマから入ったので、ドラマとマンガで何が違うかというと、ドラマは音楽がついている!!音楽がそのシーンそのシーンで入ってくると人は感情移入しやすくなると思うんだ。音楽というのはどんなに時間が経ってから聞いても一瞬でその時の情景が思い出として浮かんでくる。

ちょっと話がずれそうになりましたが、とにかく本当に「ROOKIES」はいい作品だなぁ!! と心から思いました。

本当に、今頃??っていう感じで流行からずれてて申し訳ないけど。笑
ドラマで見てるとこんな熱血教師が担任だったら良かったなぁとか（過去の担任の先生ごめん笑ドラマの影響です、尊敬してます！）思う人も少なくないと思うんだけど、実際そうなったら俺もかなり厳重注意されたんだろうなって。不良だったわけじゃないけど、だからといって優等生だったわけでもまるでない。

どちらかというとものすごく病んでいて、実際高校時代は仲間に支えられて本当に胸を張って言える位楽しかったんだけど、ものすごく自分に臆病で、昔から人を笑わせるのが好きだったけどどこか虚しくて笑、ごめんなさいね。今ビール飲みながら書いてます。笑なぜか過去の自分の反省会だ!!笑

この「ROOKIES」というドラマのなかで「過去の自分という亡霊と決別する」といったシーンがあって、「ROOKIES」では不良から夢に向かって自分が変わるという話だったけど、自分の高校の時はあまりにもふざけすぎて、高校入ってからパラダイスだと過剰に思いすぎて勉強を全くしなくなって、赤点の連続。まわりの仲間も似た感じだったけど、みんなちゃんと進路は考えていて、そんな中で俺は何に向かって生きて行けばいいんだろうなって。仲間と一緒にふざけて楽しんでいながらも常に不安がありました。そう考えた時に唯一没頭できていたのが吹奏楽部とバンドでした。でも当時の担任に進路の話でミュージシャンになりたいって言ったら、もっと現実的な進路を考えろと言われ、さらに悩んだ結果家の事情が頭をかすめ、社会人的な発想に。。。

こういう時「ROOKIES」の川藤先生はなんと言うだろう?? 長々語って参りましたが実はそこが一番のミステリーです。自分は自信もってバンドをやってるって言えますが、教育者の立場になるとどうでしょう?? ひょっとして自分に子供がいたら俺も担任のように現実を見ろと言ってしまうんでしょうか??いろんな答えがあると思いますが、もし俺だったら、まずやってみろ！ と言います。まちがってるかな?? ダメでもいいんです。長い人生のなかでやらずに後悔するよりまずやってみろと。そういう考えで自分もやってきました。

川藤先生の言葉がどういう発言になるのかすごく興味があるけどそこは森田まさのりさんに聞くべきか、想像で答えをだすか、わかりません。でも言えるのはあの日あの時あの笑顔、上京して良かった。D'espairsRay、マニアに出会えて良かった。沢山の人達に出会えて良かった。

「ROOKIES」と自分を重ねた時、自分がどれだけD'espairsRayの戦力になっているかは分かりませんが、共に生きているメンバーがいる限り、ベクトルが同じ方向を向いている限り、そしてマニアがいる限り、没頭してきた音楽を通して歩み続けようと思います。

ちょっと「ROOKIES」は見るものに感動を与えてくれますが、もっといろいろ考えさせてくれるお話でしたね。すごい作品です。

みなさんも何かこれからの未来について悩んでいるような事があったら見てみてはいかがでしょう??
それか、もし良かったら俺が熱血指導しますよ。まだまだ夢の途中ではありますが。

今D'espairsRayをやっていていろんな楽曲がありますが、ドラマで流れている感情移入のできる音楽。誰もが感情移入できる音楽。の前にまず自分が極まれるような、D'espairsRayの曲だけで心を揺さぶれるような音楽をつくっていきたいです。

自分は川藤先生のように熱くて説得力のある発言や文章は書けないけど、創り上げた音楽を通して自分の中の熱いものを伝えていきたい。

今回こんな覗き穴が書けたのもちょっと遅れた出会いではありましたが「ROOKIES」と出会えたからだと思います。

12.4。DVD買います。笑
もし夢を見てる人がいたら俺も全力で応援します。

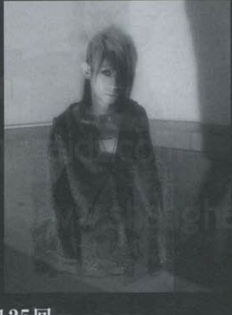
がんばれ!!
そして自分もがんばれ!!

んだれば！

司。

うしろの正面 —ただしづら—

第125回
by 長谷川 正 /Plastic Tree



皆様こんちくわ。さて、さすが11月…だいぶ寒くなって来ましたね。暖冬だなんだと言っても、冬は寒くて当然だとしみじみ感じている今日この頃です（笑）。10月はいろんなイベントに出演させて頂いて、本当に楽しめました！シチュエーションも、出演されてるアーティストさんも異なる中で、プラとしてどんなライヴを展開すればいいのか…というのはいつも考えを巡らせる部分ですが、どのライヴも落ち着くところ「らしい」感じでやれたのではないかな？と思っております。そういえば先日ちょっとした新兵器を手に入れたのですよ…憧れのサンダーバードベースを（笑）。とはいえ、実は昔持っていた事もあるのですが、調子が悪くなってしまったせいもあって手放してしまい、またいつかは欲しいなあ…と常々思っていたのです。再び手に入れたきっかけは…衝動買いです（笑）。ちょっと前にこのベースの存在を知り合いに教えてもらって、時間のある時に試奏しに行ってみたらすっかり気に入ってしまったのです。普段使ってるフェンダー系のベースやすい楽器ではないのですが、手にすると何となく気分が盛り上がる…この気分が大事だなあ、と思ったのも決め手です（笑）。今後どこかでお目にかかる事もあるかもしれませんね。さて最近僕の中で気分が盛り上がったものといえば…ニルヴァーナの『ライヴ・アット・レディング』！これはもう、言わずもがなですね（笑）。CDとDVDの二枚組なんですが、特にDVDの方は胸を打つパフォーマンス満載です。何だかちょっとウルウル来る瞬間も多いのですが…興味のある方はぜひご自分の目で観てみて下さい…いい作品ですよ！そんなこんなで色々と新しい刺激を受けつつ、現在は「サナトリウム」に続く新しい曲作りに取り組んでいる感じです…具体的に発表出来る時期などはまだ決まっていませんが、引き続き頑張って行こうかなと思っております。これからますます寒くなって行くと思うので、どうか皆さん体調に気を付けてお過ごし下さい…僕も気を付けないとね（笑）。という事で、今月は冬支度を始めたマリモーランドよりお届けしまし

Moran Hitomiの「瞳孔反射」

第20回 『骨折』

「無事に」と言うのもなんだか変なのだけれど、無期限活動休止ツアーが始まりました。正直、始まるまではどうなることかと思っていた。というのも先々月、肋骨を骨折してしまって…。

9月の半ば頃、深夜近く、なんとなくボーと考え事をしながら自転車に乗っていたら、歩道と道路を仕切る縁石にぶつかって、その勢いでハンドルに胸部を強く打ってしまった。その瞬間は本当にびっくりした。縁石にぶつかった事にもだが、それ以上に息が出来なくなった事にだ。一瞬目の前が真っ暗になって、「あ、これはやばい。死ぬかも」と本気で思ったくらいだ。アスファルトの上に自転車と共にぶっ倒れて、すぐには起き上がることも、足に絡まった自転車を退かす事もできなかった。仰向けのまま口を開きっぱなしで必死に息をしようとしている姿は、きっと水から上げられた魚の様だったに違いない。

30秒程すると、少しずつだが呼吸ができるようになってきた。しかし、激しい痛みもあって、それから数分は道路に寝転んだままでいるしかなかった。

24時頃という時間のせいもあって、その現場を人が通りかかる事はほとんどなく…、というか、結局俺が倒れている間に通りかかったのは、30歳位の女性が一人と若いカップルだけで、先に通りかかった30歳位の女性は、仰向けで苦しんでいる俺と、完全に目が合ったにもかかわらず、「大丈夫ですか？」の一言もなく、何か嫌なものを見たような表情のまま、あっさりと去っていった。時間帯や女性ということを考えると、スルーすることが正解とも思えるが、その時は「えええええええ〜〜〜、スルーなの??」とつっ込みたくなったよ。といっても、大丈夫ですかと聞かれたところで、とても喋れる状態ではなかった。下手に救急車なんかを呼ばれなくて良かったかもしれない。

俺は人生で一度も救急車に乗ったことがないせいか、なんだかとても救急車にという物に抵抗があって、あれに乗せられること自体が怖いと思ってしまう。以前Soanが酒を飲みすぎて、あまりにヤバいと感じ自分で救急車を呼び、意識を失ったという話を聞いたが、俺は自分で救急車を呼ぶなんて、とても考えられない。

倒れて10分はしない位だろうか、ようやくなんとか自力で起きれそうになったころ、カップルが通りかかって、自転車を起こしてくれて、「大丈夫ですか？」と声をかけてくれた。激しい痛みこそあったものの、なんとか自力で帰れそうだったから、「たぶん大丈夫です」とか言い、自転車を杖代わりに体を支えながら家に帰った。

さて、この話はこれで終わりではない。不運は重なるもので、この時、咳がなかなか止まらない風邪をひいていたのだ。咳をするたびに肋骨に激しい痛みが走り、それはもう大変だった。

翌日、病院へ行ったのだが、結局骨は自然治癒を待つだけだと言われ、内科のほうで処方された咳止めや風邪薬もすぐには効果が出ず、一週間は咳をしないよう神経を張り詰めながらの生活になった。

それでも9月の終わりころにはもうだいぶ調子がよく、このままなら10月14日のイベントライヴにも、万全とまではいかないが、問題なく挑めるだろうと思っていた。ところがだ、10月11日頃、咳風邪が突然ぶり返してきた。その日の咳は特にひどく、咽のくすぐったさを我慢できず、なかなか寝付けないままベッドに横になって咳をしていると、突然、胸を強打したとき程の激しい痛みと息苦しさを感じた。ライヴも迫っていたのであわてて病院を探そうとしたが、運悪く連休中で救急病院へ電話してもなかなか条件に合う所がなく、相当イライラさせられた。というのも、最初に問い合わせた病院では

「息苦しさがあるんですか〜？　では原因が呼吸器に何かある可能性があるので呼吸器科の先生がいる病院を探してください」と言われ、

呼吸器科のある病院では

「骨折の可能性がありますね〜、うちは整形外科の先生はいないんですよ〜」と言われ

整形外科のある病院では

「咳止めたいなら内科へ行ってください」と言われ…

ほんと、痛みと苦しさと苛立ちが相まって、「だったらどこ行きゃいんだよ!!」と本気でキレそうだった。

結局、内科医の先生がある程度まとめて見てくれるという病院で診察を受け、呼吸器は無事そうだと診断された。しかし「ライヴなんですが、平気ですか？」と聞いてみたところ、「骨折してるからライヴは無理だと思います」と、サラッと言われてしまった。それでも残り少ないこのメンバーでのライヴには、穴を開けたくなくて我慢で押し通すことにした。

案の定14日のライヴは辛かった…

人生で一番痛いライヴだったよ。間違いなく。

でも、それからの回復は思った以上に順調で、ワンマンツアー初日の11月2日には万全の状態まで回復できた。

残すところ数本、全力で挑みたい。

SHOCK WAVE アポロ Vol.33

2009年12月18日(金)高田馬場AREA

★★★★★★★★★★★★★★★★出演★★★★★★★★★★★★★★★★

spiv states/Jewel/ALiBi/Zip.er/
exist † trace/ カル・ヴァリ /SKULL

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

毎月18日は、本誌イベント『SHOCK WAVE アポロ』の日♪
毎回、多彩な顔ぶれのバンドが競演！　12月のアポロもお見逃し無く♪

音楽専科社 HP
[http://www.ongakusenkasha.co.jp/]
携帯サイト：音楽せんか？
[http://mobile.ongakusenkasha.com/]

(問) 高田馬場AREA 03-3361-10

hudie.com

蝴蝶网
hudie.com

麺は固め!!

第138回 by竹入隆之

旅の中で書いてます
様々な人達の愛情に触れさせてもらってます。

サードアルバム『男のブギー』はかなり評判良く、
ライヴもどこに行ってもかなり盛り上がります。

やはりお客さんの笑顔が何よりです。
とても感謝です。

しかし感謝して頭を下げる事と媚びて頭をさげるのとは違います。
それと、心ない言葉、心ない挨拶、作り笑い…

そんな奴らとは一緒にされたくはありません。

良いときも悪いときもあるように、素敵な出会いもあれば嫌な思いをする出会いもあります…

えらそうに言うてるけど、俺自身がそう思わしている可能性も（笑）

傷つく事も傷つける事も恐がっていては始まらない。
「人は人に出会う為に生きている」

旅の中、改めて思っております。

押忍！

Kαin一朗のコライチ

第86回

ごきげんいかが？ 僕は、The JEANで11／03ライヴをしてきましたので、すごくご機嫌です。この文章自体は、11／04に書いているので少しばかり残った余韻とともにこの文章を書いています。ん？ お酒も多少残ってるかもねー。笑

とにかく 久々にファンの皆様の顔がみれて感無量でした。曲数も10曲・・あ、お楽しみがあったから12曲かな。笑

結構たくさん演奏したんだけど、あっという間に過ぎました。すげー盛り上がったし。みんな、最高だったよ。ありがと☆

誕生日を迎えたときの話。

kranzeのWebの企画で、僕の誕生日を祝うメッセージをたくさん頂いたのですが、本当にたくさんあって、驚きました。みんなちゃんと覚えててくれたんだね！笑 ちゃんと全部に目を通して返事も返しました。去年までは、ライヴという形でファンのみんなから直接、「誕生日おめでとう！」という言葉をもらっていたのですが、またメールで頂くのも独特の味わいがあるね！ 文章にするとまた違う印象があるというか、手紙やメールも素敵だなぁ、と思いました。

でも、来年は直接会えるように努力するね。だって・・・

ハグ会、しなきゃね！笑

え？ もっと？

欲張りだなぁ。

秋というわけで本を読みました。

今、絶賛制作中なKαinなので、しないといけないことは山積みなんですが、少しリフレッシュしたいときは、本を読むことにしています。

最近読んだ本は、「4時間半で熟睡できる本」という指南書です。

この本、本屋さんの中でも独特な位置づけをされていて、ちょっと病んでる人向けの本が並んであるコーナーにあります。（僕は病んでませんよ！笑）出会いは、この本が何かの特集で取り上げられているのをみてなんですが、その時のキャッチコピーを紹介します。

「人生が10年長くなる！」

ハートをわしづかみされました。実際、呼んでみると結構知ってること、当たり前のことで、このテの本にある、「ああ、またか」というマルチ商法に騙された感に一瞬おそわれそうになったのですが、最後まで読むと、詐欺はおろか、素晴らしい本だということがわかるの。読むだけで睡眠の質があがるような気がします。読んでからは、健康に近づいた感じもしなくもないし。意識するだけで、ここまで違うとか、

ヤバくない？☆

実際、この本を読まないで四時間半睡眠するとつらいよ？ 僕はそれで失敗して、「だめだ、本屋いこう」とふらふらの痩せた体を引きずったわけですからね。笑 睡眠って結構奥が深いのね、っていうのがわかります。人生の半分くらいは寝る時間につかっちゃうのなら、知っておきたいよね、っていうか、興味わいちゃわない？ でも、きっと肌にはよくない。肌にいいのは、23時から6時半まで寝る。成長ホルモンが分泌されるのは、夜の数時間だけ。その間に寝るのがベスト。でも、いろんな文献があるからみんなで調べてみよう？ で、美肌クラブを作りましょう！

今月は、23日もライヴです。もうリハーサルに入ってて、着々といいものにするように練り上げています。期待しててね！

またね。

ARENA37℃ SPECIAL 2009年7月号 vol.58

RUKI (the GazettE)
表紙＋巻頭40ページ

ルキの中に潜む“DARKNESS”をとらえた有終の美を飾るにふさわしい鮮烈なグラビア、“近況”“今回の撮影のテーマ”“表現する上で一番大切にしていること”“プロとしてのプレッシャーは？”“ライブとは？”“自分で自分をどういう人間だと思う？”etc.の20000字超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

超新星 10ページ “「超新星 Fes. Vol.2」・「超新星 1st Fan Meeting」の感想”“マイブームは？”“今後の目標”etc.をインタビュー、2009.5.6“超新星 Fes Vol.2 Six Shooting Star ~Dream~”LIVE at 五反田ゆうぽうとホールレポート

FTIsland 10ページ／T-MAX 8ページ／SMASH 8ページ
alma 4ページ／ON/OFF 4ページ／Mnet PRESS Vol.3
韓国版「花より男子～Boys Over Flowers」記者会見&イベント取材

オールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）＋送料290円

ARENA37℃ SPECIAL 2009年5月号 vol.56

戒 (the GazettE)
表紙＋巻頭40ページ

“閉鎖的ではないが、孤独感のあるもの”をモチーフに据え、“ポジティヴで努力家”のイメージを持つ戒が真の“孤独”の意味を表現するグラビア、胸のうちに思う“孤独”・the GazettEのこと・戒自身のことetc.を超ロングインタビュー、ポラ日記、100問のQ&A

Gackt 巻末18ページ
“10分間の逃亡者”を追い・追われるシューティングのグラビア、“Gackt Job”10年目の真実に迫るインタビュー、“Requiem et Réminiscence II ～再生と邂逅～”ツアーも大詰め、そしてアリーナツアーもスタート間近なGacktの近況インタビュー

河村隆一 10ページ／GiFT／alma／古川雄大
中河内雅貴／リュ・シウォン／Mnet PRESS

オールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）＋送料290円

ARENA37℃ SPECIAL 2009年4

葵 (the Gazett
表紙＋巻頭40ページ

常に“魅せる”ことを意識してい
が9種類の衣装を纏っていろいろ
情を見せるグラビア、“今回の写真
アッション”“ライヴパフォーマンス
タリストとして”“ギター”etc.の
ングインタビュー、ポラ日記、100
Q&A

Gackt 巻末12ページ
Single「Journey through the Decade」のミュージッククリップ撮影の模様
ライダーディケイド」で門矢士役を演じる井上正大とのツーショットインタビュー

リュ・シウォン 10ページ／中河内雅貴 8ページ／FTIsland 6
GiFT 4ページ／alma 4ページ／宮野真守 4ページ

オールカラーA4ワイド判　定価980円（税込）＋送料290円

㊟バックナンバーの為、付録のポスターはお付け出来ない場合がありますので、御了承下さい。
お近くの書店に在庫がない場合には、その書店へお申し付け下されればお取り寄せ頂けます。御自宅へ直送希望のお客様は当社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、切手代用、現金書留、または郵便振替（口座番号00190-6-407846・加入者名㈱音楽専科社）にてお送り下さい。まとめて2冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。
更に貴方のP.C.又は携帯から当社ホームページにアクセスの上でお申し込み下されば、お近くのセブンイレブン・ローソン・ファミリーマートの各店でもお支払いできます。
音楽専科社オフィシャルウェブサイト　http://www.ongakusenkasha.co.jp/　アクセスして下されば当社発行の現在在庫のある全アイテムを御覧頂けます。
宛先　㈱音楽専科社　〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス5F　TEL.03-3574-0201　FAX.03-3574-8548

back number

㊟この欄に掲載されているアリーナ37℃のバックナンバーにつきましては、付録のポスターが無い場合（在庫切れ）もありますので御了承下さい。

〈2009年 1月号〉
①表紙＋巻頭特集＝Gackt…衝撃のグラビア&笑撃のインタビュー満載の5本立て企画全32ページ超大特集！
②雅…今月のキュートでカワイイ雅がいっぱいの大特集！
③ナイトメア…シングル「NAKED LOVE」をYOMIと咲人に聞いた！
④アリス九號．…ニュー・シングル&2009年の抱負インタビュー！
⑤仙台貨物…横浜BLITZ&両国国技館ライブレポート！
★特別定価930円（税込）＋送料140円

〈2009年 2月号〉
①表紙＋巻頭特集＝Gackt…3号連続企画の衝撃の完結編「戦闘開始！」銀狼篇」ニューシングル「GHOST」徹底解剖、キーワードインタビュー、ツアー連報等全36P！
②東方神起…シングルインタビュー全10P！
③シド…シングルインタビュー全12P！
④アリス九號．…アルバムインタビュー全10P
⑤ナイトメア…YOMIパーソナル！
⑥雅…「Y」から始まるキーワードQ&A
⑦Kra…ニューアルバム&近況は？
⑧BOUNTY…ライブ！
★特別定価930円（税込）＋送料140円

〈2009年 3月号〉
①表紙＋巻頭特集＝UVERworld…入魂の4枚目のアルバム徹底特集！
②シド…冬の定番曲&バレンタインデーの思い出について直撃取材！
③Acid Black Cherry…ニューシングルインタビュー！
④咲人（ナイトメア）…Sexyショット！
⑤ガゼット…シングル・インタビュー！
⑥雅…1月3日武道館を終えて！
⑦Gackt…ライブレポート！
⑧Kra…アルバムインタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年 4月号〉
①表紙＋巻頭特集＝東方神起…ニューシングルインタビュー&本誌独占PV撮影密着取材全20ページ！
②ガゼット…ニュー・シングルをルキが語る！全10ページ！
③柩（ナイトメア）…パーソナル取材6P！
④高見沢俊彦＋アリス九號．（将、ヒロト、虎）のスペシャル対談！
⑤雅…PS COMPANYからの独立を語る！
⑥ムック…アルバム『球体』インタビュー！

〈2009年 5月号〉
①表紙＋巻頭特集＝Gackt…3誌合同企画のラストを飾る大特集！爆笑キーワードインタビュー！
②ナイトメア…PV撮影独占密着＋アルバム速報インタビュー＋ライブレポートの豪華3本立てインタビュー全10ページ！
③BREAKERZ…シングルインタビュー！
④ガゼット…幕張メッセレポート！
⑤雅…ARENA37℃初登場当時の記事を振り返って語る！
⑥シド…シングルインタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年 6月号〉
①表紙＋巻頭特集＝ナイトメア…パーソナルインタビュー＋集合インタビュー&歌詞の魅力に迫る！全20ページ！
②GLAY…メンバープロデュース・ライブ完全レポート！全14ページ！
③アリス九號．…クラブチッタ川崎を完全密着レポート&インタビュー！
④雅…日比谷野外大音楽堂レポート！
⑤Kra…「ラブラボ」PV密着レポート！
⑥LM.C…シングルインタビュー！
⑦女雅…カグラの女雅ソロ連載！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年 7月号〉
①表紙＋巻頭特集＝GLAY…究極のベストアルバムをメンバーに聞く&パーソナル・キーワードインタビュー（全22ページ！）
②GACKT…新曲のカップリング曲に込められた想いとは？涙なしでは読めないロングインタビュー！全10ページ。
③麗（ガゼット）…ニューアルバムレコーディング中の近況を聞く（全6ページ）
④VAMPS…フルアルバムインタビュー！
⑤ナイトメア…ライブ密着取材！
⑥虎×チキン＋Naoの大冒険の2本立て！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年 8月号〉
①ガゼット…アルバム&パーソナルインタビュー全20P！
②東方神起…シングル&パーソナルインタビュー！
③GACKT…シングル&企画インタビュー！
④Acid Black Cherry…「優しい嘘」インタビュー！
⑤Ni~ya（ナイトメア）…パーソナル！
⑥Alice Nine…「華」インタビュー！
⑦シド…アルバムインタビュー！
⑧SuG…4人になった新生SuG！
★特別定価930円（税込）＋送料140円

〈2009年 9月号〉
①表紙＋巻頭特集＝Acid Black Cherry…衝撃のアルバムを徹底解剖、
ストミニアルバムを音源インタビューとパーソナルインタビューで取材！8P！
③東方神起…東京ドーム公演完全レポート！8P！
④GACKT…シングルインタビュー！
⑤ガゼット…市川市文化会館ライブ！
⑥仙台貨物…千葉インタビュー！
⑦THE KIDDIE…夏大好き！
★特別定価930円（税込）＋送料140円

〈2009年 10月号〉
①表紙＋巻頭特集＝V6…「GUILTY」インタビュー&パーソナル＋カミセン・ライブレポート！
②ナイトメア…シングル&YOMI×Ni~yaのパーソナル&全員Q&A！
③ジェジュン&ユチョン（東方神起）…2人にインタビュー！
④GLAY…ビッグイベントレポート！
⑤雅…渋谷C.C.Lemonレポート！
⑥ガゼット…新曲インタビュー！
⑦Alice Nine…国際フォーラム！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年 11月号〉
①表紙＋巻頭特集＝UVERworld…ニューシングル徹底インタビュー&ホットな撮り下ろし全30P！
②ガゼット…全員&パーソナルインタビュー＋とじ込みピンナップ付き
③仙台貨物…『凸～デコ～』の本誌オリジナルストーリー！
④Alice Nine…原宿スタイルコレクション&有明コロシアムライブ！
⑤Kra…シングルインタビュー
⑥SuG…2カ月連続リリース第1弾！
★定価880円（税込）＋送料140円

〈2009年 12月号〉
①表紙＋巻頭特集＝GACKT…神威楽斗の音楽革命、ジパングロックとは？
②堂本光一…横浜アリーナライヴレポート！
③シド…シングルインタビュー&国立代々木第一体育館ライブレポート！
④RUKA（ナイトメア）…パーソナル取材。
⑤Alice Nine…ライブDVDインタビュー！
⑥THE KIDDIE…「ポプラ」インタビュー
⑦SuG…シングルインタビュー！
★定価880円（税込）＋送料140円

お申し込みご希望の方は、最寄りの書店にてお申し付け下さるか、もしくは小社経理部まで定価に送料を加えた金額を誌名記入の上、切手代用または現金書留でお送り下さい。まとめて4冊以上をお申し込みの場合は、送料を450円とさせて頂きます。

宛先▼㈱音楽専科社
〒104-8228東京都中央区銀座6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス5F
☎03(3574)0201
FAX 03(3574)8548

SHOXX & ARENA37℃ バックナンバーフェア実施店

《札幌》グルグルアルシュ店（011）251-4480／旭屋書店札幌店（011）209-5181／三省堂書店札幌店（011）209-5600／ジュンク堂書店札幌店（011）223-191
《苫小牧》未来屋書店苫小牧店（0144）53-8040　《仙台》ブックスみやぎ（022）267-4422　《秋葉原》書泉ブックタワー（03）5296-0051　《神保町》書泉ブック
ート（03）3294-0011　《新宿》ライカエジソン東京店（03）3369-3119／タワーレコード新宿店（03）5360-7811　《原宿》山下書店ラフォーレ原宿店（03）3475-044
《渋谷》文教堂書店渋谷店（03）5468-2431　《吉祥寺》Booksルーエ（0422）22-5677　《豊橋》精文館書店（0532）54-2345　《名古屋》星野書店近鉄パッセ
（052）581-4796／ライカエジソン名古屋店（052）229-8211／白樺書房西店（052）774-7223　《京都》ブックストア談京都店（075）255-0654　《大阪》ライカエジ
ン大阪店（06）6252-6262／ヤマハミュージック大阪（06）6831-6776／ジュンク堂書店千日前店（06）6635-5330／紀伊國屋書店バンドスコアハウス店（06）6373
0748　《八尾》丸善八尾アリオ店（072）990-1291　《姫路》楽学書館Begin（0792）33-8888　《東広島》フタバ図書ゆめタウン黒瀬店（0823）81-2662　《北
州》福家書店リバーウォーク北九州店（093）573-1701　《福岡》リーブル天神（092）713-1001／福家書店福岡店（092）721-8267　《大分》明屋書店セントポル
店（097）532-4343　《宮崎》旭屋書店イオン宮崎店（0985）60-3881

www.shanghaidz.com

Mission in ぽっくん
ッション イン ぽっくん

しにちはっ!!　数寄屋橋の僕です。今月のテーマは“最近気になる人”です。そして今回注目すべきはムック
ャ。ヒビノのタカハシさんの手足が男の子らしく黒い線一本という潔さ。彼の作品には毎回驚愕させられます。
のミヤさんの作品を集めて特集したいぐらいです。同じバンドの達瑯の画風とは180度ちがう方向性で、ムッ
いうバンドの奥深さ、多様性を改めて感じます（大げさ?）。それでは今月もいってみよーっ!!

輝喜
(アンティック-珈琲店-)

ゆうき
(アンティック-珈琲店-)

カノン
(アンティック-珈琲店-)

takuya
(アンティック-珈琲店-)

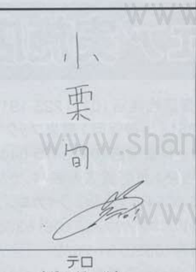
みく
(アンティック-珈琲店-)

SATOち
(ムック)

YUKKE
(ムック)

ミヤ
(ムック)

達瑯
(ムック)



テロ
(ヴィドール)

ラメ
(ヴィドール)

ギル
(ヴィドール)

シュン
(ヴィドール)

ジュイ
(ヴィドール)

hudie.com
www.shanghaidz.com

叫
(宇宙戦隊NOIZ)

MASATO
(宇宙戦隊NOIZ)

呼太郎
(宇宙戦隊NOIZ)

ANGEL-TAKA
(宇宙戦隊NOIZ)

靖乃
(Kra)

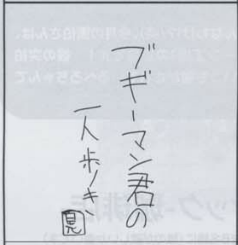
悠介
(lynch.)

玲央
(lynch.)

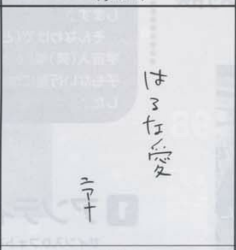
葉月
(lynch.)

KAMIJO
(Versailles)

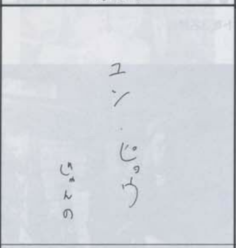
YAMATO
(宇宙戦隊NOIZ)



晃
(boogieman)



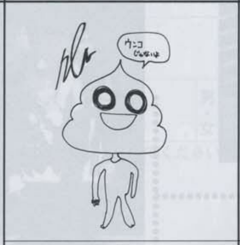
ユアナ
(boogieman)



ジュンノ
(boogieman)

淳児
(lynch.サポートBa)

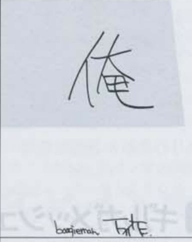
晃直
(lynch.)



愁
(ギルガメッシュ)

弐
(ギルガメッシュ)

ユウイチロー
(boogieman)



万作
(boogieman)

ゆーいち
(トゥーン工場)

レガ
(トゥーン工場)

夢叶
(トゥーン工場)

雫
(トゥーン工場)

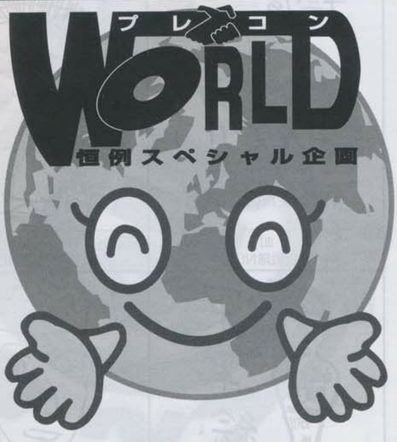
ひかる。
(トゥーン工場)

★応募の決まり★

このアーティスト直筆の回答書をプレゼントしちゃいま〜す。欲しい人は 143 ページの左下にある応募券を官製はがきに貼って、あなたの住所、氏名、年齢と希望アーティスト名を書いて 〒104-8228 東京都中央区銀座 6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックス 5F 音楽専科社「ぼっくんくれっ!」係まで応募してください。締め切りは 2009 年 12 月 21 日（当日消印有効）です。

ぼっくんくれっ！
SHOXX vol.20
応募券

hudie.com
www.shanghaidz.com



☆どうも、みなさんこんにちわ。ぺろちゃんです。遅ればせながら、最近、DSの「ラブプラス」にハマり、廃人と化しています(笑)。てか、2度も彼女が出来ぬまま卒業を迎えてしまったのですが…(泣)。次こそは、彼女GET!!します♪

そんなわけで(どんなわけ!?/笑)、今月の画伯さんは、宇宙人(笑)雫(トゥーン工場)の登場です！　彼の突拍子もない行動には、いつも驚かされているぺろちゃんでした♪

1 アンティック-珈琲店-

サイン入りフォトを6名様に（誰のが欲しいか書いてネ）
※現物にはサイン入ります。

2 極×Ni~ya（ナイトメア）

サイン入りフォトを3名様に（誰のが欲しいか書いてネ）
※現物にはサインが入ります。

3 OVER THE EDGE対談

フォトを3名様に

4 ムック

サイン入りフォトを4名様に（誰のが欲しいか書いてネ）
※現物にはサインが入ります。

Kra

サイン入りフォトを1名様に

lynch.

ツアーTシャツを男女各サイズ1名様に

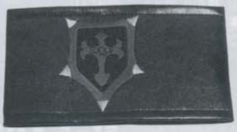
7 ギルガメッシュ

サイン入りフォトを1名様に
※現物にはサインが入ります。

www.shanghaidz.com
蝴蝶网 hudie.com

⑫ S.Q.F

ストラップと腕章をセットで1名様に



⑩ トゥーン工場

サイン入りフォトを5名様に（誰のが欲しいか書いてネ）
※現物にはサインが入ります。

⑧ Aoi

a) ネイルブロックを3名様に
b) アトマイザーを3名様に

⑬ C"LOW"N

サイン入りポスターを3名様に

⑪ DOG パラレルワールドオーケストラ

サイン入りポスターを3名様に

⑨ THE KIDDIE

サイン入りフォトを5名様に（誰のが欲しいか書いてネ）
※現物にはサインが入ります。

プレコンWORLDアンケート用紙　VOL.203

住所	〒　　　　　　　　TEL（　　　　）				
氏名	フリガナ	年齢		男・女	

★A. よかった記事の番号を良かった順に3つあげてください。

1	2	3	理由

★B. 好きなアーティスト・バンドは？
（　　　　　　）（　　　　　　）（　　　　　　）

★C. 最近気になっているアーティスト・バンドは？
（　　　　　　）（　　　　　　）（　　　　　　）

★D. 今月号に対する意見・不満・または希望企画を聞かせて下さい。

★E. 希望プレゼントの番号（P150～151）　　　　番

イラスト：雫（トゥーン工場）

アンケートのお願い

●アンケートに答えて、用紙を切り取り、はがきに貼って送ってね。コピー不可。
●宛先は〒104-8228　銀座6－2－3　ダヴィンチ銀座アネックス5F
音楽専科社　SHOXX 編集部　プレコン WORLD 係まで。
●締め切り：2009年12月21日当日消印有効
当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

◆今月の記事一覧（アンケート）

①アンティック-珈琲店-　②椛×Ni～ya（ナイトメア）　③Over The Edge対談　④ムック　⑤仙貨物　⑥Alice Nine　⑦シド　⑧靖乃（Kra）　⑨ヴィドール　⑩ASAGI（D）　⑪Versailles　⑫lyn　⑬ドレミ團　⑭Mix Speaker's,Inc.　⑮ギルガメッシュ　⑯12012　⑰DaizyStripper　⑱A　⑲THE KIDDIE　⑳御主人様専用奇才楽団Virgil　㉑Seven　㉒【_Vani;lla】　㉓宇宙戦隊NO　㉔地中楼閣　㉕少女-ロリヰタ-23区　㉖シリアル⇔NUMBER　㉗Brother　㉘Dolly　㉙ダ　㉚boogieman　㉛トゥーン工場　㉜V-ROCK FESTIVAL　㉝SHOCK WAVE アポロ　㉞DELU　㉟電脳オヴラアト　㊱DOG inTheパラレルワールドオーケストラ　㊲アヲイ　㊳S.Q.F　㊴平成新　㊵ネガ　㊶愛狂います。　㊷Zip.er　㊸ZEST　㊹C"LOW"N　㊺VAJRA　㊻メガマソ　㊼ン　㊽Sadie　㊾HERO　㊿早耳情報　51アーティストBOX　52Mission in ぼっくん　53ロックンロール日記

www.shanghaidz.com
hudie.com

次号Vol.204予告

（ぽっくんの主張：真夜中の高田馬場はカーニバルの巻）

12月21日全国一斉発売！

■10月26日、彩冷えるのライヴを観るために渋谷AXにいった。12月２日発売のシングル「サヨナラ」もいち早く生で聴けたりして、ライヴは大いに盛り上がったのですが、それに負けないぐらい盛り上がったのが、ライヴ終演後の打ち上げ。通常ライヴの終演後にはメンバーが関係者に直接挨拶をする「中打ち上げ」という秘密の慣習があるのですが、その場で挨拶に立った彩冷える事務所のM社長。理由は分かりませんがメンバー以上に絶好調の同氏。「本日はお忙しい中お越しいただき誠にありがとうございます」と一通り挨拶をした後、いきなり声のトーンがオクターブ上がり「それではー、ここでーっ、みんなでお正月の歌をうたいましょーっ　♪もーいくつねるとーっ、おしょうがつー♪　明るく元気にワンコーラス歌いきる。あまりのベラボーな展開に呆気にとられる関係者とメンバー。普段から四角四面の音楽業界に疑問を感じている（力がないので、声に出して言わない。感じているだけ）ぽっくんは、とっても刺激的で興奮しました。やっぱりエンタメ業界を支える人間は刺激的&楽しい人じゃないといけないよねー。M社長とはまだ仕事をし始めて日も浅いのですが、今度一緒に楽しいことをしたいなーと思いました。

■そしても本当にもう幾つ寝るとお正月な訳ですが、今年もあの恐怖のイベント“Over the Edge”が開催されます。前回はイベント完全密着で１冊まるまる特集本を作りましたが、今年も企画を立てました。出演バンドの中からSHOXXスタッフの独断で２つの架空のバンドを結成しちゃいました。そして、真夜中の高田馬場エリアを貸しきってヴァーチャルライヴをしちゃたの。お客さんは一切なし、観客はスタッフのみの超贅沢なオールスターによるヒミツの宴。その模様は本誌36ページからの特集で確認してください。また来月もこのプレミアムな夜の模様を特集するので、お楽しみに。

来月の表紙＆巻頭特集は
SHOXX　Vol.204

ナイトメア

元旦発売の『ジャイアニズム』の全貌が明らかに!?
アルバム完全攻略しちゃいます!!　お楽しみに。

右記のバックナンバーを希望の方は、定価に送料（1冊＝¥140、2冊＝¥220、3冊以上は全て¥450）を加えて、切手代用または小為替で、〒104-8228 東京都中央区銀座6-2-3 ダヴィンチ銀座アネックスビル5F音楽専科社経理部「SHOXXバックナンバーVol.○」（○の中に号数を入れる）係まで申し込んで下さい（ただし、付録ポスターが付いてない場合もあります。ご了承ください）。
また、近くの書店でVol.204（12月21日発売）を買いそびれないようにするには、書店へ予約しておくと便利です。

バック・ナンバーのご案内

Vol.196
09年６月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■ヒロト（アリス九號.）パーソナル企画■有村竜太朗（Plastic Tree）■ナイトメア■ムック■シド■アンティック-珈琲店-■LM.C■彩冷える■雅-miyavi-■Angelo■heidi.■ギルガメッシュ■宇宙戦隊NOIZ■ゾロ■BOUNTY

Vol.191
09年１月号 ¥930

■アンティック-珈琲店-巻頭表紙大特集■the GazettE新木場コーストライヴレポート■ナイトメア■ムック■シド■アリス九號.■lynch.■D■D'espairsRay■PENICILLIN■Versailles■仙台貨物■ヴィドール■少女～ロリヰタ～23区■SuG

Vol.197
09年７月号 ¥980

■彩冷える巻頭&表紙18ページ大特集■YOMI & 柩（ナイトメア）メンバー内対談■Nao（アリス九號.）パーソナル企画第2弾■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■雅-miyavi-■シド■LM.C■一志（Kagrra,）■Kra■ヴィドール■Mix Speaker's,Inc.■heidi.■ギルガメッシュ

Vol.192
09年２月号 ¥980

■アリス九號.巻頭表紙大特集■シド■YOMI & RUKA（ナイトメア）■D'espairsRay■D■ムック■ヴィドール■LM.C■アンティック-珈琲店-■仙台貨物■Versailles■Mix Speaker's,Inc.■Sadie■ラッド■陰陽座■Kαin■ドレミ團■Lida（Dacco）■Dolly■12012

Vol.198
09年８月号 ¥980

■シド巻頭&表紙20ページ大特集■沙我（Alice Nine）■Plastic Tree■X JAPAN■ナイトメア■アンティック-珈琲店-■ヴィドール■ムック■D'espairsRay■Versailles■12012■heidi.■Dolly■boogieman■ギルガメッシュ

Vol.193
09年３月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙24ページ大特集■PS COMPANY Peace & Smile Carnival■ムック■Kra■アリス九號.■Plastic Tree■アンティック-珈琲店-■Dolly■D■ヴィドール■D'espairsRay■Versailles■12012■boogieman■Kagrra,■heidi.■Sadies■陰陽座■少女～ロリヰタ～23区

Vol.199
09年９月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■Alice Nine■千葉（仙台貨物）■アンティック-珈琲店-■Psycho le Cému■Plastic Tree■ナイトメア■ムック■Kagrra,■ヴィドール■Kra■D■Sadie■ギルガメッシュ■龍寺（ゾロ）■姫苺■メガマソ■アンド■Versailles

Vol.194
09年４月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■咲人&Ni～ya（ナイトメア）■ムック■ヴィドール■D'espairsRay■D■アンティック-珈琲店-■12012■Plastic Tree■LM.C■宇宙船隊NOIZ■Sadie■Mix Speaker's,Inc.■the studs■Wizard■ドレミ團■ゾロ■Aoi

Vol.202
09年12月号 ¥980

■the GazettE巻頭&表紙20ページ大特集■RUKA（ナイトメア）パーソナル特集■将（Alice Nine）パーソナル特集■LM.C■シド■アンティック-珈琲店-■Plastic Tree■仙台貨物■ムック■D'espairsRay■Kagrra,■Kra■ヴィドール■ドレミ團■メガマソ■lynch.

Vol.201
09年11月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■D'espairsRay■アンティック-珈琲店-■仙台貨物■Plastic Tree■D■Alice Nine■ムック■LM.C■結良（Kra）■heidi.■ドレミ團■ヴィドール■SuG■ViViD■ゾロ■少女～ロリヰタ～23区■SCREW■シリアル⇔NUMBER

Vol.200
09年10月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■the GazettE■虎（Alice Nine）■有村竜太朗（Plastic Tree）■アンティック-珈琲店-■D'espairs Ray■Mix Speaker's,Inc.■仙台貨物■舞（Kra）■彩冷える■摩天楼オペラ■キリト（Angelo）■KISAKI■PENICILLIN■Aoi

Vol.195
09年５月号 ¥980

■ナイトメア巻頭&表紙20ページ大特集■ヴィドール■LM.C■Kagrra,■Mix Speaker's,Inc.■カノン（アンティック-珈琲店-）■アリス九號.■Angelo■Kra■ドレミ團■少女～ロリヰタ～23区■SCREW■SuG■ギルガメッシュ■メガマソ

大島暁美のロックンロール日記

V-ROCK FESTIVAL09　無事に終了！
ありがとう!!

10月24日（土）25日（日）に行われたV-ROCK FESTIVAL09は、大盛況のうちに幕を閉じた。あいにくの雨模様の中、遊びに来てくれたお客様の数は、両日とも午前中から約1万5000人！　イベント一週間前に発表されたインターネット全世界無料生中継も、約22万人以上というたくさんの方が視聴してくださった。しかも、その1/3～半分が海外の方！　あらためて、世界的なヴィジュアル系の注目度の高さを、再確認することができた。ぶっちゃけ、無料放送を実現するのは、すごーく大変だったんだよね。視聴者からお金をとるなら、協力してくれる会社はたくさんあったんだけど、「世界へ発信！」したかったから、どうしても無料にこだわりたかったんだ。でも、いろんな方のご協力で無料中継が実現できて、感謝、感謝です。

イベント自体、初めて尽くしで、まだまだ改善しなくてはいけない点がいっぱいあると思うけれど、大きな事故も混乱もなくフェスを終えることができたのは、来てくれたファンのみなさまのおかげ。初め、スタッフは「フェス慣れしてない人が多いから、好きなバンドだけ見て帰っちゃうんじゃないか」と心配してたんだけど、みんな、ちゃんとフェスの主旨を理解してくれて、あの空間をめいっぱい楽しんでくれた。他のフェスと比べて、「ゴミが圧倒的に少なかった」「マナーがいい人が多かった」という声が多くて、「ヴィジュアル系のファン、カッコいいじゃん！」って、スタッフ一同大感激。世界中のファンに、「日本のヴィジュアル系ファンは、クールだよ」って胸を張って、誇れると思ったよ。

さて、今回、大島は立ち上げからこのフェスに関わって、いろーんな仕事を掛け持ちしてた。フェスの一ヶ月くらい前からは、ずーっとランニングしているような気分だったよ。実際、設営日（23日）は運営本部からチャリを借りて、広い会場を走り回ってた。だって、ネット中継スタジオがあるバックステージからS&Vステージ会場まで軽く500メートルはあるから、一回往復しただけで1キロ！　何回も往復したら、結構な距離になるからね！　当日は忙しすぎて、残念なことにライヴはほとんど見ることができなかったんだけど、あちこちでいろんなミュージシャンに遭遇したので、こぼれ話を一挙に大公開しちゃお！

・出演者用楽屋は、9-11ホールの長いほうの側面に面して一列にダーッと並んでいた。端から端まで、約500メートル！　もともとそこは会議室なんだけど、一部屋を細かく区切って各バンドの楽屋にしてたの。ずらっと出演バンドのプラカードが並んでいる光景は、すっごい壮観だったよ！　24日はそのいちばん端に、マリリン・マンソン専用の楽屋が出現。しかも、本人、バンド・メンバー、スタッフと楽屋が分かれてて、マリリン・マンソン専用のケータリング・ルームまであった。ちらっと中をのぞいてみたら、テーブルの上にキャンドルが灯してあって、オシャレなレストランみたいだったよ。「ここで、ゴハン食べてったら？」といわれたけど、そんな恐れ多いことできないよ～（笑）。

・24日にその楽屋通路に初めて行った時、全然勝手がわからなくて、しばし壁に貼ってある案内図を眺めていたのね。そこへ、長谷川正くんがやってきて、「何やってんですか？」と聞くので、「今、自分がどこにいるのか、わからないの」といったら、「この階段がここで、今、いるのはここですよ」と親切に教えてくれた。で、「どこに行きたいんですか？」というので答えたら、「それは、ここです。こっちに少し行けば、左側にありますよ～」と、素晴らしいナビゲーションをしてくれた。正くん、ありがとう！

・Alice Nineの楽屋をのぞいたら、ちょうど将くんと沙我くんが到着したところだった。「すごい規模ですねー」「広すぎて、何が何だかよくわからないです」と、口々に驚いてる。で、「大島さん、大丈夫ですか？」「ちゃんと寝てますか？」と、こちらの体調を心配してくれるのが、おかしい。楽屋を出る時も、二人揃って「頑張ってください」と、いってくれた。これからライヴをするミュージシャンに、「頑張ってください」といわれるなんて（笑）。Aliceちゃん、優しすぎです。

・jealkbの楽屋に行ったら、準備を終えたhaderuくんが「昨日、携帯をiPhoneに変えたので、新しいメルアドを教えます」という。その時、わたしは携帯を持ってなかったので、彼は適当にそのへんに置いてある封筒に新しいメルアドを書いて渡してくれたのね。夕方、出番を終えた彼らがバックステージにあるバーで飲んでいたので、「お疲れ様」をいいに行ったら、メンバー全員「あれから、大変だったんですよ～」というの。「え、何があったの？」と聞いたら、haderuくんが笑いながら「さっき渡した封筒の中に、メンバーとスタッフ全員分の食券が入ってたんです」というのだ。ビックリしてバッグの中に入れたままになってた封筒を引っ張り出してみたら、ホントに中から10数枚の食券が出てきた。ひゃあああ～、後からそれに気がついたメンバー、きっとびっくりしただろうね。でも、もう一度食券を出してもらって、食事は無事に食べることができたそう。よかった、よかった（笑）。

・↑に出てきたように、バックステージには出演者専用の本格的なケータリングルームと、円テーブルが並ぶ喫煙者用のテラス、わざわざこの日のために作ったバーがオープンしていた。L-Rステージの裏でバッタリヒロトくんに会ったので、「裏にバーがあるの、知ってる？」と聞いたら、「知らない」というので案内したのね。そしたら、出番を終えたHAKUEIくんが友達と飲んでた。彼は夕方のファッション・ショーに出演する予定なのでかなり待ち時間があるそうで、「ショーまでずっとここで飲んでたら、絶対に酔っ払っちゃいますよ～」なんていってたけど、いざファッション・ショーではカッコいい着こなしとステージングで、存在感を見せていた。さすが！

・バーは、出番を終えたミュージシャンの憩いの場になってた他、ネット中継や海外メディアの取材場所にもよく使われていた。他にちゃんと取材部屋があったのだが、こちらのほうが雰囲気がよかったので、映像撮影する場合とかには使いやすかったみたい。ALI PROJECTの宝野アリカさんとMANAさまとの対談も、ここのソファ席で行われてた。

「いつかMANAさまと対談するのが、夢！」といってたアリカさん、とっても嬉しそうで可愛かったよ～！

・24日に出演していたニンジャマンジャパンのメンバー全員が、25日も遊びに来てくれた。彼らが出演

しているVisual－kei DVD Magazine番外編「How to enjoy VISUAL-KEI」がBiju1s SHOPで発売されていたこともあり、いろんなライヴを見る傍ら、お店の手伝いなどもしてくれてたらしい（わたしは忙しくて、全然お店に顔を出せなかったんだけど……涙）で、いきなりサイン会を始めることにしてくれたんだよね。わたしは生中継中で携帯を切ってたので後から気がついたんだけど、「Biju's SHOPでサイン会をやろうと思うんですけど、いいですか～？」「これから、始めまーす☆」というメールが入ってて、ビックリ。お店を盛り上げようと自発的にやってくれたことが嬉しくて、思わずウルウルしちゃったよ。

・会場にはライヴ・ステージの他に、サイン会、撮影会、ファッション・ショーなど、いろんなところでアーティストと遭遇できる場所が設けられていた。撮影会は1バンド100名と人数が決められていたのだけれど、DaizyStripperは200名以上も申し込みが来てしまい、「せっかく申し込んでくれた方を、断ってしまうのは申し訳ない」というメンバー自身の願いで全員とのツー・ショット撮影会を敢行！　予定時間を大幅にオーバーして、全員と撮影をしてくれた。しかも、その直後にネット放送のゲストとして、スタジオに駆けつけて、疲れた表情も見せずに楽しいトークを聞かせてくれたよ～！　夏のツアーでは、来てくれた人を喜ばせたいと写真看板を手作りしたといってたし、彼らはホントにファン想いだよね。

☆Biju's SHOP（通販）オープン！

会場で売ってたBijuのグッズが、買える通販サイトがオープン！　大好評だったUFOキャッチャーのミニ・パペット・Bijuも、ここで手に入ります！　携帯からも購入できるので、チェック！　今なら、V-FES ありがとう福袋を売ってるよ！
http://biju.ocnk.net/

ちょびっと、今年の総決算!!

ツアー「～SWEET CORONATION～」に向けて準備万端。

メガマソの2009年はまだ終わらない!!

メガマソ

レベル15ずつアップして気高いプレイヤーになりたい（涼平談）。

結成して早3年。多くの楽曲リリースと沢山のライヴを行ってきたメガマソ。時に艶やかに、時に苦悩しながらいくつかの時を超えて辿り着いた今。2009年は飛躍の年。先日行われた、メジャーデビュー発表後、初のライヴとなる赤坂ブリッツ公演ではそんな今までの道のりを回想し、ステージで涼平が涙したりと感慨深いライヴではあったが、あの会場全体を支配していた空気は、これから始まる新しい世界に対する期待感だった。

Interveiw:YUKA SUGIE

―9月に赤坂ブリッツでインディーズラストライヴを行なったわけですが…アンコールではメジャー発表も控えていましたし、いつもとは違った心持ちだったんじゃないですか?

涼平：やっぱり、全然いつもとは違いましたよね。内部的にも、スタッフが一新したり、リハーサルの環境も変わったりで。メジャー発表ライヴでもあるとともに、僕らとしては新しいチーム・メガマソでの第一歩っていう感覚はありました。

インザーギ：重大発表って謳ってるだけに、プレッシャーはすごくあって。でも、ライヴができる喜びというか嬉しさもあったし。すごく複雑な心境ではありました。いつも以上に失敗できないしね。

Gou：緊張感はあったよね。

―緊張感が高まると、どういう影響を及ぼします?

Gou：…集中力が増す気がする。久々にライヴで緊張しましたよ。でも、より多くの人に聴いてもらって認めてもらいたい気持ちはずっとあったから、メジャー発表ができて純粋に嬉しかったしね。

―ちなみに、それぞれあの日、特に印象深かったシーンを挙げるとすると?

Gou：俺は「つむり森開き」から「小船置き場の家」だな。

―その場所は、観ていてもすごく惹き込まれました。

Gou：あ、ホントですか? やっててもすごく入り込めるし、酔いしれてました、自分に（笑）。

涼平：僕はアンコールの「モダンアンプリファイア」ですね。すっごい久しぶりにやったんで、楽しくてしょうがなくて。「chimes」っていう新曲をやった流れで、むしろこっちも新曲なんじゃないかっていう感覚にもなれて。

Gou：確かに新鮮さはあったよね。

インザーギ：僕は、2曲あるんですよ。まず、1曲目の「涙猫」で。僕がメガマソで初めて歌った曲でもあるし、メジャー発表のライヴの1曲目でもあるし。どっちも、自分の中で"始まったな"っていう気持ちが強かったんですよね。約3年前の「涙猫」と、今回の「涙猫」、そこで見た景色っていうのは、すごく焼き付いてます。

―そして、その2つの景色は全然違ったものでもあるわけですよね。

インザーギ：全然違いましたね、やっぱり。同じ曲じゃないぐらいに。見える景色も違うし、自分の精神的な面でも違うし。で、あともう1曲はアンコールでやった「ビューティフルガール」なんですけど、曲中で涼平と目が合ったんですよ。涼平がめっちゃ泣いてて。それで、僕の頭の中が真っ白になったみたいな。

涼平：やっぱり、メジャー発表を行なった上で演奏したデビュー曲「chimes」が終わってからは、感極まってしまって。

―それを見て、インザーギさんは動揺してしまったわけですね（笑）。

インザーギ：そうそう、"なんでここで泣いてるの!?"って（笑）。でも確かに、"世界の果てまで盾になる"っていう歌詞なんかも、状況とリンクしてたのかなと。

―Gouさんは泣いてました?

インザーギ：それがね、俺もちょっとウルっとはきてたから、ドラム台のほうを向いたりしてたんですよ。そうしたら、Gouが後ろから俺の肩をガツっと持って、"お客さんに後ろ姿見せたら失礼だろっ"って（笑）。

Gou：そんな言い方じゃなくて、"大丈夫?"って感じだったって（笑）。

インザーギ：いやいや、俺、怒られたもん（笑）。

―はは、何しろ結構冷静だったと（笑）。

インザーギ：もう、冷静沈着でビックリしましたよ（笑）。で、楽屋に戻ったら…"僕の盾になってよ!"とか、"僕はビューティフルガールで、Gouちゃんとインザーギはビューティフルボーイだ"とか、涼平がよくわかんないことを言ってきて（笑）。

涼平：僕も2人の盾になるから、2人とも盾になってくれないかなと思って、結構キマったことを言ったハズだったんですけど…なんか無視でもなく、"ふん、わかった"みたいな薄い反応で（笑）。ちょっと寂しかったなぁ。次は、ライヴ終わった後にもっと手応えのあることを言います（笑）。

―あと、メジャー発表にお客さんが温かく反応していたのも印象的でした。

涼平：そうなんですよね。「chimes」のPVが流れたときのお客さんの歓声も、すごく嬉しくて。もちろん、僕らがメジャーに行くことで内心不安なお客さんもいたとは思うんですけど、それを僕らはPVの映像や曲で打ち消したいと思ってたんで。その後ですぐ「chimes」の演奏もできたから、良かったなって。

―それがあったから、お客さんとしても受け入れやすかったんでしょうね。そして、先日"V-ROCK FESTIVAL"にも出演されたわけですが…初めてのフェス、どんなことを感じました?

涼平：すごい楽しかったよね。出演バンドが多かったけど、楽屋も一部屋いただけて。ワンマンと同じような落ち着いた気持ちで臨めたし、それに、いろんなバンドさんも観られたし。とにかく出演できて良かったです。後でそのときの映像を見ても、"僕らが楽しんでるな"って思うし。初めて観るっぽいお客さんたちも途中からノってきてくれたりして、感触としてもすごく良かったです。

Gou：うん、すごいたくさんの人に観てもらえてるっていうのがわかったね。

―選曲的には、どういう狙いで?

涼平：まず、初めて観る人が多いだろうから、シングルをたくさん入れようと。だけど、最新アルバム『SWEET SWITCH』の世界観は出したかったので、それをウマく混ぜた感じになりました。

―メガマソはいろんなタイプの曲があるので、選曲によって印象がだいぶ変わりますもんね。

涼平：そうなんですよ。だから、だいぶ迷いはしましたけどね。

インザーギ：でも、今の自分たちの自己紹介的な並びにはできたかなと。

―そういった有意義な経験も踏まえ、間もなくメジャーデビュー後初のツアー"チャイムス オブ ラブリーリベリオン～SWEET CORONATION～"がスタートするわけですよね。

涼平：メジャーバンドとしての初ツアーだし、本数は5本なので少ないけど、1か所1か所丁寧にまわりたいなと。僕らを初めて観る人もいるだろうし、昔から応援してくれてる人もいるだろうし、どちらも楽しめるセットリストにはしたいなと思ってます。僕らとしてはアルバム『SWEET SWITCH』を出した後、初めてまわるツアーでもあるんで、『SWEET

www.shanghaidz.com
蝴蝶网 hudie.com

「SWITCH」と「chimes」の収録曲を中心にセットリストを組んで、ポイントポイントでいろんな曲を入れて。

インザーギ：みんなが好きな曲とか、古い曲をちりばめられたらいいなと。

――では、それぞれ見せたい自分像は？

涼平：僕は、前のツアーよりも全体的に良くなったなと思ってもらえるようなプレイ、パフォーマンスをしたいと思っていて。どれも、レベル15ずつアップしたいですね（笑）。最近は、気高いプレイヤーになりたいと思っているんで。

インザーギ：気高いってさ、どっちかっていうとGouちゃんじゃない？（笑）

涼平：だから、そこは精神的にっ（笑）。Gouちゃんはワイルドだよ。

Gou：そう、俺は最近、ワイルド的なのが好きだからね（笑）。今までに増して、お客さんとアツくぶつかり合ったりもしたいんで。

涼平：じゃあインザーギは？

インザーギ：僕はもっぱら、おセンチメンタルな感じですよ（笑）。

Gou：インザーギね、最近カッコイイんですよ。

インザーギ：最近って失礼じゃない!?（笑）

涼平：でも確かに、最近のインザーギはエモーショナルですよ。

インザーギ：でもね、いろんな表情は見せたいですよ。いろんな歌があるんで、歌詞の世界観をより深く伝えたいなと。

涼平：絶叫するときは、海老反りでそのままブリッジしちゃうぐらいにやってほしいんです（笑）。彼は体が柔らかいんで、そのうちホントにやっちゃうかもしれないですよ！

インザーギ：…どんなバンドだよ！（笑）それは絶対ないんでっ（笑）。

Gou：はは、でもね、ツ[illegible]すごく楽しみですよ。

涼平：そうだね。僕らの実力[illegible]のためにも、セットリストは決[illegible]当日に曲を決めちゃったりもし[illegible]ですよ。自分たちに自信がついてきたし、ライヴバンドとしてのスキルアッ[illegible]るためにも、思いつきでできる[illegible]ばやっちゃおうかなと。それが[illegible]ドの経験値にもなると思うんで。楽しみにしててください！

www.shanghaidz.com
蝴蝶网 hudie.com

ZORO

5th ONEMAN LIVE
$GAMBLE$
2009.10.30 SHIBUYA-AX

メンバー自ら"勝負の年"と言い切っていたゾロの2009年を総括するようなワンマン・ライヴが、10月30日・渋谷AXにて行なわれた。直前にリリースされていた意欲作『CORE』に込められた彼らの意気込みを存分に見せつける、気概と刺激に満ちた夜となったのだった。2010年3月には、初の東名阪ワンマン・ツアーもいよいよ決定。ゾロの"勝負"はまだまだ続いていく——

Photography:HIROE YAMAUCHI
Report:YUKA SUGIE

ギャンブル、それは一か八かの大勝負。ライヴ・タイトルにその言葉を冠した5度目のワンマン、それはそれは気概と刺激に満ちたショウとなった。

思えば、ゾロにとっての2009年は"勝負の年"であった。これまでになく力強く決意表明したシングル『Playear』に始まり、収録曲すべてを鮮烈に映像化したDVDシングル『NISHIKI』、そして先鋭的な音像、世界観を詰め込んだアルバム『CORE』…作品を重ねるごとに彼らの表現欲は増すばかりで、進化のスピードといったら実に目覚ましかった。その1年を総括するに相応しい充実度を存分にうかがえたという点で、渋谷AXは"冒険"を超えた、もっと現実感のある場所であったようにも思う。

サイバーポップにいききった「DYNAMITE FLAVOR」で勢いよく幕を開けると、「ハラ■■ show time」「パノラマHOP」と、とにかく上昇するしかない流れにオーディエンスを巻き込んで、フロアものっけからすごい熱量。打てば響き過ぎるほどのアツいリアクションに、龍寺も早速MCで手応えを感じている様子。

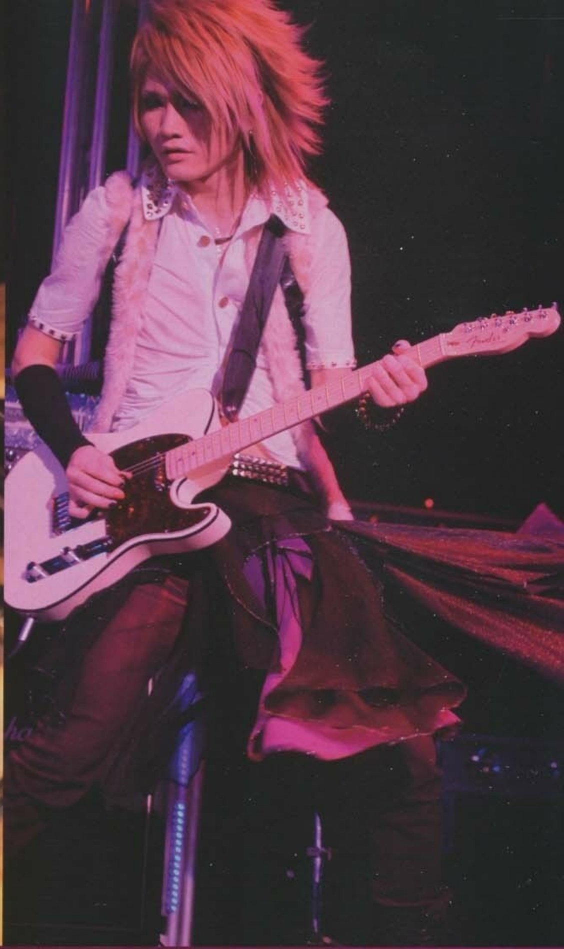
続くブロックでも、ポップな「PINK」、ワイルドな「warp」とデジタリックなアプローチの幅を見せつつ、「ダンスーン」ではファンクテイストで踊らせて、間断なく体を揺らすことが出来る。

一風変わった曲構成が面白い「レイテンシー・スノウ」ではその迫力あるバンド感にゾクっとさせられつつ、「ライオンベイビー」では龍寺の感情を昂らせた歌とアウトロのタイゾの泣きのギターに惹き込まれっぱなし。さらには、沸き上がるようなパワーで圧倒した「肺音楽・Highmusic-」と、中盤ではバンドの底力を見たような気がした。

また、ワンマンならでは、メンバーの声が聞けたというのも、ファンには嬉しいところ。この時ばかりは、演奏時とは一変してそれぞれ天然なのんびりモードで和ませてくれるのがゾロだ。ちなみに、恒例!?の朝食チェックの結果、裕哉は家の近くの缶コーヒー、たつひはAXに来

蝴蝶网
hudie.com

蝴蝶网
hudie.com



気概と刺激に満ちた5thワンマン・ライヴ!!

【set list】
1.DYNAMITE FLAVOR
2.ハラ■■ show time
3.パノラマHOP
4.PINK
5.warp
6.ダンスーン
7.レイテンシー・スノウ
8.ライオンベイビイ
9.肺音楽-Highmusic-
10.ダンデ
11.Digo
12.東京セレクション
13.NANA
14.COSMO「S」フューチャー
15.CUBE
<encore>
16.閃光
17.Spankingnoiz//100v.9MHz=DM?JURIAN.cot
18.ナッツ・Night・スター
19.KID
20.KITSUNE

てからのお弁当、タイゾはたくあん2枚、龍寺はスタバのコーヒーと一様に不健康な内容（笑）。食生活のみ、妙に心配です。

一転、アッパーで骨太な「Digo」からは、怒濤の後半戦へと突入。久々に聴けた「東京セレクション」、天草四郎をモチーフにしたパンキッシュ・ナンバー「NANA」と、その加速度は増すばかり。爆発的な音像に気圧された「COSMO「S」フューチャー」、さらに龍寺の〝全員死んでください！〟という穏やかじゃないアオリをキッカケにアグレッシヴモードに火が付いた「CUBE」と、気付けばメンバーもオーディエンスも完全なる自己解放を果たしていた。

アンコールではさらに、エキセントリックなギターロック「閃光」、サイケデリックなデジポップ「Spankingnoiz//100v.9MHz=DM?JURIAN.cot」と、最新のゾロらしさを満喫。

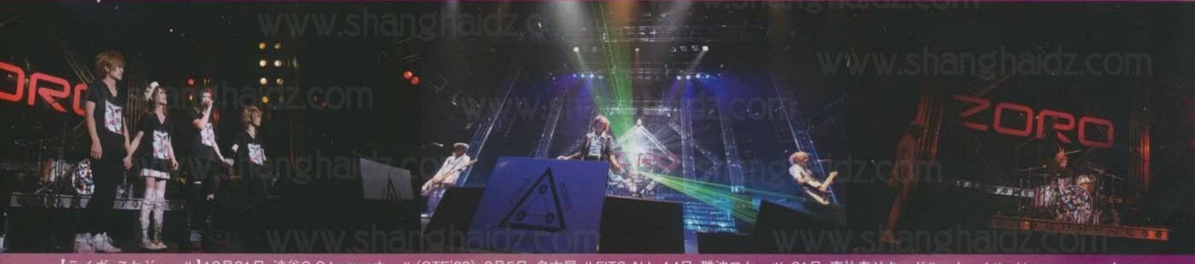
〝前回のワンマンから7ヶ月、自分たちなりに頑張ってきました。そして、みんなのおかげで、こうして奇跡が起きました！〟

自身に満ちた彼らが放った、パワーポップな「KID」。〝今を生きる〟というメッセージを込めたナンバーに、確かな未来と希望がはっきりと見えた。

欲を言えば「Kung-fu dance〈創〉」「Water inside」「Dizzy TRICK」「ピターオレンジ」「F・O・G」といった、新曲たちも聴きたかったところだが、それでもアルバム『CORE』の楽曲が主軸になっていたことで、これまでに比べますます生命力に満ちた、濃厚なライヴであったことは確か。過去の楽曲とも絶妙に共存させつつ、新たなる色彩豊かなバンド像をしっかりと提示してくれた。

最後には〝負ける気がしねぇ！〟と咆哮した龍寺だが、観ている側も自然とそう思えたということは、間違いなく今回の大勝負は〝勝ち〟で収めることが出来たということ。その勢いに乗じ、来年3月には初の東名阪ワンマン・ツアー開催も決定。他にない音像、センス、キャラクターを武器にゾロが今後どう勝ち上がっていくか、とても興味がある。

www.shanghaidz.com



【ライヴ・スケジュール】12月31日・渋谷C.C.Lemonホール（OTE'09）、3月5日・名古屋ell.FITS ALL、14日・難波ロケッツ、21日・恵比寿リキッドルーム。 http://www.zoro-web.com

蝴蝶网
hudie.com

Sadie

Gain

今回は、心が開いているんですよね

現在、制作活動真っ最中のSadie。どのような作品になるかは、今はまだ、未知数なところだが、クラブサーキットツアーを終え、大きなイベントにも出演し、ノリにノッているだけに、かなり良い作品になりそうな予感大。そこで今回は、先日行なわれたV-ROCK FESTIVALの感想と、新作について話を訊いてみた。NEXTとは如何なるものか。その断片がここで明らかになる。

——先日、幕張メッセにて行われたV-ROCK FESTIVAL。Sadieは2日目に出演されましたが、やってみていかがでした?

真緒：うちらは朝早い時間帯での出演だったんですけど、思いの外、お客さんが集まってくれていて。メインステージで出来たってこともあり、予想以上に楽しかったです。

——5曲という短い時間の中でも、的確に見せられたと。

真緒：良い流れは作れたと思います。

剣：僕はちょっとトラブりまして、音が出なくなってしまったんです。そんなこともあり、個人的には最悪だったんですけど（苦笑）、あんなに広い会場でライヴが出来るなんてそうそうないことので、楽しかったです。あと、ミーハーな感じなんですけど、多くの有名人の方と楽屋の廊下で会えたときには、さすがにテンションが上がりました。

——大事ですよ、そういう気持ちって。まぁ、結果オーライだったと。

美月：結果的には。僕は今回やってみて思ったことは、すごくバンドが大きくなっているなっていうのを実感しました。そういうトラブルが起きても、きちんと対処出来るようになったし。

——美月さんは、以前、いちギタリストとしてこの場所に立っていますが、今回は、そのときとはまた違った感覚でやれたって感じですかね?

美月：そら、もちろん違いますよ。やっぱり、個人としてよりも、Sadieとしてライヴをやりたいっていう気持ちの方が強かったんで。でも、実際にバンドで立ってみると、まだまだ足りない部分にも気付かされたし。そこは、これからまた変えていかないといけないなって思いましたね。けどね、こんとき結構バタバタしてたんですよ。だから、緊張する余裕っていうのもなかったぐらいで（笑）。

——逆に、緊張とは全く無縁なのが亜季さんかなぁと。

亜季：ですね。やってみて思ったのは、普通だなと。まぁ、普通っていうのは語弊があるかな。前に美月がステージに立っているのを見ていたこともあって、見ている側からするとすごくデカいんですよ、あの会場。でも、演奏する側になったら、

www.shanghaidz.com

意外とそこまで広さを感じなかったというか。だからなのか、そこまで構えることもなく出来ましたね。

——確かこの日は、ライヴの後にサイン会もあったんですよね。ということは、落ち着けたのは？

亜季：夕方ぐらいですね。

——他のアーティストのライヴは見ることが出来なかった？

亜季：何本かは見れましたよ。やはり、第一線で活躍されているアーティストさんの見せ方は違うなと触発されました。

景：僕自身は、美月先輩がこの場所に立ったときにすごい刺激をもらいましたけど。

美月：何でや！（笑）。

景：（笑）。個人的にすごい楽しみにしてたんです、このイベント。だから、緊張というよりは、ワクワクする方が強くて。だから、さっき亜季くんも言っていたけど、僕も会場の大きさはそんなに気にならなかったです。だからこそ、純粋に楽しめたし、いつもどおりな感じでライヴが出来たと思います。後は、他のアーティストさんを見て、自分はもっと頑張らないといけないなって思ったし。

——こうした経験が、後々物を言うんでしょうね。そして、休む間もなく新作の制作に取り掛かっていると伺いましたが、進行状況はいかがなもので？

亜季：順調と言えば順調。

——現段階では形になっているものがリード曲のみなので、どのような作品になるのかさっぱり検討も付かないのですが、案としては、夏のツアー辺りから考えていたんですよね？

亜季：各々、考えてはいましたね。

——亜季さんは、今作を作るにあたって何か考えたことなどはあります？

亜季：ありますね。ただ、それが、自分が目指すところと今回の作品で一致しているのかと言われたらそうでもないんですけど。俺の中では〝白〟と〝黒〟、その2つを出したくて。ちなみに、「陽炎」は〝白〟なんです。なので、今回は〝黒〟をイメージした感じでいきたいなと。

——対極的なところをいくわけですね。

亜季：ええ。でも、それはあくまで、俺の曲に関して、ですけど。

——先程、リード曲だけ聴かせてもらいましたが、これまたキャッチーで。これは、剣さんが作った曲だとか。

剣：はい。でも、僕の中では、「Ice Romancer」「陽炎」の流れを組んだ意識はないんですよ。意識はないんですけど、傍から見たら、剣らしい曲になっているんじゃないかなと思います。

——〝らしい〟と言われるのは良いことですよ。曲に個性が出ているということですから。

剣：そうですよね。でも、狙ってはいないんですけどね（笑）。ごく自然に剣節が出たってだけです。

——そこで大事にしたことというと？

剣：メロディの良さですね。Aメロ然り、サビ然り、自分が良いなと思ったメロディ、耳に残るものを出したくて。

——剣さんの曲って、起承転結がハッキリとしていますよね。

剣：確かに、わかりやすいと思います。後は、そこは追求しているところなので。けど、これもライヴ感、これも大事です。けど、これがSadieのNEXTなのかと問われたら、それはまだまだかな。

——こんなもので満足している場合ではないと。

剣：それもあるし、もっと進化したところを提示する為には、アリかナシか、それぐらい極端なところまでいかないとダメなのかなって。

——相変わらず、自分に厳しいですね。でも、そうでないと次には進めないでしょうね。それにしても、このリード曲はインパクトありますよ。シンプルでいて爽快、聴いていて気持ち良いです。

剣：細かいことはしていませんからね。僕、イントロってすごく重要だと思うんですよ。この曲はサビ始まりですけど。そして、後からくるイントロでわかりやすいギターを入れて疾走感を出したんです。そこが、さっきも言ったメロディの良さに繋がってくるのかなと。

——こういう曲を、Sadieがやること自体、新鮮だと思います。

剣：言われてみるとそうかもしれません。

——確実に、進化しているなと思いました。さて、美月さんは今回、どのような曲で勝負をかけようと？

美月：まだね、わからないんですけど、僕の曲は、いきすぎた感じになるのかなって（笑）。まぁ、イメージは色々あるんですけど、頭からうまいこと降りてきてくれなくて。

——浮かんでいる曲は何曲かあると思いますが、それらは全て似たような方向性？

美月：同じ形態には入ると思いますよ。

——大きな可能性を感じますね。

美月：だといいんですけどねー。降りてきてくれないことにはどうにも（笑）。

——頑張りましょうね（笑）。景さんは、それらの曲に対してどういうアプローチをかけていきたいと考えてますか？

景：うーん、全てに対し、面白くしたいなとは思ってます。現に、リード曲は面白くなっているし。

——亜季さんは、この前のツアーで、〝Sadieが進化すれば自分も進化する〟とおっしゃっていましたけど、今それを実感することはあります？

亜季：実感的なものはまだですね。それは、これからなのかなと。

——でも、Sadieの音楽に対して受け取り方は変わってきたのでは？

亜季：視野は広がりましたね。けど、今回、制作するにあたってそこまで考えていないんですよ。もちろん、良い意味で、ですよ。何か、今回は心が開いているんですよね。だから、さほど不安はないです。

——良い音を残すのみだと。

亜季：うん。それに、この5人でやったらどんなものでもSadieになるんじゃないかなって。

——その考えは真緒さんも一緒ですか？

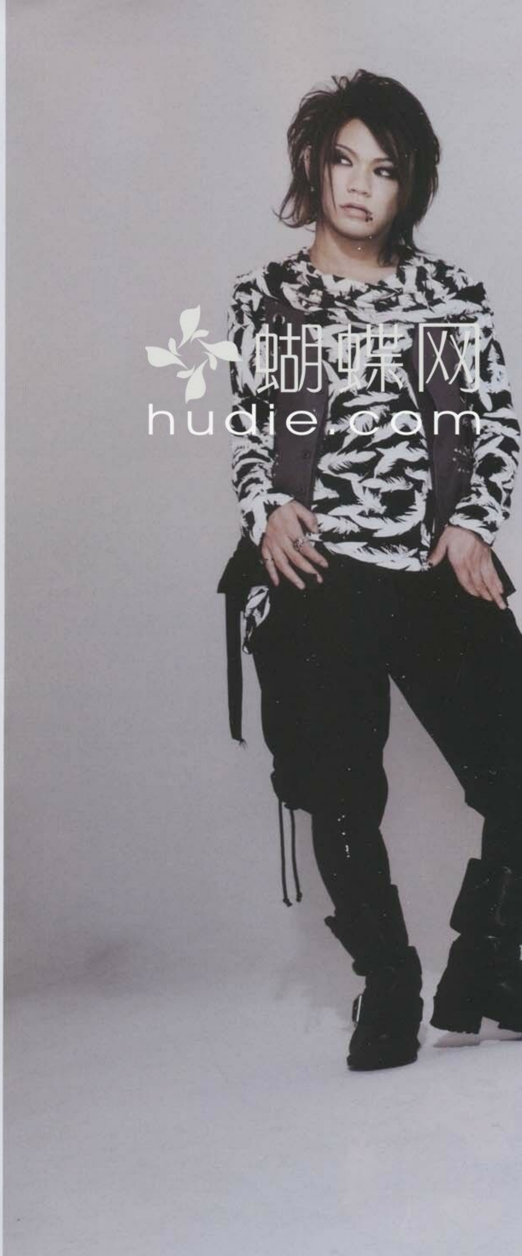
真緒：同感です。って、言いたいこと、ぜーんぶ言われたんですけど。

——すいませんねー、お待たせして。

真緒：（笑）。でも、今回、突き詰めていくことと言ったら、自然体の自分なのかなって。それを出していかんとオリジナリティの追求も出来ないだろうし。自分的には、真緒が歌えばSadieになるっていう考えはまるでなくて。俺の力だけではSadieの音楽は成り立たないしと思っているし。

——となると、新作は、この5人でしか出来ないことを見せてくれると。

真緒：そうですね、それは絶対です。この5人でなければSadieの音楽は絶対に出来ないと思っているんで。その上で、楽曲を感じてもらいたいですね。



Interview:ERI MIZUTANI

【ライヴスケジュール】●「Gain」発売記念東名阪ワンマン　2010/1/15名古屋E.L.L、1/22大阪BIG CAT、1/25LIQUIDROOM ebisu●12/28大阪BIG CAT、12/29名古屋E.L.L、12/31渋谷C.C.Lemon Hall
（問）FACE MUSIC　〒550-0015大阪市西区南堀江1-18-27-506　TEL：06-6543-3338（平日11:00〜20:00）　http://www.sadie-web.com/

蝴蝶网 hudie.com
www.shanghaidz.com

HERO

Oh My HERO

これぞ、ライヴバンド・HERO渾身の一枚

2連続シングル、「Oh My God!!」(2009年7月22日リリース)・「Oh My Darlin'」(2009年9月30日リリース)に続き、HEROが自身2枚目となるフル・アルバム『Oh My HERO』を11月25日にリリースする。"全曲ライヴを意識して制作した"と言うだけあって、ノリのよい、ライヴ感が伝わってくる楽曲が満載の一枚に仕上がっています!

Interview:YUKA SUGIE

―シングル「Oh My God!!」「Oh My Darlin'」に続いてアルバムタイトルが『Oh My HERO』とは…最初からネラってました?

尽～JIN～：いや、違うんですよ、それが。なかなかタイトルが決まらなくて、"じゃあ『Oh My HERO』で3部作にしますか"って。ま、後付けが得意なんで、キレイにまとまったかなと（笑）。

―そういうことでしたか（笑）。内容のほうはと言えば、曲的にもフレーズ的にも飛び道具満載だった1作目『THE HERO』に比べて、まとまりも感じさせつつ、成熟度が高いかなと。

SARSHI：それは確かにあるかも。1作目は1曲1曲のインパクトがすごく強かったけど、今回は全体を通したらすごくまとまってるアルバムで。

尽～JIN～：あぁ、それはあるね。俺はね、今回のアルバムすごく好きですよ。

SARSHI：前は、とりあえず曲を出しとけってところもあったけど（笑）、今回は"ライヴで演奏することを考えて作る"っていう軽いコンセプトもあったし。

尽～JIN～：今まではライヴノリを全然考えてなかったからね（笑）。でも今回は、全部の曲がライヴでの光景が浮かぶというか。

yu-ta：ただリズム隊は、ホント時間なくてね（苦笑）。僕的には、イメージをなかなか作りにくくて。ホント、周りに助けてもらいました、今回は。

Yusuke：僕も、初めてのアルバム・レコーディングだし、煮詰めたい部分はあったんですけど…結構、直感勝負ではありました。

―ただ、じっくり煮詰める良さもありますけど、そういう閃きの持つ力もありますからね。

Yusuke：確かに、そういう意味では勉強にもなりましたね。

yu-ta：ま、僕は機材が壊れたりもしたし、鬼のような地獄は味わいましたけど（笑）…結果良ければすべて良し、とは思いますけど。

―という中でも、それぞれにもっとも思い出深い曲というと?

yu-ta：僕は、「もしも一つ願いが」ですね。機材が壊れたりもしたけど、頑張って乗り越えたって感じがするんで。

Yusuke：僕は「バイバイ」ですね。

―アコギでの入り方もいいし、温かくて優しい曲ですよね。

尽～JIN～：そうそう。僕も一番好きな曲ですね。

Yusuke：特に力を入れたのは、Cメロで音の間隔が開く部分で。そこのドラムフレーズと歌との絡みは、だいぶ考えましたね。

―あと、ギターソロのところで、ベースもソロっぽい動きをしてて、ドラムもイイ感じに絡んで、楽器陣も魅せてくれるなと。

yu-ta：なんか…オヤジくさいですよね（笑）。

―確かに、シブさはあります（笑）。

尽～JIN～：テーマはそこだったんで。僕がね、シブいフレーズのほうが好きなんですよ。だから、今回はオッサンくさくしてくれって言ってて。すごいいいギターを弾いてくれてますよ。

SARSHI：今回は、前のアルバムに比べて、全体的にオッサンっぽいというか…ちょっとアダルトチックなフレーズをつけようと心がけたんですよ。で、この曲もそうしようと思って先に録ったリズムを聴いたら…ベースがめっちゃ動いてて（笑）。

yu-ta：時間がなくて、そういうことになったんですけどね（笑）。

SARSHI：ベースとギターのフレーズが当たりまくるなとは思ったけど、最終的にはベースは無視しました（笑）。

Yusuke：で、そこのドラムは、静かだけど音数は多い感じで。

尽～JIN～：あのドラムも、すごくいいよね。ちなみに、歌詞は完全に個人的な、ヴォーカリストとしての詞なんですけど、それは初の試みなんですよ。

―歌を歌う人と、歌を歌うことに傷つく人と…描写がリアルでもあります。

尽～JIN～：妄想なんですけどね。こういうことがあったら、こういう風に思うだろうなって。それは歌に限らず、夢を追ってたらある話だと思うし、なかなか気に入ってますよ。

SARSHI：俺は、ギターの曲の中でのアレンジのバランスが一番気に入ってるのは「爆弾発言」ですね。そんなに難しいことをしてるわけじゃないし、至ってシンプルなんですけど、左右のギターの絡みが一番好きで。ただ、ギターソロはね…他の曲がすごく気に入ってるだけに、この曲はちょっと自分の中で物足りなくて。

―でも、それが全体としてのメリハリになってたりもするかもしれないし。

SARSHI：まぁ…そうだといいんですけど（笑）。ただ、新しい音使いはそこで試せたんで。それは良かったかなって。

尽～JIN～：あとね、曲の最後、実は歌を入れ忘れてて。

―…そんなことあり得るんですか!?（笑）。

尽～JIN～：それがね、HEROはあるんですよ。だからライヴに来てくれる人には、そこは"歌ってっていうことなんだよ。"って解釈してほしいかなと（笑）。

―とにもかくにも、遊び心満載、個性派な曲であることは間違いありません。

尽～JIN～：そこはね、「爆弾発言」っていうタイトルもパンチあるしね。歌詞見てみんな苦笑いだし、はは。それを歌詞にする勇気が、僕にはあるんで（笑）。個人的には、基本、全部の曲が好きなんですけど…唯一、「Lier」だけがあんまりしっくりこなかったんですよ、最初。だけど、聴くたびに好きになってますね。ま、今回はアルバムに入れたいなと思ってた曲が結構選ばれたんで。だからモチベーションも高かったし。

―そういうコンディションで臨めたのであれば、一番です。

尽～JIN～：ホント、今回はラッキーかなと思ってますね。HEROでここまで感情を込めて歌ったことはなかったけど、それも新鮮で楽しかったし。あとさ、「Best Smile」もライヴですごい曲になりそうだよね。

―アルバムの1曲目を飾るナンバーですが、HERO流のミクスチャーな音像が面白いですもんね。

SARSHI：これはまさに、ミクスチャー感を出したかったんですよ。

尽～JIN～：これ、スパイス・ガールズ（ヴィクトリア・ベッカムが在

蝴蝶网 hudie.com

籍。2007年に再結成した）の曲からインスピレーションを得た曲なんですよ。

—あ、そんな意外なところから(笑)。で、それをバンドに落とし込むとこうなると。

尽～JIN～：そうそう。あれさ、コード進行とか後ろの演奏はだいぶマニアックだよね。でも、これもだいぶパンチあると思いますよ。

—という一筋縄ではいかない作品を携えてのツアー、そして1月8日の渋谷O-WESTワンマンに向けて、それぞれどんな心持ちですか。

Yusuke：昔の曲から新しい曲までたくさんできるんで、楽しみだし。良い1日にできたらいいなと思いますっ。

yu-ta：とにかく、音とライヴを楽しんでくれたらいいなと。頑張りますっ。

SARSHI：新年1発目なんで、コケたら幸先悪いじゃないですか(笑)。だから、このライヴを成功させて、今年以上に充実した1年にしたいなと思います。

尽～JIN～：良いこと言うね！(笑)。でもね、通過点としてやっぱり成功させたいんで。みんなでもらったお年玉をいきなり使いに来てください！(笑)。

—お金を使ってもらったぶん、たくさんの夢と感動をお返しするよと(笑)。

尽～JIN～：そうそう！精一杯歌うんで。ま、楽しみにしててくださいっ。

—ちなみに、2010年はどんな年にしたいと？

尽～JIN～：赤坂BLITZ埋めますよ。

SARSHI：プラス、ワンランク上のバンドになりたいと思ってるんですよね。今は楽しいライヴを追求していく姿勢でいいと思うんですけど、それプラス、何かを伝えられるバンドになりたいなと。次のアルバムが出るころには、それができてたらいいかな。それができないと、BLITZには行けないと思ってるんで。

尽～JIN～：またまた、カッコイイこと言うじゃん(笑)。

yu-ta：僕もそんな感じです。言おうとしてたことが、まったく同じですよ。

Yusuke：僕も。HEROに入る前から感じてたけど、楽しいって思うのはもちろん、何かを伝えることができるバンドだと思うんで。

—確かに、底抜けな楽しさと伝わる歌心、これはHEROの武器ですからね。

尽～JIN～：ま、天才なんでね(笑)。ここからのHEROに期待しててください！

【ライヴスケジュール】●ONE MAN LIVE「新年早々！全員集合！」2010/1/8渋谷O-WEST
(問)STAR POWDER　東京都港区北青山2-12-28　青山ビル2F

蝴蝶网
hudie.com

little HEARTS. ON LINE STORE OPEN!!

little HEARTS. 通信販売開始★

little HEARTS. の HP からご注文下さい。http://littlehearts.jp

◆掲載の商品は全て通信販売でお買い求め頂けます。

◆インストアイベントの参加チケットや特典もお付け致します。

little HEARTS.

ナイトメア
10th Anniversary Album
2010年1月1日(金)
「ジャイアニズム」
初回限定盤 (CD+DVD) ¥4,800
通常盤 (CD ONLY) ¥3,200
結成10周年の記念すべき年に
ナイトメアを代表する「ジャイアニズム」シリーズを揃えたベスト盤を遂にリリース!!

HAKUEI
2曲収録 CD 付き ¥5,000

ナイトメア
B2 サイズ ¥3,000

2010 年カレンダー取り扱い決定!!

THE KIDDIE
B4 変形サイズ、壁掛けタイプ、オリジナル封筒入り、未発表新曲&NOAH アコースティックバージョン収録 CD 付き
¥3,000

Wizard
B4 変形サイズ、壁掛けタイプ、オリジナル封筒入り
未発表新曲収録 CD 付き
¥3,000

…i8 Release
…ngle
「Rosary」
…050
…ストアイベント決定!!
トーク & 握手会
…30 OPEN/14:00 START
ACTWEED

Jin-Machine

「呪縛」
1.SHINE
2.納税のテーマ(脱税 REMIX)
3.Neeeeeet Emotion

「狂気」
1.うんち☆どっさり
2.Jin-Machine のテーゼ
3.RA・RA・RA 楽天イーグルス

「薔薇」
1.歓声
2.vanilla eyes
3.さよならとサヨナラの隙間に

各 ¥1,050
大好評発売中!!

INSTORE EVENT INFORMATION

11/28 (土)
heidi.
サイン&握手会

12/2 (月)
boogieman
トーク&握手会

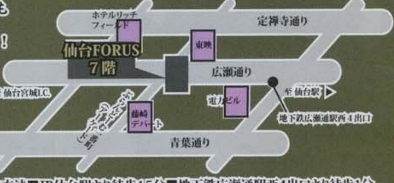
12/6 (日)
test-No…
アコー…
トーク&サイン…

12/8 (火)
ドレミ團
トーク&握手会

12/10 (水)
お遊戯ごが魔々団×[PaRADEis]/M/SOMATIC GURDIAN
Planet CHILD Music
3 バンド合同
トーク&握手&サイン会

2010 1/11 (月)
SILENTLINE/GREGORY/Sting-Lay
3 バンド合同
トーク&握手会

little HEARTS. 携帯サイトでも
インストアイベント情報や
STAFF ブログがご覧頂けます!



アクセス方法■JR仙台駅より徒歩15分■地下鉄広瀬通駅西4出口より徒歩1分

インストアイベント開催しました

…月24日、NoGoD トーク&握手&サイン会開催しました!
…回はメンバーの皆様に進行をお任せしました。
…ずステージに登場したのは、伊●宗をイメージしたというメイクをした団長さん。
…セコンドの人ではない」との事ですが…(笑)
…ークでは、軽快なボケと突っ込みが連発!笑いが溢れまくっていました!! 迫力あるトークかと思えば、腹筋を崩壊させる勢いの爆笑トークだったりと、内容満載なイベントでした★

Shinko Syukyo Gakudan
NoGoD
トーク&握手&サイン会

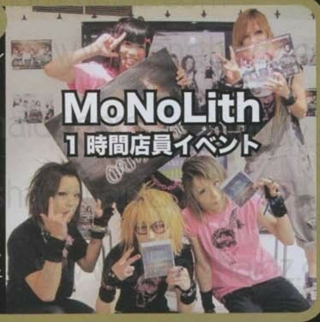
インストアイベント開催しました

10月10日、「VOICE」購入対象の Sel' m イベントが行われました!!
仙台では初めてのインストアイベントとあって始まる前まで、実はメンバーの皆様も緊張気味でしたが、始まればさすがです。軽快なトークもあり、笑いもあり!!
今回の作品についてのお話でスタートし、恒例の質問コーナーでは、数多くの質問に時折珍回答(!?)を交えつつお答え頂きました★
とても楽しい時間になったのでは…(笑)

Sel'm
トーク&サイン会

…時間店員イベント開催しました

…月10日、MoNoLith1 時間店員イベントを開催しました★
…時間店員イベントとは、メンバーの皆様から直接商品を購入したり、お話できる大変盛り上がるイベントです!!
…回「innocent[PLAY]er」
…st:Forward 全国流通盤が10月7日に発売してすぐのイベントということで、来店したお客様で大盛況!
…ンバーの皆様も大忙しでした!!
…月18日には、インストアイベントも開催決定しています★その様子は次号にて〜。お楽しみに!



MoNoLith
1時間店員イベント

インストアイベント開催しました

10月9日 -OZ- トーク&サイン会開催しました!
little HEARTS. では2回目のインストアイベントですが、今回もメンバーの皆様にマイクをお任せし、イベントスタート!
トークは「VERSUS」についてお気に入りのところなどを話して頂き、その後は、質問コーナーで、メンバー同士だからこそできる「突込み!!」や、いろんな普段聞けないお話を聞ける、盛りだくさんなイベントになりました★

-OZ-
トーク&サイン会

little HEARTS.
ビジュアルミュージック＆ファッション＆コミュニティスペース【リトルハーツ】
http://littlehearts.jp
〒980 8546 宮城県仙台市青葉区一番町3 1
仙台フォーラス7 F
営業時間 OPEN 10:00 / CLOSE 20:30
TEL 022-264-8003 ※年中無休
little HEARTS.
12/2 彩冷える -ayabie-
SINGLE
「サヨナラ」
初回生産限定盤 A(CD+DVD) ¥1,500
初回生産限定盤 B(CD+DVD) ¥1,500
通常盤 ¥1,000
12/9 vistlip
ALBUM
「THEATER」
vister(CD+DVD) ¥3,780
lipper(通常盤) ¥3,150
12/23
デビューから1年間の軌跡を追った映像が遂にDVDで発売！
「BUG」 ¥3,990
12/30 Sadie
MINI ALBUM
「Gain」
初回限定盤 ¥2,940
通常盤 ¥2,310
11/25 Plastic Tree
DVD
初回限定盤 ¥10,000
通常盤 ¥7,000
11/25 ムック
SINGLE
「フリージア」
限定盤 ¥1,680
通常盤 ¥1,050
11/25 HERO
ALBUM
「Oh My HERO」
¥3,200
11/25 boogieman
SINGLE
「HIDDEN」
TYPE-A ¥1,890
TYPE-B ¥1,890
11/25 ドレミ團
ALBUM
「DON'T LET ME DOWN
限定盤 ¥3,300
通常盤 ¥2,800
11/25 摩天楼オペラ
LIVE DVD
「DAWN OF ANOMIE in Akasaka BLITZ」
¥4,200
11/25 ネガ
SINGLE
「Haunted Jealousy」
初回限定盤 TYPE-A ¥2,205
通常盤 TYPE-B TYPE-C ¥1,575
11/25 VAJRA
SINGLE
「THE RISING SUN」
¥1,575
12/2 ナイトメア
LIVE DVD
「PARADE TOUR FINAL "MAJESTIC" @日本武道館」
¥5,800
12/2 DIR EN GRE
SINGLE
「激しさと、この胸の中で絡み付いた灼熱の闇」
限定盤 ¥1,890
通常盤 ¥1,260
蝴蝶网
hudie.com
12/2 D
SINGLE
「Day by Day」
初回限定盤 A(CD+DVD) ¥1,890
初回限定盤 B(CD+DVD)¥1,890
通常盤 ¥1,050
12/2 ヴィドール
SINGLE
「EVE」
初回限定盤 A(CD+DVD) ¥1,800
初回限定盤 B(ブックレット付)¥1,800
通常盤 ¥1,260
12/2 THE KIDDIE
SINGLE
「ポプラ」
初回限定盤 (CD+DVD) ¥1,890
通常盤 ¥1,575
12/2 lynch.
LIVE DVD
「THE SHADOW IMPULSE FINAL 2009.09.06 at AKASAKA BLITZ」
¥5,980
12/2 お遊戯ゎが魔々団×[PaRADEiS]
LIVE DVD
「1st ANNIVERSARY PaRADEiS
¥3,780
12/9 イロクイ。
BEST ALBUM
「オープン・ハート・キングダム」
¥3,150
12/9 chariots
SINGLE
「闇」
¥1,575
12/16 D' espairs Ray
BEST ALBUM ¥2,800
LIVE DVD
限定盤 ¥10,000
通常盤 ¥4,800
12/16 ギルガメッシュ
ALBUM
「NOW」
スーパー初回限定盤 ¥5,000
初回限定盤 ¥3,990
通常盤 ¥3,150
12/16 the Gazett
LIVE DVD
「THE SHADOW IMPUL
FINAL 2009.09.06 at AKASAKA BL
¥5,980
12/16 愛狂います。
SINGLE
「サイコ×レタア」
初回限定盤 (CD+DVD) ¥2,100
初回通常盤 ¥1,575
12/16 平成維新
ALBUM
「美しき鼓動」
TYPE-A ¥3,150
TYPE-B ¥2,625
12/16 E' m~grief~
SINGLE
「In paradism」
¥1,575
12/23 ダウナー
SINGLE
「Candy[A]diveR」
A-TYPE B-TYPE ¥1,050
12/23 α:Vout
SINGLE
「ギルティー」
¥1,575
12/23 Administrator
SINGLE
「Heart is...」
¥1,575
12/25 A&D
MINI ALBUM
「LACRIMOSA」
¥2,625
12/23 Para:noir
SINGLE
「THE VIRTUES」
¥1,500
1/20 ベルベット
SINGLE
「悩殺スパンコォル・バグ」
¥1,260
1/27 Lycaon
ALBUM
「Loyal Order」
初回限定盤 ¥3,300
通常盤 ¥3,000

shop list

東京店 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-11-6ラフォーレ原宿B1.5F
Tel&Fax:03-3478-0860

名古屋店 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-4-5栄NOVA5F
Tel&Fax:052-262-0455

大阪店 〒542-0086 大阪府大阪市中央区西心斎橋1-8-9商都ビル1F C
Tel&Fax:06-6241-7317

宇都宮店 〒320-0804 栃木県宇都宮市二荒町5-4アルフォンスビルB1
Tel&Fax:028-634-9933

仙台店 〒980-8546 宮城県仙台市青葉区一番町3-11-15仙台フォーラス7F
Tel&Fax:022-264-8052

広島店 〒730-0031 広島県広島市中区紙屋町2-2-18サンモール4F
Tel&Fax:082-246-0122

横浜店 〒220-0005 神奈川県横浜市西区南幸2-15-13横浜ビブレ4F
Tel&Fax:045-323-5310

金沢店 〒920-0997 石川県金沢市堅町24ベルセル1F
Tel&Fax:076-265-4741

新宿店 〒160-0022 東京都新宿区新宿3-1-20新宿マルイワン7F
Tel&Fax:03-3350-0469

福岡店 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-11-11天神コア4F
Tel&Fax:092-721-9002

岡山店 〒700-0903 岡山県岡山市北区幸町7-6岡山ビブレB館3F
Tel&Fax:086-221-6166

http://www.angelicpretty.com

●info● 11月下旬に三宮店OPEN予定!詳しくはHPをチェック★

カラ★パラ 007
日本最大級カラコン専門店「カラ★パラ」愛用者40万人突破
発売から1年半で
15,000セット完売!!
Candy color
Venus Eyesは
レンズケース
洗浄保存液
イラスト付き
ご使用説明書
もれなくプレゼント♪
今、チュルンッとした透明感のあるSweetな瞳が大人気
モデルも数多く愛用しているほどの人気の秘密とは!?
実際につけたときの感想を直撃!
彩ちゃん
(19歳 学生)
フチがクッキリする所がお気に入り！周りにバレない自然な発色で目が透き通った感じに見える！
人気の秘密は・・・
Before
キャンディーブラウン
この細かなドットが透明感と最高のナチュラル感を作り出すポイント!
超極薄レンズ
カラパラ
オリジナルカラコン
Venus Eyes Candy Color
ヴィーナスアイズキャンディーカ
超極薄 0.07mm の快適レンズで使い心地最高!! さらに優れたデザイン性の他、みずみずしさとレ
フィット感にもこだわった、瞳にやさしいカラコンです！
モデル装着
キャンディー ブラウン
キャンディーグレー
キャンディーグリーン
キャンディーバイオレット
キャンディーアクア
New!!
キュートブラウン
激売れ!
エッジヘーゼル
エッジグレー
エッジブラウン
グリーンブラック
New!!
スパークリングブラウン
グランデブラック
エアリーブラック
エアリーチョコレート
激売れ!
ブラウンブラック
グレーブラック
ヴィーナスアイズ全種類 ¥4,980(税込)
Color★Para MAGAZINE
シーンに合わせてなりたい私にCHANGE!
Angel Color エンジェル カラー
有名カリスマモデル益若つばさや星あやとのコラボレーションカラコンが人気！
エンジェルカラー エッジブラウン
エンジェルカラー ハニーウィング
¥5,040(税込)
度なし、3ヶ月使用、1箱2枚入り、BC:8.6
エンジェルカラー ヌーディーブラウン
¥6,825(税込)
度ありはコチラ！
充実の配送システム!! 365日休まず配送!!
AM12時までの注文は即日発送!!
満足保証 お気に召さなければ返品OK!
カラコン専門店"カラ★パラ"では、もし、お使いになって使い心地にご満足いただけない場合には返品をお受けします。
※カラコンは、使用上のご注意を良く読みご使用ください。
Venus Eyes 限定
1枚から購入可能!
「片方をなくしちゃった」なんてときも便利です♥
【ヴィーナスアイズ全て1枚2,980円】
大人気、カラコン専門誌
カラ★パラマガジン
差上げます。
※電話、サイトからお申込みいただけます。
アイラックス イノバ
うれしい度ありで1年間自然なデカ目に！
アイラックスイノバ ブラック
アイラックスイノバ ブラウン
¥6,300(税込)
度あり、フチあり、1年間使用、1箱1枚入、BC:8.7
Cala view カラビュー
度ありで透明感ある、鮮やかなフチあり！
カラビュー ブラウン
カラビュー グレー
¥3,780(税込)
度あり フチあり 1年間使用 1箱1枚入 BC8.7
キュートビュー14
オフィス、学校もOK！
キュートビュー14
¥4,095(税込)
カラ★パラ オリジナル カラコン「ヴィーナスアイズ」だからできる安心サポートサービス!
空メールはココ v@007s.jp
※ドメイン指定をされている方は、007s.jpを設定してネ!
携帯サイトはココ http://www.007s.jp
※サイトにアクセスしにくい場合、お電話にてお問い合わせください。
お客さま相談室 0120-800-491
読者限定特典
200円OFF!!
クーポン番号を入力するとご請求金額から、さらに200円引きいたします。
空メールを今すぐ送信!
v@007s.jp
クーポン番号 3760
有効期限：2010年2月28日
ご注文方法
代金引替（手数料300円）でお届け致します。商品到着後に配達員に現金でお支払いください。
送料は全国一律735円、商品代金14,000円以上で送料無料となります。
※商品により代金引替ができない場合がございます。詳しくはサイトにてご確認ください。
品・交換は商品到着後10日間までにお願いします。必ずお電話にてご連絡ください。
※コンタクトレンズは高度管理医療機器です。必ず眼科医の検査・処方によってお求めください。18歳未満のお客さまは保護者許可を得てご購入ください。
空メールを送ると知って得するトレンド最新情報がいっぱいゲットできるお得クーポン付メルマガをお送りします。
カラコン通販なら カラ★パラ 007 株式会社ネットランドジャパン
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-19-9
当店は高度管理医療機器販売の許可を得ております。
許可番号 春保 第1010073
hudie.com

蝴蝶网 hudie.com

ず屋本店 仮想店舗『柿ノ元』

最新写真セットA ¥1,000【UME-13】

■ First FULL ALBUM
「Prophetic Faction-the Universe-」(TYPE-A)
¥3,990【UME-14】
※ 柿ノ元限定コメントCDタイプA
＋トレカコンプリートセット

■ First FULL ALBUM
「Prophetic Faction-the Universe-」(TYPE-B)
¥3,150【UME-15】
※ 柿ノ元限定コメントCDタイプB
＋トレカコンプリートセット

Megaromania

最新写真セットA ¥1,000【UHE-8】

最新写真セットB ¥1,000【UHE-9】

最新写真セットC ¥1,000【UHE-10】

平成維新

■ MINI ALBUM
「パブリックセンチメント」(TYPE-A)
¥3,150【UHE-11】
※ 柿ノ元限定コメントCDタイプA

■ MINI ALBUM
「パブリックセンチメント」(TYPE-B)
¥2,625【UHE-12】
※ 柿ノ元限定コメントCDタイプB

04200921580406177042

写真セットA
¥1,000【UNE-28】

■ MAXI SINGLE
「Haunted Jealousy」(TYPE-A)
¥1,575【UNE-31】
※ 柿ノ元限定コメントCDタイプA

■ MAXI SINGLE
「Haunted Jealousy」(TYPE-B)
¥1,575【UNE-32】
※ 柿ノ元限定コメントCDタイプB

■ MAXI SINGLE
「Haunted Jealousy」(TYPE-C)
¥1,575【UNE-33】
※ 柿ノ元限定コメントCDタイプC

追加スケジュールは、OFFICIAL HPをチェック!! http://www.under-code.jp/

Zipper
ジッパー

■アクリルストラップ
¥1,000【LZI-7】

マフラータオル ¥1,500【LZI-8】

アリバイ
ALiBi

ネックレス・ストラップ・ヘアゴム etc…アレンジ多様

■アクリル
スターチャーム
¥1,000【LAL-19】

■ミニタオル
¥1,000【LAL-20】

www.shanghaidz.com

ORMATION】〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-23-7 日栄ビル3階 有限会社 LOOP ASH ホームページ→ http://www.loopash.com/

Moran

写真 4-A ¥1,000【SMO-4】

鏡
¥1,200
【SMO-2】

ピルケース
¥1,200
【SMO-3】

ダウト

Tシャツ（M・ピンク）
¥2,700【SDO-20】

Tシャツ（M・黒）
¥2,700【SDO-21】

タオル ¥1,500【SDO-22】

Ap(r)il

写真 11-A ¥1,000【SAP-9】

写真 11-B ¥1,000【SAP-10】

メンバー全員入りチェキ
¥2,000【SAP-3】

UnsraW

写真 9-A ¥1,000【SUN-5】

ストラップ
¥1,000【SUN-2】

㊙ポラロイド（1枚
¥500【SUN-6】

NightingeiL

写真 9-A ¥1,000【SNI-9】

写真 11-A ¥1,000【SNI-10】

失敗の僕 / 成功の君
（会場限定 CD）
¥1,000【SNI-4】

LiZ

写真 9-A ¥1,000【SLI-20】

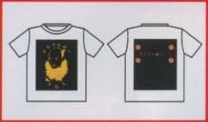
写真 9-B ¥1,000【SLI-21】

メンバー集合チェキ
¥500【SLI-22】

R 指定

写真 9-A ¥1,500【SRS-1】

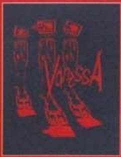
写真 9-B ¥1,500【SRS-2】



Tシャツ（M サイズのみ）
¥2,500【SRS-3】

VANESSA

写真 11-A ¥1,000【SVA-7】



ミラー
¥1,000
【SVA-5】

㊙チェキ
¥500
【SVA-3】

tarrot

写真 9-A ¥1,000【STA-7】

ミラー
（ピンクのみ）
¥800【STA-4】

缶バッチ &
柿の元限定
おまけステッカー
¥1,000【STA-8】

Administrator

写真 11-A
¥1,000【SAD-4】

ライター
2個セット（白・黒）
¥800【SAD-2】

缶バッチ
¥300【SAD-3】

Speed-disk

※ 注意事項
* バックナンバーの受け付けは終了となりました。
* 今月号のグッズの締めきりは 2009.12/21 到着分までとさせていただきます。

SPEEDDISK のイベント詳細は HP をご覧下さい。http://www.xxxrecords.jp/speeddisk

蝴蝶网
hudie.com
www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

摩天楼オペラ

■ミラー ¥1,500 [SAS-OP-MR01]

■ PHOTO SET A ¥1,000 [SASPIX-104]

■ PHOTO SET B ¥1,000 [SASPIX-105]

■ GILIA パンフレット
¥2,000 [SAS-OP-PH01]

■ ANOMIE パンフレット
¥2,500 [SAS-OP-PH02]

■ PHOTO SET C ¥1,000 [SASPIX-106]

Hi:BRiD

■携帯ストラップ ¥1,500 [FHI-5]

■タンバリン
¥1,000 [FHI-6]

■ミラー
¥1,000 [FHI-3]

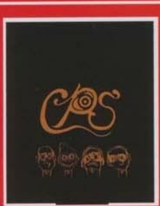
marder suitcase

■タオル ¥1,500 [FHI-4]

ケミカルピクチャーズ

■ CPS ステッカー
¥300 [FKE-6]

■ CPS ステッカー
¥300 [FKE-5]



■ CPS ミラー
¥1,000 [FKE-4]

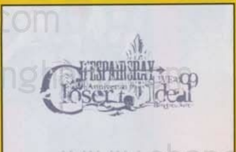
■ PHOTO SET A ¥1,000 [FKE-1]

■ PHOTO SET B ¥1,000 [FKE-2]

■ PHOTO SET C ¥1,000 [FKE-3]

D'ESPAIRSRAY

■ 10 周年記念パンフレット
¥4,200【DR-1】



・62 ページ
・10 周年を振り返ったメンバーロングインタビュー、メンバー個人対談あり。

※ 会場限定のポストカードはついておりません。
※ 通販は数に限りがございます。

■申し込み方法
商品をお申し込みの方は、郵便局に備え付けの振り込み用紙にて、定価＋送料 700 円を下記口座までお振り込みください。なお、通信欄には下記事項をお間違いないようご記入ください。
■郵便振替番号　00180-9-603494
■金額欄　定価に送料を加えた金額をご記入ください。(複数種お申し込みの方は定価の合計金額＋送料 700 円をご記入ください)
■加入者名　株式会社　音楽専科社
■通信欄　柿ノ元・希望商品名・商品番号・各商品の数量
■振込人住所氏名欄
あなたの住所、氏名、電話番号を丁寧にご記入ください。
【お問い合わせ先】
株式会社　音楽専科社『柿ノ元』
〒104-8228　東京都中央区銀座 6-2-3
ダヴィンチ銀座アネックス 5F
TEL03-3574-0203　FAX03-3574-8548

銀座よろず屋本店
仮想店舗
『柿ノ元』

www.shanghaidz.com

蝴蝶网 hudie.com
www.shanghaidz.com

蝴蝶网
hudie.com

music.jp®

*music.jpフル会員の方のみ、無料でダウンロードが可能です。
*新規入会の方は、music.jpフルへの登録が必要となります。

■i-mode
iMenu→メニューリスト→着うたフル→J-POP→music.jpフル
■EZweb
EZトップメニュー→カテゴリ(メニューリスト)→着うたフル・ビデオクリップ→J-POP→music.jpフル
■Yahoo!ケータイ
メニューリスト→着うたフル→J-POP・インディーズ→music.jpフル

音楽せんか?

■i-mode
iMenu→メニューリスト→音楽/映画/アーティスト→音楽情報→音楽せんか?
■EZweb
EZトップメニュー→カテゴリ(メニューリスト)→音楽・映画・芸能→音楽情報→音楽せんか?
■Yahoo!ケータイ
メニューリスト→芸能・映画・音楽→音楽情報→音楽せんか?

オリコン★インディーズ

■i-mode
iMenu→メニューリスト→着うたフル→インディーズ→オリコン★インディーズフル
■EZweb
EZトップメニュー→カテゴリ(メニューリスト)→着うたフル→クラブ・インディーズ→オリコン★インディーズフル
■Yahoo!ケータイ
メニューリスト→着うたフル→J-POP・インディーズ→オリコン★インディーズフル

Official Site http://www.buglug.jp/

www.shanghaidz.com

Bug Lug
バグラグ
http://www.buglug.jp/
解き放たれた超新星!
絶対的新感覚ミクスチャーロック!!
BugLug始動!
2010.1.27 1st MINI ALBUM発売決定 !!
「-7-」着うたフル®
セブン
3社独占無料配信中!
www.shanghaidz.com
hudie.com

www.shanghaidz.com

Printed in Japan
雑誌04537-01

特別定価980円
本体933円

株式会社 プロスト
凸版印刷株式会社

4910045370104
00933